

UFOs & SPACE
隔月刊・1976・10月号

UFOと宇宙

UFOと宇宙科学

No. 20



Color Photos

- ☐ 誌上初公開 / NHK 16ミリカメラの快挙
- ☐ クローズアップ! 火星の大地
- ☐ トラビス・ウォルトン事件現地カラー報告

NHK撮影班がUFOをとらえた! (詳細口絵)

- ☐ 現地完全報告 / *from Arizona, U.S.A.*
トラビス・ウォルトン事件の真相 / 富川正弘
- ☐ UFOインタビュー / 久里洋二
「ミクロ宇宙人だっているぞ!」
- ☐ 本誌東北特別取材
大接近UFO, 自動車4台急停止! / ほか
- ☐ 連載科学記事 (続) 宇宙・引力・空飛ぶ円盤(3) / L・クランプ

好評の空飛ぶ円盤シリーズ!

- 黒沼 健著 九五〇円
空飛ぶ円盤と宇宙人
- 黒沼 健著 九八〇円
空飛ぶ円盤の謎と怪奇
- A・ミツエル 田辺訳 九〇〇円
空飛ぶ円盤は実在する
- 高梨純一著 九〇〇円
空飛ぶ円盤実在の証拠
- 高梨純一著 九〇〇円
空飛ぶ円盤騒ぎの発端
- 高梨純一著 八五〇円
空飛ぶ円盤の跳梁
- アダムスキ・久保田訳 九〇〇円
空飛ぶ円盤の真相
- 久保田八郎編 九八〇円
空飛ぶ円盤とアダムスキ
- ベサラム・久保田訳 八〇〇円
空飛ぶ円盤の秘密
- アダムスキ・レスリー著 九八〇円
空飛ぶ円盤実見記
- 平野・荒井編 九〇〇円
アポロと空飛ぶ円盤
- G・パーカー著 九五〇円
空飛ぶ円盤ミステリ

世界を震撼させる歴史的記録の新発見から、UFOの出没と古代文明にからまる驚くべき数々の謎を解明する。ここに定説よりはるかに古い地球人類の秘密を公開すると同時に、地球の支配権をめぐる大陰謀の恐るべき実体をとらえた注目の名著。B6判

世界のUFO写真集

高梨純一著

一五〇〇円

UFOと地球大陰謀作戦

喜多要光著

定価 九〇〇円

UFOと地球文明の驚くべき秘密のすべてをここに公開する!

●東京都文京区本郷5-30 振東6-141750●

高文社

●京都市左京区百万遍 振京23523●

知識欲、好奇心を満足させる地人書館の天文図書

太陽黒点の予言

解明された気候変動の謎●須田滝雄著

B6/192頁/定価1,200円/〒160円

不順気候期がくると、ここ数年来、警告しつづけてきた筆者が、農作物の不作による政治的経済的変動を防止するため、なぜ不順気候期がくるのか、太陽黒点から気候変動のメカニズムを本書で明らかにし、食糧自給率の低いわが国関係者に、対策の検討を訴える!

天文の基礎教室

子供の素朴な質問を180項目のQ&Aにまとめた図書館協会選定図書 土田嘉直著 A5判・195頁・¥1,200・〒200

ほしぞらの探訪

望遠鏡をのぞき星や星雲星団をさがす楽しさを育てる図書館協会選定図書 山田卓著 A5判・320頁・¥1,800・〒200

パロマ天体写真集

上: ¥750・〒160 下: ¥700・〒160
上: わが銀河系 下: 100億光年のかなた B4・60頁 へール天文台の大望遠鏡がとらえた宇宙の姿を大沢清輝が解説

天体望遠鏡入門

天体望遠鏡を上手に使うために性能や機構をやさしく解説した望遠鏡解説書 太田健太郎著 B5判・120頁・¥800・〒160

彗星の観測ガイド

天文ファンが知りたい新彗星発見法を発見者の体験から詳しく解説 天文と気象編集部編 B5判・104頁・¥750・〒160

天体写真講座

全4巻●広瀬秀雄監修
各巻 ¥1,500・〒200

天体写真の基本

撮影イメージを忠実に映像化し、撮影領域を広げるため、撮影の基礎知識をあつめた入門書 下保茂著 A5判・240頁

天体写真の写し方

観賞写真や観測写真など天体写真を初めて写す人を対象に書かれた撮影テクニックガイド 香西洋樹著 A5判・244頁

天体写真のDPE

写真を生かすも殺すも暗室しだい。写真の仕上げを自分でするためのDPE図解ハンドブック 秦茂著 A5判・240頁

天体写真の応用と工作

天体写真の高度な技術と天体写真の撮影にかかせない付属品の自作ガイドブック 香西洋樹・秦茂著 A5判・240頁

NHKカメラがとらえた

大雪山中の光体

ズームレンズがとらえた大小2つの光体

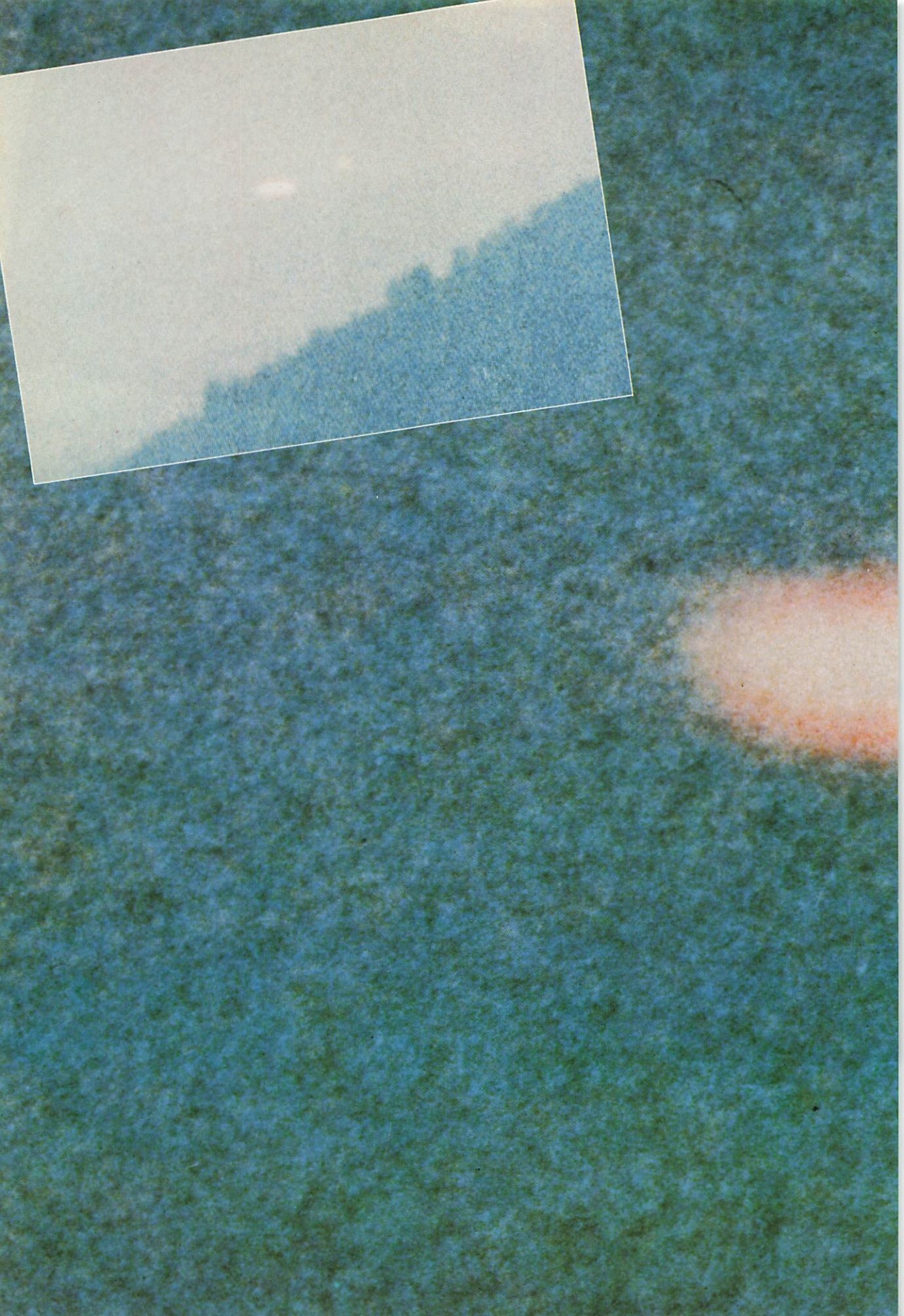


16ミリカメラで3分間にわたってとらえられた光体。この貴重なフィルムがNHKの資料の中に眠っていた。

札幌オリンピック直前の1971年7月、シリーズ「大雪の自然」でヒグマを撮影するためNHK撮影班は大雪山白雲岳を登っていた。一行はプロデューサー、北海道大学熊研の学生2名、それにカメラマン大江謙次郎さんの4人。山の中腹で休憩のために腰を下ろした一行の視界に突

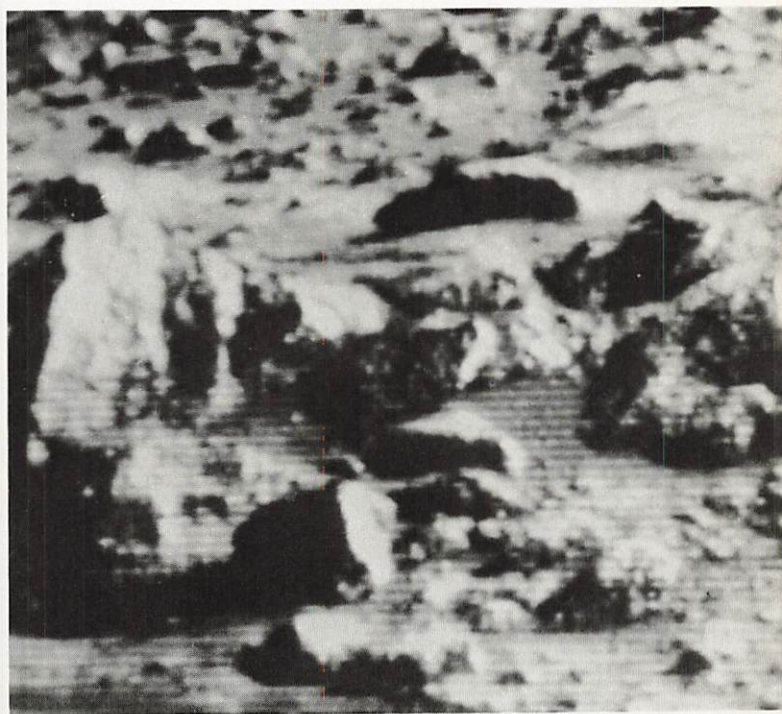
如明るく光る物体が入ってきた。4人はほとんど同時に光体を目撃、大江さんはすぐさま16ミリカメラで光体を撮影した。音は無く、形は波打っているかのように見えたという。大きな光体の右方には別の小型の光体も見える。光体は出現した位置から移動せず、間もなく消滅したというが、大雪山の奥深く、いったい何が光を発し、そして消えていったのであろうか――。

Photo 日本放送協会





バイキング1号が着陸直前の7月3日に
2200kmの高度から撮影した火星表面。画面
左右の距離は約280km。



クローズアップ!

火星の大地



火星に軟着陸したバイキング1、2号は数億キロの宇宙のかなたから多数の科学データを地球に送ってきた。中でも火星地表面のカラー電送写真は地球上のありふれた景色と大きな違いはないように見える。NASAの科学者カール・サガン博士は“地球の地質学者、生物学者が火星と知らずにこれらの写真を見ればただちに200～300種の生物

存在の可能性を指摘するだろう”とコメントしている。右下の写真の左端には話題になった“2BG”が見える。気象現象か太陽光のイタズラ、ということになったが、確認はされていない。火星探査はバイキング計画によって端緒についたばかりである。“謎の火星”がすっかりベールを脱ぐのはもう少し先になりそうである。

Photo UPIサン-共同, WWF

続報

トラビス・ウォルトン事件

カラー現地報告(米国アリゾナ州ヒューバート)

MP
©1976

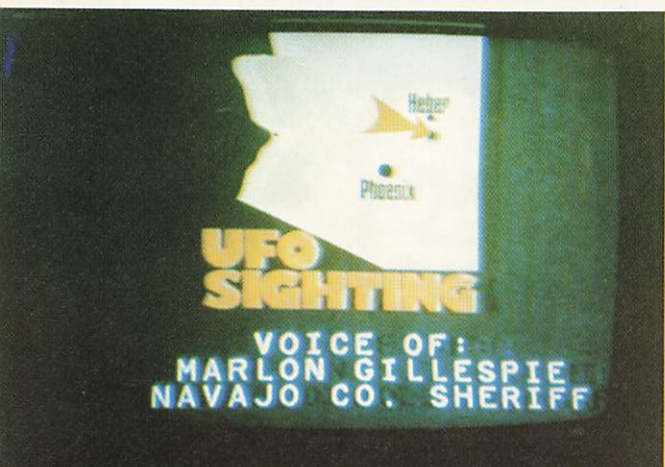


マイケル・ロジャーズの筆による「トラビスがUFOの怪光線に打ち倒されるところ」

本誌18号既報の“トラビス・ウォルトンUFO同乗事件”はその後アメリカの二大UFO研究団体APROとGSWの間に激しい真偽論争を引き起こした。そこで、在アメリカの本誌レポーター富川正弘氏が現地でトラビス本人を始め関係者に密着取材し、このほどカラー写真と詳細な最新レポートを送ってきた。
(本文P.10参照)

「ウォルトンはうそを言っているようには思えない」というハイネック博士の意見を伝える3月23日付フェニックス・ガゼット紙。





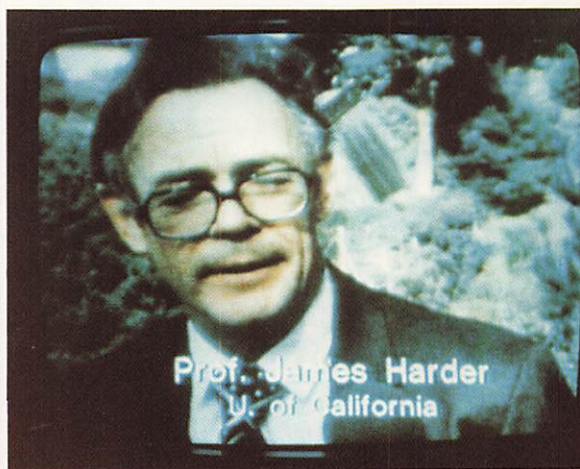
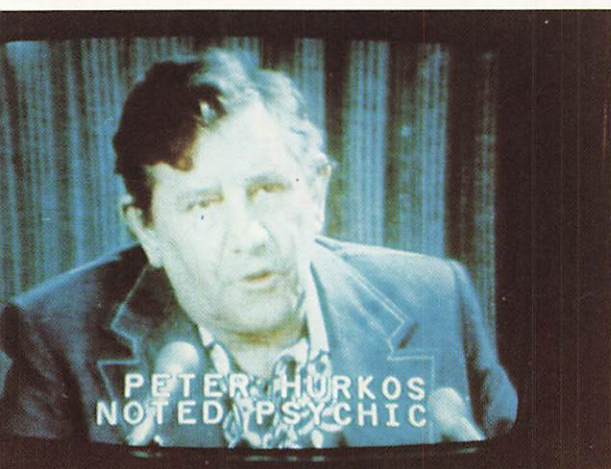
上 左からマイケル・ロジャーズ、トラビス・ウォルトン、マイケルの妹ダナ。後の小型トラックは事件当日7人の若者達が乗っていた車。

中、下 事件を報じるフェニックスのテレビ。

上 アリゾナ州ヒーバー村。トラビスはUFOから地上に戻された深夜、写真左のエクソンのガソリン・スタンドにある公衆電話ボックスで発見された。

中 事件現場の空地に立つ本誌レポーター。彼の立っている場所でトラビスがUFOの怪光線を浴びた。

下 トラビス・ウォルトン事件を報じるフェニックス市のテレビニュース

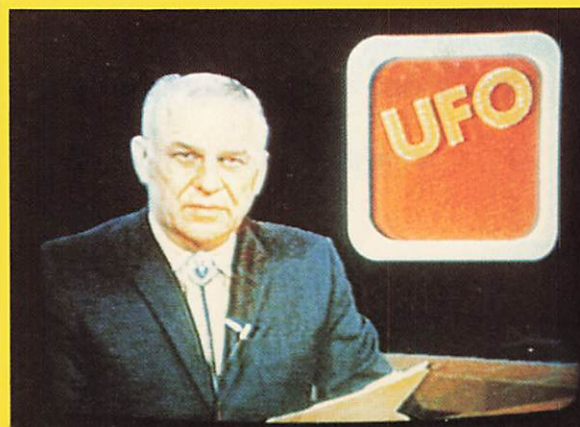


上 テレビに出演して体験談を話すトラビス。

中右 カリフォルニア大学工学部教授でAPRO
コンサルタントのハーダー博士。

中左 「ウォルトン事件はうそだ」と語ったピー
ター・ハーコス（フルコス）。

右 フェニックスのテレビ。



《口絵写真》誌上初公開／NHK16ミリカメラの快挙

- カラー クローズアップ！ 火星の大地
- トラビス・ウォルトン事件現地カラー報告

現地完全報告／アリゾナ州ヒーパー

トラビス・ウォルトン事件の真相

富川正弘 10

今、アメリカのUFO研究界は大揺れに揺れている。でっちあげかほんものか、真偽論争はいよいよエスカレート——

≡東北地方UFO事件特別取材≡

最近、東北地方一帯にUFOの出現が激増。そこで多数の目撃事件の中から、特に興味深い幾つかを徹底的に調査し、紹介する。

1. フタ付きドングリ型円盤蔵王山麓に出現 25
2. UFO大接近 自動車4台急停止！ 30
3. 旋回する3機のUFOを連続撮影 34

■UFOインタビュー／久里洋二

ミクロ宇宙人だっているぞ！ 38

—アポロ計画で判明した驚異的実態—

月世界はUFOの中継基地か⁽¹⁾

44

月は異星人が建造した空洞の天体？ ドン・ウィルソン

韓国上空のUFO嵐

ロナルド・ドラッカー 52

空飛ぶ円盤による北東アジアの“真珠湾”に備え、軍部も警戒を続けている！

マイナス科学は存在するか

小久保秀三 60

イオンクラフト浮上実験成功！

62

未来の宇宙空間飛行の推進力アイデアとなるか 菊地喜三

UFO目撃レポート 70 UFO情報 76 科学ニュース 82

連載科学記事 レナード・クランプ

(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤⁽³⁾

89

空飛ぶ円盤は重力場推進方式で飛ぶ！ 英国の科学者クランプが画期的な推進法を発見、見事な理論を展開した。

声—OPINIONS 100 蚤の市 (売ります・買います) 106

モニター発表 110

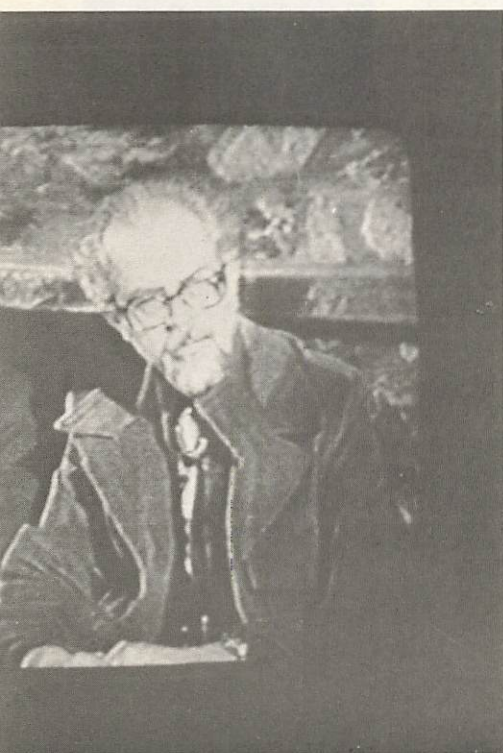


「東北地方UFO事件特別取材 3. (P34)」より

題 字 渡辺達雄
本文イラスト 松岡吉樹
芝岡友衛
石坂 清

UFO研究界は揺れに揺れている。ほんものか
偽論争はいよいよエスカレート——

ホルトン事件の真相



●テレビ出演中のトラビスとハイネック博士

アメリカのUFO研究界は、昨年暮
以来トラビス・ウォルトン事件の真偽
をめぐって大揺れに揺れている。

この事件(本誌18号既報)は昨年十
一月はじめにアリゾナ州のヒーパーと
いう山村で起こった。トラビス・ウォ
ルトンという二十二歳の青年が六人の
目撃者の見ている前でUFOから発射
された青緑の怪光線によって地上に打
ち倒され行方不明となつてしまい、数
日後に現れて「UFOに連れて行かれ

<http://www.computing.computer.munich.ac.uk/~hnh/>
本誌18号に高梨純一氏のレポート「トラビス・ウォ
ルトンのUFO同乗事件」を掲載した。同事件は発生
以来、アメリカの二大UFO研究団体の大論争をひき
おこしており、未だ決着をみていない。この記事は本
誌レポーター、在アメリカUFO研究家富川正弘氏が
事件とその波紋の詳細を直接取材したもので、同事件
に関する最新情報である。

たが、再び地上に戻された」という体
験談を語ったために世間の注目を浴び
ることとなった。また多数の目撃者が
いるなかで起こったUFOによる誘拐
事件というUFO研究史上でも非常に
珍しいケースであるため、UFO研究
者たちの間で特別な関心がもたれたの
であった。

アリゾナ州には、APROとGSW
という二つの世界的に名の知られたU
FO研究団体がツーソン市とフェニッ

クス市にそれぞれ本部を構えている。
両団体とも、おひさまののアリゾナ州
で起こった事件だけにそれぞれ腕によ
りかけた熱心な調査を行ったわけだ
が、日頃「科学的UFO研究」をモツ
トーとしている両団体の調査結果が真
つ向から衝突してしまったから事はや
やくしくなった。

GSW側が、「この事件はデッチあ
げで科学的UFO研究に対する冒瀆で
ある」と発表すれば、一方のAPRO
側は、「とんでもない。当事件は本物
でUFO研究史上に残る最も重要なケ
ースのひとつだ」と主張し、論争は感
情的対立にまで発展してお互いの機関
誌で相手を激しく攻撃し合うというこ
ろまでエスカレートしてしまった。

筆者は十数年来UFOに興味をもつ
て研究を続けてきたのだが、たまたま
昨年九月からアリゾナにある大学院に
在学していたために幸運にもトラビス
・ウォルトン事件を事件発生の直後か
ら詳細に追いかけることができ、トラ
ビスや他の目撃者をはじめ、APRO
やGSWの当事者たちからも直接詳し
い話を聞くことができた。

この事件の詳細については、本誌十
八号で高梨純一氏が主としてAPRO
側の発表にもとづく記事を書いておら
れるし、「文芸春秋デラックス」の七
月号には筆者の一文が載っているの
ここでは重複をなるべく避け、筆者が
実際に眼で見た現場の状況や関係者た

☆アリゾナ州ヒーパー☆ 現地完全報告

今アメリカのU

でっちあげか、真

トラビス・ウ

ちの横顔、それに最近の同事件の進展

状況等を報告しよう。



トラビスが怪光線に 打ち倒された事件現場に立って見た

トラビス・ウォルトンが昨年十一月五日の夕方UFOからの怪光線に打たれた現場は、アリゾナ州ナバホ郡ヒーパー村からでこぼこの林道を南へ約二十キロメートル程入ったアパッチ・シトグリープス国有林の中にある。

アリゾナ州と聞くと読者の皆さんはサボテンの荒野とインディアン、それにカウボーイだけを想像されるかもしれないが、アリゾナ州には立派な森林もあるのだ。

事件の起こった場所はアリゾナ州を西北部から南東部にかけて斜めに横切っている大高地帯上にあり、松林が見渡す限り続いていて、冬は深い積雪に覆われるところだ。

アリゾナの州都フェニックス市から車に乗ってサボテンが点々と生えている丘陵地帯を越えて八十七号線を北へ進むと、やがて植物相が次第に変わって松林となり、ベイソンという町に着く。ここから右折して二百六十号線に入り国有林の中を東へ向かうと、ヒーパー村に着く。フェニックス市から約

三時間の行程だ。ヒーパー村は林業と牧畜で生活している小さな山村である。

ヒーパー村から目指す現場まで行く林道はほりがもうもうとたつ砂利道となるが、途中までは普通の車でもなにか入って行ける。しかし現場までもう少しというところからは、コッペバン程もある石がごろごろした狭い曲がりくねった山道になるので、腰の高い小型トラックかジープでないと、とても入れなくなる。

現場は口絵写真(P7)のように小さな空地となっており、切り倒した木や枝を積み重ねてある。写真では現場のまわりの木立が比較的まばらに見えるが、これは事件後若木の間引き作業が行われたためで、事件発生当時はもつと木がたくさん茂っていた。

トラビスが怪光線に打ち倒されたというちょうど同じ場所に立って空を見上げてみると今にもUFOが再び現れてきそうな気がする。事件当日、トラビスたち七人の若者は現場からほど遠

からぬ林の中で松の若木の間引き作業をしていた。その日の仕事を終え、一行の責任者マイケル・ロジャーズの運転するおんぼろの小型トラックに七人がぎゅう詰めになってガタンガタン揺れながら石ころだらけの山道を上がって来たとき、この空地の上空、木の梢の高さくらいところに音もなく浮かんでいたUFOを見たのだ。すでに夕日は西南の山陰に沈んだあとで、あたりは夕闇に包まれ始めていたがUFOは黄白色に光っていたという。そこでトラビスは助手席から飛び降りると仲間が止めるのもきかずUFOの方に走って行った。この先に何が起こったかはすでに前述の誌上で詳しく述べたので、ここでは省略させていただきます。

事件の現場から南へ約一、二キロメートルのところは、この国有林の西北部から南東部にかけて延々と続く高い崖になっており、この崖から南はアパッチ・インディアンの居留区である。そして、これまであまり報道されていないと思うが、実はこの崖のあたり一帯にはウラニウムの鉱脈があるのだ。事件現場でもよく注意して足元を見れば黒みがかったウラニウム鉱の石ころが落ちていて、とマイケル・ロジャーズが教えてくれた。アリゾナ州はアメリカでも有名な銅の産地であり、筆者はUFOと銅鉱脈、あるいはウラニウム鉱脈とは何かの関連があるかもしれないと考えている。

事件関係者の横顔

トラビス・ウォルトン

事件当時二十二歳、現在無職だが彼の体験談を執筆中だ。事件がおこるまでは無名の貧しい田舎青年だったが事件後は一躍有名になり、サンフランシスコやカナダのテレビに出演したり、UFO研究者たちの訪問を受けたりすつかり忙しくなったようすだ。マイケル・ロジャーズの妹と婚約しており熱々の仲。

(余談だが、一体にアメリカ人は人前でも平気で愛情を表現するから彼らと一緒にいると、ときどきこちらの方が照れくさくなってくる)

トラビスは近くのカレッジでの講習会でマイケルと一緒に二年間ほど空手を習っていたという。トラビスの眼は大きくてじつと見つめられると催眠術にでもかかりそうな感じだ。事件当時とはやしていなかったが今では赤茶色の口ヒゲをはやしている。

高校時代に測定した際の知能指数は百四十二だったというから頭の回転はよさそうだ。

ウォルトンの家族

トラビスは六人きょうだいの下から二番目だが、きょうだいは皆なかなか頭がよいらしい。母親のケレット夫人(トラビスたちの父の死後再婚したため姓が違ふ)もなかなかの才女のようにだが、長女も頭がよく、十六歳で高校を卒業し大学を三年間で終了したとかで現在はフェニックス市で銀行に勤めている。

長男はスノーフレークの営林署の職

員、次男のデューインはグレンデール市で馬蹄屋という変わった商売、次女はテイラー村のグラント・ネフに嫁いでいる。五番目がトラビスでその下の弟は今軍隊に行っている。

次男のデューインは子供のときから大変大人びていて、きょうだいの中でのもっとめ役をやっていたそうだが、これまた大変頭の回転が早そうで事件発生後しばらくの間トラビスがマスコミから逃げるために潜伏中はもっぱらウォルトン一家のスポンクスマンをつとめていた。ボクシングをやっており非常にいい体格をしている。筆者はたまたまデューインの家の近くに住んでいるので事件発生時から連絡をとって詳しい話を聞くことができた。

マイケル・ロジャーズと他の目撃者たち

マイケル・ロジャーズは二十八歳、トラビスと同じスノーフレークの町に住む。熱心なモルモン教徒で女の子が四人もいるが不景気のために定職がなく、営林署の請負仕事をしたり町の看板書きのアルバイトをしたりして生活はあまり楽でもないようだ。事件当時は営林署と契約して若木の間引き作業を請負い、若者たちを雇って仕事をしていた。芸術の才能に恵まれていて独学で画を学んだ。トラビスが怪光線に打ち倒される光景を描いた絵(口絵P6)は実際の目撃者である彼が描いた絵だけに、とても迫力がある。マイケルは現在、トラビスの体験談にもとづいてトラビスが執筆中の本の挿絵をせっせと制作している、本が出版されるのが楽しみだ。

他の目撃者たちは今、ほとんどヒーパー地区にはいない。ケネス・ピーターソン(二十五歳)はメキシコに働き

(ちなみに、筆者は例のバミューダ・トライアングルの一端をなすプエルトリコ島に約一年間ほどいたことがあるが、銅鉱脈のある地点でなぜかUFOの目撃報告が多かった)

このあたり一帯はUFOの目撃が比較的多いところで、中でもヒーパー村の西百キロメートルほどのチャイルドというところは異常に多く、UFO研究者たちの注目を浴びている。また、三、四年前には、ヒーパー村から東へ約五十キロメートルのスノーフレーク

大御所APROと

新興勢力GSWの激しい対立

APRO

APROはUFOの研究者ならだれでも知っている世界的なUFO研究団体であるから詳しい説明は省く。

多数の科学者たちが顧問として名を連ねており、UFOの科学的研究をモットーとしている。会員数約四千人、世界中に連絡員がいる。代表者のジム・ロレンゼンの本職はオルガン屋さんで、息子さんと一緒にツーソン市でオルガンの商売をやるかたわら、夫人とともにAPROの運営に力を注いでいる。ロレンゼン氏は今年の春、心臓病の手術を受けたが無事退院した。夫人のコーラル・ロレンゼンは一九五二年にAPROを創立した人で、有名なUFO研究者として知られている。つい最近も夫妻共著で「UFO乗組員との

(この町にトラビスやマイケル・ロジャーズたちが住んでいる)で、スクー・バスに乗った児童たちが夕陽のような赤色の巨大なUFOを目撃して一騒動あったこともあり、このへんの人々にとってUFOの目撃はそれほど珍しいことではないらしい。また、筆者はつい最近トラビスがUFOからの怪光線に打ち倒されたのと同じ夜に、現場から南東へ約七十キロの部落で十七歳の若者がUFOを見たという未確認情報を得たので現在調査中である。

遭遇」という新著を出した。

世界一のUFO研究団体を自負しているだけに自信も強く、トラビス・ウォルトン事件に関してもハイネック博士を批判したりGSWを激しく攻撃したりしている。

GSW

一方のGSW(Grond Saucer Watch)は会員数約三百人、APROに比較するとずっと小粒だが、なかなかどうしてビリリと辛い内容をもっている。というのもAPROが会費を納めたものはいずれでも会員になれるという方針をとっているのに対し、GSWは少数精鋭主義をとっていて所定の講義を受けてテストをパスし、活発にUFOの研究活動を行うと認められた者し

に行っており、またデュエイン・スミス(十九歳)はフェニックス市、ジョン・グレット(二十一歳)はアリゾナ州の西はずれにあり、アラン・ダリス(二十一歳)は行方不明、最年少のステイプ・ピアス(十七歳)のみスノーフレックの隣、ティラー村にいます。事件がおこった際、六人の仲間たちが怪光線に打たれて倒れたトラビスを置き去りにして一目散に逃げてしまったため、トラビスの兄のデュエインは「友達甲斐のないやつらだ」と怒ったというのだが、事情が事情だけにそれやむを得なかっただろう。当夜、保安官たちを現場に案内する際にはマイケル・ロジャーズとアレン・ダリス、それにケネス・ビーターソンのみ同行し、残りの三人は恐れて現場へ戻るのを拒否したという。その後、六人とも嘘を言っていないことを証明するためポリグラフ・テストを受け、アレン・ダリスを除き全員パスした。アレンは興奮し過ぎていて結果が出なかった。事件後行われたトラビスの捜索で、マイケル等の仲間達は警察犬を使ってトラビスの行方を探してくれるよう申し入れたが、なぜかこの要求は無視されたそう、もしあのとき警察犬を使っていたら、あんなに早く見つかるに違いない。また、事件後、現場での残留放射能の測定は営林署のある男が行ったがこの測定はかなりのいかげんなものだったらしい。というのは、小型トラックや目撃者たちが着ていた衣類などは調べてみても、マイケルたちのかぶっていたヘルメットから、まわりの土地よりも四倍くらい強めの値が出た。もう神経質になってしまい、それだけ

で測定をやめてしまったということだ。UFOによる残留放射能の測定は事件発生後十二〜十六時間以内に行わないと消滅してしまうといわれているので、もしこんないかげんな測定が本に行われたとするならば実に残念なことである。

なお、UFOとの遭遇時によく報告される電磁効果はこのケースの場合報告されておらず、マイケルは小型トラックで現場から逃げる際にも別にエンジンが止まったりしなかったと言った。

ガレスビー保安官

この事件を取り扱ったナバホ郡保安官マリーリン・ガレスビーは、「当初六人の目撃者たちの話はつじつまが合っていないし嘘を言っているようにも思えない。ポリグラフ・テストの結果も白と出ており、私はほとんど信じかけている」と言っていたが、その後トラビスと会って体験談を聞いた頃から、「どこがどうと詳しく言えないが何となく一杯喰わされているような気がする」と言いだし、トラビスが約束のポリグラフ・テストに出て来なかったことを理由として当事件の捜査を打ち切ってしまった。

トラビスたちの説明によると、実はガレスビー保安官は以前にUFOを二、三度見たことがあり個人的にはUFOの存在もトラビスたちの話も信じているし、身内や親しい人たちには内々にそのことを洩らしているのだが、保安官という身分は選挙によって選ばれるので次の選挙の得票を気にして公式にはUFOを信じていることをあかささないのだとのことである。筆者はガレスビー保安官に会って真偽をたしかめたいと思っていたが、残念ながらいまだその機会に恵まれていない。

かメンバーに加えないからだ。

多数の科学者(特に航空宇宙関係、技術者、各分野の専門家を中核メンバーとしており、「科学的裏付けのあるデータ以外は一切相手にしない」として、第二次大戦以後観測された信頼のおけるUFO関係のデータ以外はとりあげないという徹底的な科学主義をとっている。

一九五七年に設立されたが、設立当初は世間一般のUFOに対する無理解を避けるため地下活動を行っていたという。グラント・ソーサー・ウッチという変な名前はこのときの名残りであるそうだ。

代表者のビル・スポールディングの本職はフェニックス市にある航空宇宙工学関係の会社のエンジニアであるが、まだ三十歳代という若さにものをいわせて職務のかたわら猛烈なUFO研究活動を行っている。フェニックス市では、市で行う成人教育の課目に正式に「UFO学」ととりいれているが、スポールディング氏は講師としてこれを教えており、その他あちこちで頻繁に行うUFO講演会を数えると一年の半分くらいはUFOの講義をしていることになるという。彼はまるで「歩くコンピュータ」といった感じで、ひとたび口を開くとよく通る早口で次から次へとUFOに関するデータが飛び出してくる。

GSWはテキサス州に本部をもつM

UFON(相互UFONネットワーク)の姉妹機関となっていて情報交換を行っており、スポールディングもMUFOONアリゾナ支部長を兼ねているが、GSWはGSWとしての独自の活動を行っている。

また、GSWはハイネック博士の主宰するCUFOS(UFO研究センター)とも連携している。このため、GSWの精神心理学コンサルタントであり今回のトラビス・ウォルトン事件の渦中の人であるスチュアート博士は、同時にMUFOONのコンサルタントを兼ね、CUFOSとも協力関係にあるわけだ。そのスチュアート博士が事件直後トラビスと会って、「麻薬、特にLSDによる幻覚のようだ」と診断したために、それらのアメリカの主要なUFO研究団体からんでトラビス・ウォルトン事件がかくまでも大きな波乱を引き起こすことになったのだ。

GSWはまた、最近の航空宇宙工学の新技术を利用して、従来困難とされてきたUFO写真の真偽の鑑定をコンピュータを使用して行うという画期的な方法を開発して話題をよんでいる。これについては、イギリスで出版されている世界的に定評のある「フライング・ソーサー・レビュー」誌も最近の号(VOL. 23, No. 1, 1976)でこれをとりあげているからご覧になった読者もあるだろうと思う。

さらにGSWはアメリカ政府、特に

CIAがウォーターゲート事件以上の規模をもってUFOに関する証拠を隠滅してきたとして訴訟をおこし、アメリカのマスコミの注目を集めている。

これまで述べてきたことから、GSWという団体が小粒ながらもいかにビリと辛く、科学的でエネルギー的な団体であるかわかりただけたと思う。

たとえば、GSWはUFO研

GSW側を窮地に陥し入れた

ハイネック博士の声明

およそUFOに関心をもって研究している人でハイネック博士の名を知らない人はまずあるまい。元オハイオ州立大学天文学教授でマクミラン天文台長をしていたが、一九四九年に米空軍のUFO調査機関、プロジェクト・サイインからの依頼でコンサルタントをひき受けて以来、プロジェクト・ブルーブックのコンサルタントとしても長年活躍してきた。この人は、はじめは完全なUFO否定論者であったが、多数の信頼に価する証人たちの真面目な目撃報告に接しているうちに意見を変え熱心なUFO肯定論者となり、UFOを否定する空軍と袂を分かった。現在はノースウェスタン大学天文学部長の要職のかたわらCUFOS(UFO研究センター)を主宰しており、アメリカのUFO研究界でも最も信頼されている科学者である。

究界の大神所であるAPRO一家に挑戦する新興勢力であり、APROから見れば「こしやくなGSWの若僧め」といったところであろう。この二つの団体が同じアリゾナ州の中にそれぞれの本部を構えており、その地元でウォルトン事件が起こったのであるから、騒ぎが大きくなったのも無理からぬことである。

このハイネック博士は、ウォルトン事件を調査するためにCUFOSと協力関係にあるGSWのスポールディングを通して、トラビスが発見された直後の十一月十三日フェニックスに来てトラビスと会見することになっていた。ところが、トラビス側はハイネック博士がUFO研究界でそれほど有名で影響のあることは知らなかったらしく、GSWとの感情のこじれからハイネック博士との会見の約束も突然キャンセルしてしまった。

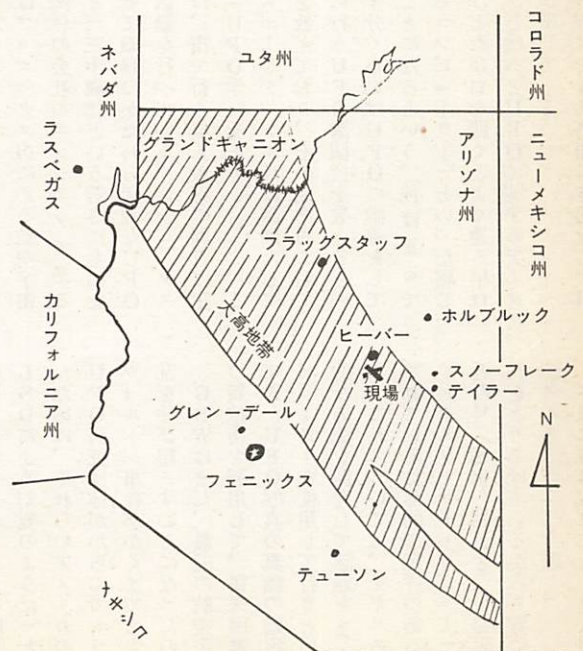
以後しばらく、ハイネック博士は当事件のなりゆきを静観していたのだが、二月七日に行われたAPROによるポリグラフ・テストの結果が白と出、アメリカの有名な雑誌「プレイボーイ」から当事件に関して記事を書いてほしいと依頼されたため、APROからの呼びかけもあつてトラビスに

直接会ってみることにきめた。そこで、今回はGSWのスポールディングを通さず、APROを通してトラビスに会うことにし、三月二十三日フェニックスに来てトラビスと会見したのである。

トラビスと会った後ハイネック博士は記者会見を行い、「トラビスは嘘を言っているようには思えない。もっと詳しい調査を続行すべきだ」と発表した。このため、これまでおもにGSW側の意見に同調して、ウォルトン事件を黙殺することになっていたマスコミは態度を変え、三月二十三日付の夕刊紙「フェニックス・ガゼット」は一面でこ

の発表を大きくとりあげて報道した。(「ウォルトンは嘘を言っていない—UFOの権威語る」と題するこの記事の隣には「カミカゼ・パイロット、暗殺に失敗」として日本の児玉邸事件が報じられていたのが眼をひいた)

このハイネック博士の声明でGSW側は窮地に陥ってしまった。なぜなら、GSWはこれまでハイネック博士を含むGSW—MUFON—CUFOS連合軍の代表のつもりで行動し、発言していたので、すっかり面目を失った形になってしまったからである。スポールディングは早速ハイネック博士に、「一体どういことなのだ」と電



APPRO側の主張

APPROの主張（筆者のインタビュー及びAPPRO会報VOL.24, No.56, 9にもとづく）

- 1、APPROの調査員は事件直後目撃者たちとあって、彼らは嘘を言っていないとの印象を受けた。
- 2、六人の目撃者のうち五人までが事件直後アリゾナ州公衆安全局の専門家によって行われたポリグラフ・テストをパスしている。
- 3、トラビスとデュエインも今年二月七日にフェニックス市のイーゼル・ポリグラフ研究所で行われたポリグラフ・テストをパスした。また、母のケレット夫人も三月二十二日にテストを受けてパスした。
- 4、GSWのステュアート博士は、「十一月十一日朝九時半から十一時半までの二時間くらいトラビスを診断したが多分LSDによる幻覚だ」と発表した。が、これに対してトラビスたちは、九時半から十五分くらいしか博士のオフィスにいなかったと主張しており、このことはAPPROのロレンゼン夫人が十四時四十七分頃デュエイン宅に電話をしたらトラビスと一緒に博士のオフィスにいたはずのデュエインが電話にでたことから証明できる。
- 5、ステュアート博士の学位を調べてみたら、カリフォルニア・ウェスタン大学という聞いたこともないような小さな通信教育の学校でとったPh.D（哲学博士号）で、M.D（医学博士号）ではないということ

がわかった。これでは信頼に値しない。（注・ステュアート博士はこれに対し名誉毀損で訴えるとしている）

6、一方、十一月十一日の午後トラビスを診断したフェニックス市の二人の内科医、ケンドール博士とソール博士は立派な医学博士である。また、信頼すべきクリニクで行った十一日後採取の尿と、十三日午後採取の血液の検査及びEKG、EEGなどの脳波テストでも、麻薬、またはアルコールの服用を示す結果は出なかった。

7、APPROのコンサルタントでカリフォルニア大学工学部教授であるハーダー博士は事件後、興奮しているトラビスに催眠療法を施したが嘘を言っているようではなかった。さらにロレンゼンバウム博士、ゴーマン博士もトラビスを診断して同じ印象を受けた。

8、生理学者でAPPROの超心理学のコンサルタントであるカーン博士は、ロールシャッハ・テストの結果「トラビスは暗示にかかりにくく性格は正常」と診断した。

9、心理学修士のマコーネル氏は十二月十六日のミネソタ式多相性格テスト（MMPIテスト）の結果「性格は正常で幻覚性向は見られない」と診断した。このテスト結果は更にAPPROの心理学コンサルタントのスプリングル博士によって吟味され同様の結果が得られた。

10、精神分析医のローゼンバウム博士は、もしトラビスが事件直後に保

安官の要請によって予定されていたポリグラフ・テストを受けていたとしても無意味であつたらうと語った。なぜなら、ポリグラフ・テストは嘘を測定するのではなく、質問に反応する「精神的な圧迫感」を測定するのであるからトラビスはあの当時、事件のショックとマスコミなどからの強い精神的な圧迫感を受けて混乱状態にあつたからだ。

11、ウォルトン事件が起こる約三カ月前の八月十三日に隣のニューメキシコ州アラモゴードのホルマン米空軍基地近くの砂漠で、三十二歳のムーディー軍曹がやはりUFOに連行されるという事件が起こったが、UFO内の宇宙人たちの描写などトラビスの語った内容と驚くほど一致している。しかも、このニューメキシコの事件は事件発生後約九カ月間も公表されていなかったという、トラビスがこの話を真似したということ

は絶対にあり得ない。この点からもトラビスの話の真実性がわかる。

12、トラビスが事件の起こる前にある放送局に電話して「UFOについて話すから自分を出演させないか」などと言ったというNIICAPの報告は、調べてみたが事実無根である。

13、この事件がデッチあげであると主張する六人、すなわちガレスピー保安官と二人の部下、GSWのビル・スポーリングとステュアート博士、それにフィリップ・クラウス（注・UFO否定論者として有名）は、トラビスや目撃者たちが受けたようにポリグラフ・テストを受けるべきである。APPROは喜んでテストの費用一切を負担する。

話をいれたが、博士の返事は「完全に肯定したわけではないが、否定もしきれない。たとえ実際に体験していないとしても心理的に実体験をしたと思ひこむこともあり得るから、もっと調査を続けるべきだと思う」というものであった。

ハイネック発言を聞いてAPPRO側は当然喜んだが、コラル・ロレンゼン夫人は「ハイネック博士ははずい。APPROの仲介でトラビスに会えたのに、まるで自分一人で会ったようなことを言っている」と批判しているから世の中は難しい。

「デッチあげ」を主張するフィリップ・クラウス

フィリップ・クラウスはUFO否定論者として有名で「UFO Explained（UFOは説明された）」という本を書いている。また、もし本当にUFOが存在するということを経験できたなら一万ドルの賞金を出すという話題をまいたことがある。彼はあの有名なバスカグーラ事件も、今回のウォルトン事件もUFOに関する事件はすべて錯覚、幻覚の産物か、デッチあげであると主張しているのだが、日頃UFOの存在につきクラウスと正反対の意見をもっているGSWのスポーリング博士が、バスカグーラ事件とウォルトン事

GSW側の主張

GSWの主張(筆者のインタビュー及び、GSW会報七六年六、七月号にもとづく)

1、現場からは残留放射能は検出されなかった。ただし、事件発生後GSWが通知を受け、現場に到着するまでには時間が経過し過ぎていたので放射能の検出はもとも無理であった。UFOの着陸を示す真跡も見つからなかったが、不思議なことに現場の木の幹の、地上から十メートルくらいの高さで十ガウスという異常に高い残留磁気が検出された。

(アニス・ガウスメーター#55を使用) どうして木から磁気が検出されたのかは不明である。

2、六人の目撃者のうち、だれもトラビスが実際にUFOの内部に入っているのを見ていない。したがって、トラビスはどこかに隠れることができたはずだ。

3、ウォルトン一家は昔からUFOマニアだった。以前も十回十五回UFOを見たことがあると言っているが、これは異常に多すぎる経験だ。

4、トラビスがまだ見つかる前、デュエインはGSWの調査員に「トラビスは今にきつと見つかる。なぜならUFOは友好的だからだ」と言っている件に関してはクラスの調査結果を百%支持すると言っているから面白い。クラスは六月二十六日付で「トラビス・ウォルトンのUFO誘拐事件がでっち

た。そこでGSW側が「どうしてトラビスが見つかるかわかるのか?」と問うと、デュエインは「そういう気が強くなるからだ」と答えた。そこで、「では、トラビスがもどされる際にはその偉大な瞬間をカメラにおさめてみないか」と聞いてみたところ、「いや、もしカメラを持って行くと彼らはもどって来ないからダメだ」と答えた。(注・デュエインはこの点に関しては「きつともどつて来ると言ったのは母親を安心させるためだ」と言っている)

5、ケレット夫人はトラビスの失踪を少しも心配せず、「UFOはトラビスを傷つけたたりしない。彼はきつと帰ってくる。私たちはこれまでに何度もUFOを見た」と言った。

6、もし真実の体験なら、すぐに驚くべき体験を保安官なり記者たちに語り、いろいろな科学的テストを受けて信じてもらおうとするのが普通であるのに、トラビスの場合は約束のポリグラフ・テストもすっぽかして逃げまわっていた。

7、トラビス兄弟は「体験談」を高値でナショナル・エンクアイラー紙に売りつけた。七人がUFOを見たところまでは本当に起こったことかもしれないが、それから先はトラビ

スとデュエインがたくらんだ金もうけ目当ての作り話にちがいない。

8、トラビスを診断したスチュアート博士は精神分析の専門家であると同時に麻薬関係の専門家であり、フエニックス市警から頼まれ何人も麻薬患者を取扱っている。スチュアート博士が麻薬でもエキスパートであることを知って、トラビスたちは二度と寄りつかなかったのだ。

9、なお、スポールディングは十一日の朝、勤務している会社の事務所から九時四十分頃と十一時頃とにスチュアート博士のところに電話してデュエインとも話したから、トラビスたちはたしかに博士の事務所に入っていたのだ。したがって十五分くらいしかいなかったというのは嘘である。

10、ポリグラフ・テストというものはそれほど信頼できるものではない。しかし、もしAPPRO側がGSWのスポールディングもテストを受けるべきだと言っているなら、いつでもそうする用意がある。そのかわり、ナショナル・エンクアイラー紙等の後援などなしに、科学的信頼のおける技師のもとにロレンゼン夫妻、トラビス・ウォルトンも同時にテストを受けることを条件とする。

11、トラビス・ウォルトン事件とミシシッピーのバスカグーラ事件に関しては、デッチあげであるとするフリップ・クラスの調査結果に全面的に同意する。

1、事件直後の十一月十五日にAPROとナショナル・エンクアイラー紙との依頼によってフエニックス市のアリゾナ・ポリグラフ・ラボラト

リーのマカーシー技師(二十年近くの経験をもつ)がトラビスのポリグラフ・テストを行ったという証拠があるが、その結果はクロであった。

ところが、APPROと同紙はこの結果をにぎりつぶしてしまい公表していない。マカーシー技師は、トラビスは嘘を言っていると判断したが、テストの依頼主のナショナル・エンクアイラー紙がテスト結果を公表しないように言ったので沈黙していた。

2、それから三カ月後にイーゼル・ポリグラフ研究所で行われ、トラビスがパスしたというテストの結果をAPPROは大袈裟に発表しているが実は、このテストを行ったファイアー技師は二年ほどの経験しかなく、またテストの質問はトラビスたちの側から与えられたものでテスト結果は無効にすべきだと所長のイーゼル氏が言っている。

3、ガレスビー保安官の要請で十一月十日ギリソン技師によって行われ、五人の目撃者がパスしたポリグラフ・テストはトラビスが仲間たちに殺害されたかどうか主眼をおいたテストであって、UFOに関する質問は一つもなかった。しかも、「トラビスがいなくなった際、UFOを見たというのは本当か」という簡単な質問だけで、UFOから怪光線が発射されたか? とか、その怪



光線によりトラビスが倒れたか？
などという質問はされていなかったから不適当である。

4、トラビスの経歴を調べてみたところ、事件の四年ほど前にマイケル・ロジャーズの弟のチャールズと二人でアルバート先の会社の小切手を盗み出し、偽のサインをして現金を引き出したかどで二年間の執行猶予を受けてる。

5、また、トラビスは事件の以前にLSDなどの麻薬をやった経験があるとマカーシー技師に語っている。

事件直後にトラビスをみたスチュワード博士はトラビスの右腕の内側に注射をした跡のような傷があったと言っている。

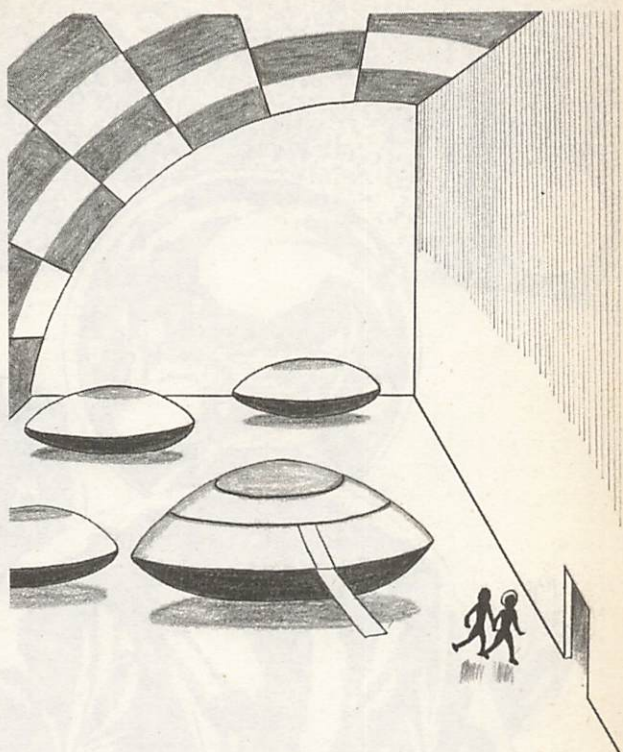
6、これまで、目撃者たちには嘘をつく何の動機もないとされてきたが実は大きな経済的動機があったのだ。マイケル・ロジャーズは営林署との契約で十一月十日までに若木の間引き作業を完了できなかった場合には罰金を払う約束になっていたが、大幅に仕事が遅れ困っていた。

そこで彼らは十月二十日にNBCテレビで放送された「ベティとバーニー・ヒル事件」にヒントを得てUFO騒動をデッチあげ、期限内に仕事を完了できないことへの言いわけにしようとしたのにちがいない。現に、十一月十八日マイケルは営林署に、皆こわがって現場にもどりが

らないからと申し出て、契約の遂行を免除してもらっている。

7、トラビスの失踪中、ケレット夫人をはじめ兄のデュエインもマイケル・ロジャーズも、トラビスがUFOからの怪光線にあたつてひどいケガをしたり死んだりしていないだろうかという心配は全くせず、彼はかならず無事にもどつて来ると言つて、まるでトラビスがどこにいるか知つていふような落ち着いた様子だった。また、トラビスが見つかったという深夜、もしトラビスの身体が本心に心配ならスノーフレックから南へ二十五キロメートルほどの町に診療所があるから、そこへかき込むべきなのに、わざわざ車で三、四時間かかるグレンデールへ行っている。

8、十一月十一日の午後、APROのケンドール博士とソールツ博士がトラビスを診察した際、彼の話を信用している両博士たちでさえトラビスの写真を書いたりその話を録音したりすることを拒否された。さらに、これがトラビスの尿だといってデュエインが容器を渡したというのがそれがたしかにトラビスの尿だったという証拠はない。この尿中には普通人が数日間飲まず食わずだったとすれば当然検出されるはずのアセトンが検出されなかった。トラビスは五日間以上も飲まず食わずだった



ずだからこれはおかしい。あるいはまた、尿中から麻薬使用の証拠が出るのを恐れて兄のデュエインの尿を渡しことも考えられる。とにかく、ケンドール博士はこのテスト結果をAPPROに報告したが、APPROからは公表されていない。

このフィリップ・クラススの主張をGSWは全面的にとり入れ、ウォルトン事件がデッチあげである明白な証拠としてAPPROやハイネック博士たちへ大反撃を行うべくマスコミに流した。

七月十一日、アリゾナのテレビ局KTAR(NBC系)はローカルニュー

スのトップに「ウォルトン事件はやはり嘘だったことが立証された。トラビスはポリグラフ・テストに失敗していたし目撃者たちにも騒ぎをたくらむ動機があった!」と大々的に報じた。これを皮切りに七月十二日のテレビ、ラジオ、新聞もいっせいに「ウォルトン事件は嘘だった」と報道した。このため、多くの人は、やはりあの事件はデッチあげだったのか——という印象をもつにいたった。

だが、APPROやトラビスたちは当然このGSW及びフィリップ・クラススの攻撃に対し怒りを表明している。

APPROの説明によると、事件直後

のトラビスは精神的に非常な混乱状態にあったので、ローゼンバウム博士、ハーダー博士、ローレンセン氏等はポリグラフ・テストを行っても意味がないと主張した。が、それにもかかわらずナショナル・エンクアイラー紙が、独占記事にする価値があるかどうか試すためにはどうしてもポリグラフ・テストを受けさせたいと主張したので、やむなく、結果がどう出ても公表しないことを条件に行ったところ、やはりトラビスが興奮し過ぎていて嘘を言っているような結果が出てしまった。しかし、このテストはもともと行う時期が悪く意味がないので発表しなかったのだが、マカーシー技師が約束を破ってフィリップ・クラスに話してしまっただけだという。

また、二月七日に行われたファイフ・アール技師によるポリグラフ・テストの件では、「テストの前に大体どういう範囲の質問をするか当事者側と話し合うのは一般的に行われていることだ」とファイフ・アール技師は反論している。

さらに、マイケル・ロジャーズは、クラススの攻撃に対し、「事件の前にも七年間も営林署の仕事をしており、その間約束の期間内に完了できなかったのは六年間に一度あっただけで、これ

もその後の契約にはいっそう影響せず仕事をしてくれている。事件のあったときもチームのメンバーにきちんと給料は支払っていたし、あともう少して仕事も完了するところだった。クラススの攻撃はとんだ言いがかりだ」と反論している(注・マイケルは間もなく営林署の次の請負仕事を始めることになっている)。そして、「フィリップ・クラスの方こそこの事件を否定したがる経済的動機がある。なぜなら、彼はUFOの存在を証明した人には一万ドルの賞金を出すと約束しているから、どうしてもUFOの存在を否定する必要があるわけだ」と語っている。

トラビスとマイケル・ロジャーズは七月十四日、フェニックス市のKTVK(ABC系)テレビに出演して、GSWやクラススの攻撃に対する反論を行い、「もし、クラスが応ずるなら、だれもが信頼をよせる第三者のポリグラフ・テスト機関で再度テストを受けるから、もし我々が見事パスしたらテスト費用は全部クラスがもて」と挑戦を行った。クラスの方も新聞で、「彼らから正式に挑戦状を送ってくれば挑戦に応ずる」と発表しているので今後の展開が注目される。

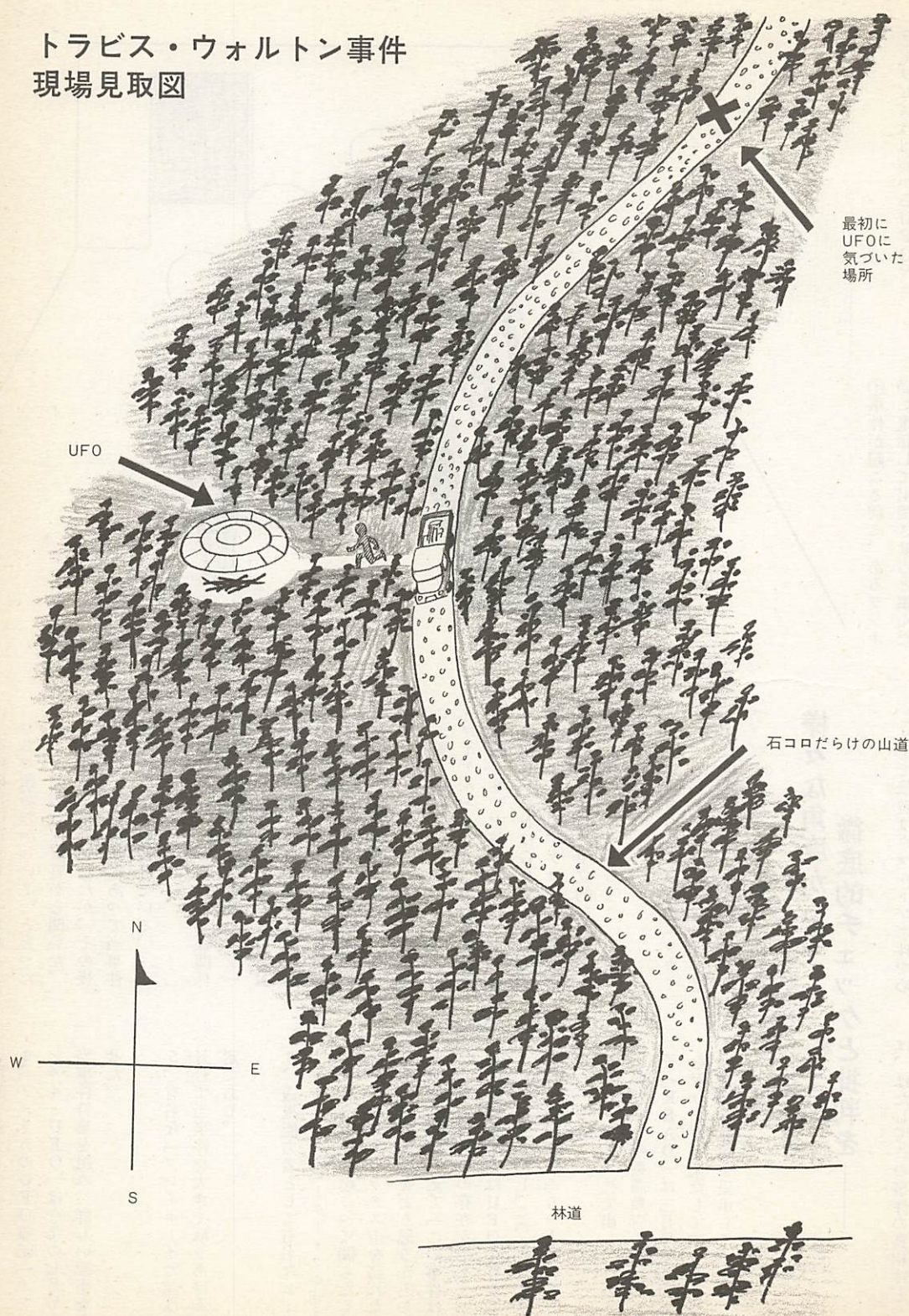
その他の雑誌、団体も

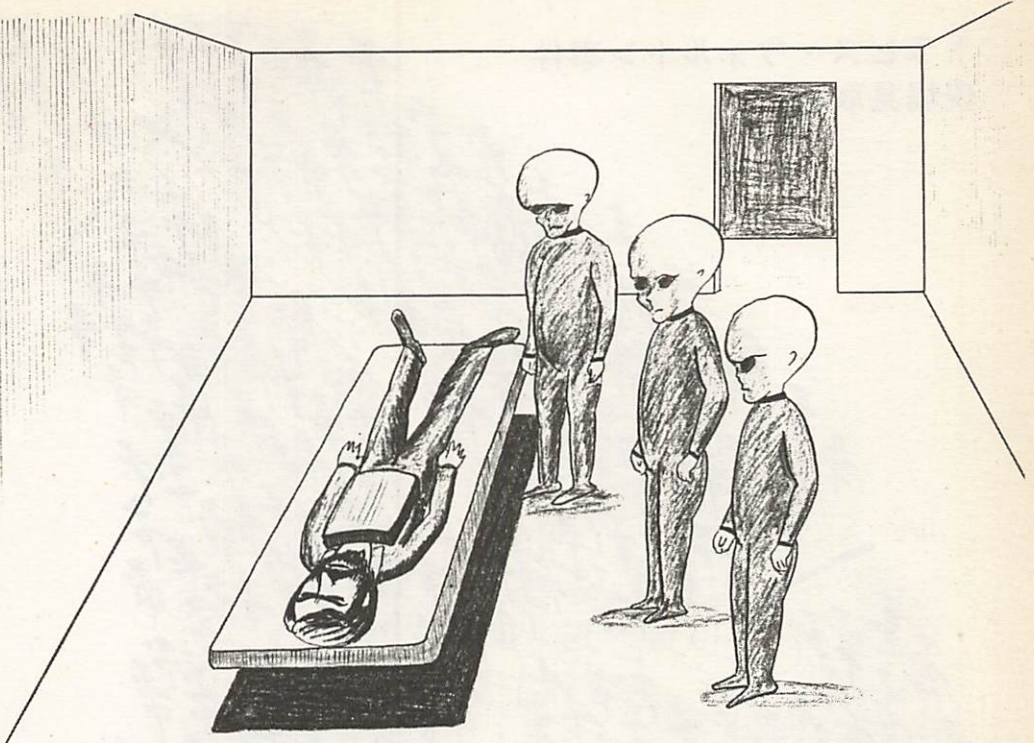
つぎつぎと見解を発表した

1、NICAPは今年の一月号の会

報で当事件に対し、調査員の報告と

トラビス・ウォルトン事件 現場見取図





して、

⑦トラビスは以前からUF〇マニアだった。

④事件が起こる前に、あるラジオ局に電話して出演させると頼んだところ頭がおかしいと言われたのだ

で事件後再び電話し、「さあ、ど
つちの頭がおかしい？」と言った
……と、ある保安官から聞いた。
と、疑惑的な報告をしたが、その後
APROからの攻撃にあつて当事件
に関しては沈黙を続けている。

2、MUFONはGSWと姉妹関係
にあるが、機関誌「スカイルック」
の十二月号でGSW、APRO、N
ICAPとその他の意見を載せ、中
立の立場をとった。そして、今年の
二月号では更に詳しく前記三団体の
調査結果を報じ、三月号ではトラビ
スがポリグラフ・テストをパスした
ことを、四月号ではトラビスの手記
とマイケル・ロジャーズの描いた画
(口絵P6)を載せている。このよ
うにMUFONはGSWと深い関係
にありながらも、ウォルトン事件に
関しては一貫して中立的な立場をと
っている。

3、イギリスのUF〇雑誌「フライ
ング・ソーサー・レビュー」は今年
二月に発行されたVOL. 21, No. 5
で、やはりウォルトン事件に関し賛

様々な角度からの

徹底的チェックと批判を――

これまで筆者はウォルトン事件をめ
ぐつての賛否両論を紹介してきた。で

否両論を紹介している。
4、アメリカのUF〇雑誌「オフィ
シャル・UF〇」は今年の七月号で
当事件特集を組み、詳しい記事を載
せた。

5、有名な「ブレイボニー」誌は九
月号で当事件を大きく取りあげる予
定である。

6、透視能力者として有名なビータ
ー・ハーコス(ビーター・フルコス)
は、この事件が起こつて間もなく、
たまたまフェニックス市を訪れたが
当事件の真実性をどう思うかとの記
者団の質問に答えて「この事件は嘘
だ。私はUF〇の存在を信じている
し、政府も本当はUF〇の存在を知
っている。しかし、この事件は嘘だ。
だれかの幻想だろう」と述べた。

7、ゼロックス社で出しているアメ
リカ人学生の英語教育のための小冊
子「READ」は三月号でこの事件
を取りあげ「果たして本当だろう
か？」と疑問を呈示している。

は、はたしてこの事件の真相はどうで
あったのだろうか？



筆者がトラビス・ウォルトンやマイケル・ロジャーズと直接何度も会って話を聞いた印象では、彼らは嘘を言っていないように思われる。もちろん、筆者は専門の心理学者ではなく、透視能力ももち合わせていないので、もしも入念に仕組まれた嘘を聞かされれば信じこんでしまう可能性は十分ある。しかし、彼らと何度も会って数時間を一緒にすごし、彼ら同士が何気なく話す冗談や、新聞、雑誌等で報道されている彼らの体験に関する間違った情報を見つけて憤慨しているようすを横から見てみると、どうしても彼らが嘘をデッチあげているようには思えないのだ。

筆者はGSWの科学的な能力、業績を高く評価している。前述したコンピュータによるUFO写真の真偽鑑定法の開発などは、UFO研究における画期的な進歩だ。

また、スボールディングやスチュアート博士とも何度も会って彼らの考え方も詳しく聞いた。彼らのUFO研究に対する態度は真剣でUFO研究を冷笑黙殺しがちな科学者たちをなんとか納得させ得る「純粹に科学的な」研究をしようとする努力を重ねている態度には尊敬の念を覚える。

しかし、ウォルトン事件に関してはこの、あまりに「科学的」態度に固執したがゆえに、人間関係の面で何か忘れたものをしたのではないかという気が

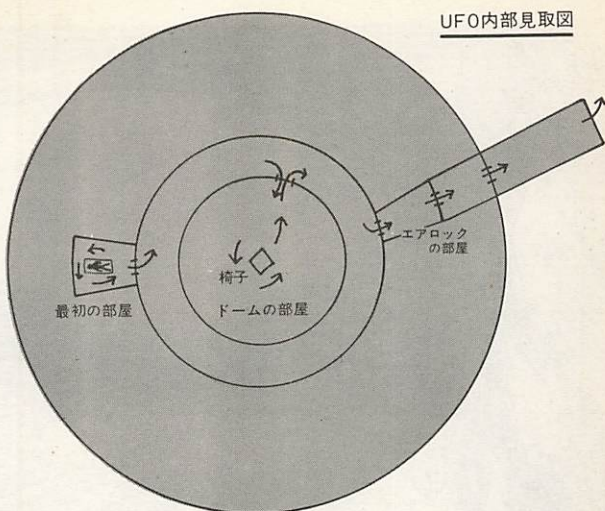
する。というのは、もし筆者がトラビスと同じような体験をしたと仮定してみると、わけのわからない怪光線をUFOから浴び、変な検査らしきものをされた可能性が濃厚で、釈放されてからもひどい頭痛と吐気を催し、体重は五日のうちに五キロも減っている――とすれば何よりもまず信頼のおける内科医に精密検査をしてもらい、身体に異常がないかチェックをしてもらいたいのが人情というものであろう。兄のデュエインも、もちろん弟の身体が心配だから、どこかよい医者はいないかと考える。そういえばトラビスを探しているときに会ったGSWのスボールディングは、何か援助できることがあったら連絡してくれと言っていた。そこで、スボールディングに電話してみた。ふらふらのトラビスをつれて行ってみると、スチュアート博士は内科医ではなく、ただちにトラビスを催眠術にかけて本当のことを言っているかどうか調べるという。しかも、スボールディングの話と違って、身体検査を受けるには金がかかるが知っている医者を紹介してやってもよいと言う。

これでは、血の気の多いデュエインがカッとして、トラビスをつれて帰ってしまったとしても不思議はない。

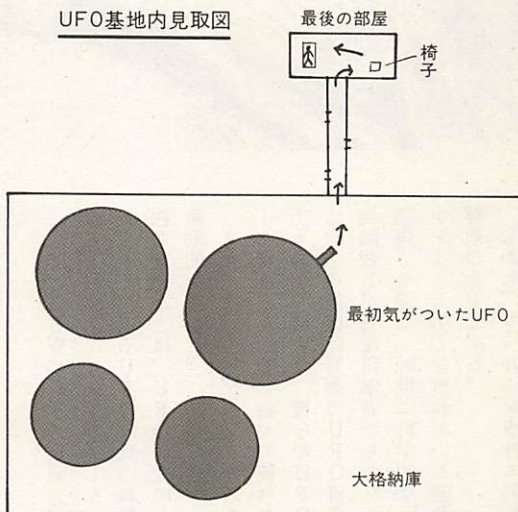
(注・ご存知の方も多いかと思うが、アメリカでは医療費が非常に高い)

その後、APPROから電話があつて

UFO内部見取図



UFO基地内見取図



医者代も、トラビスがしばらく隠れているあいだのホテル代も提供するからとの申し入れがあれば、APPROにまかせてみようという気になったのも当然だろう。

筆者は、ウォルトン事件騒動の原因はこのへんにあったのではなかろうかと考えている。

しかし反面、前述したように、トラビスやマイケルたちが入念に仕組んだデッチあげに筆者もまた一杯乗せられている可能性も全くないとは言いきれない。

ない。

GSWやフィリップ・クラススの主張するいくつかの不審な点に対しても、いまだ完全な解答がなされているわけではないからだ。

APPROがこれまでの調査の過程でウォルトン事件に疑問を感じたとしても、当初からこの事件は真実だと主張してきた行きがかり上やGSWとの対立上から、都合の悪い部分は隠して公表しないということもあり得るだろう。

筆者は、UFO事件に対する調査はけっして遊び半分や、団体の面子を云々するようなことであつてはならないと考える。重要な事件であればあるほど様々な観点からのチェックや批判を徹底的に試み、不審な点がすべて取り除かれ明らかにされてこそこの事件の科学的な価値が増すからだ。したがって、UFO事件の研究には、研究団体の感情的対立をなるべく避け、情報を交換し合い、オープン・マインドな態度で真相を究明する努力が絶対に必要である。

要である。

この点で、このウォルトン事件も先入観やグルーブ意識はなるべく避けて、よりいっそうの真相究明が行われることを切望する。

では、事件が真実起こったことだと仮定すると、トラビスはなぜUFOから怪光線を浴び、そして一体どこへ連れて行かれ、なぜ再び釈放されたのだろうか？

残念ながら、トラビスはUFO内部で会った「宇宙人」に話しかけてみたが、先方はただ微笑みだけで何も応えてくれなかったという。実際に何の会話もなかったのか、あるいは記憶が消去されているために思い出せないのかわからないが、もし「失われた記憶」があるとすれば専門家による逆行催眠テスト等の結果を待つより方法がない。

それではトラビスがなぜ、どこへつれて行かれたのか筆者の想像を述べてみよう。

これまでに起こったいろいろなUFOの目撃事件を調べてみると、UFOが静止状態から動きを始める際には、そのまわりに強烈なフォース・フィールドのようなものが発生するらしいことが報告されている。トラビスは大胆にも、空中に静止していたUFOの真下まで走って行ったというから、多分あまりにも近寄り過ぎたのだらう。U

FOの乗員としては、この向こう見ずな若者を殺さずにUFOを発進させるためには彼を気絶させて仲間につれて行かすか、または仲間が逃げ出すのを待つ必要があったのではないか。そして、トラビスに光線をあてて気絶させたところ、仲間たちは泡をくって一目散に逃げてしまったのでトラビスを介抱してやる必要を感じ、UFO内部に運び入れて基地へ帰ったのではないだろうか。

トラビスのつれて行かれたところにはP18の図のように大きな格納庫のような部屋があつてUFOが数台パークしており、そのうちの一つのUFO内部の小屋でトラビスは最初気がついたという。この格納庫の形はご覧のように屋根が半円を描いて一方の壁に達しているもので、まるで円筒を四分の一に仕切つたようだ。この形から想像すると、地球を回る軌道上に滞空しているといわれている例の葉巻型大母船の中にでもつれて行かれたのではないだろうか。

あるいは、もしかしたらアリゾナ州、ユタ州、ネバダ州、ニューメキシコ州、カリフォルニア州といった地域のどこかにあるのではないかといわれているUFOの大秘密基地内だったのかもしれない。

トラビスが最初気がついたUFO内部の空気はとても蒸し暑くて息苦しかったが、そのUFOの外に出ると格納

庫内の空気は冷たく、楽に呼吸できたというし、最初のUFO内にいた三人の小さな、胎児のような顔をした真白な皮膚の「宇宙人」と、後からトラビスをつれにきた体格のよい、浅黒い顔で、金魚鉢を逆さまにしたようなヘルメットをかぶつた「宇宙人」とは明らかに人種、ユニフォームが違つていたというから、その基地内には少なくとも二種類の異なる「宇宙人」達がいたと考えてよいだろう。

筆者の考えでは、気絶したトラビスを一生懸命介抱してやってやつと気がついたと思つたら、感謝するどころか飛び起きて手近にあつた棒を手にして暴れそうな気配を見せるし、一人にしておいなら勝手に部屋に入り込んでボタンやレバーを押したりムチャをするので、これはもう地上にもどしてしまつた方がよいと判断したのではないか。

そして意識を失わせ、現場近くのヒーバー村の明りが見える路上にトラビスをもどしたのではないだろうか。

以上はいくまでも筆者の想像にすぎないということをおこわりしていただく。

とにかく一日も早くこの事件の「謎」が解明されることを願つてやまない。

鷹書房“空とぶ円盤”シリーズ 宇野哲二著

B6判 ¥780

空とぶ円盤

古代文明と宇宙人

出版社の取材旅行に同行した著者が、イン格蘭ド、ブルターニュの巨石文化遺跡に見たものは何であつたか。異遊星人の痕跡は、イースター島にもギョレメにもバビロンにもモヘンジョ・ダロにもおつた。古代史を引き考古学に照らし。空とぶ円盤への旅。を語るこれは、UFOエッセーに新分野を開いた推理的紀行といわれる。他に「モンテビデオの円盤基地」「円盤の殺人」「洞窟にすむもの」等海外円盤リポートを収める。

円盤大陸

アフガニスタン農村調査隊に参加した著者が見たバミール高原の爆発と、遊牧民が描いた黒い円盤とは関係がないか。シルクロードにまつたんだと伝えられる「驚獅子」の出土にふれた著者がたどる、チベット地底伝説―南極極地化異変―アマゾナ洞窟都市のコンテクニティが語るものは何だろう? 円盤人の可能性を試みた立論として注目されるシリーズII。他に、十字軍にかかわる円盤リポート、大戦秘話に関する円盤リポート、地中海・中東における円盤リポートを収める。

地下のUFO海のUFO

タツシリの。顔のない岩絵。はサハラ地下海から来たもののモニュメントではないか。エトシヤ大湿地の砂クラゲと永惑星との関係! サハラ洞窟人とクラゲ形巨石との関係! 地底と宇宙との逆説的相関を示唆する事件の顛末を語るサハラ・ルポ。北スコットランドの孤島の旅に始まり、北海の葉巻形UFOとバイキングのUFOに関する歴史的エッセー。パーム・デ島の「少女の死」事件を手がかりに構成する。海のUFO。リポート。火星人に会ったあとのアリンガム氏はどうなったか。スイスのサナトリウムに現れた一英人との接触の糸をたどり、その遺書を手がかりに数奇なる運命をさぐる伝奇的エッセーを収む。

鷹書房

電話〇三(八)一五五三三
振替東京 二二五三三

私は円盤に乗った！

B 6判
272頁
¥ 750
〒 160

驚異のホワイトサンズ事件

ダニエル・フライ著／久保田八郎訳



一九五〇年七月四日夜、米ニューメキシコ州ホワイトサンズのロケット実験場に突如一機の円盤が着陸し、内部から響く不思議な声に誘われて乗り込んだ科学者フライは、ニューヨーク上空までを三十分間で往復する！ その間、円盤の推進法や宇宙人の故郷と超絶した科学、哀れな地球の現状等を知らされるというこの驚異の事実物語は、本誌第二号に掲載されて当時の読者を熱狂せしめたが、いま新装なった単行本として同著者によるすばらしい関連記事三篇をあわせ収録しあらためて読者に贈る！ UFO研究者必読の書。

付・宇宙人アランのメッセージ／進歩の曲がり道／原子・銀河系・理解

パプア島の円盤騒動

B 6判
268頁
¥ 750
〒 160

宇宙人の劇的出現事件

ノーマン・クラットウェル神父著／増野二郎訳



ニューギニア島パプアで一九五九年に一大UFO出現ブームが発生した。島内の各所に円盤が低空で降下し、堂々と姿を現したが、特にボイアナイにおける出現は劇的であった。地上数十メートルの位置に停止した円盤の上部から、数名の「人間」が、歓声をあげて手を振る島民たちに手を振ってこたえる。この驚異の事実を現地在住のクラットウェル神父が徹底的に調査報告し、大事件の全貌を克明に伝えたすばらしいドキュメント！更にフランスで発生した「火の玉UFO事件」と「多条光線を放つ円盤」他四篇を掲載した！

付・フランスの怪奇・火の玉UFO事件／多条光線を放つ円盤

ユニバースUFOシリーズ

ユニバースUFOシリーズ

書店にない場合はユニバース出版社へ直接ご注文ください。

東北地方

UFO事件特別取材

最近、東北地方一帯にUFOの出現が激増している。そこで、40余りの目撃事件の中から、特に興味を引いた幾つかの事件を徹底的に現地調査、ここに紹介する。

1

フタ付きドンブリ型円盤

蔵王山麓に出現

蔵王山の東、遠刈田温泉に太陽の五倍もある大きな「フタ付きドンブリ型」の円盤が出現、真近に見た小林キクさん（当時七十一歳）は自宅の廊下から約二十五秒間じつくりとこの素晴らしい物体を観察。それから一カ月間だれにも話さずに「幸せ」を胸に秘めていた。ひとたび円盤について語ったおばあさんは、同時目撃者探しに積極的であった。夏の夜八時頃、温泉街にほぼ平行に低空低速で飛び、明るくオレンジ色に輝く不思議な物体は何をしていたのだろうか。目撃者は何人いるのだろうか。目撃後のおばあさんは円盤に魅せられ、恋焦がれている。「どんな画家でもあの美しい円盤の色は出せませんよ。あんな素晴らしい円盤を見られて幸せですね。今度また来たら気違いと思われたっていいから大声を出してきつと乗せてもらいたいですね」と言う。目撃後、おばあさんは不思議な「夢」を見る。それは円盤と関係あるのだろうか。

蔵王山の麓、宮城県・遠刈田温泉の街から徒歩で十分くらいのところにおばあさんの住んでいる別荘地蔵王苑がある。

小林家はここに四十九年の六月に引越してきた。二十年以上住んだ仙台は長男家族に残し、隠居を楽しむといった格好だ。もともと仙台まで車で二時間、行来は頻繁にあるようだ。

キクおばあさんが円盤を見た日（四十九年八月六日火曜）おじいさんは仙台に用事で出かけていた。蔵王苑には当時、まだ週末利用者はいたが、住みついてしたのは小林家と管理人だけだったのである。その日は仙台七夕にだけは珍しい星空の美しい日で、風がな

く三十度を越える暑さだった。以下はキクおばあさんとの対話。

フタ付き

ドンブリ型円盤目撃

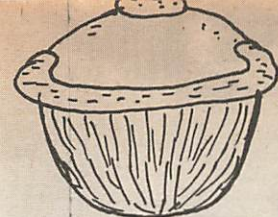
「上の方を初めひょっと見たときは、葉巻型円盤かと思いましたが、やっぱり葉巻型ではないですね。その型（図1を示しながら）ですよ」

「やはりおかま型というか、この絵のように……」

「ええ、下が丸くね」

「目撃はどのように」

「ガラスの中から二十秒ぐらいね、円盤が過ぎてしまっってから窓を開けて見たんですが、それは5秒位ね」



小林家

●写真1 おばあさんが円盤を目撃したのはここ



●写真2 万物に感謝する生活をしているという小林キクさん

——同時目撃者は今のところ確認されていないということです。

「そうね私だけです。この広い蔵王苑で見たというのも。でも円盤を見たという人はこの近くにいますよ」

——方向は。

「東からズーッと西の方へ飛んでいったんですよ。私ね、いつも見てるけど太陽の出る方向は夏と冬では随分違うんですよ」

——角度は

「四十五度って書いてないですか」
(と記者の手にしている資料をのぞきこむ)

——三十二度って書いてます。

「これね。うちの主人が軍隊で飛行機に乗っていたでしょう。だから、それで見えたのよ」

——だいぶ近いというより、むしろ低いということですね。円盤までの距離はどのくらいですか。

「まあこっちへ来てみて下さいよ。(と窓ぎわに立つ)あの山(指差す)のちょ

っと手前で、少し高かったでしょうね。円盤までは二百メートルはあるでしょうね。ここに飛行機が飛んでいるとき

なんか「だいたいどのくらい」って主人に距離なんか聞くんですよ。近いなあーと思って四百か五百でしょ。主人

がいたらあれが何百ってすぐ分かったでしょうね」

——大きさは。

「飛行機は細長いですよ。でもこれはとにかくマールインですよ。下が丸いんですよ。マールインですよ。オレンジで、燃えるようなオレンジで

しょう。そうとう大きかったですね。とにかくこの室(笑う)をスッポリもち上げたぐらいの。十メートルはあるでしょうね」

——大きいですね。
「だから私こんなに近くで見た人は私だけだと思って」(楽しそうに笑う)

——速さは。
「ヘリコプターより遅いような感じしたですけれどね。音がなくて」

フタは薄い灰色

——見かけの大きさは。

「太陽の数倍だね。向こうの山に沈む太陽なんてそんなに大きくないですよ。向こう(違う方向を差して)に沈むときなんか眩しくてみられないくらいですけれどね。とにかく(円盤が)大きかったことは事実ですね。下からこの(下の丸い部分を差しながら)大きさは五

倍でしょうね。とにかくまあ大きくってきれいだったですよ。あのとき、写真が撮れないのがね。……まさかった」(残念そう)

——色は。

「下がオレンジね、きれいなオレンジね。赤みがかったオレンジね。上はね、フタみたいなんです。フタがかぶさ

ったみたいで、……丸くないんですよ。色は、上の色はしっかり見ましょ

うと思って見たんですけど、オレンジみたいに濃くはないんですよ。灰色というかクリームというんでしょうかね……」

——まんなかに帯のようなものがありますね。
「もう少し下より(下の丸い部分)も

大きかったですよね。少し大きくおなべのふたみたいに。灰色だったですよ。上とは少し濃淡があったですよ。少し濃かったですね。そして下のオレンジなんですけれどね、オレンジが燃え



るようにきれいなんですけどね、その中に何か見えないかしらと思って一生懸命見ましたけどね、人の姿とか、中の構造とかそういうものは見えなかったんですよ」

飛行形態は。

「同じ形で、同じ速度で、尾はなく、飛んでいきました。同じ高さでね。」

光はそうとう遠くまで見えましたが。

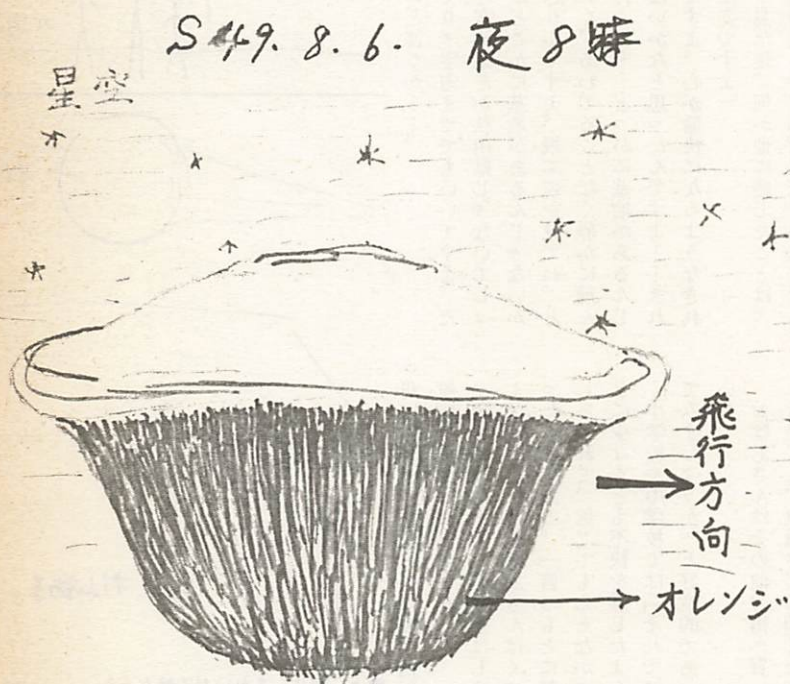
「ええ、そうとう向こうまで見えまし

たよ」

「それではこの辺一帯は明るくなっていたか、あの山なんか。」

「いやそんなに明るくなっていまじませんでしたよ。物体そのものが明るく、赤く、……でもこのガラスにうつったというの専門家が調べたら割りだせませんよ。高さがどのくらい、大きさがどのくらいというのね。その下の曇りガラス一面バツと明るくなって」

おばあさんとのインタビュは延々



●図1 キクおばあさんが目撃した円盤は1953年ブラジルで目撃されたものに似ている

と続き、もうインタビュというよりも茶飲み話というか親子の会話といった気分になってきていた。少しも堅さを感じずに、リラックスして、終始おばあさんの幸福そうな笑顔と、笑声に包まれていた。円盤を語るときのおばあさんは全く生々している。ある迫力を感じるくらいだ。すでに「おばんです」という仙台地方のNHKの番組にも三十分ほど出演したことがあり、円盤村という研究グループでも講演するなど、おばあさんの円盤活動はさかんであり、積極的だ。そのせいか、目撃以前は「テレビで見た程度の知識だった」そうだが、今は慣れた答えが返ってくる。

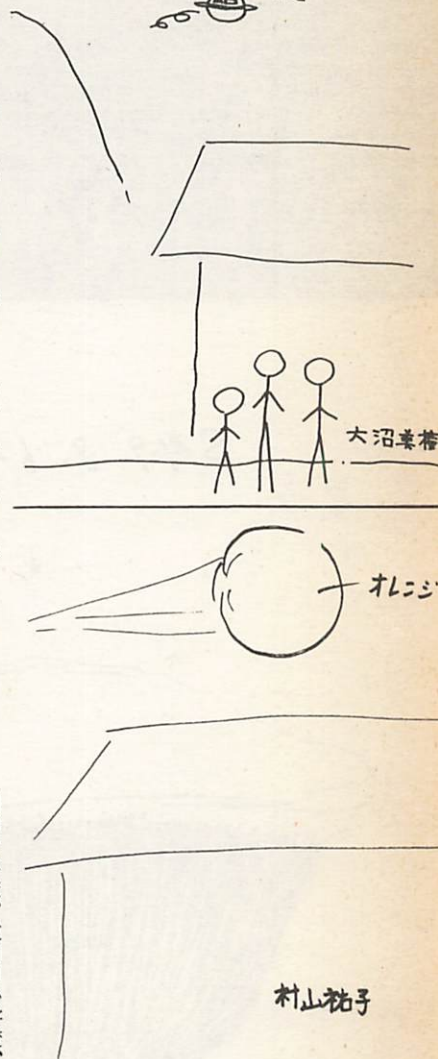
寝間着姿を 見られたんじゃ

「どういうことでご覧になったのですか。」

「スター千一夜を見終わって電気を消し、ベッドに入ろうと思って廊下に出たら、ガラスがバツと明るくなったんで、上を見上げたらそこに居たんですよ円盤が。それが一枚だけまるく明るくなるというのも不思議なんですよね。それに下を見ないですぐに上(空)を見たというのね」

「そうですすね不思議ですね。」

「星空でそとは少しは明るかったんですよ。そこを飛んでいるのを見た瞬間、うちにほんとに着陸するんじゃない



●上 図2 きれいな円盤だった
●下 図3 火の玉のような、大きくて近くに見えた円盤

いかしらんと思ったわ。だからまあ、(宇宙人に)この寝間着姿を見られたんじやと思って、とにかくそのときそう思って……」

——その他に何か感じた事は。

「いやーあまりきれいで、これこそ空飛ぶ円盤だ。ターー(とおばあさんは両手を胸に当てた)。こんなにきれいなものを見て幸せだあーと胸に感じましたよ。だって見られないでしょあんなの」

——また見たいですか。

「また見たいですよ。これで二度見たから、もう一回見たいですね。写真機がなくてアレだけど、もしまた、この(家の)前を飛んでいったらば、そのときは私、寝間着姿でもいいから大きな声で、着陸してえーとたのみますよ。そんなこと、着陸してくれないでしょうけど、それは念じたいと思います。もう一回あのきれいなを見たいですよ。間近に」

——やはり円盤に連れて行ってもらい

たいと言うか……。

「そりや宇宙までもいいですよ。だけど宮城県とか秋田県じゃないでしょうがどこかに基地があるんじゃないかと思うんですよ。飛ぶ姿を見てね。とにかく、あわてることなく静かに飛んで行って……どこかに基地があるんじゃないかなと思ったんですよ……きれいですよ。心が愉快になるようなきれいな姿ですよ」

——見た後、何か他に感じたことは。

「気持ちよくってね。私だけあんなきれいなもの見たんだという感じがしましたね。それで一カ月間だれにも、主人にも言わないんですからね。だから私こうしていましたよ。(と両手を胸に当てる)胸をだきしめる感じで」

同時目撃者探し

おばあさんは同時目撃者探しを、おじいさんに話すと同時に始めた。九月の中旬、電話がひけたこともあって遠

刈田中学校、遠刈田小学校、角谷宇宙航空研究所に電話をした。

「角谷では、そんなもの飛ばしませんよ。だって」とおばあさんはくやしがつたものである。一言のもとに軽くあしらわれて、信じてもらえなかったことに少なくとも不快を感じたようだ。小学校や中学校では「それでは聞いてみましょうか」と好意的であったという。

おばあさんはその他、街へ買いものに行っても、魚屋さんに聞くなどしている。そのとき、当時、小学校六年生の男の子が目撃しているという話を聞いた。

今年の一月の終わりに、テレビに出ることもあってその資料をつくらうと、ご主人善晴さんが中学校に出向いて、取材をしている。校長先生も話を聞いてくれたそうで、五、六人の目撃者(中学生)が、自分の見た円盤の説明をした。それをもとにご主人は資料をつくっている。それを貸して頂いて、

独自に円盤目撃者の調査を試みた。

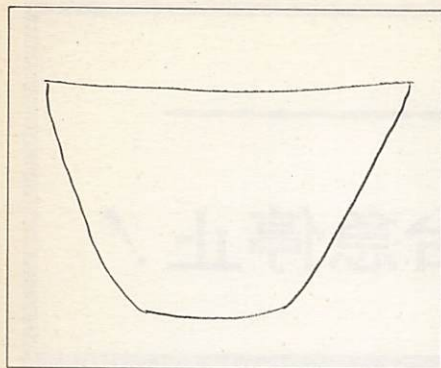
村上祐子さん(中二) 大沼美樹さん(中二)と弟さんの三人で目撃した円盤(図2)はかなり接近しており、姿もはっきりと目撃されたようだ。六年前の出来事であった。しかし祐子さんはかなり数多く円盤を目撃していた。その中で一昨年の夏にお母さんとお風呂の帰りに目撃したのが図3である。だいたい夜の八時で同じように星空であるが、残念ながら日付ははっきりしない。おばあさんの目撃した円盤と同様のコースではあるが飛行形態がやや違うようである。

サクおばあさんは二十数年前にこの遠刈田温泉に引越して来た。十七、八年前の夏まだ明るいうちに茶碗形のよな(図4)円盤を目撃している。この円盤は高い所を飛んでいたが、かすかに音が聞こえたという。色はオレンジであった。キクおばあさんは、フタ付きドンブリ型円盤も下から見上げればサクおばあさんの円盤のように見えるだろうと言う。

遠刈田温泉では

円盤目撃が頻発か

すっかりした同時目撃者を探しだそうと街でいろいろ尋ねてみた。スナックのご主人「円盤ですか? 聞いたことないですね。写真屋のご主人「そんなの知らないね。バス停の売店で「知らないですね」。タクシーの運転手「知



●図4 紺野サクさんが目撃した円盤



●図5 佐藤孝雄君が目撃した円盤



●下図6 遠刈田付近とフタ付きドンブリ型円盤の飛行コース (地図: 国土地理院)

らないですね。取材に来てるんですか？ 小さな街だから何かあればすぐ街じゅう知れわたりますがね」

そうこうしているうちに、バス停の待合室で佐藤孝雄君に出会った。しかし、佐藤君の目撃した円盤(図5)も確かにおばあさんの山の方向ではあるが、去年の春のことであると言うのだ。円盤の形態もだいぶ異なっている。

そこで、最後に伊藤正樹君(中一)にその目撃の様子を聞いた。伊藤君はお母さんとおばあさん、三人で目撃している。「星より大きな上下に楕円のオレンジ色の物体が三つ、滑らかにゆっくり、南から北へ飛んでいった」と言う。しかし、これも今年のまだ雪の残る二月頃のことだ。

こうして同時目撃者の存在の可能性は薄くなってきた。しかし、この遠刈田温泉の近辺はかなり頻繁に円盤が目撃されていることは事実だ。特におばあさんが見た山の方向には街から見晴らしが良いせいもあるが、かなり多く目撃されているようだ。中学生が放課後集団で学校の窓から目撃するという例もあったようだ。

今日もおばあさんは空を見つめて

おばあさんの見た円盤はほぼ街並と平行に飛んでいる。それもゆっくりと、そして晴れた夜空に太陽の五倍の大きさで、明るいオレンジ色で。村山祐子さんが見た円盤の高さは、おばあさんが見た円盤の高さとはほとんど同じである。というのは祐子さんの家はガケの上にあるからだ。しかし、同じものとすれば、おばあさんの家から一キロメートルぐらいのところまで飛行形態を変化させたことになるのだ。

いずれにせよ、今日もおばあさんは円盤を見ようと空を見上げている。信念を持つているのだ。そして、今年の三月十二日の夕方、満月ぐらいのオレンジ色に輝く物体が二つ東側の空に南から北へ飛んだのを数秒間目撃している。

おばあさんはすぐ仙台の円盤研究グループ、円盤村へ電話をした。また、近所の円盤に興味を持っている民宿のご主人にも電話をしている。その広沢富一さんは「大変興奮して電話をかけてきましたよ。今、円盤を見たってね」と語る。この円盤目撃のとき、おばあさんは妙な予感を経験している。その予感に忠実だったために目撃することができたのだ。

別れ際に「今までだれにも話さなかったけど」と前置きして、おばあさんは、不思議な「夢」について話した。

それは、まだ完全に覚醒しているとき、体を横たえ眼をつむると、今まで見たことも会ったこともない五、六十歳の男性の顔が六人、一人づつ額に入ったように動かずにつきつき出てくるという。そして、その「夢」を何度も繰り返し見るというのだ。さらに、白いような黄色いような美しい道と竹林の風景もやはりおばあさんのまぶたに繰り返し現れるそうだ。

これが円盤に直接あるのか、全く関係ないのかさだかではない。おばあさんは関係ないとしたら笑うだけだ。

確かな同時目撃者は見つけれなかったが、おばあさんの円盤そのものについてのイメージは具体的ではっきりしたものでもあった。目撃後二年を経ているにもかかわらず、フタ付きドンブリ型円盤は今もおばあさんの心を豊かにし、楽しくしているようだ。

2

UFO大接近

自動車4台急停止!

「いきなり、その光っている物体が正面から急降下して突っこんで来るもので恐しくて急ブレーキをかけたんです……」。国道四号線を走行中の車の運転手は突如視界にとびこんできた光体に度胆をぬかれて路上に立往生した。仕事を終えて帰宅途中に思いもよらぬ出来事にぶつかった彼は「あの物体は我々よりもずっと進んだ連中が動かしているとしたか思えない」と、いまだに当時を思い出して首をかしげている。

突然現れたUFOの大接近のために

走行していた四台の自動車が急停止させられるという事件が宮城県仙台市の郊外、国道四号線で発生した。

東北放送局（仙台市）に勤める佐藤明彦さん（28歳）は一昨年十月、仕事を終えて自宅のある大河原市に向かう途中、仙台空港近くの国道四号線で、UFOに遭遇、思いがけない超低空飛行の大接近に会って、佐藤さんを含め四台の自動車が急停止させられたのだ。

あいにくその日は雨が降っており、帰宅時間の午後九時半とあって、視界の悪い日であったが、物体はオレンジ色に光っていたことから、たしかにUFOに間違いないという。また、目撃したのは佐藤さん、ただ一人ではなく、少なくとも前後三台の車が急停止したほどだから見間違いというようなこと

はないだろう。

それにしても車を止めるほどにUFOが接近して来るとは――。

ビックリして急ブレーキノ

――佐藤さん、その事件が起きたのはいつですか。

「よく覚えてはいるんですが、一昨年の十月四日で、たしか木曜日だったと思います」

――場所はどこですか。

「国道四号線の本郷という所で、左にゆっくりとカーブしてしまっただけ。歩道橋がかかっている辺りですが、その当時はありませんでした」

――スピードはかなり出していたんですか。

「その日はパトロールカーが巡回してまして、ぼくの前に三台走っていた

●事件が起こった国道4号線



んですが、六十キロくらいでゆっくりと連なつて走っていましたね。たしか先頭を走っていたのはサニークーペの旧型で、その次にスプリンター、セリカ、そしてぼくらのフォルスワーゲンという順でした」

――どのような止まり方をしたんですか。

「いきなり、その光っている物が正面から急降下して突っ込んで来るもので恐ろしくて急ブレーキをかけたんです。前を走っていた三台も同じように止まったわけですよ」

――そのときにはどんな感じがしましたか。

「ただもう、これからどうなるんだろ



うとしか思わなかったなあ」

——そのUFOとはどのようなものですか。

「最初はフロントガラスを透してボンと飛び込むように光りが見えたんです。ウズラの卵“くらい”の大きさで、もちろん平べったく見えましたが、ボーッとしていました。その次に、一度前方に遠のいたように見えましたが、右に大きく移動したんです。この辺りから“どうも変だなあ”と思い始めたんですが……それからです。まるっきりこっちの方に近づいて来たのは、この位の大きさに見えたんですから（両手を上げて見せる）」

——かなり低く降りて来たんですね。

「ええ、頭をかすめるようにしてすれ違ったんです。そのときの印象として前の車の屋根が、その光を反射したのを覚えてるんだなあ。……ぼくの車も照らされたように思いますね」

——その物体は強烈に光っていた？

「かなり光っていました。物体全体が光っているという感じですね」

——色は？

「そうですね。ちょうど高熱で溶解した鉄のようで、床にた落ちたときのような、あんな感じがしたなあ」

——実物の大きさはおよそどの位でしょうか。

「ぼくの記憶でいいですか。……そうですね。先頭のサニーの車に近づいたのを見てビックリしてブレーキを踏ん

だんですが、その時点ではサニーよりもずっと大きく見えましたね。ぼくの近くに来たときには完全に包み込まれるような、そんな感じがしましたから……。そうだなあ、比較になる物といえ、……少なくともジェットヘリコプターより大きかったなあ、というのは、間近でヘリをよく見ていたんですよ。取材したフィルムなどを東北放送局の上空に来て落として行くんです」

UFOはエンジンを止めなかった

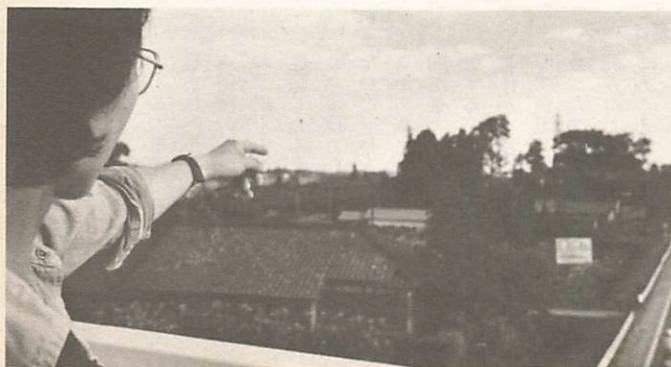
——物体は地上何メートルまで降りて来たんでしょう。

「ぼくの視界から消える直前までは、そうだなあ、二十メートルもないと思いますよ。たとえ三十メートルとしても、ものすごく近くに降りて来たんでこわかったんですから。ですから先頭のサニーに乗っていた人は、もつとこわかったんじゃないかなあ」

——車が止まったそうですが、それはUFOによってエンジンが停止したということでしょうか。

「実は私も本などを読んでいたりしてそういう事を知っていたんですが、エンジンも止まりませんでしたし、ライトも消えませんでした。ですから恐ろしさのあ

●事件の模様を語る佐藤さん



まりブレーキを踏んだ状態ですね。先頭のサニーが止まったので、ぼくたちも止まったのかな。そういえばサニーはエンジンをかけ直していたなあ。でもあれは急ブレーキをかけたんで、エンジン止めたんだ。他の三台はエンジンが動いていたんだから」

——他の車の人と話したか。

「ぼくの前を走っていたセリカの人とは話したんですが、サニーの人はすぐに行っちゃったんですよ。ぼくはその人と話したかったんだが……。スプリンターの人は、ぼくたちが話してい



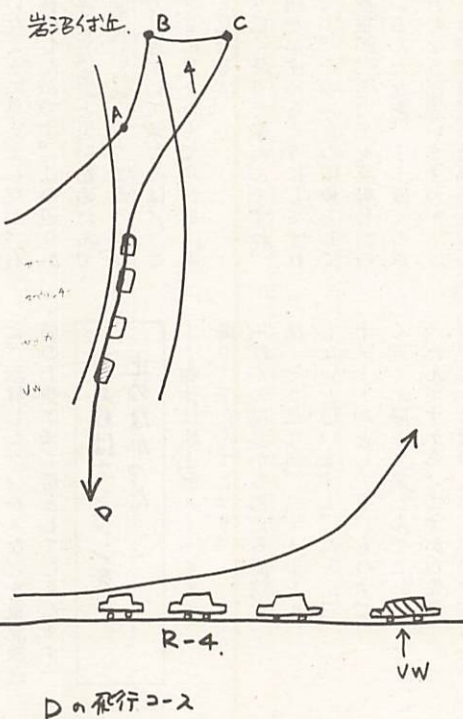
●UFOの飛行コースをスケッチする
佐藤さん

る間に行っちゃったんです」——それで、どんな話をしたんですか。

「ぼくが車から降りると間もなくセリカの人も降りて来ましてね、『あんた見たか』とぼくが尋ねたんですよ。そうしましたら『うん』とにかく見たんだけど、あれは何だべ……』というもんで『あれが空飛ぶ円盤じゃないの？』と答えたんです。『だけど、それにしてもひどいことをするなあ』というわけです。……とにかくこの後、周囲を見たんですが、それらしい影も形もなかったもので、何かキツネにつままれたような感じでした。あめときは動転していたから、残念なことに話をしたのはセリカの人だけで、それに名前も連絡先も聞かなかったんだから。福島ナンバーで学生風の若い男性だったことは覚えてるんだけど、とにかく家に帰っても興奮していて眠れない状態だったからなあ」

——それにしてもよく騒ぎにならなかったですね。

1974 10/4 (木).
PM. 9:30 小雨.



へりよりもいくぶん大きい..
いちばん近づいた時の距離
20m~30m.
大きさも、15m~20m (左)

「だから、そのときの目撃者のだれかが騒ぎ始めるだろうと思っていたんです。そうすれば、ぼくもそのときにいた者ですと名のりを上げるつもりでいたんですが、そういう機会もないままに今日までできてしまったんです。

この間、実は仙台の円盤村の人々が

テレビに出演しましてね。スタッフとして円盤を目撃したことはないかと聞かれまして、話したんですよ」

——物体を目撃していたのは何分くらいですか。

「目撃していたのは短いんです。そうですね。五、六秒じゃないのかなあ。

●スケッチされたUFOの飛行コース

「地球の上ですか。」

「地球上じゃないでしょう。まあ弟は地球上に穴があいていて、そこから出て来るんだ……などと言っていましたね」

「断定しがたいと思います。ただ、ぼくは見ちゃったんで、現にあると思います。しかもあの物体は我々よりもずっと進んだ連中が動かしているのじゃないかと思

「佐藤さんはこの物体が他の惑星から来た物と考えますか。」

「断定的に考えたかどうか……などとは話したこともありません」

「結構いろいろな人に話しましたね。ぼくもこういう事件を実際に経験したんだから、君もそんなバカな事はない、とは言えないじゃないの。たとえはね、この物体がどこから来てとか、中にどうい

「人間が乗っていて、どういう考え方をするとかは別にして、こういう物体が実在し、厳然として飛び、そして自動車が進み、こわい目に会ったのは本当なんだから、身の周りのこそそした地球上のことにあぐさくしないで、物事を少しマクロ的に考えたかどうか……」

「佐藤さんはこの物体が他の惑星から来た物と考えますか。」

「断定的に考えたかどうか……などとは話したこともありません」

「結構いろいろな人に話しましたね。ぼくもこういう事件を実際に経験したんだから、君もそんなバカな事はない、とは言えないじゃないの。たとえはね、この物体がどこから来てとか、中にどうい

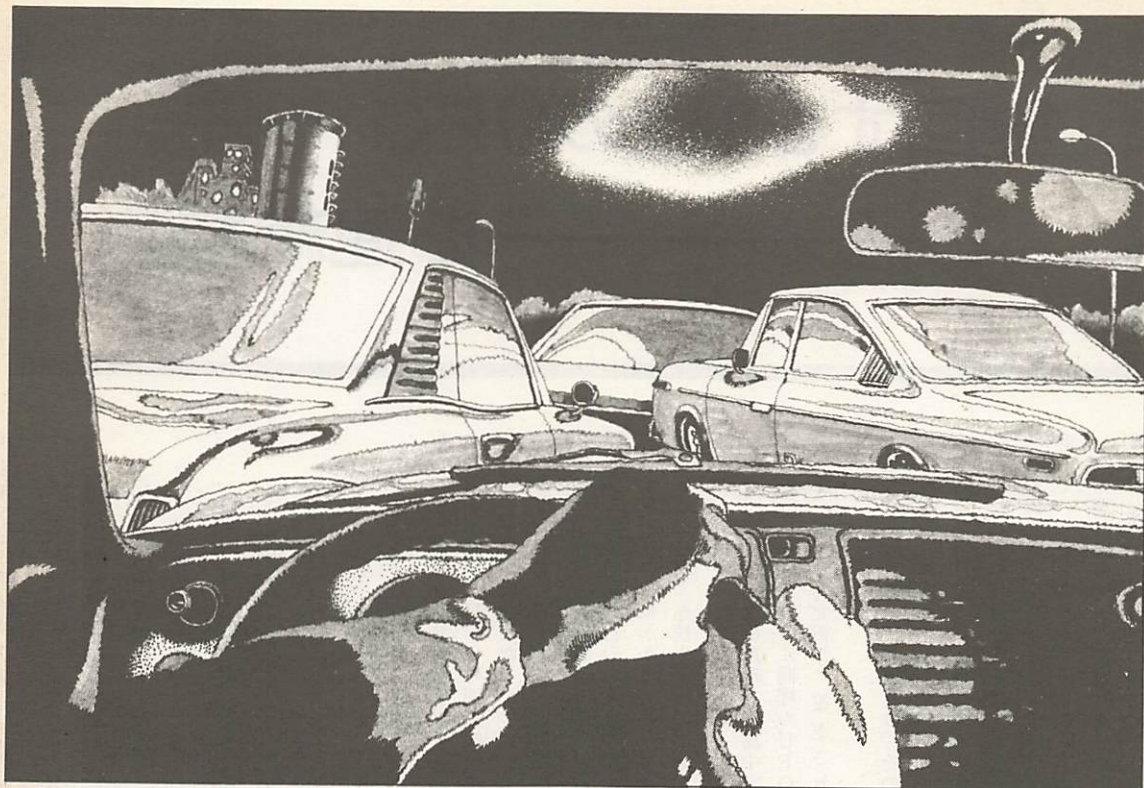
「人間が乗っていて、どういう考え方をするとかは別にして、こういう物体が実在し、厳然として飛び、そして自動車が進み、こわい目に会ったのは本当なんだから、身の周りのこそそした地球上のことにあぐさくしないで、物事を少しマクロ的に考えたかどうか……」

「佐藤さんはこの物体が他の惑星から来た物と考えますか。」

「断定的に考えたかどうか……などとは話したこともありません」

「結構いろいろな人に話しましたね。ぼくもこういう事件を実際に経験したんだから、君もそんなバカな事はない、とは言えないじゃないの。たとえはね、この物体がどこから来てとか、中にどうい

「人間が乗っていて、どういう考え方をするとかは別にして、こういう物体が実在し、厳然として飛び、そして自動車が進み、こわい目に会ったのは本当なんだから、身の周りのこそそした地球上のことにあぐさくしないで、物事を少しマクロ的に考えたかどうか……」



が、……それはちょっと飛び抜けているんで。狭い地球の中にもわからない部分はたくさんありますがね。むしろ外の方が広いんだから。百年前のSF小説が今では現実化しているような状態でしょ。ですから時間、空間を一ひねりして短時間で旅行したりすることは文明の進んだ世界（惑星）ならば、いとも簡単にやっつてのけるんじゃないかと思ったりするんですよ」

——大変珍しい体験をされたわけですが、この事件を振り返ってみてどうでしょう？

「こわかったですね。音はしなかったんですが、ボンボン飛びはねている物をぶっつけられたような感じでしたね。ぼくの前を走っていた三台の車の人に会って話を聞いてみたいんだなあ。特に先頭を走っていたサニーの人、こわかったんじゃないかなあ」

この機会に他の人も名をりを上げてくれると、この事件の模様が一層はつきりするんだけど。……どちらかというと、ぼくなんか第三者的立場でしょ。そうすれば、他の人の証言も聞けるしね。この事件、かなりおもしろいことになると思うんだなあ。この他にもUFOを何度か見たことがあるんですが、こんな体

●UFOの大きさを示す



験、一生に一度あるかないかでしょう。是非、他の人にも会って、いろいろ話し合ってみたいですね。とにかく、あんなこわい目に会っていないなら、何んの被害もなかったことがせめてもの……といったところですね」

佐藤明彦さんの他、この事件を体験された方に心当りのある方はご一報ください。

編集部

3

旋回する3機のUFO—— を連続撮影

「UFOがバートツて光ったとき、その辺りが大部明かるくなかったんじやないか? 松山の方で見た人いらないかなあ。あんなに光ったら見えそうなものだけどなあ」。昨年、宮城県に現れた「旋回するUFO」を撮影した二人の中学生は、その当時の模様を興奮した口調で語る。寒い夜空の下で写真に納めたのだ。「UFOを見たら、また撮ってみたい」と再度の機会をねらっている様子には、圧倒されるばかり。

大空に乱舞するUFOの連続撮影に二人の中学生が成功した。

仙台市から北へ四十キロ、遠田郡田尻町、田尻中学三年柳原正則君と小牛田中学二年峰浦順一君の二人は昨年十一月十日、江合川にかかる小牛田橋からUFOを目撃、連続十一枚の写真を撮った。

一方、同じ遠田郡松島町、松島中学三年生の二人も下校中に同様のUFOを目撃、翌日の河北新報に報道された。

二人の話によると、柳原君は、その日の放課後クラスメートと野球をして家に帰る途中、東の空に点滅する光体を見た。UFOでは? と考えた彼は写真を撮ることを思いつき、自転車に乗っていそいで帰った。カメラに望遠レンズを付け直すと、家事で来ていた峰浦君を誘って江合川の堤防に駆け登

った。二人はカメラを三脚に取り付け、夜空に輝く二機のUFOに向かって十二回シャッターを切った。

撮った写真に

UFOは三機写っていた

柳原君は、最初にどの辺りでUFOを見たの?

「この小牛田橋から二キロ位北に行った所。学校からの帰り道で、自転車で乗っていたんだけど、東の空を見たらUFOみたいのが光ったり消えたりしていた。それで写真に撮ってやろうと思った、いそいで帰ったんだ」

「それから峰浦君を誘ってこの堤防まで来たの?」

「そう、ここならUFOがよく見えるだろうと思って、二人で走って来たんだよね」

「それは何時頃だった。」

●柳原正則君(左)と峰浦順一君



「そうだなあ。四時五十五分頃だったかなあ。少しずつ暗くなっていたけど。ちょうど川の向こう側にあるボブラの木の左側にUFOが見えた。この方向は松山だなあ」

「最初に見たときは、UFOは何機あった。」

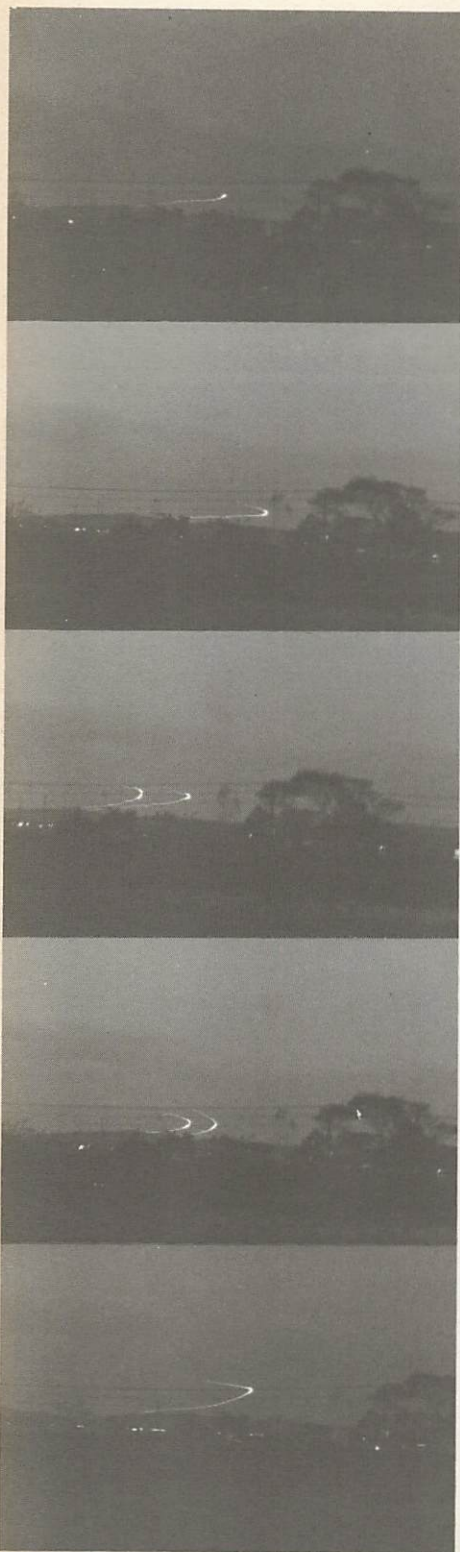
「ぼくが最初に見たときは一機。この堤防に来たときも初めは一機だったなあ。少し見ていたら二機になったんだけど。写真に撮ってみたら三機写ったりしたな! どういうわけかなあ。あれちょっとおかしいなあ?」

「峰浦君はどうだった。」

「ぼくも二機しか見えなかった」

「あの時は、カメラを覗いても二機しか見えなかった」





●撮影した連続写真。アサヒペンタックスSPF マミヤセコール200mm F3.5開放約10秒三脚使用



●撮影に使用したカメラ

「二機になったときには、UFOが二つに分裂したの？」
「分裂するっても？　そういうところは見てないけど、UFOがぐるぐる回っていたから、向こうの山の後に隠れるときやこっちに来るときには肉眼では見えなかった」
「どのようにぐるぐると回っていた」「こういうように、時計の針とは反対

方向に回っていた。だからさ、ボプラの木の所で光って向こうの山の後を回ってから、またこっちの方に来るんだな！」

「それにしてもずい分と長い距離を一回りするんだね。一周するのに何分位かかる。」

「何分じゃないよ。少なくとも二十秒位かな！　結構、早いもんなあ！」

「うん、そんなもんなあ！」

「三十秒はかからないよ。山の後回ってこっちに来るときは、かなり早いもん！」

「一周するのに二十秒くらいだと、時速にするともすごく早いね。」

「そうだなあ。それでも、あのボプラの木の辺りに来るときには、ものすごくバーッと光るんだけど、一瞬止まるんだよね！」

「かなりすごく光るの？」

「光るよ。親指と人差し指で輪をつくったくらい大きかったなあ？」

「オレンジ色にこのくらいに大きく光るよ。ぼくが写真に写った色と似ているけど、今までにあんな色、見たことないなあ！」

「二機のUFOはやはり一緒になって飛んでいた。」

「ちがう。一緒に飛んだりしないでバラバラ。写真見るとわかるけど、一機だけのときもあれば、二機見えるときもある。速さもちがうしな！」

「UFO二機の方向や大きさは同じだけど」

「UFOの速度は二機とも同じくらい。」

「だいたい同じくらい。あのボプラの木のちょっと上辺りの所。けど少し

「ずっと西の方に動いてたな」

「もし」

そのUFOがここに着陸したら、その大きさや形は想像つく。

「遠かったからなあ。ちょっとここから見ただけじゃわからないな！　UFOの光りは、どういうわけか大きくなったり小さくなったりしていたけどな」

「柳原君が撮った写真を見ると、UFOの光跡がジグザグしているでしょう。このような飛び方をしていたの。」「写真にジグザグに写ったのはカメラ



●写真と照らしあわせながらその時の状況を語る

振れ。あの日は時たま強い風が吹いて三脚ごと揺れたから。レリーズは使っていたけど」

「ここから見たとき、UFOとの距離はどのくらいあった？」

「わからないなあ。かなりあるよ。何キロもあるんじゃないかなあ」

「その小牛田橋を渡る人が、その時のUFOに気づいたりすることは無かった。」

「だれも気づかなかったな。ただの光だと思って皆んな行っちゃうようだなあ」

「ほかに目撃者がいた？」

「この堤防の上には何時頃までいたの。」

「そうだなあ。五時二十分頃までだったかなあ」

「UFOがどこかに飛んで行ったかして見るのをやめたの。」

「寒かったもんなあ。それにいつまでも同じようにぐるぐる回っているだけで、見ているのもどうせ同じだと思っ
て……。でもあれ、もう少し見ていたらよかったな。西の方に行くのが見れたかも知れないし」

「この日はかなり暑かったので、インタビューは柳原君の家に行って再び続けることにした。」

「峰浦君！ その時は寒かったそうだけど、天候はどうだったの。」

「晴れていた。月とか星は見えなかったけど、雲が少ししかかっていた」

「UFOを見ていて何か気づいたことはなかった？ 何んでもいいから。」

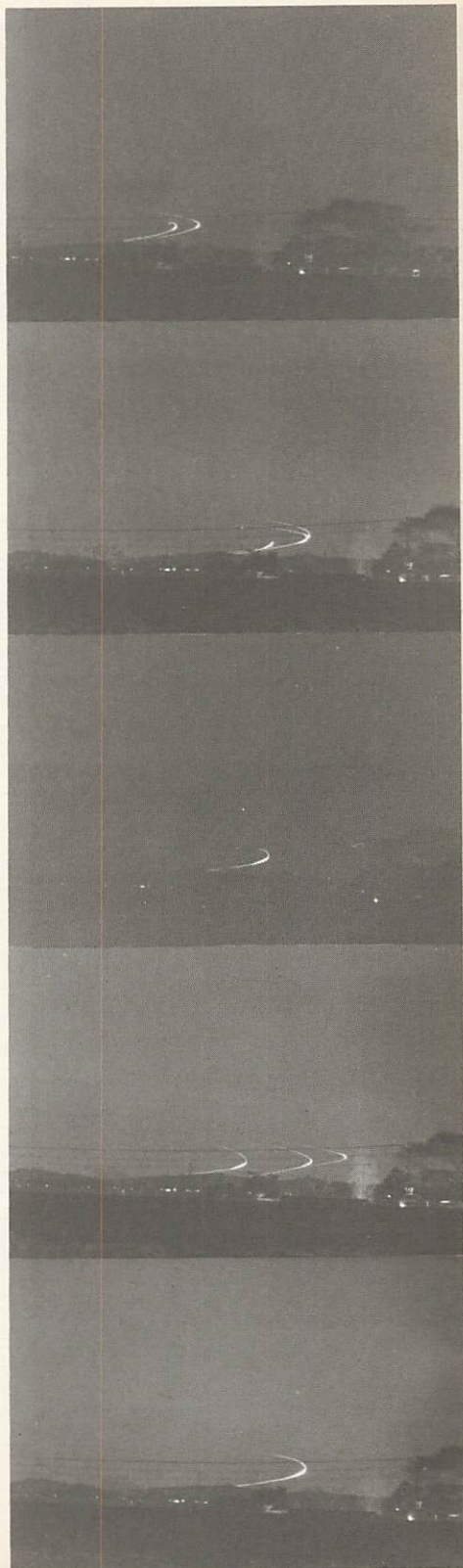
「UFOがバーンと光ったとき、その辺りが大部明かくなったんじゃないか？ 松山の方で見た人いないかなあ。あんなに光ったら見えそうなんだけだなあ」

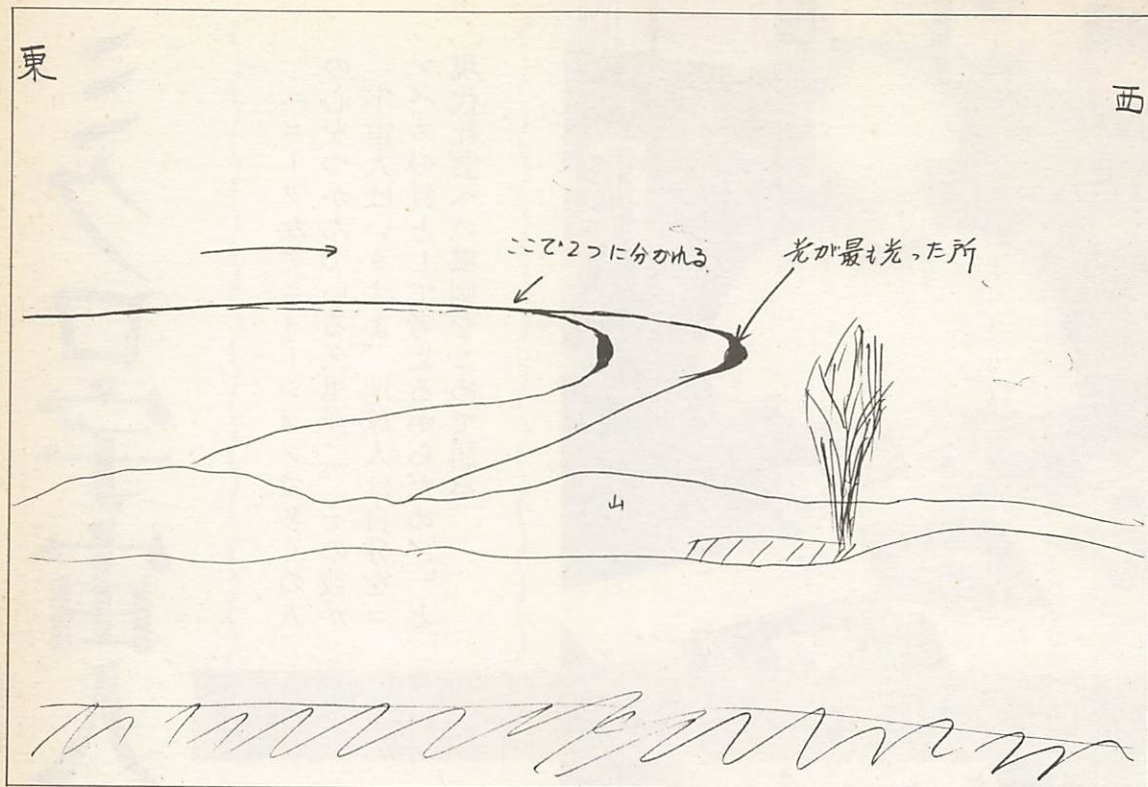
「二人の他に目撃者はいませんか。」

「この辺じゃないかな。何んか松島の方で見たとかいって新聞に載ったなあ。ぼくはその新聞、見なかったけど、学校の先生が話してくれた。時間も合うしなあ。松島中学校の生徒とか……。あれはもう少し西の方にUFOが行ったのを見たんだな！」

「柳原君の撮影したこの写真は新聞などに掲載されたことがありますか。」

「新聞に載ったことはないけど、去年の十二月にNHKで放送された」





宇宙問題探求者必読の書 好評発売中

なぜ空飛ぶ円盤は来るのか

フレッド・ステックリング／久保田八郎訳

¥750 送料 ¥140

宇宙人から伝えられた人間の生き方を詳述

テレパシー

ジョージ・アダムスキー／久保田八郎訳

¥450 送料 ¥140

生命の科学

ジョージ・アダムスキー／久保田八郎訳

¥650 送料 ¥140

文久書林 〒113 東京都文京区白山1-29-12
振替・東京4-2521 Tel 03(812)2495

当社刊行物が書店にない場合は、振替・現金書留・低額切手等で当社宛直接ご注文下さい。代金あと払いの注文は、おことわりします。

——柳原君の住んでるこの辺りでは、よくUFOが現れるんですか。
「加護坊山の近くに現れたなんてよく聞くけど。すぐそこに見えるあの山、あの山の向こう側にある大貫では、UFOを見た人がかなりいる」
「NHKで放送したことがある。冬にあそこから生中継で」
——峰浦君、UFOが出た？
「出なかった」
——UFOを見たのは、今回が初めて。
「はい、初めて。この後は全然見ないな」
——柳原はUFOに興味があったの。
「本は読まないけど、テレビの木曜ス

ベッシャルなんかで見たことがあったくらいです」
——峰浦君は？
「それほどでもない。やはりテレビで見るくらいかなあ」
——写真は全部で何枚撮ったの。
「全部で十二枚。一枚失敗しちゃった。露出は十秒位かなあ。だから写真を見るとわかるけど、最初の方で撮ったのは空が明るい」
——またUFOを撮ってみたい。
「UFO見たら撮ってみたい」
——この近くではUFO、がよく現れるそうですから、チャンス逃がさずまた写真に撮ってください。今日はどうもありがとうございました。

ミクロ宇宙人だつてゐるぞ！

ユニークなアニメーションで多くの人の心をつかんでいる久里洋二。その彼が「宇宙人はいますよ。地球人は自分をコンパスの針として考えるからだめ！」と現代社会への風刺をこめて語る。



UFOインタビュー／久里洋二

四谷から皇居にかけてずらりと並ぶビル。そこを少し入るとうって変わって閑散とした高級住宅街となる。五、六分も歩くと日本テレビの大きなビルが見えてくるが、久里さんのアトリエはそこから眼と鼻の先にあるマンションの二階。

「どうぞ」という声で古びたドアをあけると頭にブルーのタオルをかぶったご本人が現れた。あまり身なりに構わない様子だが、カメラを向けると「これはとったほうがいいかな」

奥の小さな部屋に案内され、沢山の絵の道具を眺めていると突然彼は話を始めた。

月のない日に月が出た

「昭和二十二年か二十三年のね、えー年号忘れちゃったけど十一月頃。なにしろ寒いときだからね」

――場所はどこ？

「福井県の鯖江。時間は夜の十一時頃」

――すると、もう暗いですね。

「暗いって雲が見える程度だから。月夜の雲っていう感じあるでしょう？ お月さんってのは東から西に行くわけ。で、お月さんてのは絶対に真上に来たことないのよ。あなた、十五夜見たことある？ たいていは南の、真上から十五度か二十度傾いたところにあるわけ。それとお月さんてのは止まっているわね、ある程度。」

そのときは月出でないんだ、ぜんぜん。もし出ても雲が流れているのが見えるだけ、月は固定してて。ところが、真上なんだよ。南から北にこう飛んだ。逆に今度は雲が固定して月のようなUFOが動いたわけだな。あの雲はあんまり高くないと思うんだ。七、八百メートルか……千メートルはないでしょうね」

――UFOは雲の下にいたのですか。
「雲の上に隠れるようにホワッと。それ唸ってた。ブルーン、ブルーンって。おれ、音聞いたんだからね。こりゃ間違いないよ」

――どんな形をしていたか描いてもらえますか。

「形といっても真上だもん。お月さんだもん」

最初、描くほどのものではない
というような顔をしたが、やがて
ペンを取り上げサッと仕上げたの
が図1。以下しばらくはその説明
である。

「ぼくは……なんちゅうのかな。廊下
通って便所行けばいいんだけど、めん
どくさいからいつも外でションベンす
んのよ。木に立ちションしてたとき
だ。今はもうその木もないけど……。
ションベンすつと本能的に上向くでし
ょう。下向いてする人もいるけど、お
れはいつも空の星を見ながら……」

飛行機が引っ張ってたのかな

——どのくらいの時間見たのですか。
「そうね。ションベンして終わる前ま
でだから五秒くらい。というのは、家
の屋根に隠れるまでだから。ゴム風船
とか、あんな速さじゃないんだな。ちょ
うど、あの高さでいうと時速八百キロ
くらい……。もっと速いかなあ。で、

- 右(図2) 普通UFOはこんな
形してるでしょ？
- 下(図1) ションベンしてたら
真上にUFOが



「も、あの円盤の大きさは地面に着陸
したら今よくみんなが言ってるあんな
みみちいような大きさじゃないみた
い。おそろく、直径五十メートルはあ
るね。ありゃ、普通の円盤みたいにな
くらみがあるってふうに見えない。円
盤ってさ、横から見るとたとえばこん
な感じでしょ(図2)。真上だもん。
車がついてるとかそんなもん見えつこ
ないものね。あれ、なんだろうなあ。

円盤かなあ」

それとも、飛行機が引っ張って
たのかなと言いながら図3を描き
始めた。

「おれの推理としては……。これちっ
ちやい飛行機ね……紐つけてさ、丸いの
引っ張ってたんじゃないかな。横から
見ると平面で……。なんでこんなこと
しなきゃいけないんだろうか、わから
んけど。これだったら円盤に見える

久里洋二・私自身のプロフィール
昭和三年四月九日生まれ。文化学院
美術科卒後、漫画家になる。昭和三十
二年、三十三年文春漫画賞受賞。あ
と、賞多数。それで今日に至る、つづ
がなく。地震経験者であり、水害経験
者でもある。家では、高校生の娘と中
学二年の息子のよき父親。



ね、夜で飛行機見えないから。それでも、これが下の家の明りを反射して光るつちゆうことないじゃない。だからやっぱりあれは円盤よ」

——色はどうでしたか。

「えー。ちよつと忘れちゃったな。オレンジがかったような白っぽいような……だいたい前まで覚えてただけど、なにしろ昭和二十二、三年ていうと、もう三十年近く前の話だから思い出せなくていったってそりゃあ……。そのときの唸り声だけは覚えてるけどね。ブローン、ブローン……いや、ボワン……どんなだったっけな。飛行機だったらブルブルでしょ？ 戦争中B29が編隊で来るとゴワーン、ゴワーンって感じで空に反響してさ。びっくりしたね。だから新聞見たんだよ、次の日。だれか見たやついるんじゃないかなと思って。けっこうあれ新聞に出てたよ」

おれの見たのは重みがある

——当時もUFOが新聞に出たのですか。

「あの頃も円盤を見たという記事が多かった。だから二十二、三年頃の新聞見るとあちこちに出てたですよ。ぼくは円盤なんて興味なかったしね。なんていうのかなあ……円盤なんて田舎へ飛んで来るもんじゃなと思ったから。東京近辺にうるちよろしてるんだ

と思ったよ」

——UFOを見た瞬間は……

「やあ、変なもの見たぞノってうちのおふくろに言ったけど、また、おかしなこと言ってる」だって。最近よくテレビでやってるでしょ。円盤ぶらさげて……本物のように。あんな生つちよろくないの。重みがあんだよ。ソ連のまわし者じゃないかなと思った。というのは……」

ここで久里さんは別の出来事を思い出したようだ。

「昭和十七年、ぼくが中学一年のとき、昼間。日本にまだ超音速の飛行機なんてないはずだと思っただけどね。B29も飛んでこない頃。まあ、B29が飛んでるときは白い煙がホワッと四本見えるわけだ。真っ白い一本の雲をサーッと描いて唸りながら飛んでくやつがあったな。飛行機に見えないんだ、ものすごいスピードで」

——日本でも超音速を出せる試作機があったと聞きましたか。

「だけど、こんな飛行機あったら勝ってるもん、日本が。昼間、グワーンって。上空は真っ青。ぼくらは松の木の間を根っ子をほじくって松根油つてのをとってた」

——見たのは一人ですか。

「みんなで見てたもん。もう全部の生徒が、なんだ、あれノ」って。暑いから仕事しないで見てるわけ。これが最初。まあ、円盤とは思わないけど……

ありえないんだよ。その頃に優秀な飛行機つたらゼロ戦くらいでしょ？ ゼロ戦だってそんな高いところ飛べないじゃない。おそらく二万メートルか三万メートルのところを飛んでるから」

——その後UFOについて調べたりしましたか。

「調べない。もう、そのまま」

——ほかにUFOの目撃は？

「ぼくは見たいと思うけど一べんもない、それから」

——UFOはどこから飛んで来ると思いますか。

「いや、どこから飛んで来るかわからないけど、そういう物があるつちゅうのが恐いね。現に見てるから。だから見てない人は「アホみたいなこと」って言うわけだ」

科学者ってのは本当に幼稚

——宇宙人はいると思いますか。

「そりゃ、いますよ。宇宙人ってよりも、ある星の人間はね。特に強調して言いたいんだけどさ。糸川英夫ロケット博士いるでしょ？ あの人昭和二十三年か四年のときラジオでインタビューしてたんだ。地球脱出のロケットは可能ですが、なんて聞いてたら『いや、そんなことは絶対ありえない』。そう言ってるの。あの人に聞いてもらなさい。あの人、あんなアホなこと言ってるんだ。アメリカで宇宙脱出のロ

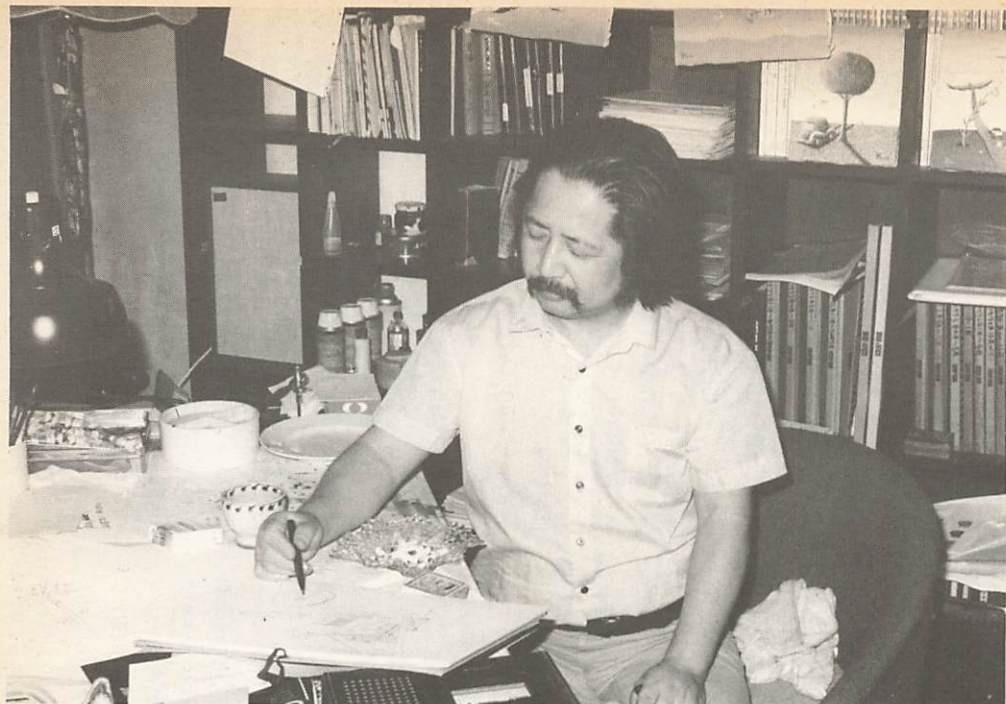
ケットが開発されたときに掌を返すように反対のこと言ってるさ。それくらい幼稚だった。科学者ってのは本当に幼稚ね、ものの考え方が。空想なんてないんだよ。引力を計算して、そういう大きなものはつくれないって。それつくるなら軍艦ぐらいの大きなものでなきゃ上がらないとかさ。糸川さんもセンスない人だと思うね。

地球人ってのは自分をいつもコンパスにしてものを考えるからだめなんだよ。地球の温度も人間がきめたもんでしょ？ それを基準にしてさあ。零度ってのを人間がきめて、それ以下は寒いっていうけど他の星の人だったら零度が暑すぎてしょうがないかもしれない。酸素を吸って炭酸ガス出す。それは地球上の人間は……動物でもそうだけどさ。おれは、そんなものの考え方で判断しちゃいけないと思う。アンモニア吸って、また別のもの出す動物だっているってんだ絶対に。メタンガス吸って、また変なもの出すっていうのがね。人間だって酸素吸ってケツからメタンガス出すんだから。

地球を「バーン」と

割って食べるやつ

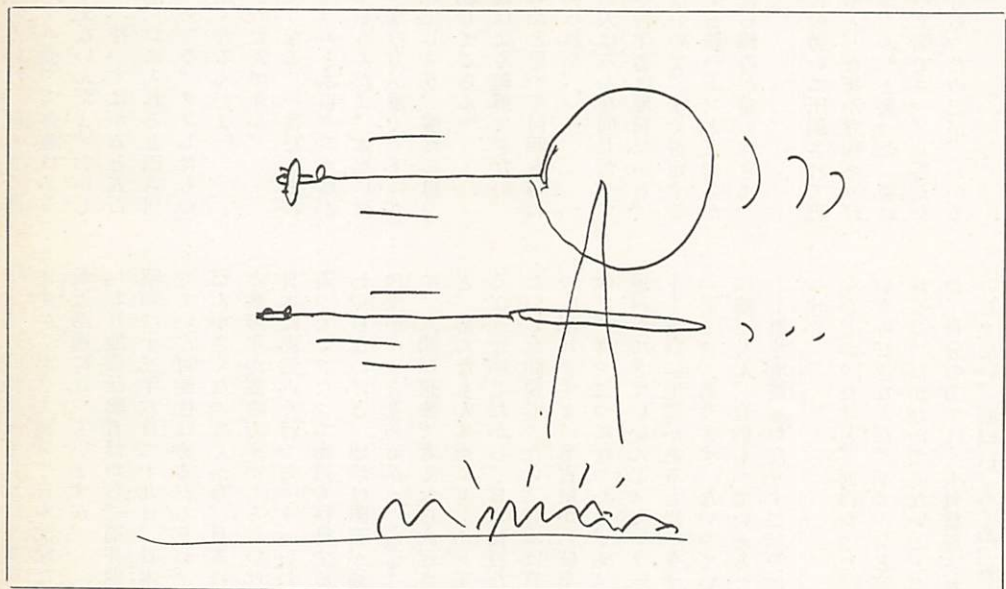
時間だってそうでしょ？ 光の計算も全部地球人が考えたわけ。何万年……遠いですねえ」なんていつてる。ある星から見たら何万年がたった一



日にしか思えないかもしれない。ミク
ロのちっちゃい、ちっちゃい人間がう
ろちょろしてたり、地球ぐらいの人間
だっているんじゃないかと思う。逆に

大きすぎて目だたないけど。考えられ
ないっていうけど、考えられないこと
ないのよ。地球ぐらいの大きいやつを
バーンと割ってタマゴみたいに食

ってるやつもいるかもしれない。あ
まり大きすぎて見えないんだよ。考え
たことないでしょう。いつも地球の引
力計算して「こんな大きい、歩けな



●上 アトリエで当時の状況を描く久里さん●下図(3) ひょっとしたら飛行機が引っぱってたのかな……

いだろう」とかアホなことばかり言
ってるんだ科学者ってのは。そりゃ、
地球にいたら歩けないよね」

かなり好きらしい、こういう
話。身をのり出してこちらに質問
の場を与えようとしな。やつと
一息いれたところで話題を変えて
みた。

スプーン、おれも曲がった

——世の中の不思議な現象に興味があ
ると聞きました。

「ぼくは、おめにかかったことないの
よ、わりに。たとえば、どんな？」

——スプーン曲げとか……

「あれは曲がった。ぼくはコレクション
ンで持つてるもん。ほんのちよつと曲
がったけど、あとがいけない。手で曲
げたね、また。それがいけないの。極
端に見せようとすると手でやらなくち
ゃいけない。おれとジュディー・オン
グと二人で曲がったんだよ。一緒にい
たとき「あっ、私も曲がった」つ
て。おれも曲がったからびっくりしち
やった。そしたらユリ・ゲラーが『ち
よつと貸しなさい』っておれのスプー
ンを持ってっちゃったわけ。それで
うだめなんだよ。持っていくあいだに
曲げたなあと考えた。そのスプーンあ
りますよ家に。手でもう少し曲げてコ
レクションにした」

——透視とか予言はどうですか。

「トランプでも、占いで五とか三とか靈感の練習してんのよ。訓練すれば絶対透視術ってのはできると思っただったことないね。偶然当たるときあるけど、二度とない。ただ、靈感といっても、おれが来るとお客が入って来るってのだけは間違いない。がらがらのバーでも、おれが来ると最初女の子が「あつ、いらつしやい」って十人くらいおれのまわりを囲んでくれるわけ。で、ものの五分もたつとお客がザッと来てみんな逃げちゃって、だれもいなくなる。客寄せみたいな感じだ」

——超能力をもちたいと思いますか。

「もちたいねえ。もっていたずらしたいですよ。『イヤ』っていうとドンとひっくり返ったり。すると殴らなくていいしさ。本当にもちたいな」

氷百グラムと水百

グラムどっちが重い？

——生まれ変わりについて。

「それは、いつも言ってるのよ。生命質量保存の規則。たとえば、象を飛行機で運ぶわけ。これ以上重いと落ちこちるぐらいの限界でさ。それで、象が中でクソをするとその分だけ重くなつて飛行機が落ちこちるっていうの。よく「象のケツから出したものつてのは身体から出したものだから足せば同じだ」っていうけど、それは間違い。ぼ

くはよく体重はかるわけ、飯を食う前に。で、五百グラム食って体重はかると五百グラム増えないんだよ。おかしいと思わない？ 持ってはかると五百グラム増えるが、口に入れると四百何十グラムになっちゃう。クソしたものを出すと少し重くなるんだよ」

——それはもったんですか。

「はかれば、そうなる。一番だまされるのは、氷百グラムと水百グラムはかつてごらんっていうんだよ。本当に微妙な秤だつたら氷の方が重くて下にさがる。知らないでしよう。嘘だと思つたら自分で実験してごらん」

この問題はよく理解できない。聞き間違いかと思って何回も尋ねると、しかられた。

「創造性のない人はみんな同じだつていうんだ。今の科学者は理屈だから。実際に行動しないのよ。すぐ否定するわけ。綿一トンと鉄一トンとどっちが重いつていつたら綿のが重いにきまつてるじゃない」

久里さんの勢いに圧倒されて恐縮していると、なぜか意味ありげに「ふ、ふ、ふ」と笑った（実は婦りがけの玄関でコソコソ答えをおしえてもらったのだが、わかるかな？）

日本は真つ二つに割れますよ

「それで？」

——あと、地震などについて興味あります。東京大震災や日本沈没などが最近話題になっていますが。

「おれ地震経験者だから。福井地震、昭和二十三年六月二十九日。日本沈没っていう可能性はあるだろうね。だんだん小さくなってから、日本は、あと数万年か数百万年かしらないけど、日本は赤道近く行っちゃうからね。赤道っていつたって赤道も移動するからわからないけど。地球は隕石が通ると角度がボツと変わるから、気まぐれに。人間の想像で考えたら大げさだけど、あんなもん本当にピンポン玉曲げるような感じだから。日本沈没なんてたいした問題じゃない。日本は真つ二つに割れますよ。名古屋から岐阜にかけて。真つ二つになったら、ちょうど運河ができていいんじゃない？」

——東京に地震があると思いますか。

「そりゃ、あります。ないっていうのは嘘だもん。自信もつていえる」

——福井地震もかなりすごかったようですが。

「ひどかったけど、面白かった。ああいうの好きなんだ。ドカーンと家つぶれるの。なかなかできないことだからね、自分の力では。人員整理されていいじゃない。面白いよ、あったほうが。みんな楽しみにしてるみたいよ。大騒ぎして、みんな喜んでるみたいね、日本の政府も東京都も。非常袋なんか作って配給したりしてさ。戦争中

の、いまに敵機が来るって感じてね。来たら逃げるくせに。あれは一つの趣味じゃないかしら。そうね、もう来るんじゃないかなあ、明日かあさつて頃。ドカーンと一発。だいたいわかるんだ。今日みたいな曇の日に多い。地震つてのは雲を呼ぶね。だから空を見ればわかるな。『ああ、今日は来そうだ』ってたいてい言ってる」

久里さんの話では、そのへんのテレビー能力はすごくあるという。先日、奥さんと夕食をしていたときのこと——

「おれはものすごく速く、五分くらいで飯食っちゃうんだよ。料理作るの二時間くらいかかって。女房が『何でそんなに速く食うの？』というから、『今、地震来てみる、早く食つとかな』と地震来たらもう飯食えないからって。終わって一ぶくしてたらボコーって地震が来た。『ほら、見る、』、『あら本当ね。早く食つときやよかったです。』だって。

* * *

夏休みには子供と二人で円盤？を飛ばすそう。薄い紙と竹ひごで作って中に風船を五つくらい入れる。手を放すと風につてフワフワと……。みんな驚くぞといって笑う。ユーモアたっぷりの中にもチクリと皮肉が。こんなところにあのユニークなアニメーションの秘密があるのかもしれない。

絶賛 増刷発売中!

改訳合本決定版

米ジョージ・アダムスキー財団より翻訳合本出版権獲得

ジョージ・アダムスキー著 久保田八郎訳

宇宙からの訪問者

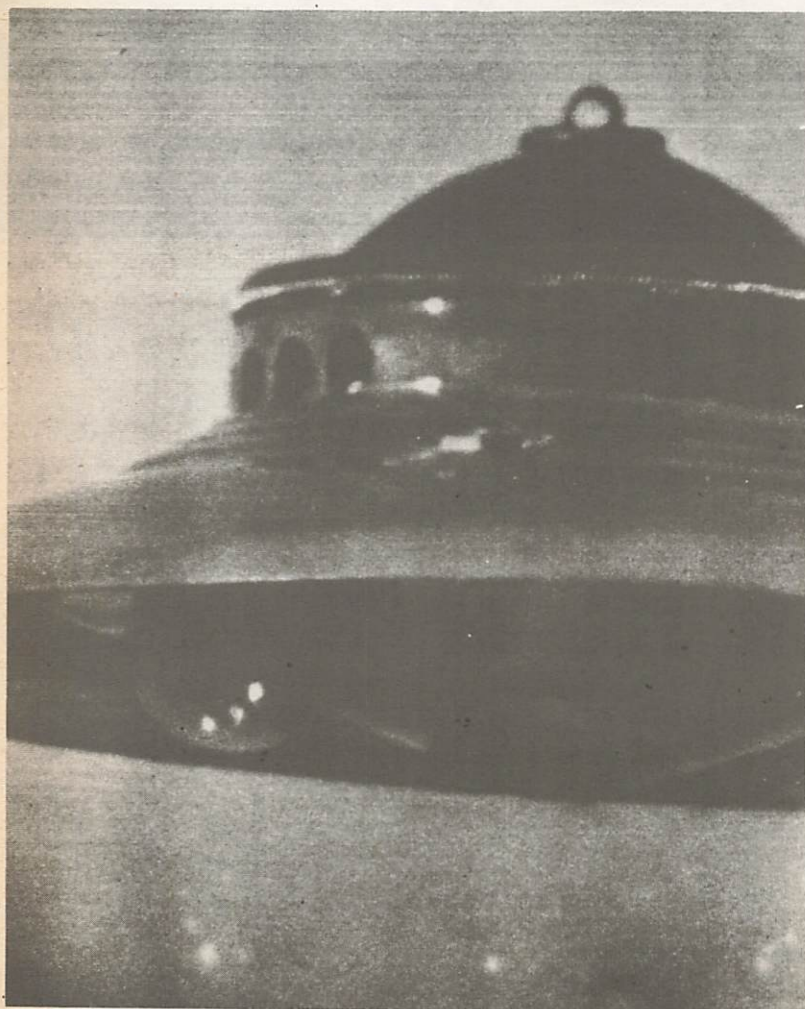
—偉大な惑星人との会見記—

定価1,300円＋160

●B6版 342頁／本文厚手上質クリーム紙使用／写真頁極上コート紙使用／美麗カバー付保存版

●空飛ぶ円盤は実在する！ 遠い惑星から偉大な進化をとげた人類が大宇宙船を駆って地球の救援に飛来する！ 壮大きわまらない宇宙空間の大スペクタクルと驚異的事実を伝えた本書はまさに20世紀最大のドキュメントであり、UFO研究者のみならず全人類必読の永遠の古典である。

●本書はかつて「空飛ぶ円盤実見記」・「空飛ぶ円盤同乗記」として知られた名高い2点の記録書をアダムスキー研究家として著名な久保田八郎が流麗平易な訳文により全面的に改訳、「実見記」の内、アダムスキーの手記と「同乗記」全文を合本として事件の理解を容易ならしめ、また未発表の写真類を加え50点以上の写真・図解を一挙掲載した。なかでも金星人オーソンの肖像写真、金星のシンボルマーク2点、その他の貴重な写真類は読者をして遙かなる惑星群に限りなく憧憬と畏敬の念を抱かせるだろう。



〒110 東京都台東区
上野5-1-6 ヤマトビル

株式会社ユニバース出版社

電話(832)1341(代表)
振替・東京1-119478

●書店にない場合はユニバース出版社営業部へ直接ご注文ください。(ご注文はすべて前金でお願いします)

月世界は UFOの中継基地か(1)

ドン・ウィルソン

アポロ計画で判明した驚異的実態
月は異星人が建造した空洞の天体？

地球をとり巻く空間は不思議な物体に満ちている。この世界のあらゆる国の上空にUFOが目撃されている。それが存在するか否かについて過去三十年以上にわたり激烈な議論が展開し、科学者とアマチュア研究家間の白熱した論争が今日まで続いている。

一九四八年に米空軍がUFOの調査を始めたとき、当時のオハイオ州マクミラン天文台の台長であったアレン・ハイネック博士は疑っていた。

「とんでもない。そんなものはみなデタラメだ」と博士はUFOの調査を援助してくれと頼みに来た将校たちに語ったことを思い出す。

しかし今や、不信論者のハイネックは信者のハイネックになった。彼は未確認飛行体なるものについて考えを変えたのである。

「私はあらゆるUFO報告を合理的な方法で説明してみよといわれればやってみせる。過去多年にわたる私の調査により、経験をもとにした便利なやり方を発見した。UFO報告類の約八十パーセントは説明のつくものである。

少数の例はいくらだが、大抵の場合は無知にもとづいている。米国の大衆は空中に見られる物について全く教育を受けていない。人々は金星を見てはUFOだと言ったりする。

しかし五件のうち一件ぐらいは確かなスジから出たもので、合理的な説明にあてはまらないものである」とハイ

ネックは言う。

UFOの中継基地は月？

現在、我々につきまとう疑問は、UFOはどこから来るのか？ という問題である。大抵の研究者はUFOは大気圏外から来る訪問者であると信じている。

「それは最も容易な解釈だ。我々の科学技術の発達のレベルに相応した考え方だ。だがバカげた報告が多すぎる。処置できないほどに沢山あるのだ」とハイネックは指摘する。

問題は、宇宙空間はあまりに広大なので、遠い惑星から多数の人間が地球へ来るということは科学者に考えられないという点にある。ところが皮肉にも数千年前に大気圏外から来た宇宙船（複数）が地球に着陸したと信じているコーネル大学の天文学者カール・サガン博士は（地球の長い歴史において宇宙船は一万回以上も地球へ来たかもしれないとサガンは述べている）、それにもかかわらず、現代の地球の空に大気圏外から宇宙船が来ているということ否定しているのである。CBSテレビ番組でサガンは次のように述べた。

「UFOの信者が私たちに信じさせようとしているように、多数のUFO報告が宇宙船の来訪のためであるとすれば、我々はきわめて奇妙な状態にある



●アレン・ハインック博士

ことになる。このことは毎日宇宙空間を超えて数機の宇宙船が来つつあることを意味する。これはちょうど漁網を発明したというので世界中の人類学者がインド洋上のアンダマン諸島の一つに集まるようなものだ」

どうやら数千機の宇宙船が他の太陽系や銀河系から地球へ来るということは信じがたいようだ。UFOは地球の海底下の基地から来るのかもしれないとか、少数の人が考えているように地球内部の人間の住む空洞から来るのかもしれないという説などもある。だがそれよりもかつてUFOの基地として最も想像しやすい場所がある。それは「月」なのだ！

高名なUFO研究家の幾人かはずっと以前に「月基地」説をとなえた。英国のUFOライター、ハロルド・ウィルキンズはその著書の中で、UFOは月から来ると書いている。

「月はいわゆる空飛ぶ円盤すなわち宇宙船の中継基地なのかもしれない。謎



●カール・サガン博士(朝日新聞社提供)

の宇宙からの訪問者によって地球を観察するための進歩した基地として使用されているという説を私はすすめてきた」

別なUFO研究家ドナルド・キーホーは最近出した著書『宇宙から来る異星人』により再度一流のUFO研究家の地位を獲得したが、彼もかつては大気圏外の宇宙旅行者が月から来ると強く信じていた。彼の書『空飛ぶ円盤の陰謀』で次のように主張している。

「あらゆる証拠により、月基地の存在ばかりか、知的な人類による活動がすでに始まっていることが考えられる。そうだとすれば、その人類とは何者なのか？ 他の惑星から来たのか、それとも月世界を起源とするのか？」

オープンマインドを持つ研究者には疑惑はない。未確認飛行体は存在するのである！ 宇宙飛行士のエドワード・ミッチェルは言う。

「残るただ一つの疑問は、UFOはどこから来るのかということだ」

しかも驚いたことに、近年の米ソによる宇宙開発の結果、いずれも月世界を指摘しているのである！

アポロ宇宙飛行士は

UFOを目撃した！

米国のトップクラス科学者ガリー・ヘンダーソンは語っている。

「米国の宇宙飛行士のすべてがUFOを見ているけれども、その目撃体験を他言するなと命じられている」

そして次のように言う。

「NASA(米航空宇宙局)は至近距離で撮影されたUFOの本物の写真類や映画フィルムを保管している」

しかし最も驚くべき事は、アポロ宇宙飛行士のほとんどすべてが月面で不思議なUFOを見たり、奇妙な電波信号や音響を聞いたりしているという事実である。

以下の記事はアポロ宇宙飛行士たちがUFOに遭遇した事件の少数例である。

●アポロ8号 円盤型物体を目撃。船内の無線装置に耐えられないほどの高音を受信。飛行中にUFOが数度アポロ8号に大接近し、眼がつぶれるほどの強力な光を放った。

●アポロ11号 月面に最初に着陸したこの有人宇宙船は、月と宇宙船間の空間で巨大な一機のUFOに遭遇。消防ポンプに似た不気味な音、大きなサイレンのような音響、丸鋸の回転音、列

車の気笛のような音などが、地上との通信の合間に入った。地上の管制センタ―は不思議がって問い返した。「ほかにだれかがいるのじゃないだろうね？」。また、月面上にUFO(複数)が着陸しているのを宇宙飛行士が見たという報告もある。

●アポロ12号 宇宙飛行中、約十三万二千マイル彼方に三個のUFOを目撃したが、またも警笛、消防ポンプの音のような音響が入った。12号が帰還の途中、着水直前のビルマ上空で別なUFOが目撃された。

●アポロ15号 宇宙飛行士デービッド・スコットとジェームズ・アールウィーンが空中を横切る謎の物体を目撃。

●アポロ16号 月を回る軌道上にあつた宇宙飛行士トーマス・マティングリーは、月の上空できらめいた一個の光体に驚いた。すると光体は月の地平線の彼方に消えて行った。NASAの科学者ファルーク・エル・パス博士は「こうした光体はUFOの分野に入られるべきもので、あまりに急速に動くので、明らかに我々が知っている地上のいかなる宇宙船でもない。ソ連や米国の宇宙船は月面上やその付近でそんなに速くは動けない」と主張している。

●アポロ16号 ロナルド・エバンズとハリソン・シュミットが二個のUFOを目撃。



●ニール・アームストロング



●ドナルド・キーホー



●月の岩石には200億年物もある。(アポロ12号撮影)

以上のように多数のUFOが月の周
辺で目撃されたにもかかわらず、米ソ
いずれも月面に宇宙基地があるとは公
表していない。しかし、このような基
地を探す秘密行動がとられた証拠はあ
る。ファルーク・エル・バス博士の主
張によると、UFOを駐機させるかも
しれないような地下の空洞の探索を
含む多くの秘密調査が確実に行われて
いるという。

NASAの宇宙飛行士たちは月へ行
って何を発見したのか？

彼らが最初に体験した驚異の一つは
月の岩石と土のサンプルが初めて検査
されたときに発生した。このサンプル
は予想以上に古いものだったのであ
る。当時、地球で発見された最古の岩
石が三十億年昔のものであると算定さ
れたが、これはアフリカのある割れ目
から掘り出されたのである。ところが

最近、グリーンランドで二、三個の岩
石が発見され、これが現在世界最古と
みなされている。これは三十五億年経
過したものである。

しかしニール・アームストロングが
月の「静かの海」に着陸したあと、拾
い上げた最初の岩石標本は、三十六億
年以上も古いことが判明したのであ
る。しかもこれはまだ序の口にすぎ
なかった。月世界で採取された他の岩
石は四十三億年物だった。ロック13と
呼ばれる別な石は四十五億年と判断さ
れたし、アポロ11号が採取した土は四
十六億年物であることがわかったが、
これは地球や太陽系自体の年齢と同じ
であると科学者は考えている。同様に
ソ連の無人宇宙船が「豊かの海」で岩
石を調査した結果、四十六億年物であ
ることを発見したのである。

しかし有名な天文学専門誌スカイ・
アンド・テレスコープによると、NA
SAの月関係科学者の大半が出席した
一九七四年度「月面会議」で、ある月
の岩石は五十三億年ものであることが
公表された。現在、年代測定法で最も
正確な方法とされるポタシウム・アル
ゴン法を応用した別な報告によると、
月の岩石のなかには七十億年という途
方もない長年月が測定されたものがあ
るという。

更に別な報告を信じるとなると、ア
ポロ12号が採取した二個の岩石は二百
億年に達したというのである！信じ

られないと読者は言うだろうか。そう
だろう、これは地球や太陽系の年齢の
四倍にもなるからだ。我々の知る限り
では、これは科学上最古の年代測定で
ある。

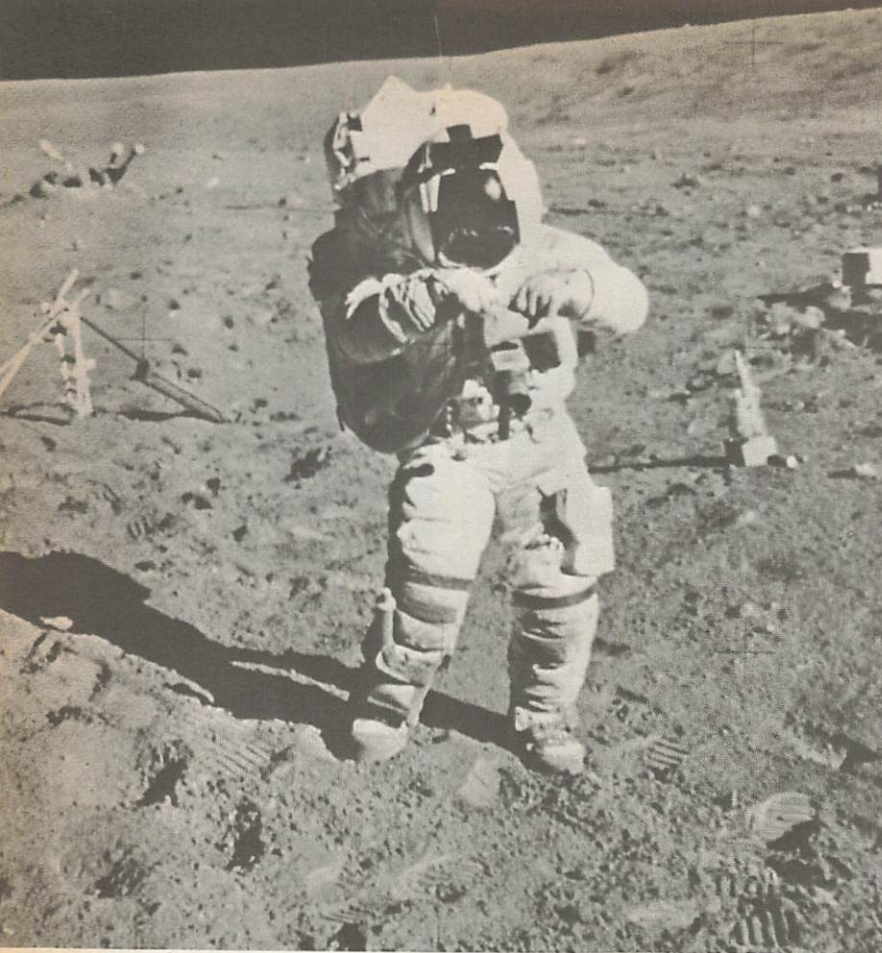
月は太陽系外から来たか？

こうした岩石サンプルの年齢が正確
であるとすれば、明らかに月は太陽系
外から来たものだということになる。
そうなるも月は「捕らえられた」物だ
ということにもなる。これは大半の科
学者にとって認めがたい説だ。なぜな
らアイザック・アシモフは次のように
指摘しているからだ。

「捕らえるという機会が生じること
と、月が地球の周囲のほぼ円軌道を動
き始めることは、あまりにあり得ない
ことで、かかる偶発性はまず考えられ
ないことである」

奇跡中の奇跡として、月は現在比較
的円軌道を描いている。まるで惑星地
球の周囲の軌道を「線縦」されている
かのようだ。

月の岩石の古さで最もよこんだ科
学者はハロルド・ユリー博士で、こ
れにより「捕捉」説の自信を深めて勇
気百倍したという。元来ユリーは月
の岩石を太陽系の起源にさかのぼるか
またはもっと古いものかもしれないと
推測していた。それでこのことは月が
宇宙の他の場所で形成されたという彼



●宇宙飛行士は月でUFOを見た!?



●ハロルド・ユース博士

の説に役立ったのである。

科学技術雑誌「ケミストリー」に載った論文の中で、ユース博士は次のように述べている。

「月の岩石は核分裂物質からブルトニウム224に至るキセノン・アイソトープを含んでいることが示されているが、これは地球では見られないことで、これにより月は地球よりもはるかに古いことがわかる。このような証拠

があるにもかかわらず、大抵の科学者は「捕捉」説を考えられないことだとしている。

月の岩石に関する別なミステリーは岩石が発見された地域の土が等しく非常に古いことである。科学者たちが驚いたのは、年齢の異なる石が並んでいたことである。だが年齢の異なる石よりもっと戸惑わせるのは、石があった地域の土や砂の矛盾した年齢である。

岩石13について考えてみよう。これはアポロ12号が地球へ持ち帰ったもので、四十五億年物と推定された。これについて当時のNASA宇宙船センターの月・地球科学部長ポール・ガスト博士は次のように述べた。

「この石は一種のマールケーキだ。異なる各種の年齢に加えて各種の材料の組み合わせでできている」

ところが石の年齢よりも更に迷わせるのは、石が存在した位置の土の矛盾する年齢である。たとえば、米国の最初の宇宙船が着陸した「静かの海」で採取した岩石のほとんどは約三十六億年物だが、その部分の土は四十六億年昔の物と判明した。これは科学者にとって全くの謎となったのである。

これと同じ矛盾した状態をアポロ12号が発見した。その土の標本（四十四億年）は、あたりに散乱していた岩石よりも十億年ほど古かったのである。当惑した科学者にとって、これはあり得ないことと思われた。科学者はこの

土を岩石の細粉化されたものと考えたからである。これは月の表面が隕石などの直撃によって永劫の時代を通じて砕かれた砂、石などから成る粗石の堆石であるからだ。

こうした年齢の異なる岩石や小石を発見することは全く不思議であるが、岩石よりも十億年も古い土を発見したことは科学者を悩ませたのである。

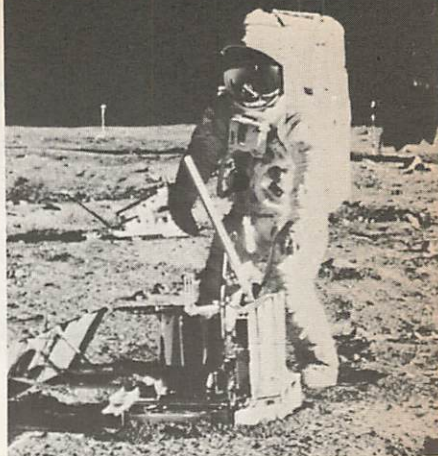
ところがもっと不思議な発見が行われた。この月の土は岩石からできたものではなく、他の場所から持って来たという事実を化学分析によって科学者が発見したのである。どこから持ってきたのか？ これについて地球の迷える専門家は推測するより他に方法を持たない。実際、彼らには全然わからないのだ。

とにかく月の岩石と土は多くの矛盾と混乱をもたらしたので、カリフォルニア工科大学のある研究チームは、月の岩石と土に関する研究報告に次のようなサインをして挫折感を表明した。

「ルーナティック・アサイラム（精神病院）」（訳注「ルーナティック」には「月の影響を受けた」という意味も含まれている）。

月はどこから来たか

月とは一体何なのか？ それはどこから来たのか？ 六回にわたるアポロ有人探検行と数度に及ぶソ連の探索の



●アポロの地震観測装置は何を語ったか？



●アイザック・アシモフ博士

結果、我々はただ推測するより他に仕方がない。その正体と、どのようにして地球のそばへやって来たかという謎は、今なお科学者を迷わせ続けている。たしかにこれまでの科学的探求の結果、ますます疑問とミステリーが生じるだけだ。一科学者はぼやいた。

「我々が疑問を起こす前に月はすでにその解答を与えつつある」

この異境の地へ六回も旅した結果、ぼう大な情報と資料がもたらされた。八百三十七ポンドの岩石と土が宇宙飛行士の手で持ち帰られ、三万枚以上の

写真と莫大な貴重なデータを含む磁気テープを大量に土産にした。そして世界中の科学者がこれらの研究に没頭してきた。しかし科学者は最も基本的かつ単純な疑問「月とは何なのか？」に対する解答をまだ出していない。

人間が月へ行く前でさえアイザック・アシモフのような科学者は、月は自然界の気まぐれでできた天体だと言っていた。なぜなら、あらゆる宇宙の法則からみて、月が現在やっているように地球周囲の軌道を回るはずがないからである。太陽系のほとんどすべての衛星は所属する惑星の赤道にそって回っている。しかしわが月だけは違う。その軌道は奇妙にも太陽の周囲を回る地球の軌道に似ているのである。科学者たちは首をひねりながらつぶやく。「なぜ月は赤道にそった軌道をはずれて動くのか？」

彼らにもわからないのだ。もっと興味深い基本的な疑問は「月はどこから来たのか？」そして「その起源は何なのか？」である。

太陽系外から来て捕らえられた？

天文学者は三つの基本的な学説を立てている。

- (1)月 は地球の兄弟惑星として地球と同時にできた（これは最も普通に考えられている説である）。
- (2)地球が誕生した後の段階で、一種

の天体アミーバとして地球が分裂し、息子として月を生み出した。

- (3)月 は他の場所からやって来た。あるいはこの太陽系以外からかもしれない。そして地球に捕らえられて事実上地球の配偶者になった。

以上の三つの説は、人間が月へ旅して最初の情報を得る以前ですら、非難されていた。月がかつて地球の一部分で、後に不可解な分裂運動によって分離したのだという説は、月探險までの三つの説のなかで最も非難されたものである。ハーバード大学の天文学者H・W・ピカリングはこの説を焼き直していた。これはもとジョージ・ダーウィンから出たもので、ジョージは進化論の父といわれたチャールズ・ダーウィンの息子である。ピカリングの考えでは、月は太平洋の部分から分離したもので、その部分が月と同じほどの大きさになるというのである。そして太平洋を形成する縁には火山の環状帯や大断層が存在することがわかった。

しかし月へ行く前でさえ、大半の科学者はこの説に反対していた。天体のメカニクスの種々の難点からみて、この説はだめだと考えたのである。

月 は地球と同じ時期に形成され、創造の段階で同じガスやダストから分離して、長い時代を通じて凝縮して固体になり、地球の自然の衛星になったのだという説は、第(1)説よりも科学的な

支持を受けた。

それにもかかわらず、地球と月には密度において大差があるために、科学者のなかにはこの説の正当性を疑う者があった。月 は地球の約半分の密度しかない。しかも宇宙飛行士が月へ着陸してから判明したのは、月の形成物質が地球の兄弟天体としてはあまりに相異なることである（訳注 月 の岩石の主成分は斜長岩であり、これは地球上でみられない意外な事実である。斜長岩の主成分は斜長石 AlSi アルミニウム、ケイ素、カルシウム、ナトリウムの酸化物 O でチタン酸を含まないために白っぽい）。

以上の他に残る解釈は、月は太陽系内の他の場所または太陽系以外の宇宙空間のどこから来て、地球の重力場に捕らえられたという説である。

月は何者かに導かれて来た!?

月 は太陽系のこの位置で「異端者」であるように見える。密度と成分が異なる惑星なのだ。近頃多くの科学者が考えるようになったのだが、月は巨大なアステロイド（小惑星）で、地球に接近してその重力場に捕捉されたのかもしれないと考えられる。だがこの説にも重大な欠点がある。NASAのトップ地質学者の一人、ロビン・ブレット博士は言う。

「捕捉説は天体メカニクスの難点を打

ち出すし、統計的にみて全く不可能と思われる」

重力場によるキャッチはまず不可能だということは別として、ただ一個の月だけが巻き込まれたというのは更に考えがたいことである。しかも月がどのようにして宇宙空間で捕らえられたのか、どのようにして直角で地球に接近し、重力場圏内に収まるような適正なスピードを保ち、地球を回る永久軌道に乗ったのか、などは理解が困難である。またこの説を絶望的にする要素が他にもある。月自体の軌道はこのような荒っぽいキャッチを不可能とするのである。というのはその軌道はほぼ円形に近く、地球に対して常に同じ面を向けているからである。重力場で捕

らえられたものなら細長い楕円形にならねばならない。たとえ月が偶然に地球の重力場へ飛び込んで、あらゆる条件がそろってうまく捕らえられたにしても、どのようにして現在の軌道になったかを考えるのはむづかしい。キャッチされたものであればもっと異なる軌道を描くはずなのだ。現在の状態を解釈するには、月が「導かれて」地球を回る軌道に乗ったとしか考えられない。

月は空洞の人工建造物？

驚いたことにソ連科学アカデミーのトップクラス科学者二人が、右の説を支持しているのである。途方もない

と読者は思うだろうが、もっと途方もないのは、この二人の科学者は、月は自然の天体ではないと主張している事実である。

ソ連のある政府関係刊行物によると月はそれ自身が宇宙船なのかもしれないという。その二人の科学者、ミカイル・バジンとアレクサンダー・シチエルバコフはソ連の雑誌スプートニクに論文を書いて、一見突拍子もない説を打ち出した。

「月が太古の宇宙船であることは十分に考えられる。その内部にはエンジン用の燃料を満たした空洞があった。言い替えば、この巨大な宇宙船は数十億年も続く宇宙の旅で、知的生物のための一種のノアの箱舟として役立つ必

要物資のすべてを運んだのである」

オーソドックスの科学者にとっては全く考えられないこの説の大意は次のとおりである。

月は宇宙を旅するノアの箱舟

言い替えば、権威ある学会の権威ある二人の科学者が確信しているのは月は実際には別な場所で作られた球体で、自然のアステロイドをくり抜いた上、遠い昔、地球を回る軌道に乗せた

地球脱出

大気汚染、異常気象、人口増加、食糧危機、核戦争、惑星直列……近い将来、地球は人類の生存に適さなくなるであろう。人類はもはや、新しい地球を求めて宇宙への旅立ちを決意しなければならない。

E・ギルフィラン 著
金沢文庫編集部訳
B6判★950円 160

惑星直列

●日本図書館協会選定図書

J・R・グリフィン／S・H・ブレイジマン 著
平野正浩・訳
B6判★750円 160

温室地球

H・A・ウィルコックス 著 平野正浩訳
B6判 ★750円 160

金沢文庫

東京都千代田区神田小川町2-2 101 ☎03(295)0241・2



●月の内部は空洞?(ソルコフスキークレーター)

ということである。この巨大な宇宙船は知的生物のいわばノアの箱舟で、数千年、数百万年間、宇宙を航行するために作られたのだという。

「たぶん月は生命の維持が不可能になった元のホーム惑星に住んでいた生物の、文明のホームだったのかもしれない」

彼ら自身の言葉でいえば、みたところ「常識」という伝統的な道を捨ててしまったこのような途方もない説を二人の科学者がとなえたのは、いかなる証拠に基づくのか? 一見デタラメかつ無責任な空想論に二人をかり立てたものは何か?

月の内部は空洞か

まず第一に、この二人のソ連人科学

者によれば、月の引力は地球の引力の五分の三しかないために空洞らしいというのである。空洞であるとするれば自然の天体ではない。自然に内部が空洞になるような天体は宇宙に存在しないと天文学者は言っているからだ。こうして二人の説では、

月は内部をくり抜かれた、薄い壁から成る天体だということになった。

「それで、理解できることだが、ただのカラッポではない。内壁面にはあらゆる種類の物質や装置があると思われる。しかし月の質量の最大の部分は内部の中心に集中している。

この天体の核と殻の間の距離は(月の直径は二千六百六十二マイルある)大体に三十マイル程度であらう。この空間部は呼吸や他の目的に必要なガス類で満ちているはずだ。

こうした内部構造により、月は一方センチメートルあたり三・三グラムの平均重力を持つのであって、五・五グラムという地球のそれとはかなり相違するのである」と述べている。

他にどんな証拠を提示しているか。二人が指摘するところによると、かつ

て科学者が説明し得なかった月のある種の特徴は、彼らの説により理解できるといふ。

「これらの謎は我々の説で解決する」

その謎とは何か。まず第一に月のクレーター群がある。地球の基準からみればおそろしく巨大であるにもかかわらず、不思議に底が浅いのだ。そのほとんどは深さが二ないし三マイルにすぎない。ところがソ連で行われた科学実験によれば、本来なら数倍も深いはずだといふ。ソ連の物理学者キリル・スタニューコビッチは一九三七年以来、ぼう大な論文を書いてきたが、その中で、クレーター群は数百万年にわたる月面の衝突の結果であると説明している。巨大な「ミサイル」が月面に落下したとすれば、その直径の四倍ないし五倍の深度に達しなければならぬが、しかるにそれほど深いクレーターはない。なぜか?

バシンとシチュエルバコフ両名によれば、クレーター群が浅い理由は、月面をえぐり取った隕石は、地上に衝突した直後に装甲鉄板でおおわれた内部の殻にさえぎられたのである。そしてこのことは次の理由にもなる。多数の大クレーターの床は凸状であって凹状ではないのだ。

不思議な月の「海」

月に関して説明のつかないもう一つ

の不思議な現象は、晴れた夜空に輝く月面に見える。月の黒い「海」だ。この部分は例の二人の科学者によると、未知の生物が噴出させた、かつて溶解した岩石や金属の海で、これにより、内部のあちこちをカラッポにするとともに、外部の弱い地帯を補強したのだという。

この月の海は他の部分にくらべて重力が大であることが発見された。内部の岩石を溶かして噴出させるといふこの大仕事を行うのに必要な巨大な機械は、まだ「海」の地下に蔵されているこの重量が重力を大ならしめているのだと二人は信じている。

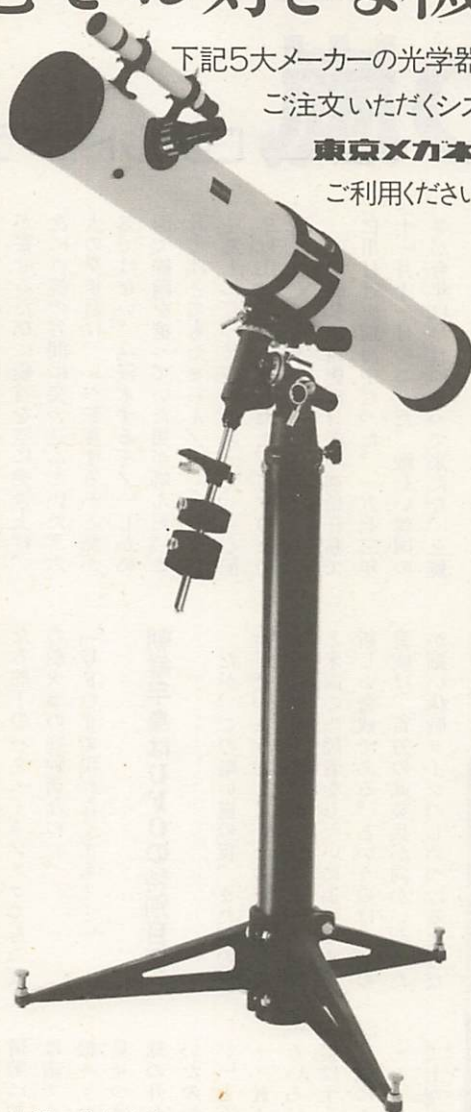
更に二人は指摘する。米国の宇宙飛行士が月から持ち帰った岩石は、不思議に多量の金属を含んでいる。これはなぜか? 二人が確信するところではこの金属は「海」を作るために用いられたし、また月という大宇宙船の船体にも用いられた。隕石の直撃に充分耐えられるように補強するとともに、長い宇宙の旅にも耐え抜くためである。

この金属の多くは、月面に衝突する隕石を爆破して、まばらに敷きつめられた保護コーティングにより細片にされ溶かされたのであるという。

この珍奇な論文を読んだとき、興味をそそられたけれども私は全く信ずる気にはなれなかった。要するに証明は限定されており、どうみても曖昧なのである。(次号完) 久保田八郎訳

特選光学機器通信販売のお知らせ

UFOマニアに朗報！ 自宅でお好きな機種が選べる



下記5大メーカーの光学器を、お手元のカatalogで比較検討し
ご注文いただくシステム、ぜひ93年の伝統と信用を誇る

東京メガ本
をご利用ください。

《取扱メーカー》

**ア ス ト ロ
ニ コ ン
ミ ザ ー ル
ビ ヲ セ ン
カートン光学**

《取扱商品》

**天体望遠鏡
地上望遠鏡・双眼鏡
顕微鏡・拡大鏡**

他付属品及部品類など、
多数取り揃えております。

●カATALOG(5大メーカーカATALOG)ご希望の方は切手300円を同封してお申し込みください。なおお買上げ商品は国内どこでも**無料配送**いたします。いま当社通信販売にて10,000円以上お買上げの方に限り全員に「彗星を追う」「'76天文観測年表(天文気象年鑑)」「新天体写真技術」のうちご希望の専門書を一冊無料進呈致します。

お問い合わせは

株式会社 東京メガ本 商事光学通販B係

〒154 東京都世田谷区若林1-20-11

TEL 東京03(413)8711 (大代表) 郵便振替口座 東京134345・私書函世田谷局第33号



メガネは顔の一部です…だから

東京メガ本

支店—国内25店・海外—香港店、九龍店 工場—東京・群馬

北東アジアの“真珠湾”
に備え、軍部も警戒
を続けている！

空のUFO嵐

ロナルド・ドラッカー

骨まで凍りつきそうな寒風が逆波の立つ黄海の上を荒れ狂って、冷たいみぞれを機関銃の弾丸のようにたたきつけていた。大韓民国海軍所属の、長さ三十メートルばかりのランチは、大波が寄せるたびに艇首を空に突き上げ、次には波の谷間に突っ込んでいた。六人の乗組員は、いつ転覆するかと気が気ではない。「浸水するぞ！」しかめ面で舵輪を握っていた男が叫んだ。「これではとてもたまらん！」

あとになって艇長は語った。「心配事は山ほどありましたよ。UFOまで現れなくても……」

この改装魚雷艇は日課の補給任務で仁川付近を航海中だった。一九七三年十一月十一日のことだ。厳しい韓国の冬が今年は早目にやって来たな、と艇

長のキム・ビョンハク中尉は考えていた。乗組員は、悪天候との戦いやこの海域をうろつく北朝鮮の快速魚雷艇からの脱出には慣れっこの古参兵ばかりである。さっき声を立てた二十五歳になる舵手のパク・ミュンファでも二度の船火事を経験者なのだ。

「UFOまで現れなくても……」

朝鮮半島はUFOの特別目標

だが、この暗い嵐の夜、また別の危険が近づこうとしていたのだ。東洋の火薬庫朝鮮半島防衛の任にあたる韓国と米国の当局者をしだいに追いつめる新しい脅威である。というのは、この脅威は、百万の武装兵が向かい合ったか細い休戦ラインのしめつけるような

政治的緊張から生まれるのではなく、まだだれも知らない不吉な雰囲気の中から姿を現そうとしていたのである。

朝鮮半島はUFOの特別目標になっていたのだ。それだけでなく不安定な情勢に拍車をかけるように空飛ぶ円盤は南でも北でも目撃され、人工の航空機やミサイルでは不可能な飛行ぶりを見せつけ、一部の人たちからあれは地球の外から来る宇宙船だと信じられていたのである。「そのことは間違いない」と在韓国連軍涉外将校のロバート・K・スフィアは語る。「当地で生じるいろいろな問題に加えて、空飛ぶ円盤は至るところに出没している」

嵐にもまれる魚雷艇の上では、パク・ミュンファがキム中尉の肩をたたくて上空を指さした。二人と残り四人の





●1973年仁川付近で彼自身と魚雷艇の他の数名の乗組員が目撃した空飛ぶ円盤のスケッチを指さす韓国海軍の古参兵パク・ミュンファ。

乗組員は、かすかな光が暗い夜の雲を背景にいきなり明るいはっきりした飛行物体に変化するのを見たのである。

「何か正体の知れないものを見ているのだということはすぐにわかりました」とパク水兵はあとにな

って語った。「その物体は嵐や雨やみぞれをものともせず、水面すれすれの高度を直線飛行していました」

艇長は仁川港湾司令部——呼び出し符号は「サファイア」——を無線で呼び、帰港許可を求めた。荒れ狂う海での急変針で転覆しないよう艇を保持しながらパクは、「敵機」の出現を艇長が報告しているのを聞いた。

パクは面くらった。「こんな天候に

韓国上

朝鮮半島はUFOの特別目標になっている。韓国におけるUFO出現事件の増加は軍部にも波及し、多数の将校が目撃したほかレーダーにも何度かキャッチされている。紛争の地域によく出現するといわれるUFOだが、いまだに緊張の続く半島での目撃は何を意味するのか——

「飛行機が飛べるわけがあるまいに——」

急速に接近してくる物体が人工の航空機でないことは彼も確信していたのだ。

「基準になるものがないので測定は困難でしたが、その物体の長さは十二メートルくらいと思いました。水面上三十メートル以下の低空を恐ろしい高速で近寄ってくるのです」

艇長、あれは飛行機

じゃありません！

若い水兵は、びくびくしながらも艇を二十七キロメートル東の仁川に向けるように一生懸命になっていた。

ところがUFOは、突然空中に停止してしまっ

「早く逃げ出しましょう」とパクは艇長に向かって大声をあげた。

「あれは何だろう？ レーダーでも見るとサファイアが言っているが——」
「今にわかりますよ、そらこっちに

やって来る！」

UFOはふたたび動きはじめた。風と雨とみぞれはゴウゴウと音を立ててはいたが、その物体は接近してくる間ちつとも音を立てないことにパクは気づいていた。

彼は危険を感じておびえた。

「艇長、あれは飛行機じゃありません！ヘリコプターでもありません！」

「おれにもやっとわかったよ！ サファイアの話では超音速飛行をしているそうだよ！」

だが乗組員には衝撃波は感じられなかった。物体は頭上を通過した。白熱した金属で出来ているような感じで、平滑な表面は桜色に輝いている。一心に見上げていたパクは、それが典型的な空飛ぶ円盤の形をしていることに気づいた——中心に隆起のある、平たい円盤である。あとで彼はその物体をスケッチしたが、やはり典型的な「空飛ぶ円盤」によく似ており、腹部の中心から排気を吹き出していた。

「逃げましょう！」

「そのとおりだ。行こう！」

改装魚雷艇は荒波をついて全速力で母港めざして走り出した。明るい赤色に輝くUFOは、追跡するというより後方に浮かんできているように見えた。「その物体」は私たちについて来るのです」とパクは語った。「私は「監視されている」ような気がしました。あの飛行物体が知的生物によって操縦されていることは確かです……」

「私たちは全員でよくよく観察しました。物体は海面上三十メートル以上の高度にはけっして上昇しませんでした。でも位置だけはたびたび変えました——突然右側から左側に行き、続いてまたもとの位置にもどるといった具合にです。そして少なくとも二十分は私たちの周囲をうろついていました」

この事件後まもなく韓国当局は、この空飛ぶ円盤が沿岸警備用レーダーで捕らえられたことを確認することも否定することも拒否した。その後訓練のため渡米したパク・ミュンファは、その物体がレーダー上に現れてその付近を飛行中のどの航空機よりも高速で飛行するのが観測されたことと艇長に連絡があったことを主張している。

他の乗組員も、地球上のものでない飛行体から——想像を絶する悪天候にもかかわらず——ずっと調査されたという点では、パクと同意見である。それが他の惑星から来た宇宙船に違いな

いという確信は、いろいろな条件を一つずつ排除していった場合それしか残らないという単純な論理に基づくものだ。間違いない、と彼らは信じているのである。

パクは、韓国海軍勤務中数々の表彰を受けたこともある誠実でひたむきな青年である。噂をふりまいたりホラ話をでっち上げたり幻覚に惑わされるタイプの人間ではない。その夜UFOがもと現れてきた雲の中に消え去るずっと前から彼は、自分が目撃しているのは「何か未知の物体で……自分が受けた教育では解答の出せない何か」に違いないという確信をもつようになっていたのだ。

韓国は人類観察に適している

韓国人によくある型の、穏やかで誠実で真面目な人物であるパク・ミュンフは、彼自身の体験からセンセーショナルな結論を引き出すことには反対である（「あれが宇宙船だったという証拠は何もないのですから」）。だがもし宇宙人が人類を観察しているのだとしたら、韓国ほどおあつらえむきの場所はないだろう。ベトナムの陥落とともに米国の極東政策の焦点は東南アジアから東北アジアに移っており、一九五〇年から五三年にかけて二万七千人の米国人が戦死したこの国に緊張は十分高まっているのだ。

多くの米国人にとって韓国の思い出といえは荒れはてた戦災地の光景や、口が曲がるほどビビリするキムチの味わい、それに陽気なバーやビヤホールの雰囲気などにすぎない。だがこの「朝の静かな国」は今や三千二百五十万の人口を持った新興産業国家であるばかりでなく、早くもアジア経済の中心地となろうとしている上に、米国のかけがえのない戦友なのである。

朝鮮戦争当時のソウルしか知らない人たちには、その後の発展ぶりはとても信じられないだろう。ガラス張りの高層建築が至るところにそびえ立つ。戦前の人口はわずかに百五十万にすぎなかったのが今では世界十大都市の一つに数えられるまでに成長し、その人口は六百五十万にもなる。街路には自家用車、トラック、バス——すべて韓国製である——がひしめきあい、四車線の超高速道路がソウルと釜山を結んでいる。高速道路と鉄道は拡張に拡張を重ねて、今では国内に四時間半以内に行けないところはなくなったのである。なんという堂々たる発展ぶりだろうか。

軍部は本気だ

そればかりではない。韓国は古代文化のふるさとであり、豊かな伝説の国でもある。何百年も昔から語り伝えられてきた物語には、昔も宇宙から侵略

が行われてきたことを暗示するものが多いのである。

最近の韓国はUFO目撃の現場となつてしまった。UFO活動を示す証拠は弾力で納得のゆくものであり、無視するにはあまりにも面倒である。空中に怪光が出現してしばしば信じられないような動きを見せるのを、信頼することのできる人たちが目撃している。それらは海上からも地上からも、そして航空機の上からも目撃され、どうかすると対空砲火をあげられたこともあるのだ。

「真面目にそれを否定しようとする者はないと思います」とソウル居住の米国実業家のジョージ・B・マギニスは語る。「当地では不思議な物体が上空で目撃されるし、軍部も本気だ。UFOに関する限り、だれも『真珠湾』の経験を繰り返したくはありませんからね……」

マギニスは間違っているのかもしれない。空飛ぶ円盤はそれほど真剣には評価されていないように思われるからである。

韓国内でのUFO目撃報告が殺到するのに対して行われる見えすいた説明の一つは、率直に言ってけつて人を納得させる説明ではない。

一九五三年七月二十七日の休戦いらいほとんど二十五年、いまだに四万二千人の将兵を韓国に駐留させている米軍が繰り返して主張するところでは、未

確認空中現象は軍事的対決が存在するところに発生することが予想されるところだ。ミグ21ジェット機を含む八百五十機以上の戦術戦闘機から成る第一級の北朝鮮空軍は、新鋭F4ファントムをたつた十八機しか持たない五百機の韓国空軍に対して展開を終わっているのである。米国のSR71ジェット機が北朝鮮上空を偵察飛行したり、共産空軍がたえず韓国の防衛力を偵察したりしているのは公然の秘密である。

クリスマス・イブの怪光

もちろんUFO目撃例のいくつかは有人航空機の侵入偵察飛行と関係があることは疑いない。「だがすべてのUFOをミグ21の偵察飛行だと片づけるわけにはいきません」とソウル駐留の米軍技術団は説明する。「韓国には精密な防空組織があり、先方のやっていることはすべてわかります。先方が離陸すればすぐレーダーに映る。レーダー上の光点が飛行機かどうかはすぐ区別できるのです」

一九七二年から七四年まで韓国のレーダー基地に勤務したある軍人はこうも話している。「北朝鮮から来たものでもなく人工の航空機の特徴も備えていない飛行体をよく観測したものです。突然出現し、突然消滅するんです」要するに、しだいに数を増しながら韓国の上空を乱舞するUFOについて



は、信頼するに足る説明はまだされていないのだ。

一九五九年にはすでにソウル上空で不思議な物体が観察されている。厳しい寒さのクリスマス・イヴのことである。ニューヨーク州ブルックリン出身のバート・カービル一等航空兵はピョントク・レーダー基地に勤務していた。そのとき彼のレーダー上に四個の光点が現れた。東海岸のすぐ沖を、二万メートルの高度で南から北へ動いている。速度はマッハ三・五だった。当時の航空機にはできない芸当である。

UFO、対空砲火を浴びる

「クリスマス・イヴの怪光」は新聞でも報道された。海岸の町ポーブハンでは少なくとも十二人が目撃している。その夜は雲もなくよく晴れてはいたけれども、物体は大変な高度を飛行していたので詳細な観察はできなかった。それから何年にもわたって、説明に苦しむような目撃報告が続いた。一九六二年には釜山付近をUFOの群が旋回していたという記事が日本の雑誌「宇宙」に出た。これらの物体が三機か四機で一群となって非常に高空を飛行しているのが目撃されたのである。

一九六八年——米国のスパイ船ブエブロが北鮮に捕されたのと同じ年である——の一月には、非武装地帯付近のある前進基地に火のような怪光が出

現して大騒ぎになった。またしても三機か四機が一群となって現れたこれらのUFOは、消滅する前に実際に対空砲火のお見舞いを受けていたのである。

一九七〇年に入ってキョンギン日報の記者が、ソウルで目撃され、また伝えられるところでは北鮮でも同じように目撃されているという正体不明の色光について米韓両国軍の高官に質問した。国連軍司令官のジョン・H・ミカエリス將軍は、彼の長い軍歴の間にあちこちでUFOの話聞いた、と答えた。「そのような報告は大部分は間違いだと思う」と彼は語ったという。

「不十分な観察や誤った情報の産物である場合が多いからだ。しかし私は、何か私たちの知らないもっと調査を必要とする何物かが存在するという可能性までも問題外とするものではありません」

もっと真剣に研究しなくては

バージニア大学の高名な韓国人学者のキム・チョンシク博士は、韓国東海岸の人里離れた山道にUFOが着陸したという報告を聞いたことがある。博士によるとそれらのUFOは、地面深くくぼんだ痕跡、焦げあと、残留放射能などをあとに残したという。これらの着陸地点をガイガー計数管で測定したところ相当な放射能を検出したこ



●米海軍のグラマンS2トラッカー（写真）と同型の飛行機二機に分乗して韓国上空を飛行中の少なくとも六人の飛行士の眼前に、明るく輝く円形のUFOが姿を現した。

とから博士は、UFOが原子力を動力としていると確信するようになった。

「私たちにも原子力飛行機を建造する能力はあるのだが、費用がかかりすぎるので建造しないだけだ」と世界各国から三百例以上のUFO目撃報告を収集しているキム博士はこう語る。「広大な宇宙を旅行するように設計された大宇宙船には、核分裂こそもつともふさわしい動力かもしれない」

そしてキム博士は考え深げに付け加える。「たしかに何かが間違っているようだ。UFOをもっと真剣に研究しなくては」

韓国空軍の警備員だった二十五歳のファン・ヨンホ軍曹も同意見である。彼は一九七四年三月十一日ヨンドンボ車輛集積所付近に浮かんできたUFOを「追跡」したことがあるのだ。彼はその後米国に移住し、UFOに強い関心をもつようになった。「私にはあれがUFOだったと言い切る自信はありません。正体はだれにもよくわからないでしょう。でも、軍の上層部では公表している以上に詳しいことを知っているような気がします」

巨大な怪光が出現

広々としたヨンドンボ軍用自動車団の構内で、裏毛の防寒服を着てカービン銃をぶら下げたファン軍曹はたった今交替して半夜勤務警備についたところ

だった。彼は他の警備員と交信するための携帯用無線電話機を手に、駐車したトラックの中で丸くなっていた。長い、冷たい、たいくつな夜になりそうだった。ファンはチャリと腕時計をのぞきこんだ——明日から三日間の休暇だ、家に帰れるぞと考えながら。

ファンはほかにすることもないのである——だから、携帯無線から警報音が鳴りひびいてハッと我に返った時間もハッキリ覚えていた。

「すぐこっちに來てくれ！」。もう一人の警備員の声がした。「空に何かいるんだ！」

午前一時二十三分だった。

ファンは戸外の寒さの中に飛び出して、覆いをかけたまま長々と並んでいるジープの列の向こうの三百メートルほど離れたところにいる警備員のほうを見た。そんなに離れていても、暗いオレンジ色に輝く巨大な丸い物体が空中に浮かんできているのがハッキリ見えた。

「何だあれは？」

カービン銃を握りしめてファンは走った。ハアハアと息を切らしながら他の二人の警備員の立っているところまで駆け寄ると、二人もその巨大な怪光をじっと見つめていた。物体——ファンは最初ヘリコプターと思った——はもう三百メートルほど向こうの水田の上空に停止している。大型トラックほどの大きさの円筒形で、完全に無音の

まま地上約三十メートルの上空に浮かんでいた。

「中からだれかがおれたちのほうを見ているぞ！」

「ヘリコプターじゃないな！」ファンはつぶやいた。

「敵機だ！ 敵機にきまつてる！」

「まあ待てよ——」ファンは先任下士官だった。「無線で司令部に連絡して援軍を呼ぼう。カービン銃でねらつたりするんじゃない！ もっと近くからよく見てみよう」

人間の作ったものではない

眼は明るく輝く葉巻型のUFOに向けたままファンはジープに乗り、エンジンをかけ、門——UFOのいる方角——のほうへ動き始めた。

ファンはジープのヘッドライトを点灯したが、が、思いなおしてまたスイッチを切った。ライトが消えたとなん、UFOは彼と反対の方角に音もなくゆつくりと滑るように動き始めた。

彼は語る。「その頃までには、そいつはけっして人間の作ったものではないと確信していました。意志をもった手で操られていることも確かでした。しかし、敵意をもっているかどうかはわかりません。ねらい撃ちしようと思えばいつでもできたのですが、それは良い考えとは思えなかったのです」

UFOも撃ち返したかもしれない、

とはファンは言わなかった。手にしているのがカービン銃一丁だけというところが頭にあったからかもしれない——正体不明の物体にカービン銃ではあまりにも心細かったことだろう。

彼はアクセルを床まで踏みこんでジープを雪におおわれたヨンドンボ高速道路に乗り出した。午後十二時から午前四時までは夜間外出禁止なので、道路はガラシとしている。今やUFOは円筒型というよりも円盤型に見え、彼は何としてでもあれに追いついてやろうという闘志のようなものを感じた。

追いついてやる……

オレンジ色の怪光は、やはり地上約三十メートルの高度で二車線の道路とはほぼ平行に、彼から遠去かるように滑空していた。何としてでも追いついてやろうとファンは、側溝に落ちないよう注意しながら速力を五十キロから六十五キロに上げた。

「ああいつかは追跡されていることを知っていて、私と鬼ごっこするつもりなんだ——私にはそんな気がしてなりませんでした。私がスピードを上げると、怪物もやはりスピードを上げるのです——ほんの少しですが」

頭にきたファンはハンドルを握りしめ、危険もおかまいなしに加速を続けた。

「追いついてやる……」

時速百十キロで走っていた彼は、すぐ目の前にバックリ口をあけた溝が現れるまでちつとも気がつかなかったのだった。ジープのことがチャリと頭をかすめたが、そのときはもう土の壁に突っ込んで割れたガラスが周囲に飛び散り、彼の身体はフロントガラスのなくなった窓わくから前に投げ出されてしまった。

午前一時五十六分、近くの米軍基地にいた別の警備隊員たちが飛び去るUFOを目撃した。

一時十九分から二時四分まで——あとなつてファンが聞いたところでは

金浦空軍基地のレーダーもこの物体をとらえていた。

ファンの持場に到着した援軍も、飛

んで行くUFOをはっきりと目撃したのである。

ファンは六時間後、軍医務室の手術室で意識を回復した。腕が折れたうえに肋骨にもひびが入っており、裂傷や打ち傷もあった。軍医たちがいそがしく手当てをしている。しばらくしてから彼は部隊の当直士官に不思議な事件を報告した。驚いたことに報告書を出せとは命令されなかった。

ファンは語る。「これで、韓国当局で飛行物体のことをもう知っているから、それとも知りたくないと思っていることが、はつきりわかりました」

一九五四年の相互防衛条約により脅威にさらされる朴大統領の国民を助けるため韓国に駐留する米軍もやはり、

会 員 募 集

★UFOと宇宙哲学の研究グループ★

日本GAP

わが国UFO研究界の先駆者久保田八郎はジョージ・アダムスキー研究家としても著名であるが、1961年より組織的な日本代表となり、日本GAPを設立。以来あらゆる困難と障害を乗り越えて、アダムスキーの特異機「GAP」を「GAPニュースレター」をすでに58号まで発行。毎月上野公園の東京文化会館で月例研究会を開催。毎月「テレビ・ラジオ」講演、テレビ・ラジオ練習、研究発表などを行い、宇宙の法則と人間の真の生き方を探求。月例会終了後は夕食会を開催して会員の親睦を図る。等、率直的個人活動として啓蒙運動を続行中である。真剣な探求者のご参加を歓迎いたします。

不定期刊機関誌
「GAPニュースレター」
 第59号発行中!!
 (主要記事) (第59号残部) 僅少

●本格的活版印刷・85版・横上
 アート紙40ページ●UFOに関連する
 の、他の惑星の偉大な人類存在の
 認識と宇宙の法則の探究専門誌

進歩した思索家のために(未公開遺稿)(完)……ジョージ・アダムスキー
 透視力開発と宇宙観……亀田一弘
 (連載)米GAP訪問記「さらばニューイングランド」(完)……久保田八郎
 その他

入会希望者は50円切手宛宛明記返信用封筒を同封の上、「UFOと宇宙」20号で
 見たと書き添えてまず案内書をお申し込み下さい。高度な哲学的研究グループ
 につき、入会は高校生以上に限ります。非会員は機関誌の1冊送ります。

〒133東京都江戸川区本一色町365-818 日本GAP(主幹)久保田八郎

しだいに広がってゆくUFO騒動のま
った中にいるのである。

二機の飛行機から六人が目撃

一九七四年十一月二十一日韓国上空
で、F4ファントム・ジェット戦闘機
が一機の空飛ぶ円盤をすごい勢いで追
跡したことは、米国防空軍もしぶしぶな
がら認めている。

二人——ジョセフ・E・スタードマ
ン大尉とビクター・E・キング中尉
——の乗ったファントムは、(レーダ
ー上で)共産軍爆撃機が侵入してくる
ように見えたので緊急離陸を命じられ
たのだった。しかし二人の眼前に現れ
たのは爆撃機ではなくて白熱した光体
だった。物体は閃光のような白熱光を
発してはいたが、スタードマン操縦士
にも追いつけないほどの快速でジグザ
グに飛行し、知的生物があやつってで
もいるように感じられた。

このUFOはソウルの米国第八軍戦
術作戦司令部のレーダーでもとらえら
れたし、前線の兵士たちからも目撃さ
れている。実際のところ、スタードマ
ンは射撃準備まですませていたのであ
る。

ところが次の瞬間、物体は薄い大気
の中へ突然消滅してしまったのだ。

それだけでは上層部にショックを与
え足りないとも思ったように、数週
間後——一九七五年一月二日——には

同じようなUFOがふたたび出現し、
少なくとも二機の飛行機から六人が目
撃した。

米海軍のグラマンS2トラッカー

——プロペラつきの対潜哨戒機——二
機が沖繩からソウルに近いK—十六基
地めざしていつものとおり飛行してい
た。機が雪におおわれた韓国の海岸線
を通過したとき、輝く光体が出現して
彼らと編隊を組んだ。「UFOは七分
間私たちとともに飛行しました」と操
縦士の一人は報告した。「その物体は
円形をしており、全体が発光していま
した。どんな航空機にもできないよう
な急旋回をやつてのけるのです」

宇宙人は私たちを

じっと見つめている？

米国防軍人も関係したこのような目撃
例はまだいろいろある。中でもめざま
しいのは、昨午米国防艦ローの全乗
組員が釜山付近の夜空を明るいオレン
ジ色の怪光が飛びまわるのを目撃した
事件であろう。

いったい何事が起こっているのか？
韓国に現れるUFOが北鮮からの有
人機でないことはもう証明済みだ。

では、いったい何物であるのか？

頭健でたくましい韓国の国民の間で
語り伝えられてきた民話に、怪物、悪
魔、それに歴史の夜明け以前から半島
をうろついていたタイシン(人間によ

く似た獣)などがいろいろと登場して
いるのは興味深いことだ。一九六四年
製作の映画「他の世界から来た生物の
王」は、韓国の小学生ならだれでも知
っている話——韓国古代文化の開始以
前に地上に降り立って人々に話しかけ
た不思議な訪問者の物語を再現したも
のである。

かつて韓国を訪れた古代の宇宙飛行
士がふたたびもどつて来たのであろう
か？ 十分な証拠というほどのものは
ないのだが、韓国南部や日本西部に残
る古代彫刻などの遺物の一部は、それ
が他の宇宙からの訪問者の作ではなか
らうかと考える考古学者たちの首をひ
ねらせている。

バージニア大学のキム・チョンシク
博士は、UFOが——韓国でもどこで
も——やっていることをよく知ってい
るなどというふりはしていない。しか
し博士は想像を絶するような仮説を立
ててみているのである。

「もし、私たちよりはるかに進歩した
他の文明人が、銀河系内で人間の住む
惑星すべてを定期点検しているとした
らどうだろう。そうすれば、大昔に宇
宙人が訪れたという伝説は説明がつく
だろう。また、宇宙人が「戦争」とい
う概念など全然所有していないで地球
人がどうしてお互いに殺しあうことに
あれほどの努力を費すのか全く理解で
きないとしたらどうだろうか。彼らの
宇宙船はかならず、私たちの惑星でも

特に軍事的緊張の大きい地点、たとえ
ば韓国などにひきつけられるのではな
いだろうか？」

「要するに」と博士は続ける。「宇宙
人は私たちをじっと見つめているのか
もしれないし、眼にする状態に不満を
感じているのかもしれない。彼らはど
んな手を打ってくるだろうか？」

現在のところ、韓国で起こる末確認
空中現象に対して真剣な調査が行われ
ているという事実はないようだ。「他
にしなければならぬことが多すぎる
からね」とある韓国の高官は語ってい
るが、「UFO研究者の話では、他の
国々の指導者たちがこの問題を真剣に
考えるようにならない限り韓国のUFO
騒動も人々の注意を集めるようには
ならないだろうということだ。

「これでは気違い沙汰だ」とソウル駐
留米軍のある中尉は言う。「何か空恐
ろしいことが次々に起こりつつあるこ
とはわかってはいるのに、だれも調査し
ようという気にもならないなんて」

だが、そのような状態が長続きする
はずはない。彼らが「人間によく似た
生物」なのかそれとも他のもののなか
はだれにもわからない。しかし韓国の
UFOの背後にひそむ力はしだいに注
目的となるうとしていく。間もな
く、だれか真剣な学者たちが、当然聞
かれねばならぬ質問を提起するように
なるかもしれないのだ。

望遠レンズは新しい世界を発見する!!

低価格で登場 スリコール交換レンズ



一眼レフの愛用者の多くが交換レンズの価値を認めながら持っていないのは、交換レンズがあまりにも高価だからだと思います。しかし、交換レンズを使わずして何のための一眼レフでしょう。できれば交換レンズはカメラよりグリーンと安い価格であってほしいものです。それが交換レンズを手軽に買い、気楽に使える条件だと私達は思います。その要望にスリコールがお応え致します。

スリコール交換レンズはできる限り安くお届けするためにユーザーへの直接販売システムでスタートしました。スリコール交換レンズの実力をお楽しみください。

●スリコールPマウント種類(付属品)35%一眼レフ用

アサヒペンタックス用 (SP, SL, ES, SPF, フジカ, マミヤ, リコー, ヤシカに使用)・オリンパスOMI用・ミノルタ用・キャノン用 (F1, EF, FTb)・ペトリ用・ニコン用・コニカ用 (FP, FS, FMは不可)・ミランダ用

●スリコール交換レンズ仕様(プリセット絞り、絞込み測光、マウント交換式)

品番	LP135	LP200	LP300	LP400	LP500	WP35
焦点距離	135mm	200mm	300mm	400mm	500mm	35mm
明るさ	F : 2.8	F : 4.5	F : 5.6	F : 6.3	F : 8	F : 2.8
レンズ構成(群/枚)	4/4	3/4	3/4	3/4	3/4	5/6
全長mm・重量g	80・340	140・420	230・550	315・700	410・790	52・150
価格	¥13,000	¥14,000	¥18,000	¥21,000	¥24,000	¥12,000
付属品	フード・マウント・ケース					マウント・ケース

●マウントのみ購入することにより2種以上のカメラに使えます。マウントのみ ¥1,500

長焦点交換レンズを天体望遠鏡に利用する



アイビスアダプター

¥1,500

アイビス

¥1,500~¥3,600

写真はLP400にアイビスアダプター、アイビス付

●スリコール オートテレコンバーター (焦点距離2倍、露出倍率4倍(数値で2倍)、構成3群3枚、重量110g、寸法・長さ25%、最大径63%)



マルチコーティング・TTLメーター連動開放測光

35%一眼レフ用のコンバーターで、撮影レンズとカメラボディの間に取付けることにより撮影レンズの焦点距離が2倍の望遠になります。手持ちレンズが標準なら望遠に、望遠なら超望遠になります。テレコンバーターにより2倍になった焦点距離は同じ焦点の望遠レンズと同様の画角、焦点深度、遠近感になります。(AEは絞り優先の電子シャッターのみ使用可能)

アサヒペンタックス用 ¥7,000

(ペンタックスSL, SP, SPF, ES)

キャノン用 ¥8,500

(F1, EF, FTb)

ミノルタ用(全機種) ¥8,000

オリンパスOMI用 ¥8,500

ニコン用(全機種) ¥8,500

コニカ用(FP, FS, FMは不可) ¥8,800

●スリコール セミ魚眼コンバーター (焦点倍率0.43、露出倍率約2倍、構成3群3枚、重量300g、長さ53cm)



標準レンズ、広角レンズのフィルターネジに取付けて超広角、セミ魚眼になります。焦点距離は標準レンズ50%なら22%に、広角レンズ35%に取付ければ15%の超広角セミ魚眼になります。焦点深度が深くなりますので一般撮影には∞で使用し、ピント調節の必要はありません。自動露出TTLは機構上変わらず使用できますし、露出倍率は2倍程度ですので、たいへん面白い超広角セミ魚眼になります。

最短撮影距離(レンズ前面から) 3cm程度

写角 標準レンズ50%の場合 113度

広角レンズ35%の場合 150度(タル型)

広角レンズ28%の場合 150度(丸型)

Gアダプターサイズ(フィルター径)

46%, 48%, 49%, 52%, 55%, 58%, 62%

¥11,500 (Gアダプター、ケース付)

Gアダプターのみ ¥600

〒121 東京都足立区平野3-7-17

振替口座東京103033

株式会社

スリービーチUFK係

電話照会・受付時間

平日午後1~5時迄

東京 (03)850-6110

●詳しいカタログはハガキでお申込み次第無料進呈致します。(電話申込み不可)

「マイナス科学」は存在するか

「宇宙人はなぜ人類と正式に交流しないのか」を読んで

小久保秀之

本誌十九号の「宇宙人はなぜ人類と正式に交流しないのか」と題する坂元邁氏の説は、最初の着想においては十分に正しいと思う。地球人類がまだ銀河宇宙の連盟と交流できるほど進化していないことが、彼らの接触が非公式である最大の理由であり、その行動が、人類の運命は人類が決定するといった宇宙的倫理にもとづくものであることは疑いない。

ところで、坂元氏は、科学にプラス、マイナスがあると指摘されたが、これはどうもおかしいのではないか。氏のプラス領域とかの定義の仕方は不正確である。マイナス領域は眼に見えない云々という定義では、録音テープの例や、あるいは電磁気という不可視的なものを扱う諸科学等については非常に理解に苦しむ。眼に見えない領域は科学の対象外という考え方など、最初から存在しないのではないか。真理は多面的であっても、唯一のものであり、プラス・マイナスに分割すること自体、無理で乱暴なことではないか。氏の定義をここに再掲しよう。氏は

エントロピー増大の方向をプラスとされている。それはそれでいいとしても、マイナス領域はマイナス科学で、というのはどういうことだろう。

現実世界は混沌とした状態であり、エントロピーの増大減少、その他ひっくりめた状態なのだ。たとえば、恒星がだんだん年をとっていくのはエントロピーの増大なのか、減少なのか？ 赤色巨星へ変化していくと、星の内部では核融合以外の反応も生じ、炭素や窒素や鉄もできる。そして赤色と化した恒星のあるものは突然爆発し、虚空にその元素をまき散らす。四散したガスはたしかに拡散してゆき、その意味ではエントロピーは増大していると言えようが、そのガスが星間物質として新たに恒星を形づくるとき（創造）には、氏の定義からしてエントロピーは減少ともいえるのではないか？

氏が指摘するマイナスの科学とプラスのそれとの相異点として、マイナスの科学は分解、分析、解剖という内への追求をしないこと、データの集積から蓋然性で真実を証明することをあげ

ているが、実際にはどのような科学においても、すべてデータを集積し、それによつてはじめて成立するものなのではないか。宇宙が膨張しているらしいことも、恒星のスペクトルの赤方偏位を観測し、その事実を積み上げた結果、確証が得られた。物理学にしても化学にしても、すべてデータの上に成立している。新しい法則は、その多くが実験と観測の繰り返しによつて見出されてきたのだ。元来、自然科学の出発点は、事実を重んじ、事実を信じることである。そこにプラス、マイナスという区別は存在し得ない。

「マイナスの科学は既知、未知に関係なく自由に未知の真理を人類の福祉に今すぐ利用できる特徴をもっている」と氏は述べられているが、これは別にマイナスの科学に限ったことではない。事実、過去の例を見ても、電磁波の正体すら判然としないのに無線機が出現したし、気体についてはほとんど無知でありながら熱気球の浮揚に成功している。

たしかに、現在、我々は自分の知っ

ていることだけですべてを説明する悪癖がある。これが真の発展の妨げになることは坂元氏も言及されている。だが、私は氏のプラス・マイナスの考えには賛成しかねる。氏はもちろんニュートンのことをご存知だろうし、次のような彼の言葉を耳にはされたことがあるかもしれない。「私は未知の大海の前にした砂浜で、一つの貝がらを見つけたにすぎない」（出典を調べたがわからなかった。記憶は不正確だがこのような内容だった）。彼は人間の無知さを率直に認めている。

我々には、まだまだ未知の荒野が広がっている。氏はそれを「マイナス」と呼んでいるだけではないか？

さらに付け加えるなら、物理学が決定論であったのは過去のことと、今や物理学は確率論である。物理現象が確率的であることの意味は、そのなかにいわゆる奇跡というものを容認し得ることである。エントロピーの概念の発生である熱力学第二法則を見てみよう。たとえば、机の上のコップに入った水が溶けて水になる現象でも、その

真		理	
見える	見えない	プラス領域	マイナス領域
肉体	心	非生命	生命
物質	精神	破壊	創造

●坂本邁氏の定義（本誌19号、p.42より）

水が反対に氷になる確率は0ではない。ほとんど0に近いが、逆が起こることは絶対にないとは言いきれない。

絶対的な客観性

つまり、ここにおいて真に問題となるのは、エントロピーを支配するもの、その他もろもろの現象の背景にあるものの宇宙的構造である。私は、従来の自然科学が足場になっている絶対的な客観性というのが少々怪しいように思う。念力でサイコロの目が左右できるといふのは、物理現象等の確率的根本に、主体、あるいは他の要因が関与していることの証しである。すなわ

ち、自然科学という客観性は完全な客観ではなく、まだ別の要素を背景にもつ。だから私はこう考える。現在の科学的認識の根底にある客観性が、実はそうではないという点に地球人類がいまだに真理の半分しか理解していないことの意味があるのではないかと。

主体性と客観性

心理学関係で、これに似たような考えを示す者がいるのを発見した。（ある意味ではこちらの発想の方が私などより数段上だ）。精神分析学など一連の発展は、人間の行動をあらゆる角度から分類し、行為、心の運動あるいは種々の衝動の作用と理解するにいたった。フロイトは人間の行為をすべて性衝動で説明しようと試みた。だが、そういう分析だけでは現実を理解できない。平凡な「恋愛」という出来事を十分に説明できなかった！そこで再び科学は主体にもどり、自我心理学なるものが成立した。しかし現在、自我心理学や哲学は、非常に進歩を妨げる自然科学的思考分裂、すなわち主体と世界との分裂を克服できていない。

「しかしながら将来ますます、我々はためらわず次のように考えるようになるだろう。すなわち内世界的構造と外世界的知覚、自我像と世界像、また主体性と客観性とは、けっして互いに別

々の独立した所与と見なすべきものではなく、現実においては両者は単に存在の一つの基本的構造から、すなわち人間の世界内存在から導かれた概念なのである」

昔、一元論的だった哲学が、デルカトに始まる合理主義の発展などから二元論的になり、以後、現代社会では人間と世界及び社会との間の矛盾に悩み、そして混乱し、衰退している。しかし、いかに肉体は物質で、心は霊的であっても、生命現象は両方が同時にあつて成り立つものである。こういった点からも、真理をプラス・マイナスなどに分割することは、今まで過去において犯されてきた分析、分解のしすぎと同値であり、かえって人間という心と肉をもった存在を不安定で影のようなものにするだけだ。これでは大宇宙とその構成に一役買っている生命、物体との間の深い関係を認識するなどとうていできない相談である。

補足

前述の心理学関係の引用はメダルト・ボス「現存在分析の倒錯理論」によるもので、至文堂の現代のエスプリ六十一より出典。

なお、これは本文のテーマから若干離れるが、メダルト・ボスは同著作の終わり近くで大変興味あることを述べている。恋愛についてであるが「我と汝の愛の統一の中に、そしてむしろそ

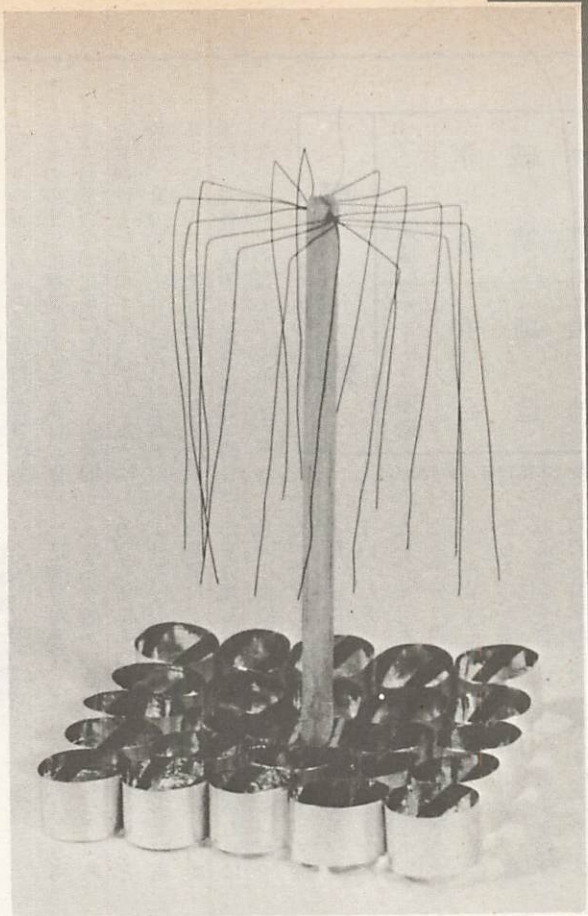
の中においてのみ、人は彼の豊かな可能性を余すところなく実現し得るのであり、無限と永遠の体験及び彼の地盤の故郷性の経験にまで自らを拡大するのである」。つまり恋愛をすることによって世俗的な有限性や、その中にある虚無を克服できる。そして恋人と自己の両者を通じて全世界の永遠の本質にせまり、単なる有限の個体生命でない無限の可能性を体験できるのである。同様のことを他の学者も述べている。「真の私たちであることは、常に二重の意味において男性性・女性的である。すなわちそれ（私たち）であることこそ自身が男性性・女性的であり、またその成員の各々が男性性・女性的である」。なぜなら、一人一人は創造的かつ受容的かつ生産的であるから。そしてそれは「個人を越え、性を超越した永遠なる人間」である。

このような、恋愛に対する理解はけっして新しいものではなく、また特異な存在でもない。キリスト教的な神もこれに近い存在であると思われる。さらに、これは直感だが、ジョージ・アダムスキーの会った金星人たちが男性と女性を合わせたような姿、顔立ちであつたこと、また彼らの宇宙船の中の《神》を描いた肖像画もやはり男性女性の渾然たる融合の姿であつたということに一脈通づるのではなからうか。清家新一氏は愛交によるスピリン単極粒子の交換によって老化を防げると述べている。

こういった考えや事実は、生命と物質、あるいは宇宙との間の根元的関係を追求するものである。

イオンクラフト浮上実験成功!

■菊地喜三



イオンクラフトは未来の推進
力のアイデアとなるであろうか

が大きくなるようにすれば地球との間で吸引力が働くようになる。
また、宇宙空間にも宇宙電界があるといわれているので、これを利用して飛ぶことも可能である。

九種類の実験

私がこの実験を行ったのは、学校の学園祭で何をしようかと迷っていたときに、イオンクラフトを作って飛ばそうではないか、ということが始まりである。そのときは記録をとることができなかったため、その後あらためて実験をした結果がこれである。

この実験で使用したイオンクラフトはコズモNo.8(現UFOと宇宙)のの記事「天体オーラと宇宙電界の謎」を参考にした。使用した材料は五ミリの角のバルサ材、〇・二ミリ径の銅線、及びビニール線の中の一本の銅線数メートル、アルミ箔(カラーホイールとい

イオンクラフトは電界を利用して飛ぶといわれている。

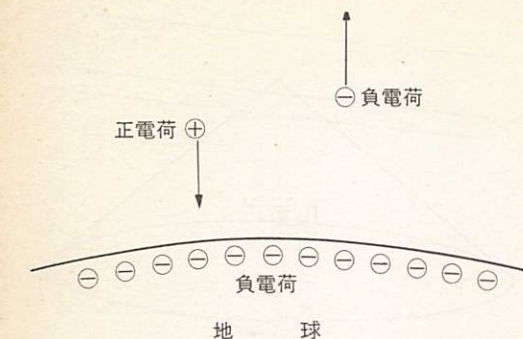
電界は電荷によって生じる。電荷には、クーロンの法則により、同種の電荷の間には反発力が働き異種の電荷間には吸引力が働くという性質がある。つまり、正の電荷どうし、または負の電荷どうしでは反発力が働き、正と負

の電荷では吸引力が働くというものである。

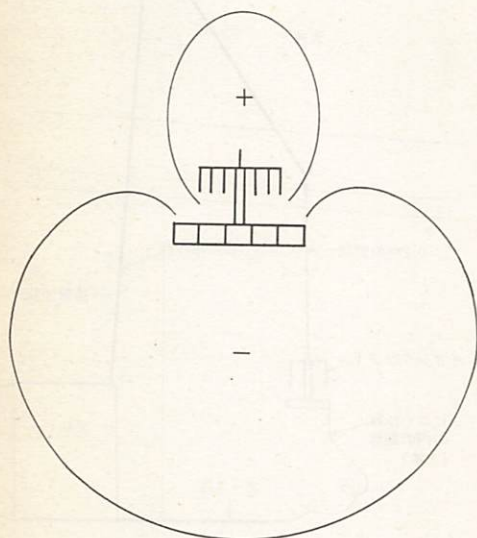
では、これを利用して物体を地球から浮かび上がらせようとするには、地球は負の電荷をもち負の電界が生じているので、物体に負の電荷を与えて負の電界を作ればよいわけである。これで物体は地球から浮かび上がる。

しかし、負の電荷のみをためることはなかなかできない。(図1)電荷をためるものとしてはコンデンサーが考えられる。コンデンサーの性質は電気をためることだが、これは正の電荷も負の電荷も同量にためる。これでは正の電界も負の電界も同じ大きさになるため、それ自身の電界は互いに打ち消し合って0となる。これでは地球からは何ら影響をうけなくなる。しかし、コンデンサーの電界のできかたを非対称電界になるようにその構造を調整すればよい。つまり、どちらか一方の電界が他方の電界より大きくなるようにすればよいわけである。(図2)

イオンクラフトは一種のコンデンサーであると考えることができる。またそうしたものがイオンクラフトだともいえる。したがって、イオンクラフトが負の電界が大きくなるようにすれば地球との間で反発力が働き、正の電界



●図1

イオンクラフトの
非対称電界

●図2

う名で一番薄いらしい)、数種の接着剤(アルミ箔用に瞬間接着剤、アルミと木部にはゴム系接着剤を使用)、また高電圧の電源としてカラーテレビのアノード端子(テレビのブラウン管に用いる高電圧出力端子で出力電圧は約二万五千ボルト)を使用した。イオンクラフトの理論についてはコズモNo.8に記載されているので省略する。ここでは九種類の実験をしたので順を追って記述したい。

(一)

この実験は、どの位まで針電極をなくしたら飛行(この場合の飛行とは立体角をもつ回転運動で、イオンクラフトの柱が床と平行になって運動すること

とを意味する。図3)しなくなるか、

または浮き上がらなくなるかを針電極の数と大きさについて調べたもの。二機のクラフトを使ったが、針電極の太さと数は別である。針電極の数は一、

二号機とも二〇本から始め、一号機の針電極の太さは〇・二ミリ、二号機のそれは〇・〇八ミリの銅線。

クラフトの質量は、計りがないので正確に測定できなかったが約一・三一〜一・五gだと思ふ。

針電極と平板電極との間隔は二十五ミリ。なぜコズモNo.8の記事のように十五〜二〇ミリにしなかったかというと、以前の実験ですごい放電をしたためである。そこで短かく切ったところ約二十五ミリのところで放電が

止まってしまうく浮上し、さらに回転運動を始めたからである。

イオンクラフトと電源との接続は図4のとおり。(図5も含む)

実験1 一号機

1、テレビのスイッチを入れてイオンクラフトに電圧をかけると、見事に放電した。

2、そこで今度は電極間を三〇ミリまで外側へ全端子を広げた。電圧をかけると少し浮き上がっただけ。

3、今度は針電極を全体的に内側へ入れて電圧をかけると、不安定ながらも左右に運動し、その後約十秒で思うように浮き上がった。

4、6、今度は針電極を二本減らし

十八本とした。あとは3と同じ。この場合、放電もしたが、急に垂直上昇をした。また針電極を適当に変化させると不安定ながらも回転した。

7、針電極を二本切って十六本とした。この場合は前よりはよいが、何か社交ダンスをしているような感じで、これでもまだ放電する。

8、7での放電をなくするようにすると垂直上昇した。

9、8まで使用していた〇・二ミリのアース用の銅線では少しじやまなように感じたので、今回からは〇・〇八ミリの銅線をアース用に使う。すると瞬時に急上昇し、天井に激突した。

10、針電極をもう二本切り十四本にすると、気持がよいほど静かに急上昇し、9よりは早めに回転しようとする動きをみせた。このときから、針電極の垂直部も内側から柱と平行にした。

11、針電極を十二本にしたときは、十四本のときより上昇はせず、早く回転に入ろうとした。

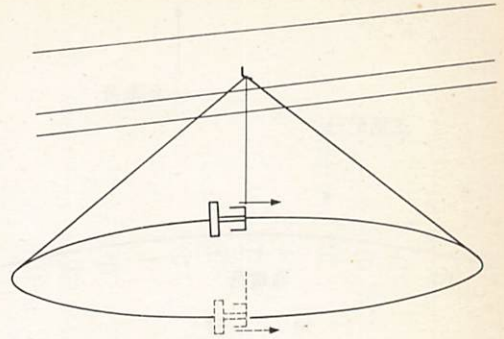
12、針電極を十本とした。11とあまり変化なし。

13、針電極を八本とした。このころから目に見えてイオンクラフトの推力が弱くなっていくのがわかる。

14、針電極を六本とした。13より推力は弱いが急上昇した。

15、針電極を四本としてもどういいうわけか急上昇した。

16、針電極を二本とした。以前まで



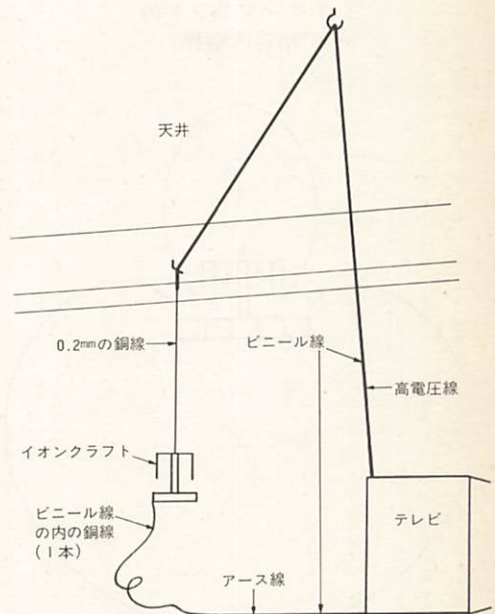
●図3

は上昇、または回転していたが、今度は放電するばかりであった。

17、放電をなくそうと思い、針電極と平板電極との間を三十五ミリまで離れたが、まだ放電した。

18、16と17で放電するのは針電極と平板電極との位置がわるいのではない、両極間の間隔は三十五ミリとし二本の針電極をイオンクラフトの平板電極の対角線上に一直線になるようにし、アース線をその針電極の任意の一本の下へ接続したところ、また回転するようになった。

19、針電極を一本とすれば上昇はしなかったが、予想に反して、きれいな飛行ではないがそれなりに回転して飛行した。このときの針電極とアース線は同じコーナーである。



●図4

20、今度は、針電極はそのまま、アース線を反対のコーナーへもっていった。19よりうまく回転した。

21、20と針電極とアース線の位置関係は同じだが、針電極の垂直部分をすべて切りとり、水平部分のみとした場合はすこし浮き上がっただけで、回転まではしなかった。

22、それではというので、針電極の水平部分の端を五ミリ下に曲げてみたが少し浮き上がるだけであった。

23、さらに五ミリ曲げてみたが、あまり変化なし。

24、というので、針電極もすべて下へ曲げたが、回転しようとする動きをみせるものの、浮き上がる程度。このときの針電極の垂直部分の長さは二十ミリ。

25、針電極をすべてなくした場合でもほんの少し浮き上がった。上から吊っている陽極線が針電極のかわりになっているようである。

実験2 二号機

二号機の両電極は三十ミリとして実験した。

1、3、針電極は二十本である。この間うまく回転はしないが、どうにか飛行をした。また放電も多発した。

4、針電極を十八本とすると放電もしたがうまく回転するようになった。

5、針電極を十六本とすると4よりはうまく飛行した。

6、12、この間は針電極を二本ずつ少なくしていった。あまり急な変化はなく、徐々に推力が弱くなっていくの

が認められた。が、飛行はしやすくなった。

13、14、この間は針電極を一本とした。放電するだけだった。

15、放電をなくそうと思い、針電極の垂直部分を十ミリほど短くした。がそれでも放電するだけ。

16、それではというので、垂直部分をすべてなくしてみた。結局は、残りの水平部分を上へ向けない限りどのような形にしても放電した。

(11)

この実験では、針電極の水平部分をどのくらいまで長くすると飛行しなくなるかを調べた。このイオンクラフトも針電極以外は一、二号機と同じ大きさである。これを三号機とする。

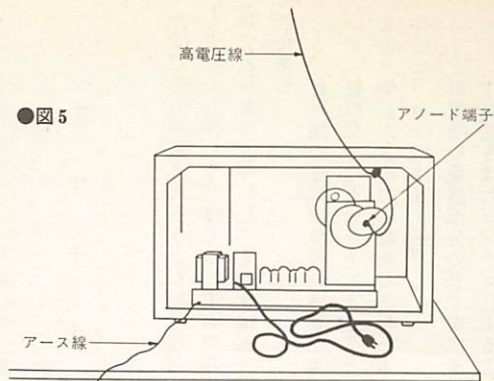
ただ、この実験で針電極の短いのを長くすることはできないのははじめから長くしておき、それを短くしていった。この針電極の水平部分の長さ(直径)を十一センチとし、針電極端子を十二本として実験を行った。この針電極の水平部分はそのつど一センチずつ切っていく。また、アース用の線は○・○ハミリのものを使用した。

実験3 三号機

1、この場合、平板電極の幅が七十ミリなのに対し、針電極の幅が広い。ため正の電界の成分が大きくなり、ふ



● 図5



らふらしているだけであつた。この場合は地球に反発されているのではなく逆に吸引しているようであつた。

2、針電極の水平部分の直径を十センチとしてみたところ、すこし浮き上がり回転しようとしている様子だったが、ただそれだけに終わった。

3、2の針電極を多少変化させたところ、左右にはどうにか振れるようになった。

4、針電極の水平部分の直径を九センチとしたところ、どうにか回転するようになった。しかし、これはまるで穴の多い道路を自動車が行っているようなガクン、ガクンという飛行であつた。

5、針電極の水平部分の直径を八センチすると4よりはまじに回転するようにになった。

6、針電極の水平部分の直径を七センチすると、不安定ではあるけれども飛行した。ただ、今回は左回転したかと思うと急に右回転し、また左回転をするという飛行であつた。

7、針電極の水平部分を直径六センチとし、アース用の銅線を○・二ミリにすると飛ばなくなった。

8、針電極の水平部分の直径を五センチとすると一、二号機と同じようになりまく回転した。

(III)

この実験は、今までは針電極の垂直

部分がすべて下向きにしたらどうなるか、またその上を向いている長さは飛行する場合にはどれくらい必要かを調べるのが目的である。この機体は針電極の垂直部分がすべて上向きであるため、針電極の水平部分と平板電極との間隔を三十ミリとし、垂直部分の長さは三十ミリとした。(図9)

実験4 四号機

1、この方法でも飛行すると思つていたが、期待にはずれてふらふらするだけであつた。

2、針電極の垂直部分の長さを二十五ミリとしても、少し浮き上がる程度であつた。

3、そこでもう五ミリほど切つてみたが、これもよい結果は出なかつた。

4、さらに、もう五ミリ切つてみると、これもだめであつた。

5、もう五ミリ切つて垂直部分の長さを十ミリとしたところ、やっと回転しようとするきざしが出てきた。

6、もう五ミリ切つてみたが、これは5よりよくなかつた。このあと五ミリ切つてしまうと針電極の水平部分のみとなるが、これは今までに行つた実験の結果からみても飛行しないことは火を見るより明らかなので今回の実験はこれで止めた。

(四)

この実験の前に平板電極の数を四十

九個(七×七)にして実験するつもりであつたが、平板電極の数を七×七にしたとき、針電極の水平部分の長さとして垂直部分の長さの比に疑問をもつたため、その前に平板電極の数をもつた五×五とし、水平部分の長さとして垂直部分の長さとの比を求めることを先に実験した。

この機体は柱を最初十一センチの長さにし、そのつど柱の長さを一センチずつ切斷していき、水平部分の長さとして垂直部分の長さの比の最良点を調べていった。ただし、この場合、針電極の水平部分の長さは五センチと一定にして実験した。針電極は十二本。(図10)

実験5 五号機

1、垂直部分を七センチと長くしたところ、北↓東↓南↓西↓北という向きで飛行した。このときは放電はまったくなく静かな飛行であつた。水平部分の長さとして垂直部分の長さの比は五：七である。

2、針電極の垂直部分の長さを六センチ(柱の長さは十センチ)としたところ急上昇した。が、アース線が接触したため放電をおこし落下した。その比は五：六である。

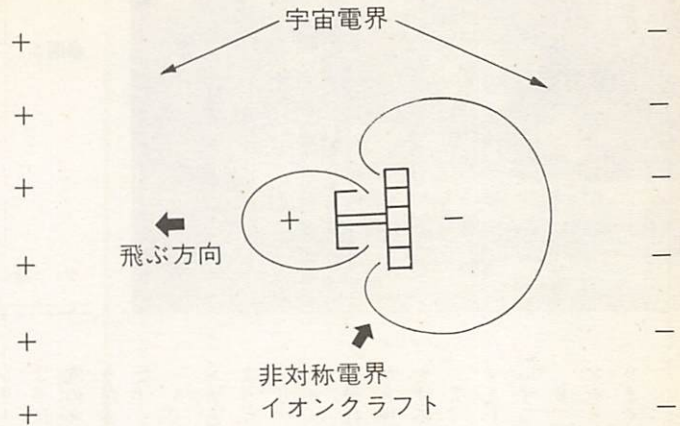
3、針電極の垂直部分の長さを五センチ(柱の長さは九センチ)とした場合でも急上昇した。その比は五：五。

4、針電極の垂直部分の長さを四センチ(柱の長さは八センチ)とした場合

合は、先に回転に入ろうとしたけれどもすぐに上昇した。ほんのわずかの時間で天井まで上昇した。その比は五：四である。

5、針電極の垂直部分の長さを三センチ（柱の長さは七センチ）とすると4より少し大きめの回転をしてから上昇した。その比は五：三。

6、針電極の垂直部分の長さを二センチ（柱の長さは六センチ）とすると

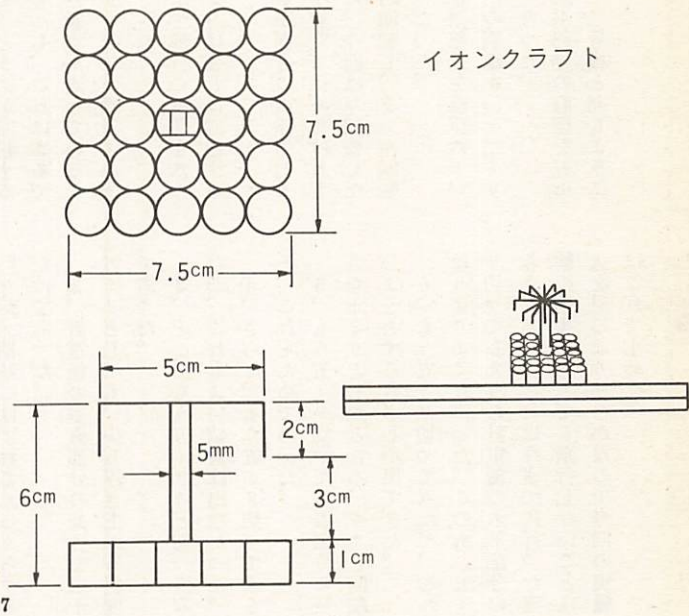


●図6

これは大きな立体角で飛行した。比は五：二である。立体角については図のとおりである。

7、針電極の垂直部分の長さを一センチ（柱の長さは五センチ）としたときは6よりさらに大きな立体角をえがいて飛行した。その比は五：一である。

このあとは、針電極が水平部分のみとなるため以上で実験を止めた。この



●図7

ときのイオンクラフトの飛び上がる方向はすべて北向きで、回転方向もすべて同じである。

(五)

この実験は、平板電極が七：七の大きさに対してどれくらい水平部分があれば最良の効率を出すか調べた。この針電極の水平部分の最大の長さ（長径）は十五センチ、垂直部分の長さは五セ

ンチ、針電極の数は十二本である。この実験方法は実験3と同じ。

実験6 六号機

1、柱の長さは八センチと一定にし針電極の水平部分の長さが十五センチのときは約三センチ浮き上がった。しかし、これは平板電極の大きさに対して針の数が少なく、かつ細く、となりの針との間隔が広いため、少し浮き上がったのだと思う。

2、針電極の水平部分の長さを十三センチとすると、約十センチほど浮き上がった。このとき、この実験では初めてのことだが、平板電極の端がすべて振動した。

3、針電極の水平部分の長さを十一センチとすると、どうにか上昇し、上下方向に動きながら二、三回転したあと、うまく飛行した。回転方向は北→東→南→西→北であった。

4、針電極の水平部分の長さを八センチとすると、やや西から上昇し、すぐに3と同方向の回転をした。

5、針電極の水平部分の長さを七センチとすると、ゆるやかな垂直上昇をした。これも北へ向かって浮き上がる。

6、針電極の水平部分の長さを六センチとすると、急上昇をするかと思いきや、何らかの拍子でアース線がからまり、上昇中のイオンクラフトの平板電極の一部を下げ、その反動で対角線側が上がり、針電極との間で放電をお

こした。

7、こんどは6のようにならないようにすると、西側から北側へ八分の一回転したのち上昇した。

8、針電極の水平部分の長さを五センチとすると、南側から西側へ四分の一回転したのち上昇した。

9、針電極の水平部分を四センチとすると、西側から北側へ六分の一回転をしたのち上昇した。

10、針電極の水平部分の長さを三センチとすると、今度は回転するのみで上昇はしなかった。

11、針電極の水平部分の長さを二センチとすると、飛行はしたが回転方向は3→10と逆で、北→西→南→東→北という向きであった。

(12、13略)

ここで、針電極の水平部分が二センチのときに針電極の垂直部分を適当にすると上昇させることができた。またそれが一センチのときは上昇せず、回転した。このときの飛行速度は平板電極が五×五の大きさに較べて少し遅いようである。

(六)

この実験の目的は実験5と同じ。ただし、平板電極を七×七として実験した。針電極の水平部分の長さは六センチで一定にし、垂直部分の長さは十一センチ(柱の長さは十五センチ)、針電極の数は十二本とした。

実験7 七号機

1、針電極の垂直部分の長さを十一センチとしたときは放電しながら飛行した。回転方向は北→西→南→東→北であった。針電極の水平部分の長さと垂直部分の長さの比は六：十一。

2、針電極の垂直部分の長さを十センチ(柱の長さは十四センチ)とすると、1より快調に飛行した。回転方向は1と同じで、飛行速度は速い。その比は六：十。

3、針電極の垂直部分の長さを九センチ(柱の長さは十三センチ)とすると、どういふわけか放電ばかりした。最初に浮き上がったときに上昇するかと思ったが、さにあらず、回転するだけだった。回転方向は1とは逆方向で、このときは飛行中「ザーッ」という音を発した。その比は六：九。

4、針電極の垂直部分の長さを八センチ(柱の長さは十二センチ)とすると、いいところまで上昇するけれど長続きせず、すぐ降下して飛行した。回転方向は3と同じ。その比は六：八。

5、針電極の垂直部分の長さを七センチ(柱の長さは十一センチ)とすると、だいたい4と同じ運動をした。ただし回転する速度は4より速い。その比は六：七。

6、針電極の垂直の長さを六センチ(柱の長さは十センチ)としたときも、4や5と同じ運動であった。ただ、放

電をしながらである。その比は六：六である。

7、針電極の垂直部分の長さを五センチ(柱の長さは九センチ)とすると、今度は上昇はせず飛行するのみ。また放電も多発した。回転方向は1と同じで、その比は六：五。

8、針電極の垂直部分の長さを四センチ(柱の長さは八センチ)とすると7とあまり変わらない。その比は六：四。

9、針電極の垂直部分の長さを三センチ(柱の長さは七センチ)とすると、これはコウモリが飛んでいるのかと思われるほど多くの放電をしながら飛行した。回転方向は1と同じで、その比は六：三。

10、針電極の垂直部分の長さを二センチ(柱の長さは六センチ)とすると、どうも飛行しにくいようだった。このときも放電した。(11は略)

(七)

この実験の目的は実験1、2と同じである。平板電極の数は七×七だが、針電極の太さは〇・二ミリと〇・三ミリのものが八号機で〇・三ミリのそれは九号機。八、九号機とも針電極の水平部分と垂直部分の比は六：七。

実験8 八号機

1、この針電極の数は二十本からに

本格的UFO研究団体

日本宇宙現象研究会

この度、単行本として「未確認飛行物体」の調査報告(現地調査報告)を出版し、図版多数掲載150部限定・非売品(会員にのみ送呈)。

会誌「未確認飛行物体」No.7 (特大号)

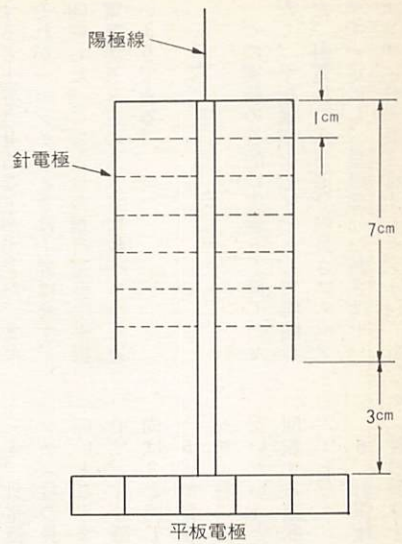
○主な内容(予定、いずれも仮題)
日本UFO研究変遷史……荒井欣一郎
謎のUFOメッセージ……並井伸一
UFO研究の諸問題……池田雄茂
球電とUFO現象……加藤
豊田市のUFO写真とはトリックか？
(現地調査報告)……丹羽正二郎
甲府UFO着陸事件の真相
(現地調査第二報)……林一男
甲府UFO着陸事件と放射能……雲英夫
土偶宇人説の探究……高橋恒夫
マンテル事件とCIAの秘密……志水一夫
UFO写真鑑定法……大槻哲三
誰も書かなかったUFOの証拠……丹羽公一
UFOの怪談……高橋昌公
地球空洞説とUFO……丹羽公一
ライティングライツ最後の秘密……志水一夫
B5判・120～130ページ以上・高級オフセット印刷・写真、図版多数掲載150部限定・非売品(会員にのみ送呈)

当会では、興味関心をおもちの方なら男女年齢等関係なく、UFOの調査報告、会員には会誌送呈のほか研究資料、講義会費、500円(マーク入り会員証交付)年会費、1年間2,000円(通常会誌4号分)金および入会費、希望者、住所氏名を明記の上、入会費を添えて、振替、書留等でお申し込みください。

〒150 東京都渋谷区神山町5-2

日本宇宙現象研究会

振替：東京6-128740 (当会是非営利団体です)



●図8

したいと思ったが十八本しかなかったため十八本からになった。これは今までのどの飛行より速度が速く、陽極線が天井の近くまで上がり、ときどき天井にふれてショートすることがあった。速度は二回りするの約二秒ほど。回転方向は北→西→南→東→北。

2、針電極を十六本としても1とあまり変わらない。回転方向は1の逆。

3、針電極を十四本とすると、2よりはいくらか推力が弱まった。回転方向は2と同じである。

4、針電極を十二本とすると、3とあまり変わらないか、いくらか弱めであった。回転方向は2と同じである。

5、針電極を十本とすると4より推力が小さいかと思ったが、さにあらず2とはほぼ同じくらい。回転方向は2と同じ。

6、針電極を八本とすると、これも

3とあまり変わらない推力があり、回転方向は1と同じ。

7、針電極を六本とすると、6より推力は弱くなった。このあたりが今までの飛行と同じくらいの立体角をもちはじめた。回転方向は1と同じ。

8、針電極を四本としたとき、針電極の位置は対角線上にもっていった。推力は7より少し弱いようす。回転方向は2と同じ。

9、針電極を二本としたときも、針電極は対角線上においた。こうなるとやっとなんか浮き上がり飛行した。回転方向は2と同じ。

10、針電極は一本でアース線の上にもってくると五センチほど浮き上がったのみ。

11、針電極とアース線は、対称にすると10に左右の振れを加えた運動をしなければならぬ。

実験9 九号機

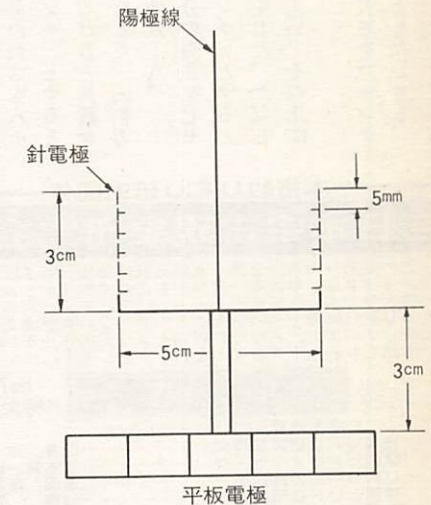
1、針電極は二十本。これは何回やっても放電するだけだった。

2、針電極を十八本としたが、これも放電するだけだった。針の数が多くても放電することがあるので、切ったがだめなようであった。

3、さらに二本切ったが、これも放電した。

4、六本切っても放電するということは両電極間が短いためだと思い、五ミリ切ってみたところ、やっとうまく飛行した。このときは、はじめ左右に振れ、その振れが大きくなって回転に入ったもの。回転方向は北→西→南→東→北。

5、針電極を二本とすると、4より早めに回転した。回転方向は4と同じである。



●図9

6、針電極を十本とすると5とはほぼ同じ。回転方向は4の逆である。

7、針電極を八本とすると6より推力は弱い。

8、六本以下ではまったく浮き上がらない。

以上が私の行った実験結果である。この後、まだ実験をするつもりでいるが、あまりこれを長く続けていると身体が重く、鈍く感じられるので、内田秀男氏が言われているように、必ず熱い風呂に入った方がよい。

このことから、電圧が二万五千ボルトのとき、平板電極が五×五(二十五個)の場合は針電極の水平部分の長さ五センチ、垂直部分の長さ五×六センチ、針電極の数十四〜十六本、また七×七(四十九個)の場合は水平部分が六センチ、垂直部分が六×七センチ、針電極の数十八〜二十本がいちばんよいようである。

イオンクラフトは電界を利用して飛行している。地球そのものは負の電荷をもっているため、それと反発する負の電荷を作れば浮き上がる。イオンクラフトは一種のコンデンサー、と考えればよいと思う。コンデンサーは電荷をためるものだが、これは正負の電荷をためる。これでは正負の電界の大きさは等しくなるが、イオンクラフトはこの平衡状態をこわし負の電界を大きくさせたものだ。

お望みの機種が
お求めになれます
メーカーから
ユーザーへ！

サテライト 天体望遠鏡

★ヤマモトの天体望遠鏡は
海外(アメリカ、フランス、
イタリア、ベルギーetc.)
で絶賛を博しております。

★この他多機種とりそろえてい
ます。詳しくは 250 円切手同
封の上カタログをU係へご請
求ください。

株式 山本製作所
会社

〒174 東京都板橋区大原町5-3

☎(03)966-2408

AE-108

●有効径：108mm

●焦点距離：1600mm



UFO目撃レポート

●高速の大型母船が

「UFOと宇宙」毎号読ませていただいています。私も何度か目撃レポートに載せていただいておりますが、今度のは私が数々目撃しましたUFOの中でも最も大きく、一番初めに見たUFOを紹介いたします。

坂野康隆 13歳 天羽中学校

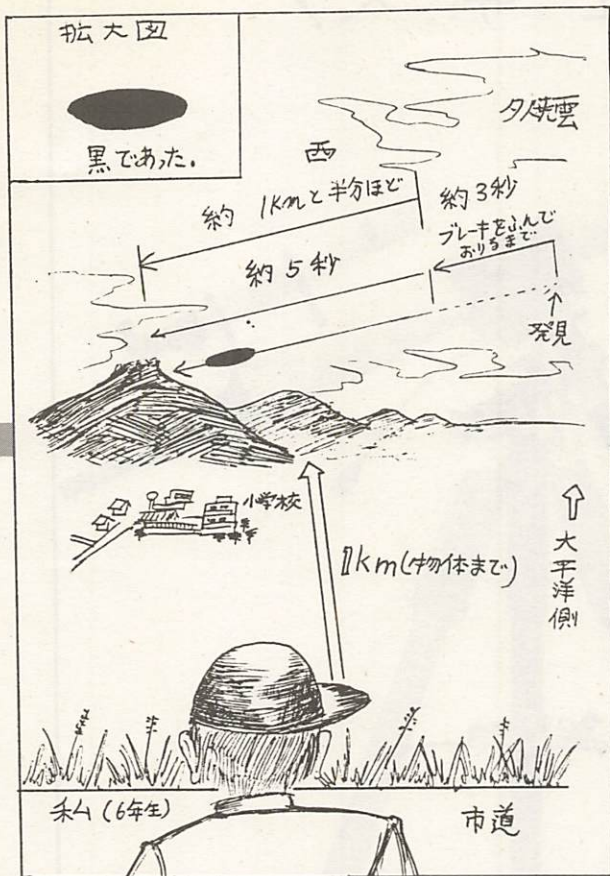
目撃日時 一九七四年九月中旬午後4時頃

目撃地点 通学路（小学校の時の）

天候 晴

目撃継続時間 約5秒

同時目撃者 私しか見なかったが兄が隣にいた。（兄を呼んだ時はもう見えなかった）



観測方法 肉眼

物体について まっくらで1kmはなれていたのに見えた大きさが2・3cmもあり、超大型母船と考えられる。とてもはやくあつというまに消えた。

飛行状態その他 自転車で行中ふと左側の方（西）を見ると突然、大きな黒い葉巻型の物体が目の中に飛びこんだ。私はブレーキをひいて自転車をとめるなり「あつ円盤だ！」と叫んで兄をよんだがすぐに山にかくれてしまった。物体は一直線にとつてもはやく飛行していた。一週間後同じ物体を同時刻見た。

(〒299-16 千葉県富津市長崎279-13)

●朝から強い予感がして

三浦勇二 15歳 旭が丘中学校3年生

目撃日時 昭和50年8月終りごろ。午後8時ごろから午後9時ごろまで。

天候 晴れ（少々雲あり）

目撃継続時間 約1時間

同時目撃者 兄となりの人2人。

観測方法 肉眼、カメラ

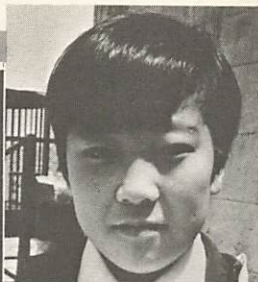
物体について 飛行物体の型は距離はわからないから正確ではないが光っている球だと思う。大きさは不明だが見たところ星ぐらいだ。色についてはオレンジ色や黄色や白色にややかわっていたように思えた。

飛行状態 飛行中形態の変化はなかったと思う。光度の変化については正確にはわからないがほんの少々かわったりしていたみたいだった。速度は飛行機より遅かったみたいだった。高度はすくく低空だった。300メートル位先の体育館の影でみえなくなったりするから。

その他 この日は朝から円盤を見れるような気がした。だから一日中、カメラを三脚につけ、まっていた。夜になり、こうふんは高まった。そして8時になって学校の方をふいに見たくなって見てみた。その瞬間ぼくは、「どきっ」とした。ゆらゆら2つぐらいの光の球が動いているではないか。ぼくは、まどを乗り出してカメラで1枚とった。と、とたん体育館にかくれてしまった。ぼくは、少々こわい気持ちになってきたことを忘れていない。ぼくは、まどではだめと、一階のやねの上で三脚をしっかりとつ

凡例

- ①氏名(年齢・職業・学校名)
 - ②目撃日時
 - ③目撃地点
 - ④天候
 - ⑤目撃継続時間
 - ⑥同時目撃者
 - ⑦観測機器・方法
 - ⑧物体について
 - ⑨飛行状態その他
- () 内は目撃者の住所



けて、また待っていた。「また来た」と思っ
て兄をよぶ。すると、どういうわけか、と
なりの人も気がついて目撃したようだっ
た。第二回目の出てきたのはそのときで、
そのときが最後だったと思う。音は全然
なく、時々点滅しているようだった。すぐ
そばの鉄塔の光より小さかったと思う。U
FOのこの時の飛び方は、急に上にあがっ
たり、ゆるやかにスーとおちたり、少し止
まったりしていた。少しもどったりしてい
た。人工衛星はみたことはあるが、それ
ではない。

撮影用具 カメラ アサヒペンタックス
フィルム コダックトライX レンズ ア
サヒペンタックスSMCタクマー200mm
とコムラーテレモア95 三脚 レリーズ使
用、しほり 1.8 シャッタースピード B
開放 5秒、10秒

(〒253 神奈川県高座郡寒川町宮山1999の14)

●テレパシーに答えた円盤

和地裕子 13歳 奥沢中学校一年生

目撃日時 昭和五十一年一月十四日、午後2時

50分頃

目撃地点 奥沢中学校校庭

天候 晴れ 目撃継続時間 3、4分

同時目撃者 平嶺悦子 五月女律子 木沢早

苗 福来美子 田畑恵里(全員同年)

その他 私たち5人はテレパシーによるU

FO呼び出しに成功したのです。テレパシ

ーを送った時間は、2時20分から2時45分

まで、学校の六校時目のことです。本当だっ

たらこの時間は学活だったのですが、私た

ちはこの機会をのがすまいと、さっそく校

庭のすみに行き後向きに手をつないで輪を

作った形でテレパシーを集中させました。

空は雲一つなくすみわたり私たちにとって

はまたとない絶好の日でした。

遠くからかすかに聞こえる飛行機の音、

鳥の声、そんな中で時間は私たちがテレパ

シーを送り始めてから約20分を過ぎたで

しょうか。UFOはいっこうに姿を見せま

せん。私たちはつないでいた手を放してい

ろいろな話を始めました。「どの辺から

UFOが飛んで来ると思う？」とか中でも

「UFOがここへ来てくれると思う？」と

言うことに対しては皆「何だかもうすでに

ここに来ている。そのくせ姿を見せてくれ

ないようなとにかく異様なふんいき」とい

う一つの意見にまとまったのです。

そんな話をしながら私たちは校庭を少し

歩き始めました。と、急に私と一緒に歩い

ていた五月女さんが「あれっ」と言いなが
ら手を引っぱったのです。「今、ギンギラ
ギンに銀色に光った物がすごいスピードで
そこを横切って体育館の後ろにかくれちゃっ
た」と言うのです。それを聞いて「ついに
きたか」とばかり私は胸を躍らせました。
とにかく、その物体が飛んで行った方向へ

私たち2人は後の3人が呼ぶのも聞かず走
りました。でも、見える所まで来て、空を
見た時にはもう物体の姿は見えず、どこに
行ったのかもわからなくなっていました。
みんなの所へもどりの事を話してみ
ると、「じゃあ、それが円盤かもしれない」
ということになったのです。と、はるか遠
くにさっきの物体らしき物が横に飛行して

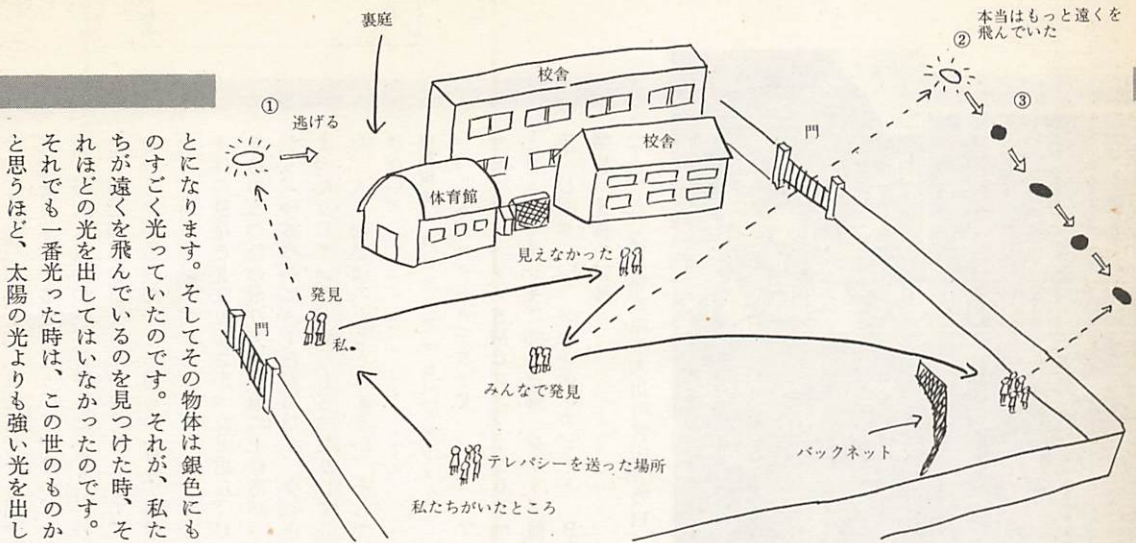
いるのを発見。この物体を見たたん「あ
れは円盤じゃなくて飛行機だ」とゲラゲラ
笑ったみんなでしたが、様子がおかしいの
でとにかくその物体の方へ行ってみまし

た。走っている途中みんな口々に「あつ色
が変わった」「なにあれ、上下、上下しな
がら飛んでんじゃん」「以外とスピードあ
るね」など言いながらバックネットの裏側

まで来たとき、まもなく物体の姿も見えな
くなってしまうました。私たちはふたたび
その物体を呼びもどそうとしたのですがそ
れきり。すぐにベルも鳴ってしまいました。

しかし、みんなの証言が一致、そのこと
をまとめてみるとこんなことになります。
まず、一番最初に五月女さんが光る物体を

見つけて、いそいで走っていった時にはも
うすでに物体ははるか遠くを飛んでいたこ



とになります。そしてその物体は銀色にも
のすごく光っていたのです。それが、私た
ちが遠くを飛んでいるのを見つけた時、そ
れほどの光を出してはいなかったのです。
それでも一番光った時は、この世のものか
と思うほど、太陽の光よりも強い光を出し

ていたようです。(ガラスに太陽の光が反
射した感じ)その物体が急に光を失い、黒
く変色し、それから最初丸かった物体は
横に細長くなり、また丸くなり(前の文章
の上下、上下ということば)という動作を
二度ほど繰り返し飛び去って行ってしまった
のです。

つまり最初銀色に光っていた物体が、黒
く変色し、それから変形しながら飛んで
いったのです。

物体が飛んでいた時間は私たちが見ていた
範囲で約3分~4分そして、同じ時間、校
舎の裏側(裏庭)で遊んでいた女子、田畑
恵里さんが、バックネットの遠くに飛ぶ黒
い物体(私たちが見たのと同じ物)を目撃
しています。

そして、この時、不思議なことが起こっ
たのです。というのは、実をいうと、私は
この物体を見なかったんです。というよ
り、見えなかったんです。それは0.1という
弱い視力のためかもしれません。でもそれ
にもかかわらず、0.03という私よりもずっと
弱い視力をもった平嶺さんがこの物体を見
ているのです。単にみんなが見たというか
ら自分も見たとはいくではなく、ほとんど
平嶺さんが中心になって平嶺さんの言うこ
とにみんなもうなずくという調子だったん
です。この平嶺さんは、いくらかみんなよ
りすぐれた超能力と言うより霊感力を持っ
ていて、一度ならず、二度、三度と霊を見
ているほどの人です。そして巨大なアダ
ムスキー型円盤も目撃しているのですよ。

(東京都世田谷区東玉川2の1の16)

● アダムスキー型円盤? 目撃!!

土橋治美 35歳 主婦

目撃日時 昭和51年3月19日午後6時40分

目撃地点 山梨県中巨摩郡竜王町篠原新田
一三八番地前道路上(自宅近く)

天候 晴、昼頃迄雨が降り雨上がりのよい
天気であった。

目撃時間 約3分位

同時目撃者 土橋政直10歳小学生、目撃者
の長男

観測方法 肉眼による

物体について 図に示す様に下方は細長い
楕円形をしており、色は明るいオレンジ色
をして、その上方に腕を伏せた状態の物が
あり白く光り輝いており、少し左に傾斜
し、完全に停止の状態であった。

飛行状態その他 当日自宅より自転車にて近
くのスーパーへ買物に同時目撃者である子
供を連れての帰り夕焼の美しい空を見なが
らの家路は楽しいものであった。ふと前方
の夕焼に眼を移した時、私の胸は異常に早
鐘を打った。と、同時に自転車を止め、見
直した時私はUFOだ!!とわかった。すぐ
位置を確認する。街灯の上空であり左の電
柱と同じ高さで完全に停止している事等不
思議な程落ち付いて観測できた。それは私
は前にも何度か不思議な光体を見ており、
次の機会には必ず観測する様に心掛けて
いた事や、本誌によりUFOの形状等々を
見ていたために、それらの物を思い出しな
がら比較した時、それは写真で見たり図で
見たたりした物と全く同じで、よく言われる



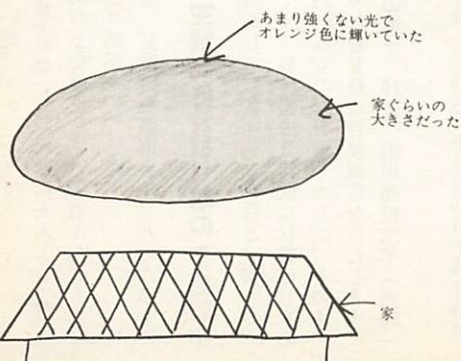
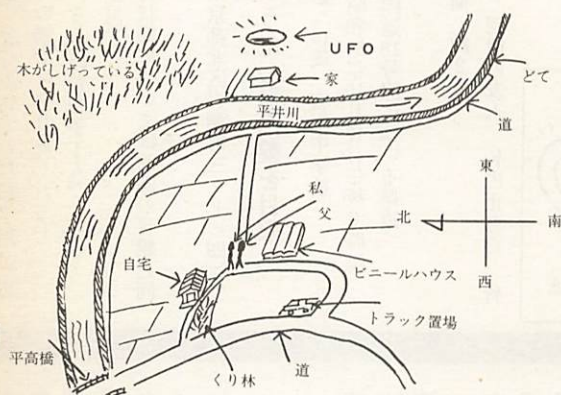
(〒400-01 山梨
県中巨摩郡竜王町
篠原新田三〇〇三
の十三)

物体は生涯忘れな
いものとなりました。
た。

窓かと球形コンデンサーの様な物は残念ながら確認出来なかった。

私は直ぐ後から来た子供に、政直あれは何？と声を掛けると子供はUFO!!だと叫んだ。私はこの物体を証拠として残すためにもと、まずカメラに納めなければと180米先の家に急ぎ、途中何度か立ち止まり相変らわず停止しているのを確認しながら夫を呼びカメラを片手にUFOが見える地点迄(約30米)来た時、私はまた驚いた。その物体は見えなかったのである。時間にして往復20秒位の間にである。周囲の空がよく見える所迄移動して見たが、全くこの広い空のどこにも見えなかったのがある。あるのはあの美しい夕焼だけが残っていた。私としてはあの美しい夕焼とは対称にあの美しい程までに輝いていた

白く光っていた
オレンジ色



●家ぐらいのオレンジ光体

窪島透 13歳 東中学校一年生

目撃日時 一九七五年10月 午後10時頃

目撃地点 自宅前の道

天候 晴れ 雲一つない日

目撃継続時間 5分ぐらい

同時目撃者 父

観測方法 肉眼

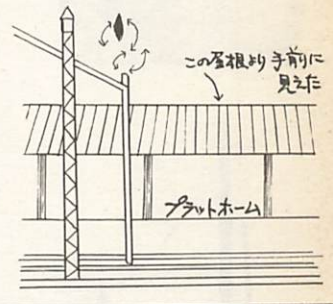
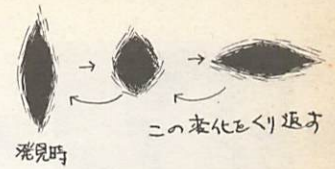
物体について 形、色、場所もわからずだ

んだんと消えていった。

飛行状態その他 飛行状態は父が外に出てこいということで外にでいくと、ここから平井川をこして、200mぐらいの家の上にオレンジ色に光った物体を発見。ぼくは父の所によって行って聞いてみた。あれは

もしかしたらUFOではないかと。そして父もUFOだと思っただけ。その時は形も色もして移動もせず止まっていた。午後10時頃だったので、さむくてたまらなかった。そして1分ぐらいいたらUFOらしき物体がだんだんと小さくなってきた。その時の消え方は上がちょっと消えて来て、次にまん中のあたりまで消えてた。このときの状態は、とてもこわい感じだ。またいちだんとさむくなったみたいだ。2分後もう消えるすんぜんまできた。その時ははそくなってきた。そして父と考えると見たのだが、これはほんとにUFOと違ってぼくは、びっくりした。この形、色、くらいってまちがいない。UFOだろう。

(〒197 秋川市平沢六五二番地)



●二度小型円盤を目撃

吉田一美 23歳 主婦

一回目

目撃日時 一九七五年十月七日午後4時半

頃

目撃地点 日暮里駅に停車中の京浜東北線から駅の東の空。

天候 くもり

目撃継続時間 2分位(停車中) 電車が走り出してから見失う。

同時目撃者 なし

観測方法 肉眼

物体について 黒いかげのようで、輪かくがはっきりしない。近距離らしく、20mとは離れていないでしょう。大きさは長い方でも70cm以内。

飛行状態その他 ほとんど定位置で、ふわふわ漂っているよう。無音。

二回目

目撃日時 一九七五年十一月十六日午後6時頃

目撃地点 家の前の空地から、南の空

天候 うすくもり

目撃継続時間 5分位見ていたが、用があったのでその場をはなれる。
同時目撃者 3歳の女の子1人。
観測方法 肉眼
物体、飛行状態については前回の目撃と同じ。

(〒115 東京都北区岩淵町三十七の四)

●ひょうたん形円盤を目撃

原田透徳 14歳 殖生中学校

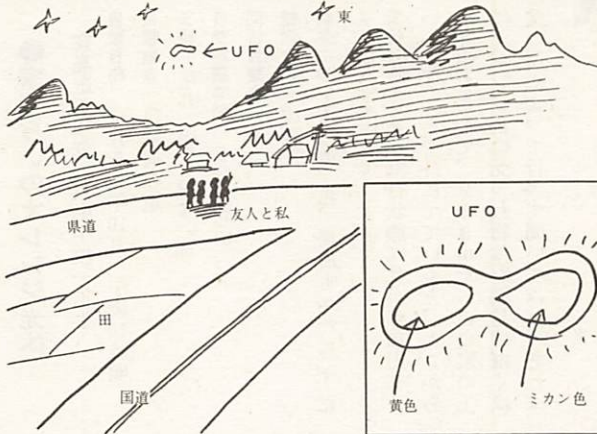
目撃日時 昭和50年10月17日午後6時頃

目撃地点 国道18号線にはいる県道

天候 晴

目撃継続時間 約2分

同時目撃者 同歳の友人 竹内正彦君 竹



内正啓君 宮坂司君 中村行隆君
物体について ひょうたん形で黄色くかがやいていた。
飛行状態その他 部の帰りに友人と目撃した。山の上を停止して消えた。とてもキラキラかがやいていた。

(〒387 長野県東埴市小島二八八九の十)

●空飛ぶ信号機目撃の予感的中

初めまして、私は「UFOと宇宙」の一読者です。私は過去2年間に10数回UFOと思われるものを目撃しました。その中で変わったUFOの目撃報告をいたします。

渡辺慎一 16歳 田川高校二年(当時一年生)

目撃日時 一九七五年8月16日午後8時頃

目撃地点 自宅近くの線路の土手

天候 くもり

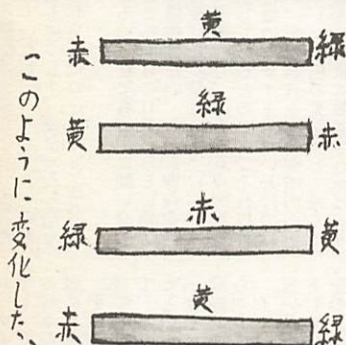
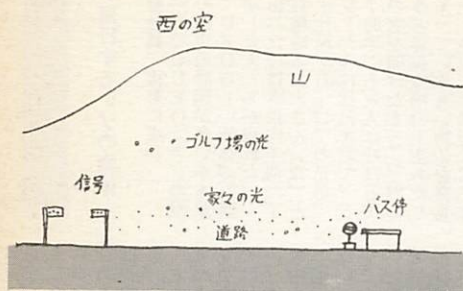
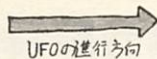
目撃継続時間 20秒〜30秒

同時目撃者 弟(当時、大任小6年生)ほか近所の子供(10人くらい)と数人の大人

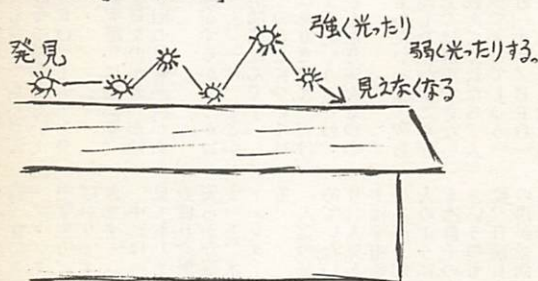
観測方法 肉眼

物体について 緑、黄(中央は白色)赤(真紅ではない)の三色が並んで右から左へ回転。中央がすこしあがっていた。

飛行状態その他 目撃地点からあまり遠くない上空を飛行、仰角は45度くらい。西の空、むかって左から右へ飛行。光が回転していることから、円盤型ではないかと思う。スピードは、ヘリコプターくらい。音はなし。大きさは、両手をのばして手と手の間かくが50cmくらいだった。山にかくれてしまってみえなくなった。「巨大な信号



校舎内が見た時



機」というべきもので「まさか」と思ったくらいであった。まわりが乳白色の光でつまれていた。その日の昼ごろから、胸さわがして弟に「今夜UFOがくる」と自然に口走った。そのため大勢でみる事ができた。次の日(8月17日)の夕方、6時半頃自然と外に出たくなったので出てみると、きのうのUFOと似たものが東の空を飛んでいた。それで、見とおしのよいところに出て、じっくりと見物させてもらった(30秒くらい)スピードはヘリコプターぐらい。音はくもっているのかかわらずきこえなかった。さらに、今年の一月下旬、友人(複数)に「3月28日にUFOがくるかもしれないから外に出ておこう」と言っておいた。すると、本当に来た。友人の中村誠嗣君が夜八時すぎに「空とぶ信号機」を見た。この人はUFOを信じてなく、私がUFOを見たといっても信じても

らえなかったのに、この時以来信じてくれるようになった。ウレシイ。またこの人には、私の目撃談をきかせていないので、ウソをつくはずがないと思う。

(〒824-05 福岡県田川郡大任町柿原)

●上下左右運動の光体を集団で

佐藤憲 14歳 気仙沼中学校三年生

目撃日時 一九七六年6月30日午後3時頃

目撃継続時間 約20分

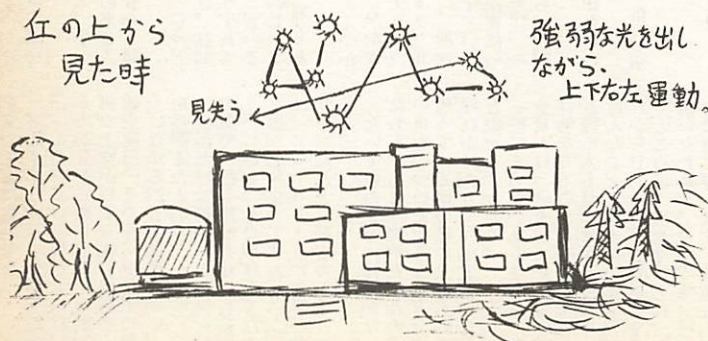
天候 晴からくもり

同時目撃者 小山高広 菅原博文 吉田浩

元 菅原誠 田村明 熊谷欣一 佐藤真弘

鈴木良一

丘の上から見た時



観測方法 全員肉眼

物体について 初め発見したとき、止まっていた。水平に動き出し光を放ちながら、上下運動をして強く光ったり、弱く光ったりして飛んでいた。それから三人で丘の上から見た時、女子高校の上を上下左右に飛びまわり、もっとよく見ようと思いい下に降りて行ったら見失ってしまった。

色 光った時は銀色

(物体の) 方向 南

大きさ わからない

(〒988 宮城県気仙沼市本郷十一一七)

東北

ジグザグ飛行するナゾの物体

●青森の会社員、撮影に成功

最近、県内でもUFO（ナゾの飛行物体）の出現の話題が多いが本県では初めてUFOらしい物体の写真撮影に成功した人たちが現れた。写真撮影したのは青森市千刈二丁目、会社員尾崎多加志さん（22）と青森2年生比呂志君（17）の兄弟。初めて発見したのは比呂志君で、5月16日夜7時半ごろ友人に呼ばれて自宅2階の窓を開けたところ南の空、ちょうど青森空港の上空あたりで黄色く光っている丸い物体を発見した。上空に停止した状態で、不審に思った比呂志さんが多加志さんと呼んだ。

多加志さんは「UFOだ！」という弟の叫び声で、とっさにカメラを取り出して窓に駆けつけ、シャッターを切った。間もなく、ナゾの物体はオレンジ色の大きな光を噴出して新町上空にジグザグに移動して一瞬姿を消してしまった。折しも青森湾から青森空港に向けて飛行機がライオンを点滅させて飛んで来たが、ナゾの物体は再び姿を現し飛行機を追尾する格好で飛び、青森空港のあたり

の山に没した。この間約10分、多加志さんは夢中でシャッターを押したもののフィルムが4枚しかなく、しかも50ミレックスとあって現像1航き付けしたところ肉眼で大きく見え

すかな映像。「本当に大きかったし、止まったり、消えたりジグザグに飛んだり不思議な光景だった。飛行機も飛んでいなし、ヘリコプターの飛び方とも違うし。昼だったら形もはつきり見たのに」と残念そう。

ところで本社で各方面に問い合わせたところ同日のUFOらしい物体を見た情報はない。しかも青森空港では日没以降の飛行はないし、八戸、大湊の海自、陸自でも夜間飛行を中止しているとのこと。それ以外の飛行機のフライトもないわけではないが、去る24日夕、青森市内の上空でオレンジ色の光を噴出して飛んでいた物体が本紙に報道されたばかりで、なにやらUFO騒ぎも真実味を帯びて来た感じ。

（一九七六年5月30日付、東奥日報）

関東

ただ今第2期UFOブーム？

●SF番組も大人気

近ごろの若者には、宇宙のかなりからメッセージが届くらしい。UFO（空飛ぶ円盤）がそのメッセージを伝えるに、SF小説や映画は「宇宙社会」へのインスピレーションをかきたてる……。

日本UFO研究会——UFOの研究団体は今、全国に120ほどあるという話だが、その中でも大きい団体だろう。会長は神戸市垂水区神出町に住む録音技師、平田留三さん。年3回発行の会報「JUFORA」は世界の28の研究団体に送り、日本と外国のUFO目撃報告の交換をしている。会員はかなり出入りが激しいが、現在ざっと500人。全国に散らばる。平田さん自身は52歳だが、会員の3分の2は20代かそれ以下。

「この頃は情報のはらんしている

せいか、小学生まで入会してくる。ウチの会報はかなり難しいはずなのに、お母さんにも読んでもらうでしようか」「昨今の異常ともいえる日本の第2期UFOブーム」と会報にもある。

平田さんの「研究歴」は約25年。

科学雑誌で記事を見たのがきっかけで、これまでに3回の目撃経験があるという。

「今やUFOが存在するかどうかは問題じゃありません。一体、どこからやって来るかが問題なんです」イヤ、イヤ、そのことについてはい言いつ争うよりはあります。ただUFOを研究するということは、その人にとってどんな意味をもつでしょう？

「たえずユメをもちたいです。からね。我々より進歩した生物がこの宇宙にいて、地球上では解決できない問題の解き方を教えてくれたら、人間は飛躍的に進歩できるでしょう」研究会では最近「オノUFO」という歌を作り、レコードに吹き込んだ。NHKが「みんなのうた」に使用したいと申し込んで来たとか。「たいやき君、よりユメのあるこの歌を子どもたちに歌ってもらいたいですナ」

関西テレビ（大阪）で、土曜と日曜の深夜放映される「宇宙大作戦」というアメリカ制作のSF映画が、若者たちの間で、息の長いブームを続けている。放映が始まったのは49年10月からだが、原作79本分が終わりつつも「続けろ」という声がテレビ局に殺到する。現在は再放送目録の「ロングラン上映」に入る予定だ。

とにかく、昨年2月に第1ラウンドの放映が終了したあと、4月に再放送に踏み切るまで2カ月の間に「もつと続けろ」という投書が600通舞い込んだ。かかった電話の本数など数え切れない。

投書の内容は――。

私、宇宙大作戦やそのメンバーのためなら何でもしたい気持ちです（16歳、女の子）

「ファンクラブを作りました。小、中学生で、みんなUFOモアのある人ばかりです。週に1回（会合を開きます）」（小学生？）

中には「いつも息をつめてじっと見ておきます。終了したとき、昼間の疲れや緊張はいつか快くうすれて安らかな眠りにつけるのでございませう」と、水基のあともうるわしいファンレターを送って来る主婦もあ

る。人気の秘密はTV局でもよくつかめていない。ただ投書で見ると、かきり、人気が圧倒的なパーソナリティは宇宙船の副船長、スポック。耳ががった「バルカン星人」。地球人のように感情にとらわれず、いつも冷静そのもの。「放映は深夜に」というのもファンの強い要望。一度、日曜日の昼に放映したら、抗議の声が殺到した。「夜遅くでないとムードが出ない」というのだ。

（一九七六年7月2日付、毎日新聞）

皇居上空にアミバUFO

●警察庁鑑識課7人が「見た」

全国各地でUFOの目撃があいついでいるが、7月15日夕、今度は首都東京の真ん中、皇居の上空にアミバ状の「新種」のUFOが出現した。皇居からわずか300×400メートルと、眼と鼻の先の警察庁総合庁舎4階で残業中の同庁鑑識課職員7人が全員そろってのはつきりと確認したものだが、なにしろ情報には、堅い筋、からの話だけに、今度こそ本場の「ホンモノ」かも。

同日午後6時半頃、同庁4階の鑑識課氏名索引係の部屋で残業をしていた課員の渡辺良三さん（34）は、外を見てびっくり。興奮気味に「UFOだ」。同僚の6人もさっと席

を立って窓に殺到した。渡辺さんら目撃者の話を総合すると、このUFOが現れたのは、午後6時30分から約10分間。皇居の銀座側の上空から姿を現し皇居の上空を低空旋回し、その後、少しずつ角度を上げながら四谷方面に向かい、視界から消えたという。

直径だけで約10メートルという超大型で、色も焦げ茶ないし黒という。しかも、その形は丸くなく、かと思ふと角張ってきたり、ついに、アミバのように触手が伸びたりも、なんとも形容のしようのないもの。

たいていのことには驚かない職員たちも、あまり突然だったのでハチの果をついたような騒ぎ。庁内に飛んでいる他の部の人たちに大声で呼びかけたり、「幻覚じゃないか」と眼をこすったり。

「絶対まちがひありません。残った全員がはつきり見えています。私たちは物を見るのが仕事なんです。近眼の人も見えます。今までいいかげんなことと思ていました。これらがUFOの存在を信じますが、ところが、残念なことに、あまり驚いたためか、全員、カメラのことまで頭に浮かばず、貴重な「証拠写真」はなし。これには課員たちも「お恥かしい限り」と頭をかくことしきり。

（一九七六年7月16日付、読売新聞）

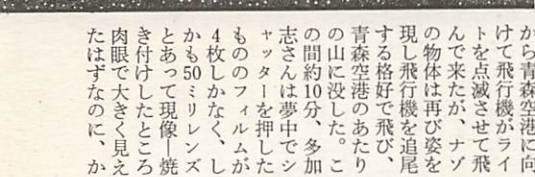
横浜で「大UFO展」

●物体の破片も出品される

横浜ステーションビル商店会主催の「大UFO展」が8月6日〜12日まで同ビル6階催し場で開催された。日本大学UFO研究会、日本宇宙現象研究会が協力し、世界各国で撮影したといわれるUFOの写真約100枚が展示されたほか、物体の破片が「証拠品」として出された。

またUFOの歴史を映画でつづ

情報





り、会場では1日7、8回、模型の「空飛ぶ円盤」を飛ばした。日本空飛ぶ円盤研究会の荒井欣一氏の講演と質問が行われた。(一九七六年7月22日付、神奈川新聞)

日立市でも「UFO展」

●イオンロケットに人気集中

飛行物体展が8月4日まで、日立市鹿島町の日立伊勢基6階ホールで開かれ、夏休みに入った子供たちをビックリさせた。

会場には、アメリカ、ドイツ、日本で写したというUFOの写真90点のほか、直径1メートル近くもある「空飛ぶ円盤」の模型、宇宙人の人形や資料が展示され、バイキング1号の火星探査のニュースを見ている子供たちは、その火星とUFO展を結びつけ、「宇宙の夢」を描いていた。

とくに人気を集めたのは、円盤に見たてたイオンロケット。会場内の空間にフワリ、フワリと飛んでいるのを見て、子供たちは「火星には本当に生物がいるのかなあ」(一九七六年7月26日付、いはらぎ)

川崎の学生ビックリ

●深夜白い物体がスー

7月26日午前零時すぎ、川崎区東門前二の五の十、学生仲本光一さん(18)は、自宅2階で寝ころびながら、星を見ていたところ、4つの小さな白い物体が西から北へ飛んでい

くのをみつけた。数秒の間に、見えなくなってしまうが、4個の物体は、卵を細くしたような形をしていたという。「眼の錯覚にしてはあまりに印象的。UFOでは」と、仲本さんはびっくりしていた。(一九七六年7月27日付、読売新聞川崎版)

UFOか人だまか……世界各地に球形稲妻出現

●晴れた日にも発生

球形の稲妻が、外国で話題になっている。まるで人魂かUFO(未確認飛行物体)のようで実体はまた不明だが、各国で観察され、研究論文も発表されているものの、科学的怪談のようにもみえる。最初にこの現象を紹介したのは米国立オウニング大学のトンプキンズ氏ら3人で、米物理学会誌に発表した。

英国の科学雑誌「ニューサイエンティスト」が、4年前にこの発表を取り上げたときは、多くの目撃者の報告が寄せられ、写真も撮影されるようになった。

英国マンチェスター大学科学技術研究所講師ニール・チャーマン氏によると、これまで世界で46回観察された。英国28回、北西アフリカ4回、オーストラリア、ヨーロッパ、米国で各3回、南太平洋で1回。アジアで各2回、南太平洋で1回。いずれもニューサイエンティスト誌の読者からの報告である。その60%は複数の人によって観察され、4分の1の人が、その観察を日記などに記録していた。

英国ノーリウィッチに住むスレック・タウンズ氏の証言。確かに一九四三年です。私は13歳の少年でした。台所にいたところ、お勝手の戸が開いて、直径5〜6センチの丸いものがオレンジ色に輝いて眼の前を通り過ぎました。2・5メ

ートルくらいの高さにある電灯線の上にはねたので、よく見ようと思つてイスに上がったところ、ボンと大きな音を出して外に出て行くか消えてしまいました。同じ市に住む75歳のバーグス氏の回想。

「もう50年前だが、私はオックスフォード・パレスにある店の入り口に立っていた。猛烈な雷雨だったので雨やどりしていたんだが私の前にかつぽの電車がとまっていた。突然、大きな球形の稲妻が降りてきた。ラグビーボールのような形をしていた。電車の後ろのエプロンから飛び込むとそのまま電車の中を突っ走り、前のエプロンから出ていった。そして地面の上で爆発した。あらしが去って電車を調べてみると、後ろと前のエプロンに大きな穴があいていた」

この事件を詳しく聞いたマンチェスター大のチャーマン講師は、少なくとも100万ジュール(0・28キロ・ワット時)のエネルギーが、この電車の中で消耗されたと推定した。

英国ノーフォークのチャルマーズ・ブラウン氏が見たのは、落雷に伴うものだった。

「4年前、激しい雷雨の中で車を運転していると、左前方の道路わきに落雷しました。すると、中心が赤く、まわりが黄色の直径45センチくらいの丸いものがその衝撃で生じた弧を描くようにして私の前方15メートルくらいのところを、20メートルばかり飛びと爆発して消えました。車からおりて道路を調べてみましたが、なんの形跡も見ませんでした。その丸いものは、2度ほど地面をバウンドしたようだった。まるでフットボールのような軌跡を描いて飛んだという。このタイプの稲妻は、戸外でときどき目撃されている。ランカシャーのモアカムに住むA・F・ネーブル氏が見たのは、落雷

なんかないときだった。「一九二九年6月、私は肉屋の小僧で屠(と)場にいた。突然、ドアがひとりでに開き、地上1メートルの高さのところをオレンジ色の丸い炎が通り過ぎていった。1メートルくらいしか離れてなかったし、ほかに4人の目撃者がいる。晴れた日で、雷雨などなかった。ドアが開いたときはバタン、バタンという以外、音はしなかった。」

一九五六年にC・ロバート氏が北部ナイジェリアで見たのは、動かない稲妻だった。その報告。

「私はそのとき、古い大きな土造の家に住んでいました。厚い壁ができた通路にいたときです。突然ビストルのような音がしたかと思うと、私の頭上1メートルくらいの高さのところに、黄色い、火の玉が現れました。テニスボールくらいの大きさでした。1・2秒たつと、ちょうど電灯のスイッチを切ったような具合に消えました。これまで報告されたものどちが、動きませんでした。雨降る午後の出来事です。あらじだったかどうかまでは記憶していません」

ちょうどこの報告に相当するような球形稲妻の写真を、英国ノッthingamに住むM・R・リオンズ氏が撮影、マンチェスター大学に届けてきた。

それは一九七二年の初夏、ダーバインシャーの丘で雷雨の日に写したもので、直径8センチ以下と思われる丸い形をしたものだ。35ミリカメラで15秒間隔にシャッターを切ったうちの一枚に写っていた。これが本物なら、寿命は30秒以下、または毎秒10センチ以上の速さで動いたと同大学のチャーマン講師は考えている。

昨年夏には、英スミスウィックで、猛烈な雷雨のさなか、直径10センチくらいの球形稲妻がある家の台所に現れ、爆発した。このため台所にいた主婦はドレスに縦11センチ、

横4センチの穴をあけられた。

ロイヤル・ホロウエイ大学の物理学者たちが調べ、科学雑誌「ネイチャー」に報告をのせているが、このときのエネルギーは1キロワット時以下だろうと推定された。

英国の科学者たちは10万枚の稲妻の写真を詳しく調べ、その中から6枚の球形稲妻を発見したという。写真からだ、通常の稲妻が地上に届く前に先端が広がり、球状になって、ゆっくりおりてくるように見える。

明確な理論はまだないが、低空に雷雲があると、プラス・イオンが地上から大気中に放出され、正電荷の層を作る。そこに上空から球状のマイナス・イオン群が降下してくると、球形稲妻が生じると、英国の学者は推論する。

ソ連の物理学者スタカノフ氏はこれに反論。大量の水が大気中にあるのに、終末期の稲妻によって作られるのだと発表している。稲妻によって生じたイオンの周囲に水蒸気が集まって球状となり、プラス・イオン群とマイナス・イオン群とが衝突するときに放電するが、ゆっくり降下するので、球形稲妻になるという。

わが国の数少ない雷の専門家、宇都宮大学工学部の川俣修一郎教授に聞くと「ソ連では高名なカビツツ教授の論文もあり、米、英でも研究が盛んだ。まだ観測されてないのは日本くらいのもの。チャンスがあればぜひ写真に撮ってやろうと待っている」

同教授によると、米国のある学者は、人工的に球形稲妻を作ること成功したという論文を3年前に発表している。

炭素の細い線に大電流を流すと放電し、線の途中が切れて蒸発。プラズマ(高温で分子がばらばらになった状態)のタンゴが生じた。これが球形稲妻の正体だとその論文は述べている。

海外UFO情報

他惑星からの訪問
「考える」

●NASA主任発表

他の惑星の生命とのコンタクトを目指している科学者ジョン・ビリンガム博士(NASA、エイムズ研究所生命技術主任)によると、生命は他の惑星に存在するだけではなく、おそらくは広範に存在していると指摘している。同博士はこれまでの3年間の研究の結果を公表したもので、彼の知的生命に関する研究は、その存在がきわめてありふれたもので、現在も存在し広がっていることを示しているという。

彼はまた、UFOを信じる人と接触したのが、他惑星からの訪問を裏付けている科学的妥当性には欠けているもの、考えうる「ことだとも述べている。彼の研究対象は、少なくとも我々のレベルに達しているか、ないしはそれ以上の存在」である。

「多くの場所において生命創造は地球上と同じ程度、あるいはそれ以上に進んでおり、地球よりはるかに古い文明をも含んでいると信じている。我々はようやく通信できる段階に達したばかりであり、電波望遠鏡で銀河系内の通信ができるようになったのはほんのここ10年か15年のことである。ビリンガム博士は英国生まれの45歳。彼の他惑星生命の存在証明は状況証拠によるものであり、彼

は現在、より大型、高性能の電波望遠鏡で宇宙生命とのコンタクトを実現しようと考えている。(一九七五年十一月十二日付、ポートランド発)

UFO現象は事実なのだ

●A・ハイネック博士答える

6月30日付のシカゴ・デイリー・ニューズは次のように伝えている。

「6月24日は、未確認飛行物体が最初に、公式」に目撃されてから29年目に当たる。一九四七年のこの日、米空軍パイロットがワシントン州レーニア山頂付近を飛び回る9つの正体不明の物体を発見、その一年後、空軍当局はUFOの極秘調査を開始した。それ以来、全世界から、空飛ぶ円盤を見たとの報告が数多く寄せられている」

その後、1人の科学者がUFOに関する報告の研究を始めた。ノースウェスタン大学の天文学教授アレックス・ハイネック博士だ。彼は一九四八年から六八

まで米空軍の科学顧問であったが昨年、エバンストンにUFO研究センターをつくり、UFO目撃者からの報告を収集している。以下はデイリー・ニューズ紙と同博士のインタビュー。——UFO研究の現状はどうなっていますか。これが地球以外の惑星から飛来したという証拠はまだない。この25年間、UFOに関する愚にもつかない。だ

川俣教授は「自然界でこれと同じことが起きてもおかしくない」と次のように語った。

「雷雲と地面との間で放電が起きると、放電路に沿ってプラズマができる。その一部が放電路からちぎれてダンゴになるのではなからうか。球形桶が横に走ったとか階段を駆けのぼったという話もあるが、科学的におかしくない。私は、日本で言う「人魂」ではないかと思う」

球形桶は単一現象なのか複合現象なのか、これから解明が進むだろう。人魂かUFOか、見る人によっていろいろだろうが、ミステリーじみておもしろい。(一九七六年8月4日付、読売新聞)

近畿

夢の中に宇宙人？

●2日後に光る物体が

「宇宙人」登場——は当日目撃者、林里美さん(36)〔吉備町・天満〕だから、デマや笑い話で片づけられん不思議がある。昨年11月12日未明、強烈に光る物体を20メートルの近距離でハッキリ見た里美さんは、2日前に奇妙なユメを見ていた。

マンガがよく見かける逆さクラゲそっくりな宇宙人が出現した。里美さんの話を誌上再録すると「妙なユメなんです。ある音がすると姿を見るという声が聞こえてくるんです。そして、ひょっとと気付くと大きな火星人が道に横たわって寝ているんです。そうね、あのクラゲの形のような……なんせ、音がある」と現れる、と言っている。あまり妙なユメなんでお父ちゃん(注・吉備町職員、林貞夫さん)に「妙なユメ見たよ」と全部話したんです。その2日後に、光る物体」を本人が間近かで目撃してしまった。クラ

ゲと球体、丸つきり違うが里美さんの気味悪がりようは普通でない。サンケイ新聞販売店で7年前から毎朝クルマで町内を配達する役目の里美さんは、その翌日から主人が同乗。夜の外出はいっさいしないのだからかなりの恐怖心でマジメ話である。

まさか、宇宙人」が存在して里美さんにユメの出現サインを送った？などバカ話だが、偶然の一致にしてはデキすぎた話だけに不思議さは否定できない。

問題の「音」だが、里美さんはクルマ(カローラ)のエンジン音のせいか、耳にしなかったという。

場所は吉備町田殿の県道、田口大谷間。時間は朝5時45分、真っ暗で空に星が光る快晴。突然左のウィンドガラスに野球のボール大で溶接の発光に似た強烈に光る物体が映り、前方約20メートルを斜めに横ぎり有田川原へ消えた。

「あれ?ナニ?」と里美さんは思わず声をあげ、クルマを徐行させて見守った。そのとき、ナニか音を耳にしたければ、ユメのお告げ」と一致するだけが大騒ぎとなることだったのだが。

音が無かったのか、それともエンジンで聞きとれなかったのか、その辺に深いナゾを秘め、里美さんを気味悪がらせるわけだ。

ナゾと言えは、里美さんより10日前、1日の真夜中に20分間も家族全員で、光る物体」を観察し、吉備町庄の有田市教委職員山田哲也さん(23)の父、県職員弘造さんが説明する飛行動作だ。

各紙報道は簡略だったが、実際は物体が停止しているとき下部から無数の「足」を出し、足が消えるとその形の素早いモーションが起り、そのあと自転車ぐらいのスピードで前進。停止してまた同じ動作をくり返しながら、筑島のアタゴ山から有田川沿いに金屋上空へ移動し消えてい

その「足」がテレビでみる宇宙人飛行船にそっくり。飛行動作も操縦の感じに単なる流星とは受けとれぬ。里美さんの奇妙な出来事と結びつけるとダレでも宇宙人が来訪したような想像が起ってくるのだ。

ともあれ、この事実談はれっきとした大人の信頼のおける人たちの体験だけにかなりの迫力がある。笑い話と片づけられぬ不可解がつきまとうところか。この記事のミソもあるというところか。

(一九七五年十一月二十五日付、和歌山特報)

銀色の光らない物体

●目撃した小学生ひっくりかえる

このところ有田地方では謎の光る物体が目撃されたことから、UFOムードが高まり、夜間空を眺め回す人が増えているが、11月26日早朝金屋町生石で小学生が目撃して物体、同日午後2時頃あやしい黒い物体の目撃者も現れ、話題が大きく広がっている。

生石小学校2年生の山中ひろし君が、朝まだ薄暗い6時過ぎ小便に起き出したところ、お月さんのような銀色の光らない物体を目撃そのまま家に飛び込んでひっくりかえり、ものもいえない状態となり大さわぎをしたそうである。聞き出したときにはすでに物体は飛び去った後だったというわけ、その日は学校にも行けないう状態だったため、父兄が同伴したそうである。この話が広がった午後2時頃生石の沼澤璋さんと長女のおき子さん(吉備高1年生)はUFOなんぞあるのかしらと空を眺めたところ、生石山頂上空に薄雲が広がり、その白さの中に薄黒色の物体を発見、約5秒間ぐらいたまに動いて2分間ぐらいたまに動いては停止するという状態を繰り返したそうである。沼澤さんが写真機を持ち出して、フィルムを入替えなどしているうち見えなくなったそうである

「ぼろ」が多すぎたために、人々がUFOについて真面目にとり扱わなくなったのも無理はない。しかし、UFOを目撃したという報告は、いままでも世界中から送られてくるのだ。報告者たちは、けっして盲信狂などではなく、警察官や専門の天文学者も含まれている。目撃された物体は、日本、ブラジル、米国内でも29年前のそれとほとんど同じものなのだ。だから、なにかある。ただ、それがなんであるかを、我々はまだ発見できないのであるのだ」

米空軍当局は、一九六八年にUFOに関する報告の研究から手をひいてしまったが、なぜですか。

「もう飽きてしまったからさ。それ以上研究で得るところがなかったからね。UFOについての報告は、そのほとんどが不自然な条件下で発生した自然現象として分類される。説明できないことはすべて「未確認」と分類され、結局は無視されてしまう」

これらの報告類はどうなっているのですか。

「6月末、空軍当局はワシントンの公文書保管所にUFO関係の全書類を移すことになった。だが、この中には一九五二年から六九年まで行われたUFO目撃の公式調査に関する極秘文書14万ページも含まれている。また、それには少なくとも700件のUFO事件が記載されており、非常に興味深いものもある」

「はなかつた」

「UFOが地球以外の惑星から飛来するという可能性はあります。まず、地球とあまりに離れているからだ。だから、我々人類にとっては技術的に不可能。もちろん、他の惑星に我々より技術的に進歩した文明があるかもしれない。そうしたら地球まで飛んで来られるかもしれないが、しかし、そのような想像では、納得のいく説明にはならないように思えます」

「それと、いま我々にはUFOについて答えられるだけの情報がない。したがってこれが大気圏外からの「お客さん」であるか、それともなにかもつてと怪奇なものなのか、わからない。しかし、これだけは言いたい。UFO現象は事実なのだ。我々は多くの情報の中から、ばかばか話や気球、しん気球などを除いたものを論じており、これらは事実であったことなのだ」

火星に都市文明ある？

「火星には生命がある。バイキングがそれを見つけた。バイキングは火星の都市から離れた砂漠に着陸したため」と語るのはUFO研究センターのディレクター、レノラ・ヒルデブランド。彼女によれば火星には都市文明や人々や家族もあり、気候も少し乾燥しているが地球と変わらないという。同センターは宇宙人に出会ったと主張する科学者ジョージ・アダムスキーの研究団体の一つである。

（一九七六年八月一日付、アリゾナ・リパブリック紙）

が、その間約10分ぐらいたったといわれ、その行動は実に不思議だったと語っている。

（一九七六年十一月二十九日付、有田タイムス）

中国

岡山に煙をばくUFO:

●医師が発見、ありやなんだ。

6月11日午後6時50分ごろ、岡山市海岸通の「カバヤゴルフガーデン」で打ちっ放しをしていた同市築港、医師Aさん(29)ら5、6人が、南方の金甲山東側の山にUFO(未確認飛行物体)らしい物体を発見、思わず「ありやなんだ」。

Aさんらの話では、この物体はちょうど西方に沈みかけた夕日の4分の1から5分の1ぐらいの大きさで、色も夕日にそっくり。ただ球体の後ろに白い煙のようなものをきながら山の間にゆるやかに姿を消したという。その間わずかに数秒。

Aさんは、昨年11月13日夜、備前瀬戸に落下したイン石を目撃した。「形はあのときと同じようだったが、こんどは音が聞こえず、静かに落ちていった」と話していた。

（一九七六年6月12日付、山陽新聞）

赤い火の玉海面に落下

●巡視艇で捜索したが見つからず

「UFOか」。6月21日午前11時ごろ、岩美郡岩美町大谷で、近くに住む県職員岩雄一郎さんら5人が、同町大谷の400×500メートル上空を赤い火の玉のような物体が煙をはきながら大谷沖合の海面に落下するのを目撃。もしや飛行機ではないかと鳥取空港に通報した。

空港から連絡を受けた県警本部は、米子空港や航空自衛隊美保基地などに問い合わせ、網代海上保安署

も巡視艇で現場付近を捜索したが、それらしいものは見つからなかった。20日夕方にも、やはり同町岩本へ落下するのを見た人がおり、同本部では、信号弾では、と境海上保安部や陸上自衛隊などにも照会したが、該当するものはなかった。

一方、この日午前11時半ごろ、気高郡気高町八束木の海岸で、赤い円筒かん(直径15センチ、長さ30センチ)が見つかった。浜村署では海上照明灯ではないかと、漁業協同組合などへ連絡したが、いまだのところ実態は不明。

（一九七六年6月22日付、山陰中央新報）

隠岐でも火の玉落下

●こちらは見事キャッチ

「UFO」のような物体を目撃した。これが当時自分が撮影した写真です」とこのほど本社西郷支局に名乗り出た人がある。

話題の人は、隠岐郡西郷町下西、西郷警察署員細木幹夫さん(27)。

去る5月30日午後2時40分ごろ自宅付近の下西地内で、非番のため妻佳子さん(23)と一人娘の美奈子ちゃん(5カ月)と一緒に散歩、美奈子ちゃん、佳子の写真を撮っていたところ、佳子さんが西郷町西田方面の山の陰に上空から火の玉のような物体が煙をはきながら落下するのを発見、大きな声で「お父ちゃんあれなんだらう」と声をかけるので、この物体に瞬間にカメラを向け、撮影、さらに2枚目を撮ろうとしたが見えなくなった、という。

このときは別に気にもとめなかったが、22日付の本紙に、鳥取県岩美郡岩美町の鳥取県職員の岸雄一郎さんら5人が目撃、UFOではないかといっている記事を読み、あるいは写真で撮ったナゾの物体ではないかと名乗り出た。

細木さんの話では、この日は晴天

で、落下の際の爆発音などのような音は全く聞かれなかった、といっている。

またこの日、下西地区の住民も目撃しており、山の方で火の玉のような煙がたつており何だろうかといひ話して合っていたなどという人もあり、当時話題になっていた。

（一九七六年6月28日付、山陰中央新報）

四国

空飛ぶ円盤と宇宙大怪獣博

●一步入ると火星人がヌツ

オレンジ色に輝きながら、宇宙(うちゅう)空間から飛んで来るナゾの円盤(えんばん) UFO「空飛ぶ円盤」は、ほんとにいるののだろうか。そして乗っているのは？ 私たちの心をつくわくわくさせ、さらに夢をもたせる宇宙や宇宙人、UFO。

ところで、いま(3月29日現在)吉野川遊園地で「空飛ぶ円盤と宇宙大怪獣博が開かれていて、毎日春休みを迎えたチビっ子たちでぎわっています。会場にはどんな面白くて楽しいものがあるのか、ちょっとのぞいてみると」。

場内へ一步入ると、ヌツと大きな大きな火星人が、君たちを迎えてくれるよ。びびり出すほど大きな頭、ギョロリと突き出した眼、そして手足が太い怪物(かいぶつ)。背の高さは3メートルくらいある。見上げると、大きなからだのわりにはやさしい眼をしている。

第1会場は「UFOコーナー」。円盤が飛んでくるのではなく、とちよつとさつと覚すような金属音が流れる会場には、近代宇宙旅行協会(大阪府豊中市)の協力で、日本や世界各地でいろいろな人が撮影(さつえい)したUFOのパネル写真52点がある。

「華巻き型」や「おさら型」など、君たちも本などで見たことのあるナゾの物体(ぶつたい)が、山合いや都市の空を飛ぶ写真がずらり。こんなに写真があるんだもの。UFOはきつといるにちがいない、と多くの人が信じている。

まっ黒の宇宙空間(くうかん)に太陽系、銀河系などさまざまな「二島宇宙」を描いたトンネルを、宇宙遊泳(ゆうえい)しているつもりでくぐり抜け、宇宙人全員集合の第2会場へ。

この「宇宙大戦争コナー」では、未知(みち)の世界に降りた宇宙船に、なんと奇妙(きみょう)な姿をした宇宙人がおそいかかり、超能力(ちようのうりょく)をもったいろいろな宇宙人が激しい戦争をやっているよ。

タコのような火星(くわせい)、岩を食べる水星(すいせい)、平和を好むクマに似た金星(きんせい)の頭が体の下にあるリュイテン星人(りいてんせい)などなど。世界の一流科学者やSF作家が考え出した宇宙怪物(かいうぶつ)「かじゅう」17体が、ちよつと気味の悪い音と光の世界であばれまわる光会場へ入ると、まるでナゾの世界へ来ているのでは、とさつ覚するほどだ。

(一九七六年三月二十九日付、徳島新聞)

九州

イオンクラフトの公開実験成功

●火花を放ち空中をフワリ

UFOと同じ原理で飛ぶといわれるイオンクラフトの飛行実験が5月19日から福岡市・九電記念体育館で始まった「電設工業展」で公開された。

フワリ、フワリと小さな模型が宇宙をさ迷い、ときおり「パンッ」と音をたてて青白い光を放つ様はどこか神秘的。

高圧電流をかけて電子の動きで空気の流れを作り、浮かび上がるといふこの原理、10年ほど前に米国の学者がUFOの飛び方から推測して発見したもの。UFO研究者の間で当分の物議をかもしそうだ。

(一九七六年五月二十日付、日本経済新聞福岡版)

鹿児島で「写真展」開かる

●「ムー大陸村」秘蔵の写真が60点
UFO、超能力、テレビン、念力からブラックホール、異常現象まで。現代科学をもつてしても解明できない謎は世の中に満ちあふれている。

このような「超常現象」に対する関心が、最近、急激に盛り上がりつつあるが、鹿児島市の同好グループ「ムー大陸村」では、7月15日から24日まで、市内都内町のダイエー鹿児島店2階ジョイジョイ広場で「世界各国の空飛ぶ円盤写真展」を開催、訪れる人の未知の世界に対する夢をかきたてた。

同展では期間中に体験者らによるUFO講演会、討論会も行ったり、鹿児島では初めてというこの試みは大きな話題をよんだ。

同写真展は世界各国で撮影された有名なUFO写真45点と鹿児島県内に出現したUFOの写真15点の合計60点、すべて「ムー大陸村」秘蔵の写真ばかり。

世話役の同市上福元町、会社員、松原寿昭さん(30)は「一般にUFOは科学的なものとして受け取られているが、実際にはそれだけで解明はできず、宗教的な面も含まれる」と考えられる。本展の解明のためには、信仰心をもったこの分野の科学者、つまり現代のシャカの出現が要求されるわけです」とUFOの神秘性を語る。

「ムー大陸村」は、未知のことに取り組むマニアの交流の場として3年前に結成。現在高校生、一般の会社員

ら約30人の「村民」がいるという。UFO、テレビン、超能力、念力、予言、ブラックホール、霊感、バニームーダーライアンクルなどさまざまな未知の探究に取組んでいるが、今回は特に宇宙の謎に眼を向け、UFOの謎に焦点をしばった。

松原さんは「鹿児島は桜島爆発による波動の影響があり、UFOを発見できる確率が低い。しかし、UFOに関心をもち、つまり宇宙に眼を向ける心がけをもった人にはきつかけさえあれば必ずUFOが見えるはず」という。

松原さん自身は3年間に10回もUFOの怪光に接している。期間中の17、18、24日には会場でUFO講演会、討論会を行い、県内在住体験者の話を聞いたほか、これを機会に一般的なUFOを紹介、それぞれのUFO観などを討論した。

「ムー大陸村」では、第2回の催しを早くも計画中で、今度はさらに具体的にフィルム上映などで未知の世界を紹介するという。また一般から「自然や建造物などにまつわる不思議、私の不思議な体験談」を募集、「超常現象」に関心がある同士との交流を望んでいる。

地球終末論、日本列島没沈など不安がますますエスカレートする傾向にある中で、現代人は満たされぬ夢を未知へのロマンにたくしているというところでもきょう。

ところで「どうしたらUFOが見えるのですか」という問いに、「邪念があればUFOはみえにくい。心の鍛錬です」と言い切る松原さんだ。

(一九七六年七月十七日付、鹿児島新聞)

宇宙人は絶対にいます 外観は地球人ソックリ

●熊本のお坊さん確信をもつて語る
廣大無辺に広がる大宇宙。夏の夜

の天空を彩るスターダストは、人類の科学の及ばない謎(なぞ)を秘めた無辺の大パノラマ。そのどこかの星には地球人と同じく、あるいはそれ以上の英知を備えた高等生物「宇宙人がいるのだから」か、火星に着陸したバイキング1号のランダーから送られてきた写真には、アルファベットや数字のような模様がついた岩が写っていた。科学者たちは「光のイタズラ」と片付けていたが、ヒョッとしてヒョッとしたら、と胸を高鳴らせた人もいるはず。宇宙人はホントにいるのか。いっとしたら彼らの乗ったUFO(未確認飛行物体)空飛ぶ円盤)はなんの目的で地球にやってくるのだから。きょうは宇宙人の実在を信じ、宇宙の神秘についてあれこれ研究している人たちの話。

「僕らは円盤を見た」

「宇宙人は絶対にいます」と確信をもつて話すのは熊本市二本木町のお坊さん、津野田俊行さん(32)。UFOと宇宙哲学の研究グループである日本GAP熊本支部の会員だ。GAPとは世界のUFO研究者の間では数組的存在で、実際に円盤に乗ったことがあるというアメリカの故ジョージ・アダムスキーの提唱で組織された国際的な宇宙哲学研究団体GETERACQUAINTED(知られる)PROGRAMが正式名称で、アダムスキーの体験や思想を広く世に知らせようという人々の集まりだ。熊本の会員は20数人。80を超えた元お坊さん、お医者さん、電気屋さん、大学生、高校生らが本格的に宇宙のナゾと取りくんでいる。会員のほとんどが円盤を「目撃」した体験のもの。なかには10回以上も見たことがあるというウラヤマシイ人も。以下津野田さんとの一問一答。

—宇宙人は本当にいるのか？
熊本でも多くの人が円盤を見たこと証言しており、その存在はもはや疑う余地がない。山梨では2人の中学

生がブドウ畑で宇宙人と話しているところを、その母さんたちが目撃している。

—熊本の場合、UFOはどんなところに飛来するの？

阿蘇山、金峰山、立山、人吉付近の山中などだ。阿蘇山に来るのは火山活動調査が目的と思われる。立山は着陸地点としてかつこの場所ではないだろうか。

—宇宙人の姿、形は？

外観は地球人ソックリで宇宙服を着ており、頭部には通信用のものらしきアンテナ、口にはキラキラしきもの、腰にはピストルを携えている。と、山梨の2少年は言っていた。

—UFOの大きさは？

直径数十センチの偵察用小型円盤から長さ数キロに及ぶ巨大な母船まである。代表的なものとしては華巻き型円盤、アダムスキー型円盤、ソングレ型円盤などがある。

—彼らはどこから来るの？

地球を含めた太陽系の土星、金星などの惑星には高等生物がいると考えられている。一九六二年三月にこれらの惑星の代表者会議が土星で開かれ、地球からはアダムスキーが出席している。

—宇宙人はなぜ公然と地球にやってくるの？

それは地球人が戦争や公害などで荒廃してしまっており、地球が宇宙の孤児になってしまったためだ。彼らは地球を救うためにやってくるのだが、多くの地球人はこのことに気づいていない。

—昔は「宇宙の孤児」ではなかったのか？

イースター島の巨人遺跡、ペルー山中のナスカの広大な地上絵、マヤ遺跡に残されたロケットを思わせる絵、その他世界各地の遺跡には宇宙人が残したと思われるものがたくさんある。これらのことから昔は地球人も彼らは大勢やって来ている。

—UFOや宇宙人の存在を信じる人はまだ少ないと思うが……？

UFO研究が進み石油や核以上のエネルギー源があることがわかると困る人たちがいる。そういう人間は多くの場合権力をもっており、あらゆる手段で研究を妨害したり、悪意をもっている。しかし一般人はやはり実際に目撃しないとなかなか信じられないだろう。

「おじさん（オニサン）と言っている（？）UFO信じる？ ボクUFOもネッシーもクッシー（北海道・屈斜路湖にいます。ネッシーの兄弟と考えられる）もヒバゴン（広島・比婆山中にいます。雪男の親類と思われる）も信じます」と話すのは熊本市出水の上村真一君（小5）だ。上村君もUFOの目撃者だがお父さん、お母さんには信じてもらえない。上村君によると宇宙人（インベーダー）には2通りあって、一方は地球改良派、他方は地球侵略派だそうである。前者はたとえア・サー・C・クラークの小説「幼年期の終り」にでてくる悪魔そっくりの宇宙人。後者はH・G・ウェルズの「宇宙戦争」に出てくる火星人というところか。

上村君はUFOを呼ぶとき「ベントラ、ベントラ」と静かに念じる。なにやら欠食児童が飯にありついたときに叫びそうな文句だが、津野田さんの説明ではこれは梵（ほん）語で「友よ来い」という意味。これなども古代文明と宇宙人のかかわりを想像させて興味深い。

最近では東京・警察庁鑑識課員7人が皇居上空を飛ぶUFOを目撃して大騒ぎになった。さあ、今夜あたり満天の星に向かって「ベントラ、ベントラ」と念じてみようではないか。円盤が出てきて後のはシラナイ、シラナイ。

メモ 日本GAP熊本支部（倉所秀雄会長）は毎月第3土曜日に熊本市民会館で会合、UFO研究や体験発表、情報交換などを行っている。（一九七六年七月三十日付、熊本日日新聞）

UFOs & SPACE

No. 20 September—October, 1976

Price ¥430

Published by Universe Publishing Co., Ltd.

© 1976 All rights reserved

Captions for Color Photographs

LUMINOUS BODIES CAUGHT BY THE CAMERA OF NHK

Cover and page 1—3

These pictures were printed from a 16 mm movie film taken by a cameraman of NHK, Japan Broadcasting Corporation. In July 1971, Mr. Kenjiro Oh-e, the cameraman, went up Mt. Daisetsu of Hokkaido accompanied with three assistants. Their object of filming was the brown bear in the mountain. On their way, they sat on the ground to take a rest. When, the four men found two orange luminous bodies at almost the same time in the air about 1,000 meters away. The larger one looked about four times of the Moon, in size, to their eyes. Mr. Oh-e immediately held his movie camera and shot the mysterious lights for three minutes. Some parts of the film were taken with a zoom lens, the rest with 500 mm telephoto lens. He said that these lights had seemed to be pulsing in themselves, but they did not move and vanished several minutes later.

VISIT TO MARS IN SEARCH FOR LIFE

page 4—5

These astonishingly clear pictures were transmitted from Mars by Viking 1. The stark,



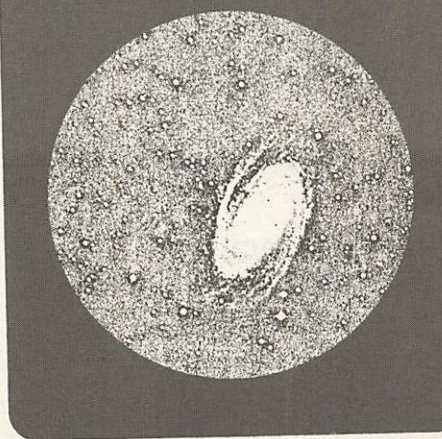
rock-strewn Martian surface looks remarkably like a desert scene in a certain place on Earth. After an examination of the transmitted data from Viking 1 and 2, some scientists still support the chances of life on Mars. NASA has standby plans for further Vikings including one that would be equipped with a roving vehicle to allow sampling from different locations on the Martian surface.

"TRAVIS WALTON ABDUCTED BY UFO", No. 2.

page 6—8

"The Travis Walton's Case", which was reported on the No. 18 of UFO AND SPACE, caused a heated controversy between APRO and GSW, two major groups for UFO studies in the United States. Masahiro Tomikawa, our magazine's special correspondent in the United States, interviewed Travis Walton and other persons concerned. Also, he took many photographs of them and the scenes where the matter occurred. These pictures are some of them.

科学ニュース



ウラン濃縮の技術ほぼ確立

●原発の自立へあと一歩

原子力発電所の燃料として使う濃縮ウランを国産化できる見通しがついた、と動力炉・核燃料開発事業団が六月二日、茨城県東海村の同事業団東海事業所で、遠心分離法による新しいウラン濃縮試験装置を初めて公開した。

原子力委員会は一九七二年に遠心分離法によるウラン濃縮技術の開発をナショナル・プロジェクトとして採用した。一九七三年には、百八十台の遠心分離機を連結した「第一次カスケード試験装置（C-1）」が建設され、テストが行われた。

こんど公開された第二次装置

は、約三十億円をかけて一九七四年から建設を進め、一九七五年秋に完成したものだ。遠心分離機の台数が、第一次装置の約一・五倍にふえただけでなく、分離機そのものの性能も二、三倍に上がっているなど、その他の面も大幅に改良されている。

「第二次カスケード試験装置（C-2）」と呼ばれるこの装置は、直径約三十センチ、高さ約一メートルの円筒型の遠心分離機を二百四十七台連結したもので、今年三月からのテストの結果、ウラン235の濃度が一・五パーセントの濃縮ウランを連続的に生産できることが確認され、発電所で使う濃度二・四パーセントの濃縮ウランを作る技術が完成したという。

遠心分離法によるウラン濃縮技術の開発は、日本のほかアメリカなどでも開発を進めているが、各国ともその技術内容は秘密にしており、どの程度まで開発が進んでいるか、くわしいことはわからない。日本の研究者たちは、全くの自力で、さまざまな難点を克服しながら、ここまで来た。「一・五パーセントの濃縮を達成した実績からみて世界の最高レベルに追いついたと思う」といっている。

同事業団は、来年、同じ遠心分離機を数千台から一万台備えた試験的なウラン濃縮工場の建設にかかることにしているが、試験工場が完成すれば、これまで発電所の燃料の供給をすべてアメリカに頼って来たわが国もささやかながら自立への道へと歩き始めることになる。

未知の力をもつ

新素粒子「チャーム」発見

●アメリカの二大学が協力

米スタンフォード大学とカリフォルニア大学の科学陣は「チャーム」と呼ばれる「未知の力」をもつ新素粒子を発見した、と発表した。

太古の恐竜はのろろ歩き／

人間並みの速さでドシンドシン

●英国の科学専門週刊誌「ネイチャー」に恐竜のスピードに関して変わった研究が発表された。太古、地上をのし歩いた恐竜たちは、たいへんのろまだったらしい。「恐竜のスピードは、せいぜい人間なみ」というもので、発表したのは英国リーズ大学動物学部のアレクサンダー博士。

博士は、いま生きている動物と人との研究からとりかかり、その速さと歩幅、さらに地面から腰までの高さを測定した。その結果、動物のスピードは腰が高くなると遅くなるが、歩幅が大きくなれば速くなる、という関係があることを突き止めた。

この関係を、博士は恐竜に当てはめてみた。実際に恐竜の足跡と化石との両方が残っている例は少ないのだが、それに当てはめてみると、恐竜は予想以上にのろまだったことがわかった。

博士の結論によると、恐竜のスピードは、秒速一・三・六メートル、時速にすると三・六・十三キロ。人間のおとなの歩く速さは、時速四・五キロだから、恐竜はほぼ人間なみ、ということになる。

見事ネッシーの存在を示す反応？

米ボストンの応用科学アカデミー発表

●ネッシー探検史上最長の科学機械を動員したといわれる、ライオンズ博士を中心とした米ボストン応用科学アカデミーの調査団はこれまでの成果を発表、同博士が九月九日、ボストンで語

トピックス

新粒子は、巨大加速器による超高エネルギー実験で初めてつくられるもので、今回の成果はスタンフォード大学の線型加速器とカリフォルニア大学ローレンス・バークレー研究所における過去二年間の実験によって得られたものである。

新粒子は強い相互作用をする

物質の「新しい基本的性質」を備えており、今後の実験で確認されれば素粒子物理学におけるクォーク理論の劇的成功を意味する。

クォーク理論は一九六〇年代初期に提唱されたもので、すべてのハドロン(重粒子と中間子)はクォークという基本粒子の組

合せてつくられている、と考える方である。今度発見された粒子は、四種類のクォークの一つで、チャームの性質をもつものに对应する電荷を帯びている。

木星の四衛星は

塩と氷と水で出来ていた

火星の岩に

「2 B G」の文字

バイキング一号着陸機から送られてくるテレビ画像をのぞき込んでいたジェット推進研究所(JPL)全体が一瞬色めきたった。画面左手に写っている石の表面に「2 B G」と読める「文字」があったのだ。

太陽の方に向けて白く輝いている面に、この「文字」が黒くあらわれていたから大変だ。「これは何を意味するものか」

科学者ばかりか報道陣までが大あわて。J・マーチン博士ら米航空宇宙局(NASA)の責任者たちは「あれは光と影の作用で、偶然石の表面にそれらしい模様ができただけ。おもしろいとは思うけど、公式にコメントすることではない」と冷たい返事だった。

はたして火星人が書いた文字だろうか？

(UPIサン—共同)



TOPICS

ったところによると、水中音波探知機による調べで見事ネッシーの存在を示す反応を得た、というもの。

同応用科学アカデミーは五月三十日、スコットランドに本格的な第五次調査団を派遣し、ネッシーのナゾに決定的なメスを、と調査を続けていた。メンバーには米ハーバード大学、英ケンブリッジ大学、英自然史博物館、米スミソニアン研究所から顧問を招き、とくに重要な水中カメラ班には前マサチューセッツ工科大学教授のハロルド・E・エジャートン氏を責任者に配置しての本格的な調査団。調査の総費用は七万五千ドル(約二千二百五十万円)。

今回の音波反応に基づき、秋には湖底にあるとみられるネッシーの骨を発見するため英国のダイバー・チームを潜水させる計画という。

同調査団は、ネッシーの写真撮影には成功していないが、「骨を探すのにふさわしい湖底域を発見した」と成果を誇っている。

一九七六年は最悪の「地震年」

●米地質調査局が発表したところによると、今年、世界的に地震が多く、六万七千人以上の死者が出た一九七〇年以来、最悪の「地震年」という。これまでの調べによると今年は、六月四日までに世界各地でマグニチュード六・五以上の地震が二十一回発生、合計約二万四千人の死亡者が出ている。

前代未聞、尾瀬沼にトンボの大群！

●日光国立公園の尾瀬沼周辺に、体長十センチほどのオオシオカラトンボが大量に飛来、一時は沼の上空が薄暗くなり、燧岳の頂も隠れた、と

●NASAがその正体を分析

米航空宇宙局(NASA)がこのほど発表したところによると、一九七三年から七四年にかけて、パイオニア10号と11号を

木星に接近させ、その衛星を調べた結果、木星を回る四つの大きな衛星、イオ、ユーロパ、ガニメデ、カリストはそれぞれ塩と水と水であることがわかったという。

それによると、イオの表面はどこもかしこも塩だらけである。

科学者たちが考えるには「大昔、イオの内部から水分がにじみ出て来て、表面に集まったと思われる。しかし、そのころ、木星はすごく熱い星だった。木

星にいちばん近いイオは、その熱にあぶられ、しみ出した水は、すべて蒸発して、あとに塩だけが残った」と。

ユーロパは、岩だらけの衛星だが、ところどころに大きな水のクレーターがある。

大昔、内部から水がしみ出て来た点は、イオと同じだが、ユーロパは木星から遠く、熱の影響が少なかったため、水は地下十キロのところまですっかり凍ってしまった。その氷の層の厚さは五十キロもあるだろうと、科学者たちは考えている。

ガニメデは、水玉の衛星で、中心部にわずかなばかりの泥があるだけで、あとは衛星全体が水で出来ている。表面は凍っている。

●オリバー君の正体は

“チンパンジー”だったの

米国で「ヒトか、サルか」で話題を集め、七月下旬、テレビ出演のため日本に来日したオリバー君であったが、来日の折、日本の科学者の手によって明らかにされたところによると、疑問の余地のないチンパンジーである、という結果が出た。

オリバー君が「ヒトかサルか」と騒がれたのは、動物の種類を決める強力な手がかりとなる染色体の数、人間とサルの中間の四十七本という点だった。ところが、放射線医学総合研究所の平井百樹遺伝第二研究部研究員がオリバー君の白血球を培養して染色体を数えたところ、間違いなくチンパンジーと同じ四十八本だった。人間の染色体は四十六本である。

また、オリバー君の血清たんぱくによる京都大霊長類研究所

で、氷原には霜が降りていると想像されている。

カリストは、岩石とチリと氷が、ごちゃまぜに集まった衛星。木星ができた四十五億年ほど前宇宙空間に漂っていた「がらくた」が集まって衛星となったもので、木星からも遠く、熱源となるウランなどの放射性物質の量も少なかったため、氷は大昔のまま、いちども溶けたことがないという。

木星は強い磁場、粒子を放出する“冷たい太陽”

●パイオニア10、11号の観測結果から判明

米航空宇宙局(NASA)の調査によって、木星はこれまでの

の岩本光雄助教授の調べでも、オリバー君はチンパンジーだった。これは血清たんぱくの一つ、トランスフェリンのパターンを電気泳動法を使って調べた結果わかったものである。

またレントゲン写真においても、オリバー君はチンパンジーの特徴をもっていて、人間であるはずの特徴がなかった。

二本足で直立できる能力について、静岡大学の平沢弥一郎教授は、「オリバー君は自然な状態でむしろ四本足で歩き、二

本足で直立できる能力について、静岡大学の平沢弥一郎教授は、「オリバー君は自然な状態でむしろ四本足で歩き、二

トピックス

いう事件が六月二十九日正午頃、起こった。

今年の尾瀬沼は、名物のニッコウキスゲが季節はずれに早咲きし、コバイケイソウも数年ぶりに大群落をなして咲き乱れたりしていたが、尾瀬暮らし六十一年の長蔵小屋主人、平野長英さんは「こんなことは前代未聞」と国立公園管理事務所に第一報。「トンボの飛来はうれしいが、どこかおかしい」と平野さんは心配顔。

太平洋に巨大イカが続出か？

●このほど「クジラの乱獲でマッコウクジラが激減したため、太平洋に巨大なイカが出現しつつあるようだ」と語ったのは、カナダのクジラ補獲抗議運動組織グリーンピース財団のハンター会長。

同会長によると、最近、米カリフォルニア州沖で体長四・三メートル、重さ九十五キロのお化けイカの死体を発見。証拠写真も撮っているという。

「巨大イカ」についてハンター会長は「イカを好むマッコウクジラが乱獲で姿を消したことが、イカの巨大化をもたらしている」と説明している。

世界最古のアルファベット見つかる！

●テルアビブ近郊で発掘調査をしている考古学者のコハビ教授を中心としたテルアビブ大学考古学チームは、世界最古のアルファベットを発見したことを明らかにした。

同教授によると、このアルファベット文字は陶磁板に書かれており、紀元前十二世紀のものという。また発見された文字はアルファベット筆記が考案されて二、三百年後に書かれたもの



(共同通信)

本足で歩くのは訓練によるものだろう」と述べている。

普通のチンパンジーと比べて顔の色が白いのも「チンパンジーの個体差であって、特別なチンパンジーではない」というのが岩本助教教授らの結論だった。

アフリカのコンゴ川流域から引っぱり出されたオリバー君、この騒ぎでもっとも迷惑したのはオリバー君かも？

とみられている。

太陽系の直径は

コンピューター計算〇・二光年

●太陽系の天体力学的モデルの計算にコンピューターを使った結果、太陽系の直径は一万二千五百天文単位（一天文単位は一億四千九百六十万キロメートル）、〇・二光年という数字を得た。

計算をしたのは、ソ連のラトビア大学付属天文台（リガ市）のカルル・ステイン教授らで、同教授らは、太陽系の一番はずれ、つまり限界は太陽系の引力圏内にとどまる彗星のうち、最大の離心率をもつものの軌道の遠日点と一致、これらの軌道データをコンピューターに入れてこの直径の値を得たものとみられる。

高透明度バイカル湖の秘密は

「小エビ」の働き

●世界一、二の透明度を誇るソ連のバイカル湖は、考えられていた以上に生物類が豊富なことがわかった。ここ数年の調査によると、バイカル湖は最深部まで酸素が存在し、透明なために

太陽以外は放出しないと思われる

ていた高エネルギーの電子や陽子を宇宙空間に放出している、ことがわかった。

これはNASAの打ち上げた無人探測器パイオニア10、11号によって明らかになったもので

木星には、地球の一百万倍もある強い磁気がある。その磁気が影響を及ぼす、いわゆる磁気圏は

直径二千万キロもあり、その体積は地球の磁気圏の百万倍にあたっている。もし、木星の磁気圏が地球から見えた」とすると

太陽の視角が〇・五度だから、木星磁気圏の大きさはとてつもなく大きいことがわかる。

また、かなり高いエネルギーをもった電子や陽子などの荷電粒子が、木星の夜側にある磁気

圏のしつぽの方から出ている。

粒子のエネルギーは数百メガ電子ボルトで太陽から放出される粒子とはほぼ同じで、地球周辺にも届いている。また磁気圏の中にも高エネルギーの粒子がいつ

ばいつまわっていた。地球のバン・アレン帯と同じように、木星の磁気圏の中心には高エネルギーの粒子が磁場によつてとらえられた放射線帯がある。地球の放射線帯にある粒子は、主に太陽からきたプラズマ粒子（太陽風）である。ところが、木星が放出する高エネルギーの粒子は、太陽からきたものというよりはほとんど自前のものだという。

ソユーズ21号打ち上げ

●サリュートとドッキング、宇

●世界初の「UFO空港」フランスに完成！

「空飛ぶ円盤」（UFO）の着陸用空港としては初めてのものが、このほどフランス・ポルドー地方の海岸のアレ市に開設された。

この「UFO空港」は地方空港技術者のロベール・コトンス

フランスに完成！

んのアイデアによるもので、「UFOはほとんど着陸したことがないとすれば、それは着陸地がなかったためだ」というのがコトンスさんの主張。これまで

何も手を打たなかったのは「当局の落ち度」と、UFO空港を

完成させた。

空港開設式には市長も出席するなどして盛大に行われ、市長は、空港の最初の使用者は着陸料を免除されるだろうと約束した。

また、「UFO空港」は風見用の吹き流しや滑走路標示灯も整えた本格的なものという。

の宇宙飛行士たちが宇宙ステーション・スカイラブでたてた八十四日間の宇宙滞在記録を大きく更新するかもしれないといわれている。

また、ふたりの飛行は、ソ連の新しい宇宙開発計画の第一弾といわれ、新たな技術を開発した模様である。宇宙飛行士ウラジミール・シャタロフ中將は今回のソユーズ21号の打ち上げにあたって「宇宙船には基本的に新しい技術はない」と強調したが、バリからのAEP通信が伝えたところによると、サリュート5号は前後に二つのドッキング

グ用ハッチをもっているという。もし、この情報が正しいとすれば、ソユーズ宇宙船をもう一つドッキングさせて、ソ連はさらにふたりまたは三人の飛行士をサリュート5号に送り込ませることもできる。

もう一つの可能性は、二つ目のハッチに、無人の補給船をドッキングさせて、食糧や酸素を補うことだ。その技術的な裏付けをしたのが、昨年十一月に打ち上げられ、今年二月に回収された無人宇宙船ソユーズ20号だったとみられる。この宇宙船はサリュート4号と自動ドッキング

● 椋平虹、関東地方を襲った

虹から地震を予知する研究で知られる京都府宮津市江尻、椋平広吉さんが六月十六日朝、関東地方を中心に襲った地震を前日の十五日に予知していた。

これは、椋平さんが知人に出していた十五日消印のはがきからわかったもので、「昭和五十一年六月十五日四時十三分、椋平虹現象す。六月十六日七時十六分、山梨県中部地方に強震ある」と書かれており、気象庁の観測による記録と二十分ずれているだけで、震源地はびたり

椋平さんの観測によると虹は

山梨地震を予知!

十五日午前四時十三分から三十分、二十秒間現れた。天橋立に近い宮津湾江尻浜にある観測点から東南東の栗田半島高嶺山上空で、淡い色で四角い形だった。この虹の状況から、独自の椋平理論で、山梨地震を割り出したという。

椋平虹は地震の数時間から約一日前に現れる特殊な虹で、椋平さんが大正八年五月十九日、初めて発見。今月は二千三十七回目。昨年二月からは京大地震観測所長の三木晴男教授が科学のメスを入れている。

グした。これらのことから推測するとソユーズ21号の両飛行士が宇宙滞在記録を更新することも可能だと思われる。

中国河化省に大地震!

● 百万都市・唐山を全滅させる
中国の新华社通信が発表したところによると、二十八日未明中国の華北地方を襲った地震は人口百万の工業都市・唐山に極めて重大な損害損失を与えたという。

震源地は河北省唐山。豊南地区でマグニチュード7・5。今月五月末の雲南地震と並らぶ中国で最大規模の地震である。被害の大きさなどについては、公にされていないが、死者三人を出した唐山市での日立製作所プラント建設関係者の遭難事故などを通じて明らかになったところでは同市から退避した中国人の話に崩壊した家から自力で脱出できなかった場合は絶望的、という状況だったという。近郊を含めて百万人を数える唐山市で仮に伝えられるように八十パーセントの家屋が倒れたとして、人口の何パーセントの死者が出たのだろうか。さらに震源から八十キロ離れた天津市でも、か

トピックス

光が深い所まで通るので、かなりの藻類がみられた。

学者によると、バイカル湖の水がきれいなのは、湖中の植物や動物の生活機能のせいだという。湖内の小エビが、エサを求めて水をろ過するのだそう。ところが、この小エビを湖から外にもって行くと死んでしまう。環境の変化に非常に敏感なわけで、このことから、湖水をきれいに保つためには、湖の自然の均衡を守ることが必要なのだという。

超大型ブラック・ホールの直径は

太陽の五十倍!

● 直径は太陽の五十倍、重さは千万倍という巨大なブラック・ホールが、ケンタウルスA星雲の中心にある、と「ニュー・サイエンティスト」誌に紹介されている。説を唱えているのは英国ケンブリッジ天文学研究所のアンディー・ファビアン氏を中心としたチーム。

ケンタウルスAは、透過性の強い硬X線源としては全天でも屈指のだ円星雲。だ円の真中を星間物質の黒い「帯」が一本通り抜けて、二つに分かれている形をしていることで有名な星雲だ。ブラック・ホールは、その「帯」の中にあるX線の強さは、太陽が属している銀河系星雲全体の出す光のエネルギーにほぼ等しいことがわかったというもの。このように強いX線や赤外線が出ているのはブラック・ホールがあるからに違いない、とケンブリッジのチームは説明している。

もしこれが本物だとすれば、星雲級の超大型ブラック・ホールということになる。

なりの倒壊家屋が出ており全体の死傷者は数万、数十万の規模に達するとの見方もある。

直下型地震のすさまじさが、その大きな被害の最大の原因であることはもちろんだが、それ

とあいまって指摘されているのは、①一般居住家屋の耐震性の低さ②事前予知の不成功、などである。

いくつもの地震の予知、予報に成功している中国では、この

地域を近い将来、地震が発生するかもしれないと国家地震局が注目し、予知観測体制を推進していただけに、あらためて地震予知のむずかしさを浮き彫りにした形になった。



●これが火星の衛星「フォボス」

(UPIサン一共同)

火星の衛星「フォボス」の新しい写真が米ジェット推進研究所(JPL)から発表された。

この写真は、バイキング1号の軌道機オービターが64000キロ離れた位置から撮影したもので、直径5キロにも達する大きなクレーターをはじめ、直径数100メートルの小さなものまでたくさん写っている。

巨大な隕石が北極に衝突してクレーターができたとき、この衛星がなげ粉々にくだけなかったかについて、軌道機写真班のトーマス・ダックスベリー博士は「フォボスの表面が非常に

硬かったか、あるいはものすごく柔らかい砂のようなものだったか、どちらかの可能性が高い」と語った。フォボスの写真は、1971年末にマリナー9号が5,500キロの距離から撮影しているが、今回の写真は、ちょうどその裏側を写したことになる。火星の中心から9,380キロの円軌道を回るこの衛星は、長径28キロ、短径20キロといった小さなもの。

JPLは、オービターがフォボスに40キロまで接近する来年3月に再び撮影するほか、もう1つの衛星ダイモスについても調べる予定。

“幻のツチノコ”騒動

今度は岐阜県の山村に!

●最近やや下火の“幻のツチノコ”騒動だが、岐阜県の山村で、主婦三人が相次いで目撃し、「あれはツチノコに間違いない」と語った。

山形郡美山町の葛原地区

では、七月下旬から八月初めにかけて、この話でもちきり。いずれも地元の主婦が杉の苗畑などで下草刈りをしていた際の出来事。目撃者全員、あまりのショックにオドオド。わずかにメートルの至近距離でツチノコを見た主婦は、余りの恐ろしさに寝込んでしまい大騒ぎ。三年前にもお隣の高富町でも騒ぎがあっただけに、これは本当、と町でも雑草地帯をわざわざ刈つての“自衛策”。

先史時代に

落下した巨大な

“ニッケル爆弾”か?

●シベリアの北極海沿岸に



イタリアの「ポンペイ跡遺」から最近、二つの人間の遺体が発掘された。遺体は完全なもので、男性と女性。男性の方はマルコ・オベリオ・フィルモという名前だそうで、西暦79年の大事故の年にポンペイで行われるはずだった選挙の立候補者という。後方で学者が調べている女性の遺体は、フィルモ氏の妻か娘ではないかと見られている。

(UPIサン・共同)

●ポンペイ遺跡から当時の

裁判官の遺体を発掘！

バイキング一号火星に着陸
火星の定説をくつがえす

●生命存在論争に終止符ならず

昨年八月、米フロリダ州から打ち上げられた無人探査機バイキング一号は、十一カ月の長旅を終えて七月二十日、軟着陸することに成功した。その後、探査機は順調に作動、貴重なデータを地球に送信して来たが、そ

の成果にジェット推進研究所の科学者たちは騒いでいる。

着陸機は、着陸直後から活動を始め、火星の風景写真を送ってきたが、火星の空が予想外に明るかったことが科学者を騒がしている。火星の大気は地球大気の約二百分の一しかなく、このため、空は昼間でも黒っぽく見えると予想されていた。ところが、第一報に写し出された火

星の空は地球並みに明るく、ジエームズ・ボラック博士(NASAエイムス研究所)は「これは大気中の粒子で太陽光線が散乱しているためだ」と語った。

また、着陸機写真班のリーダー、トーマス・マッチ博士は、最初に撮影された写真を示し、左側にタテに長く、ぼんやりと黒ずんだ部分を指しながら「あらゆる分析の結果から考えて、この黒い雨のような部分は、ここでも何か小さなものが一分間ほどの間にカメラの前を横切るように動いたと考えるのが最も科学的だ」と結論した。

サガン博士は「写真を見るかぎり、植物らしきものは、見あたらない。しかし、この写真と同じような風景は、地球上の砂ばくでも見られる。もし、これを地球の写真だといつわって、地質学者や生物学者に見せ、どんな生物がいる可能性があるかとたずねたら、学者たちは直ちに、百種類から二百種類もの動物植物の名前をあげるだろう」と微生物分析への期待感を盛り上げた。写真から、火星表面物質の主な成分は、火山活動によるものと考えられ、重い溶岩の流れた跡や細かい火山灰の砂のようだ、とマッチ博士は語った。

トピックス

あるボビガイ盆地の地層から、きわめて純度の高いニッケルが発見され話題になっている。おそらく先史時代に落下した巨大な「宇宙爆弾」が運んできたものと考えられるからだ。

ニッケルは石英属の中に条痕として認められるもので、分析の結果、純度は八十七パーセントもあった。これほど純度の高いニッケルは、まだ地球上で見つかっていない。この事実はいん石も含めた天体の物理化学的性状について従来の考えを修正させるものかもしれない、とソ連の科学者たちは語っている。

ニッケルの発見されたボビガイ盆地は四年前レニングラードの地質学者が発見したもので、直径百キロ、深さ四百メートルにも及ぶ大きなクレター。約三千万年前、小惑星のかけらが、巨大ないん石が落下して形成されたものらしい。盆地のなかは衝突の際、砕かれたり溶けたりの岩のかけらでいっぱいだという。

インカ帝国「最後の首都」

ペルーで発見される

●スペイン人に征服されたインカ帝国最後の首都「ビルカバンバ」が最近、歴史家エドムンド・ギレン氏を隊長とする特別探険隊によってペルーのジャングルの中で発見された。

ギレン氏が語ったところによると、遺跡は長さ約五キロ、幅約二・五キロの地域に、宮殿と寺院のほか、約四百軒の住居跡から成っている。今回の発見には、インカ帝国の最後の戦いについてスペイン人の兵士が書き残した未発表文獻に頼るところが大きかったという。探険隊はクスコを出発してジャングルを切り開くこと十二日間にしてインカの首都を発見した。

(続) 宇宙・引力・空飛ぶ円盤③

レナード・クランプ

- ☐ 技術的分析と立証
- ☐ 重力場宇宙船内の乗員保護
- ☐ 空気力学的にみた重力場

技術的分析と立証

この章では私の調査結果を解説するが、それには二つの意図がある。

第一は、一般大衆および円盤に対して懐疑的な人々に注意を呼びおこすことである。つまり、詳細な目撃報告は今や立派な技術的意味をもちつつありさまざまな人々から報告される情報が実記可能なひとつのパターンを形成してきているということである。

したがって、懐疑派はまたもや選択を迫られることになる。何かの偶然、世界的陰謀あるいは自然現象の誤認等々——。もしこれらでないとするなら、彼らはUFO報告の相当部分が地球外の乗物に関する真実の記述であることを認めなければならないはずである。

第二の意図は、当然ながらこの素晴らしい円盤建造者達の技術にいくらか光を当ててみようということである。

この章では特に技術的に進んだ懐疑派が純粋に技術的、機械的見地から多くの目撃内容の価値を判断できるよう、合理的に記述をすすめたい。もし、調査内容のいくつかが適当なもの

であれば、相当の関心と呼ぶに違いない。しかし、一般の人々によってなされた観察内容がすべて重力場推進アイデアに適合するならば、このアイデアとUFOはどちらも立証され、我々はいへんな真実を発見することになるだろうし、事実をすっきり関連づけて並べることも可能となろう。

ところで、先に進む前に、この問題についてあまり詳しくない読者の理解の一助とするため、UFOに関連してよく知られている現象をいくつかまとめてみよう。詳細な情報はこの分野の研究者のファイル中にあるので、ここでは技術的特性のみをとり上げる。空軍省にはもっと豊富な情報があるはずである。

UFOの特性

〔色〕

- 1、UFOは深紅からオレンジ、白色に至るさまざまな色の变化を示す。
- 2、色は通常加速、減速時に変わるが、そうでない場合もある。
- 3、下方から見た場合はほとんど赤

かオレンジ色。

- 4、時として、円盤のUFOの周囲に赤か青味がかった炎の見られることがある。

- 5、日中、降下したときにはおおむね鈍い灰色に見える。

- 6、離陸時、輪状に輝く蒸気の見えることがある。

〔騒音〕

- 1、ほとんどの場合、円盤は完全に無音である。

- 2、かなり近づいた場合には、モーターのうなり音、蜂の羽音、木が割れたりサーキット・ブレーカーが作動するときのパチパチ音に似た音が聞かれることもある。

- 3、騒音をたてて動き回るときは猛烈である。恐ろしいうなり音、カミナリ騒音は低空飛行するジェット機よりひどく「白い騒音」として知られている。

- 4、無音の飛行体が何機か編隊を組む時に可聴音を発生するヘテロダイン効果が生じると考えられる理由がある。

〔運動〕

- 1、降下時には落葉が舞い落ちるような飛び方に見えることがよくある。

- 2、上昇時にも同様の動きをすることがある。

- 3、速度はいろいろで「見たところ流星くらい」とか「ジェット機より速い」とか、また空をはいまわるようだというものもあり、風向きは関係ないように見える。

- 4、円盤は動き出したり消え去る前に一瞬空中に静止するように見えることがある。

- 5、加速、減速は急激で空中で直角にターンしたり瞬時に停止したりする。

- 6、目撃リストの中ではこのほかにめちゃくちゃと不可解だが共通の特徴をもつ円盤がある。それらは空中でぐるぐる旋回したり踊るように動き回ったり、時にはヨーヨーのように動く。

- 7、中には、空中で巨大な車輪が回転しているように見える奇妙な飛行物体が目撃されたこともある。

- 8、目撃のうち、円盤の一部が高

速、というよりはさまざまな速度で回転するものが多い。

9、葉巻型UFOの動きは非常に変わっている。縦になってみたり、形状を変えたり、伸びたり、いくつかの部

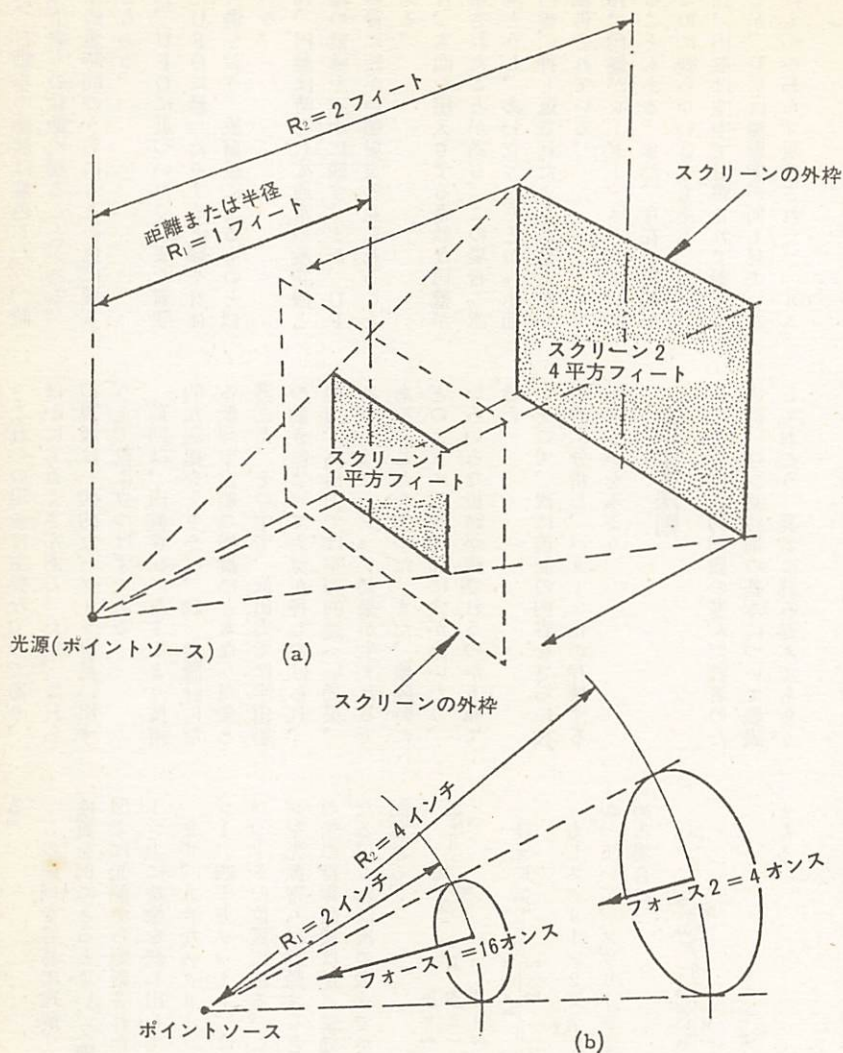
分に分かれたり、かと思えば消滅したりまた現れたりもする。

〔付随現象〕

1、自動車の電装部品がUFOの影響を受ける。前照灯が暗くなったり、

円盤が接近すると消えてしまうことがある。UFOが飛び去るとすぐに正常に戻る。バッテリーは時として沸とうし点火プラグが過熱する。

2、接近によりエンジンが止まる。



光による逆二乗法則の図解

3、円盤が離陸したあと、地面に掘り起こされたような穴が残される。

4、他方、離陸後の地表に巨大な重量物が置かれたような跡が残っていることもある。

5、近くでイナズマが光った後のような妙な、不快な臭気をともなうことがある。

6、着地している円盤からは「私を押し返すような」不気味な、目に見えぬフィールドが出てくる。

7、動物は恐れ、かなり時間が経過した後でも、その地点から逃げる。

8、離陸した場所には時として高熱、溶解、焼け焦げなどの跡が残る。

9、植物はほとんどの場合、花卉のように外側に押し倒され、時には「回転草刈機をかけた後のように」あるいは「巨大な回転火花」の跡のように痕跡を残している。

10、まるで「気狂いざたのように」一tもの土が投げとばされていたことが、少なくとも一度はある。

11、飛行中のUFOから時として破片が落とされる。小さな氷片のこともあれば大きな石塊、合金や鉄などであるが、たいていは「エンゼル・ヘア」と呼ばれる奇妙なゼラチン状の物質である。

12、円盤の接近によって鉄分を含む磁性体が磁化されることがある。

13、円盤が上空を飛ぶとラジオやテレビは乱れる。ある陸軍守備隊の電気

レビは乱れる。ある陸軍守備隊の電気

回路は不思議なことに遮断してしまつた。

14、自動車の塗装は変色したり、時には下塗りの状態に戻ることがある。同様に短時間のうちにもとの色に戻ることもある。

15、UFOに近づいたり、また着陸したUFOに触ったりすると顔や身体に火傷をおう。放射線によるものと似ている。

16、円盤は時として通常の航空機と同様の航跡を空中に残す。また、UFOの後に短かい噴射炎の見られることがある。

17、水面を出入りする奇妙な円盤が目撃されたことがある。この場合「水が沸とうし、あわ立った」とか「水面が円盤に押し返されたように見えた」と報告されている。

18、円盤がリーダー・スクリーンに映ることもある。また、存在の証拠があるのに映らないこともある。

19、円盤は空中で目撃されて撮影されるが、時には撮影者が何も見ていないにもかかわらず現象されたフィルム

にUFOが現れる。

これらの現象は主要なものであり、ほかにもたくさんある。ただ、これらの現象は一般的なパターンを見い出すうえで役に立つはずである。

前回は、円盤存在に對するより技術的な証拠をとりあげ、我々の設計になる仮想宇宙船の操縦にともなう現象と考えた。その中で、低出力では宇宙船の動きによって大気が押しのけられ、他方、高出力では空力的遮へい効果、あるいはクッション効果が生まれるであらうことを知った。また、離陸時にどのようにして地面に穴があいたり、いろいろな根拠が残されるのかも見てきた。

逆二乗法則

ここで技術的知識の進んだ読者のために、逆二乗法則の基本について概説しておこう。読者に読み進んでもらう

ためにはこの簡単な基本法則を理解してもらわなくてはならないからである。

この法則を容易に理解するには光の性質を例にとるとよい。(図1a)この図では光源から照射された光がスクリーン上に映像を映し出している。

まず、大きなスクリーン(スクリーン1、四平方フィート)は光源から二フィートの位置にある。このスクリーンを光源寄りに移動するとスクリーンの光の投影面積は逆二乗効果によりとなる。これは次の公式でかんたんに表記できる。

$$A_2 = \frac{R_1^2 A_1}{R_2^2} \quad \text{Viz} \quad \begin{matrix} A_1 = 4 \text{ 平方フィート} \\ R_1 = 1 \text{ フィート} \\ R_2 = 2 \text{ フィート} \end{matrix}$$

$$\text{ゆえに } A_2 = \frac{1 \times 1 \times 4}{2 \times 2} = 1 \text{ 平方フィート}$$

もしスクリーン2 (A_2) の面積がわかっていて、スクリーン1 (A_1) を求める場合は、

$$A_1 = \frac{R_2^2 A_2}{R_1^2} = \frac{2 \times 2 \times 1}{1 \times 1} = 4 \text{ 平方フィート}$$

となる。

これは例として面積と距離の単位をとり上げたのだが、同じ法則は距離と力の場合にも当てはまる。

たとえば、図1bは光のかわりに力の場を用いたものだが、この場は磁力でもよいし、静電気、重力でも同じことである。右の公式を当てはめれば任意の距離における力を算出できる。

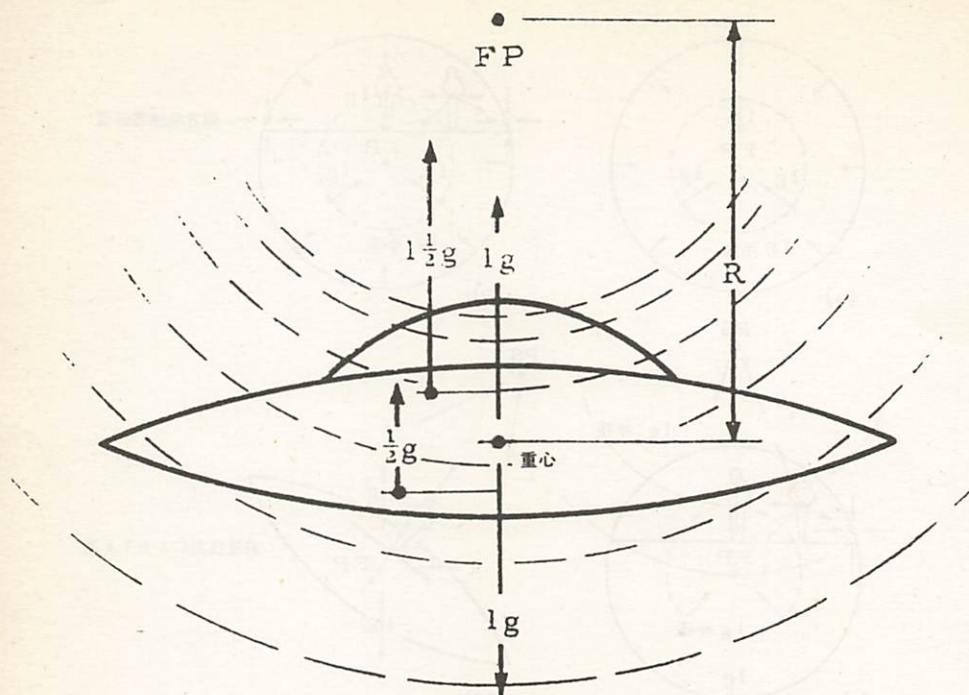
一例として静電気の放射を考えてみよう。ある物体が静電気の放射源から二インチの距離にあり、十六オンスつまり約四百五十三グラムの力で吸引されている場合、距離を二倍の四インチとすると、物体にかかる力はどうなるか。

$$F_2 = \frac{R_1^2 F_1}{R_2^2} = \frac{2 \times 2 \times 16}{4 \times 4} = 4 \text{ オンス (約113g)}$$

が得られる。

そこで逆二乗法則をまとめてみると「距離が二倍になると力は四分の一、距離が半になると力は四倍になる」となる。この公式をこれから宇宙船に応用していこう。

重力場宇宙船内の乗員保護



逆二乗法則による宇宙船内のgの違い

まず、図2のように浮揚状態にある重力場宇宙船を考えてみよう。

この図でわかるように、重力場の中心点は宇宙船より距離Rだけ上にあり、また、宇宙船は地球の引力に抗するために重力場中心の方向に1gの加速度を受けると考えられる。また、その重力場は逆二乗法則に従い、場の強さは重力場の発生源(中心点)からの距離の二乗に比例して変化するものと推論できる。

前出の公式 $F_2 = \frac{R_1^2 F_1}{R_2^2}$ から

また、宇宙船の重心に1gの反重力加速度が作用していると仮定すると、逆二乗法則に従うので、宇宙船の他の場所では1gより大きくなったり小さくなったりする。この差は船体とポイントソース(重力場を一点に集中したものと考え)との距離による。今後このポイントソースという語を使用するが、理論的にはこのような意味のポイントソースが存在しないことははっきりしている。

実際には、我々の考えているポイントソースはある広がりをもってもよい。その場合でも、重力場の焦点が船体に近いとgの差は大きくなり、船体内を自由に動き回る物体は、船内の頂上部にいたときと下部にいたときでは異なる効果を体験することになる。

この重力場は地球の重力場に影響を与えないことを思い出してほしい。二

本の棒磁台がその間に置いた鉄片に力を及ぼしている場合の效果に似ている。この場合、どちらの磁石も互いの磁力線を破壊することはない。ロープ

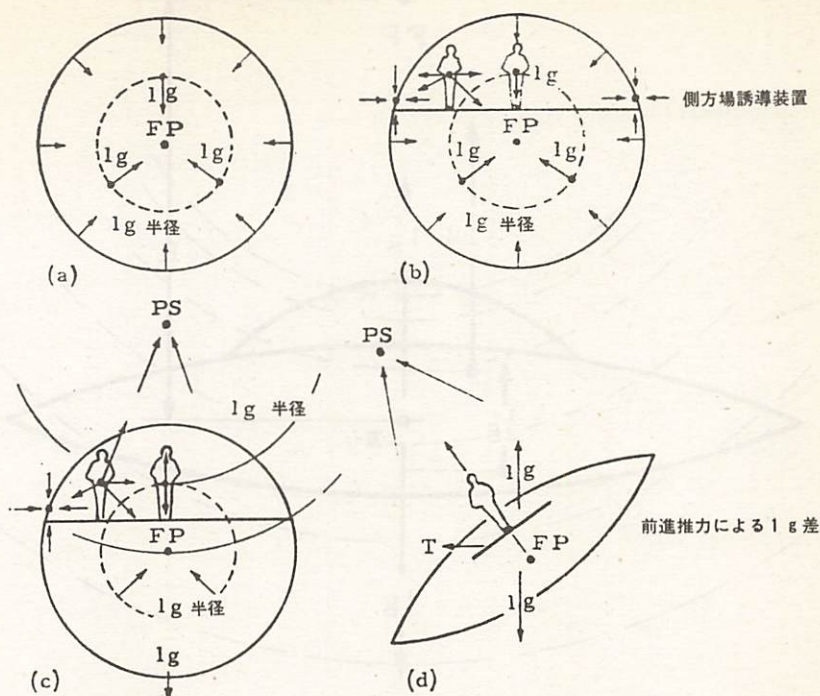
のかわりに場を使った綱引きである。同様に、船体の底部にある物体は地球の場によって引っぱられているし、

またそれに対抗する重力場は同じ物体に対して垂直方向におそらく1/2gだけ働くので、物体の重さは地球上の重さの1/2に相当する。

一方、船体の重心より上の方では物体は垂直方向に1/2gの力をうけ、従って重さはなくなる。というより、逆に1/2gの負重量ないしは反重量をもつことになる。

今、パイロットをこの物体として想定してみよう。浮揚状態を考えると、彼は体重が減少した不便な状況におかれる。宇宙船の重心より下にいれば体重の減り方は小さく、上にいけば減り方が大きい。事実、天井まで浮き上がるほど重量の減ることもでてくる。この状態は宇宙船の推力が大きいと一層顕著になる。このことからわかるように、乗員は宇宙船の重心より低い所に居住することになる。そうすれば、仮りに宇宙船が2gをうけると、逆二乗法則によって乗員は地球の環境条件と同じ1gだけをうけることになる。

しかし、これは場の強さがどうであれ、ポイントソースから宇宙船重心ま



第2の場誘導装置によって生じる船体および乗員のg差

での焦点距離が変わらない場合にのみ真実である。逆二乗法則やその他の理由のために焦点距離を固定することは不可能であり、他の解決法を検討しなければならない。

これについては「宇宙・引力・空飛ぶ円盤」でもとり上げたが、ここでは更に詳細に扱うことができる。純粹に技術的見地からとり上げようとしている以上、ここでふたたびドイツの盲目の天才を思い浮かべる。そこで、必ずしも適切ではないかもしれないが、以後、私の考える重力場発生機を「バックハルト・ハイム」にならって場誘導装置と呼ぼう。

では、図3を見ながら検討を続けよう。問題をすっきりさせるため球形の宇宙船を想定する。

すでに述べたとおり、ポイントソースは宇宙船の外でも中でもよい。物体の内部に置いた場合はその効果は場の強さに比例してくるので興味ある結果をうるることができる。この場合は宇宙船の中心に第二のポイントソースを置くが船体は全体が同時に動くので移動はしないはずである。図3aに見るように船体内で動き回る物体はすべて第二のポイントソースに直接引きつけられる。しかし間仕切りや床がこのポイントソースからは離れた位置にあるので、船内の物体はこの床にさえぎられるまでポイントソースの中心に向かつて、「落ちる」ことになる。こうし

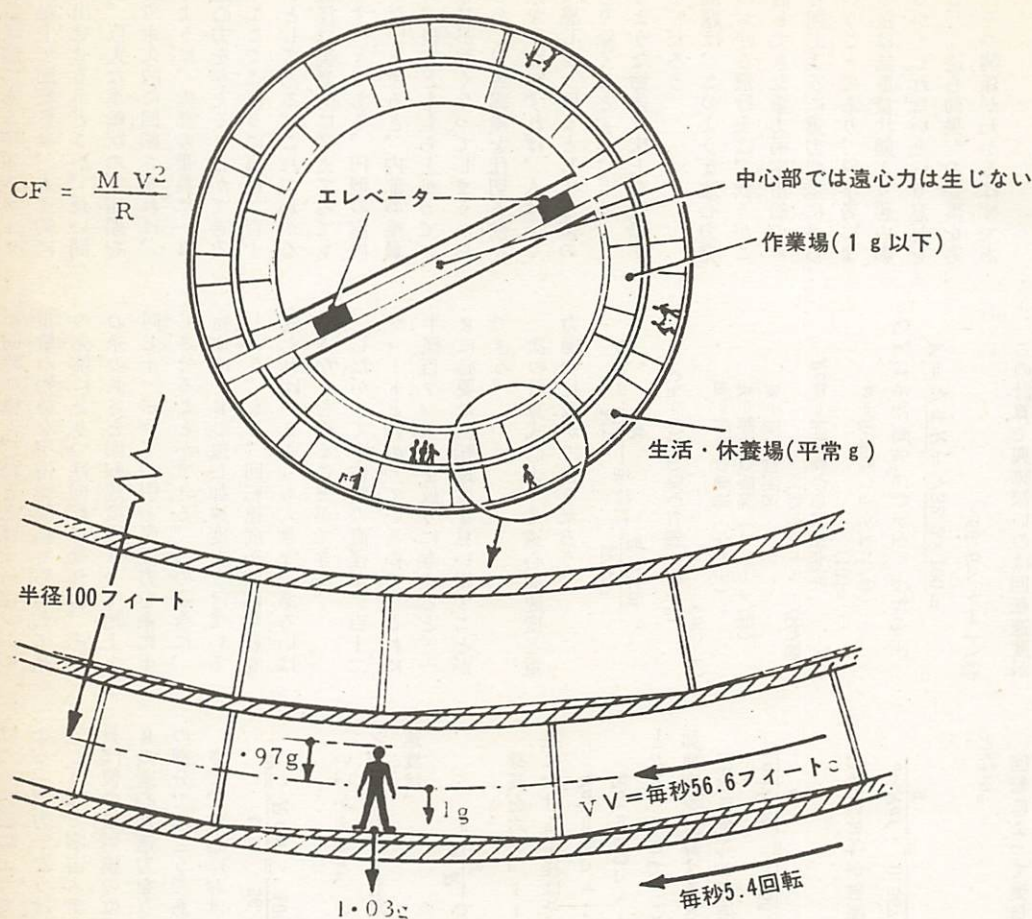
て、場の力が動体中心に一gの重力加速度を生む。図3bのパイロットがこれに当たる。

この限りでは、第二のポイントソースは船内のそれもあまり底部に低くない位置に置かれるべきであり、そうしないと乗員室は逆にそれより高い位置に置かれることになる。また、乗員が横方向のgをうけることも明白である。しかし図のように横方向に作用するよう適切に配置された場誘導装置があればいとも容易にこの問題を解決できるだろう。

後段で、第二のポイントソースを置けば同様の結果が得られることがわかるはずだが、今の段階でこの代替案を導入することは推理小説の最後の部分を先に読んでしまうのと同じことになる。賢明な読者はこの理論のこの部分に極めて重要な技術的障害のあることを推察しているだろう。それを調べるためにしばらく先に進むのをやめよう。

後段でとり上げる例題や計算例で見ると、船体の重心と乗員の重心との間にはなんとか必要な1gの差を作り出したとしても、非常に大きなパワーが使用された場合には、乗員は頭部と足の間に生ずるgの差に苦しむことになるう。

例えば図3cにおいて、計算をするまでもなく明らかなように、乗員の腹部のあたりには1gがかかるが、他方



回転する宇宙ステーション内の乗員に作用する遠心力の差。半径が小さくなると差は増大する

彼の足は第二の場誘導装置にずっと近いので数の重力加速度をうけることになり、また頭部は第一の重力場の影響を大きく受ける。

焦点距離や場の力を慎重に選択することによってこの差を大幅に縮めることができるだろうし、あるいは乗員が身体を横たえてgの影響を小さくすることもできようが、あまり実際的ではない。また、横方向の場発生リングを設けて乗組員の動きに合わせて上下させたり、乗員室全体を宇宙船の重心に合わせて調整できるようにすればg荷重を小さくする上で同様の結果が得られよう。読者は代表的なUFO目撃報告の中にこれらの方法を見いだすはずである。

さて、人体に対するgの差の問題はことさらに新しいものではなく、重力場推進機とは関係ないものの宇宙飛行に関係する技術者たちはこれについて以前から知っていた。宇宙での長期間の無重力状態が人体に有害であると考えている科学者のいることはかなりよく知られている。また、何カ月も宇宙で過ごした後、宇宙飛行士が地球に戻ると、地上の生活に耐えられるよう調節できるとも考えられている。一例をあげると、ジェミニ四号で飛行したエド・ホワイト、ジム・マクディビッドの両飛行士は無重力状態の中にいた結果、骨が若干硬化したと報告されている。

このような危険をとり除くため、科学者は無重量状態にある宇宙ステーションを中心軸上で回転させ、人工的に重力を生み出させるかどうか、長い間考えてきた。巨大な車輪状の宇宙船を適切な速度で永久的に回転させれば、図4でみるように、内部の乗員に1gに等しい遠心力を与えることができるであろう。ここでは仮りに直径二百十二フィートとしてある。これでわかるように、直径は視覚的に考えてみても極力大きくすべきである。円型の室内に仕切りがないとすると、内部の乗員は床が前方、後方とももち上がったという感じが強くなってしまふからである。しかし、各部屋を仕切る壁を設けて、床を平面にすれば、人はいくらか傾いた感じをうけるとしても床の傾斜感はとり除くことができる。ただ、転がるような物体は床上を壁際まで「落ちる」だろう。

しかし問題は、このような遠心力発生機の中における飛行士は、我々がこれまで検討してきた重力場宇宙船のパイロットと同じように重力の差にさらされるということであり、科学者によつてはこの差は無重量状態より悪い影響を生ずるかもしれないという意見をもっている。「遠心効果」の要素を考えてみればその関係がわかるはずである。

第一に、遠心力は自然に重力場と同一のものを生み出すことのできる力の

一つであらゆる物質の各分子、各原子に同時に働く。たとえば十一ポンドの重量の物体を宇宙空間にもち出して糸の先端にとりつけ回転させれば、その糸の長さと同転速度によつて地上と同じ十一ポンドの引っ張り力を糸に生じさせることができる。この場合に、物体は1gの遠心加速度をうけているという。もし、回転速度か回転半径を変えれば1gよりも大きな、あるいは小さなgを得ることができる。

したがって宇宙船の直径が二百十二フィートとわかつているので、これに半径百フィートを仮りに与えると、1gに必要な回転速度を見出すことができる。

次の計算式によつて遠心加速度と重力場の比較ができるだろう。

$$CF = \frac{MV^2}{R} \text{ または } \frac{WV^2}{gRcm}$$

CF=物体の重心に働く遠心力

(ポンド)

W=物体の重量 (ポンド)

V=物体の速度 (フット/秒)

g=重力加速度

(32.2フット/秒/秒)

Rcm=物体重心の回転半径

(100フット)

ω =角速度 (ラジアン/秒)

CFはまた重さでもある。それゆえ

$$V = \sqrt{gR} = \sqrt{32.2 \times 100} =$$

$$56.6 \text{ フット/秒}$$

この計算で興味深いのは回転速度が比較的遅いということであり、一分間に約五・四回転にすぎない。いいかえ

ると、地上で1gの引力をうける物体はこの方法によつて1gの遠心加速による「引力」をうけるのである。

こうして宇宙ステーションの中の乗員は彼の横隔膜の位置で床の方向に1gの遠心加速力をうけるが、身体他の部分ではどうであろうか。

さて、重心における角速度は、

$$\omega = \frac{V}{Rcm} = \frac{56.6}{100} = 0.566$$

ラジアン/秒

いいかえると、いかなる宇宙ステーションにおいても飛行士に働く遠心加速度は、

$$= \frac{\omega^2 R}{g} \text{ である。}$$

身長を六フィートとすると、頭部と足における半径はそれぞれ、

$$Rah = 94 \text{ フット}$$

$$Raf = 103 \text{ フット}$$

となる。そこで、この二つの点に働く

加速度を計算すると、

$$\text{頭部における加速度 } Gah =$$

$$\frac{\omega^2 Rah}{g} = \frac{0.566 \times 0.566 \times 97}{32.2}$$

$$= 0.97g$$

$$\text{足部における加速度 } Gaf =$$

$$\frac{\omega^2 Raf}{g} = \frac{0.567 \times 0.567 \times 103}{32.2}$$

$$= 1.03g$$

となる。

回転によつて乗員に地球重力環境を与える宇宙ステーションの場合、重力場推進の場合とまったく対をなす問題

がでてくる。たとえば、我々の重力場において焦点が比較的近いために人体各部にかかるに変化があること、また回転する宇宙ステーションの場合に半径が比較的短かいために生じるgの変化である。解決法の一つは、いずれの場合も半径を長くすることである。

現実的な例が地球の重力場である。人体には感じられないほど均一ではあるが、gの変化は存在しているのである。後に、gの差をとり除くはるかにうまい方法について検討するが、ここではこの問題をおあづけにしても結論的に影響を与えるものではない。そこで、図3の球形宇宙船に話を戻そう。

図3cで見るように、1gの第一の重力場ポイントソウスを設定し、これによつて飛行条件は確立される。また船体のgの差を減少させるために形状を皿型に戻すこともできる。

船体を傾け、推力を増加すれば飛行姿勢が得られる。性能は場の焦点距離と力次第である。仮りに、飛行状態で第二の場が1gの差に保持されるならば、乗員は加速感も、動いているという感覚も経験せず、船体の床上に平常姿勢で平常体重をうけ、地球裏面に対する船体の角度とはまったく無関係の状態になるだろう。乗員にとっては動いているのは地球の方で、彼ら自身は静止しているように見えるだろう。

(図3d)興味深いことに、円盤に乗ったと自称している人々はこれと同じこ

と言っている。また、当然ながら、この1gの差はどんな惑星の値にも合うように調整できるが、これはSF小説と一致しているところである。これを更に分析していくと、四つの極めて重要な要素がでてくる。

第一に、船内の乗員室の位置だが、重力場が働くようにキャビンが動力源と一致する宇宙船の図心の位置を占めるであらうし、また第二のポイントソースを必要とするため、重心位置より上にある方が好都合である。私は、こ

れが円盤を近くで目撃した報告者の主張の内容に近いと言うつもりはない。

第二に、円盤に乗ったと主張する人々の証言記録ではことごとく、目撃者は動くという感じがしなかった、と言っていることだ。もしも彼らがうそつきかたにかなどしたら、この種の乗り物に固有の重要な要件を彼らが思いついたというのもおかしな話である。

第三に、その数学的天才によって平均以上のレベルにある指導的一科学者がいわゆる反重力装置ととり組んでい

るということである。つまり私はバークハルト・ハイムの業績について言っているのである。彼は「場誘導装置の適切な配置」によって、宇宙船の乗員を保護できると主張している。

すでに見てきたように、私はこの大数学者の仕事に対して僭越なことを言うつもりはないが、「場誘導装置」のかわりに我々の「重力場発生機」と読みかえても、基本的には同じである。

第四に、事実を受け入れるのに想像力をたくましくする必要はないが、も

しエネルギーの焦点を放出して作り出す装置が設計されたとしたら、その装置はほぼ間違いなく円形で、断面は放物線を描いているだろう。

私は事実をムリに当てはめようと考えているわけではなく、当てはまらないときにはまずそれを認める。しかし、重力場宇宙船の基本的条件を分析した段階から、世界の何千という不特定多数の人々が述べた形態、つまり円盤と同じ形状にいき当たったのだ。

空気力学的にみた重力場

円盤の浮力推力場が構造物の境界内に限定されている場合、一般的に言って、船体は大気を動かす原因となる。

もっと正確にいうと、逆二乗法則の効果によっていかに場が減じられても、場は他のエネルギー同様、宇宙空間に拡がっていく。そこで、次のような記述によって内容を限定しよう。"いかなる効果的範囲においても、宇宙船構造物の境界内に限定される"。この状態で場の力が宇宙船を動かすことになり、もっとも内側の大気がある程度押される。そこで宇宙船は空気力学的な

力をうけることになる。ただ、低速度

では列車や自動車程度の問題しか起きない。これは円盤設計者にとって特に大きな不安材料となるものではないが、全体的な釣り合い、安定性に関して我々としては注意を払っている。

しかし、場の強さが増大した場合にははるかに複雑な問題と直面しなければならぬ。もっとも一般論としての考え方は次のように簡単に言い替えることができる。

図5aは前進方向に傾いた円盤の状態の図解である。垂直方向の浮力要素

は船体の重量を補償する1gであり、これは水平飛行を保持するものである一方、Vは前進方向の分力成分である。

したがって、重力場の焦点もまたこの分力成分をうけ、これと接する大気の分子もその配列に従って同様の影響をうける。これによって空気の"泡"が動くパターンを見ることができ、実際、その速度によって図5bのような水滴状の球体が見えるだろう。場によって大気の密度が部分的に変化するこ

とにより、もし発光するとすれば、屈折率の変化により大気の帯がはっきり認識できるだろう。このような例はしばしば報告されている。

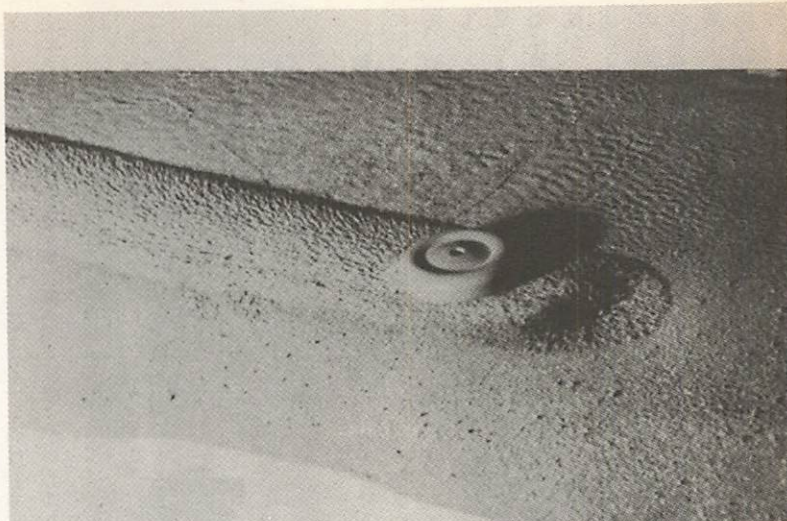
さて、図5cは楕円状に見える円盤の平面図である。ただ、傾斜角度は時として非常に小さいので、今後の図解では楕円で描くよりも真円で描く方が都合がよいだろう。

図6aでは、場の強さ(フォースフィールド)を線円であらわしてある。また、V₁は円盤の速度と方向をあらわしている。図6bの半径R上のV₂、V₃等は半径Rに対しての速度をあらわ

し、宇宙船からある理論的半径をとったときにゼロになる。これはまた、真上に近い位置から見た場合の円盤周囲の対する速度均配をあらわす。

図6cは、これを円盤の垂直方向から見たものである。

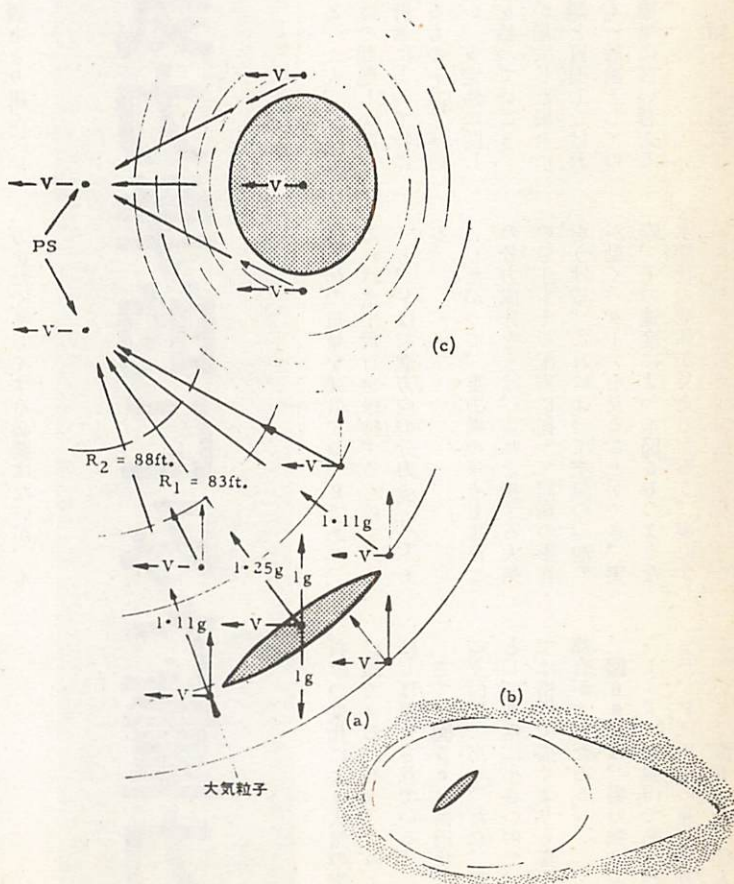
これらの図から推測されるのは、宇宙船の直前においては、従来の航空機の翼前端と同じように、形成速度が生じる。(図6d)もちろん航空機の場合



●写真1 鉄粉と磁石により重力場推進機と大気の間をみる

と違い、この範囲は数インチや数フィートではなく、重力場推進機の場合は百フィートないしはそれ以上となる。(図6e)

周囲をとりまく大気分子はポイントソースとの併進速度となるので、ポイントソースからの距離に比例した強さでソースの方向に加速される。大気の流れは非常に複雑で、この本の目的からは外れるが、一般的にはこの流れ



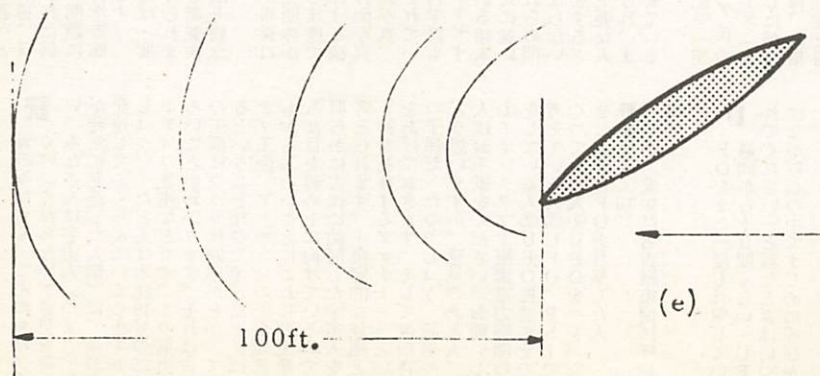
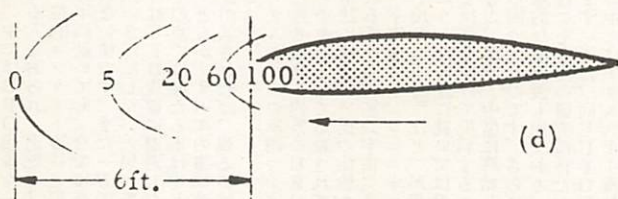
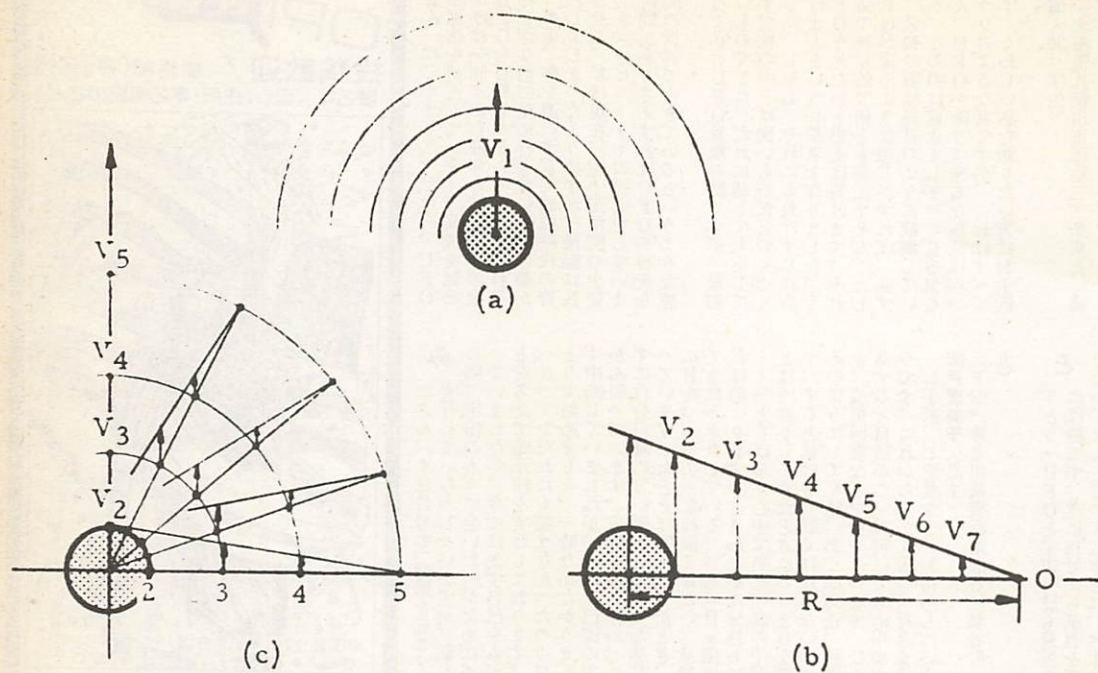
重力場の移動によって生じる大気の置換現象

のパターンは写真1のようなものになる。これは、大気のかわりに鉄粉を使い、磁石が重力の役目をしている。ポイントソースが鉄粉の大気の中を動く。この類推が可能なのは、磁場が逆二乗法則に従うためである。これを動体でみると一層はつきりする。

熱と音によるクッション効果は、この例からも視覚的に確認できるが、さらに詳細な調査検討は別の章で行われ

よう。

前の章で述べた空気力学効果としての「落葉」の動きの判断は比較的容易である。UFOのそのような性質が空気力学に起因するとはいえないが、観察した現象が理論を支える限り、順序だてて考え、筋の通る事実を提示していきたい。(「落葉運動」については次号)



重力場推進宇宙船の付近に生じる大気の流れの変化

声

投稿歓迎！ 編集部「声」係宛
匿名可（但し、住所・本名明記のこと）



●阪上清久（画） 茨城県土浦市

みなさん、はじめまして。私は今、UFOの推進法を研究しています。研究を始めるときは昨年から昨年の間に五十機余りものUFOを目撃してからのこと、自分も同じ物を作り他の星に行きたいという夢からです。多少、夢を追うのですが、後悔は残っていません。私は現在、電子工学院の生徒でマイクロコンピュータの研究をしています。時間があつていすればUFOの研究をやりたいという世界で生きているという感じがします。

ところで私のUFO目撃の話ですが、最初には悲しいものでした。だれに話しても信じてはくれない、世の中とは狭いものだと思ってしまう。しかし、それにも負けず私は訴えつづけ十人という目撃者を作りました。今でもUFOを見たかと思えば見えます。それが不思議で神秘的で何とも言えません。たしかにUFOが来るような感じがすれば、必ず来ます。最初の頃は毎日のように観測していましたが、この頃は飽きてしまつて見る気もありません。UFOが降りて来るなら話はべつです。ウソのような話ですが、これはすべて真実です。くわしい話を知りたい方はお手紙ください。

原 潤海（20 学生）

（〒105 北海道札幌市東区地三三東九 高井弥子方）

みなさん、本誌17号の「奇蹟を起こす方法」を実行していらっしゃいますか。私も初めの頃、宇宙の人々に会いたがためにがんばっていましたが、今では先ず自己をみがくことを考えて暗示法を実行しております。私はヘルパーをたのしむこともなくなつたので自分ひとりで始めました。一時なかなかうまくいかず中断してしまいましたが、今は自己流の方法でがんばっています。電灯を思い浮かべたりせずに自分自身に言い聞かせるような感じにやっています。たとえば眠くなつたとき、素直に目をつぶって「私は眠くはない。意識はとももつぷりしている。さあ、目を開けろ」と私は前よりずっとさわやかな気持ちになる……」としばらく中で唱え、頭の中がスーとはっきりしてきたときにパッと目を開きます。すると私はよく眠くはならないのです。そのようにして私は、あくび防止、居眠り防止、疲労回復などを行っています。ひとつ成功すると自信がついて何にでも応用できるようです。これからはがんばって行きます。お手紙、ご意見など、お待ちしております。

関戸理美子（高1）
（〒246 神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷町一五九）

と うとう「UFOと宇宙」誌も最近の不況には勝てず、遂に18号から紙質を変えましたが、なんとと言っても本誌は、日本はもとより世界でも最高のUFO専門誌です。

「声」欄を読んでいて気づいた事なのだが、読者の中にはUFO現象や「宇宙人」を盲目的に信じ込んでしまっている方がいますが、感心致しません。UFO現象は宗教ではないのです。未知なる現象に対して我々は何と謙虚に科学的に研究すべきではないかと思ひます。中にはUFO現象を心靈主義へと飛躍させる人もおられ、遺憾です。当初、日本初の本格的コンタクト事件と唱えられた例の藤原青年に就いて、今ではあまり問題にされていない様です。また一方では科学万能主義も願ひにげにしたいと思つてはいます。私自身はUFO現象に遭遇したことは一度もなくその点では確たる事は申し上げられませんが、ともかくすべての事に充分な調査検討、実証が試されねば、残るのは独断と観念だけでしよう。

G・アダムスキーの所謂コンタクト事件は科学派と称せられる内外のUFO研究団体から、インチキ、として黙殺されている状態ですが、本誌には逆にア氏の体験を裏付ける様に思われる種々の傍証（宇宙文字、月面写真の問題、宇宙考古学、コンスタン円盤写真、その他ア氏の「予言」など）が掲載されています。こうした傍証に就いては世の科学派もほとんど反証を挙げずに批判することもせず（出来ず）、誹謗、中傷に終始している始末です。それから困つたもので、さらにア氏に就いては国際的な陰謀説も出ており、これらの問題はそれこそ今後の研究に待たねばならないと考えます。また、同じUFO研究をするグループの中にはアダムスキー支持の主要な人物に対する個人攻撃に及ぶ方々もおられ、ますますUFO研究界の混濁を深めさせている状態です。

小生がはじめて「空飛ぶ円盤実見記」「空飛ぶ円盤同乗記」を読んだときは、ア氏の「宇宙哲学」の素暗らしさ、ブラザーズ（友星）の崇高な精神に強く打たれましたが、次の瞬間、自分にはこんな精神、人格は保てないという衝撃がやってくる感傷と自分に対する失望の嵐に混じつた心理状態となつた記憶があります。皆さんはどうですか？問題は、いかにあるべきではなく、人はいかにしてそうした状態に保たてられるか——と言ふことです。

象、予言、宇宙考古学、聖書などに関心をもたれる方、お手紙をください。
なお、小グループによるUFO研究誌（セクト一）ご恵送願ひ！
（三谷秀一）
（〒111 東京都豊島区要町二四一—三）

読者のみなさん、こんにちは！ 今日にはぼくの（くだらない）意見を聞いてください。みなさんは宇宙人（つまり、科学や文化が非常に発達した人類）は、後頭部が非常に発達してふくらんでいることを知っているでしよう。たとえば本誌19号の25ページのムーディの著述などです。この事実からおもしろいことがわかります。それは古代エジプトの王像はやはり後頭部がとがって突き出ているという点なのです。たとえばメンツウホテプ王像、アケナトンの王女頭部など。しかもおもしろいことにこれらの王像その他は、みな目を斜め上に向けているのです。これは明らかに古代に訪問した宇宙人を見ていると考えられます。！決定的な証拠として「アト」神を礼拝するアケナトンという浮き彫りの子孫だつたのでしよう。読者のみなさんはどう思ひますか。意見のある人、そして次の人はお手紙をください。お願いします。

①イオンクラフト複素重力機関の実験、研究考えている人②UFO推進法その他について考えている人③UFO、PSIの研究会をつくっている人④UFOをテレビショーでよび寄せた人⑤UFOを目撃した人
野崎雅敏（16）
（〒457 愛知県名古屋市中区呼続町四一—一四）

UFOをまだ一度も目撃していない人は一週間から十日間くらい「UFOよ！ 現れてください」と暇なときはいつも空を見上げながら心の中でまじめに呼びかけてください。私はこの方法でUFOを一度見ています。四、五時間前くらいからUFOが現れるような気がして、ずっと胸騒ぎのしどろしどろな感じです。まだ一度しかこれを試していませんが、絶対この方法でUFOは私たちの前に現れてくれるものと確信しています。これから



● 中川真理子(画) 秋田県秋田市

私も私は友人たちとこれを実行して宇宙の友と心と心の交遊を深めていくつもりです。それが成功したら、またこの欄へ報告したいと思っています。みなさんこの方法が成功したら、この欄へどうぞ……。また反論がありましたが、この欄へね。じゃあ、みなさん UFO 研究にがんばってください。私も負けませんよ。

「UFOと宇宙」19号の「宇宙・引力・空飛ぶ円盤」すごく感激しました。今から次号が待ち遠しくて……。これまでに「UFOと宇宙」を通じて UFO の友達もできたとし、サークルにも入りました。その上、本誌創刊号まで入手しました。この本を読み始めたおかげで私もすい分成長できました。本当にありがとうございます。これからも私たちが UFO フォンのためにがんばってください。

「宇宙からの訪問者」もすごくよかったです。山西久江

(1712) 香川県坂出市林田町三九五五(一)

貴誌の口絵 UFO 写真には毎号とても興味深く拝見していますが、19号の「星間」ない天体が「という写真に一言。この写真トリミングされていませんか？ もしそうであれば、これからはできるだけやらないで欲しいのです。(編集部「トリミングはしていません」なぜこんなことを言うかというところ) どうもこの光体が UFO とは思えないのです。二枚目の写真がないのはっきりと断定はできませんが、おそらく二枚目の方にも同様の光体が位置を覚えて写っていたのだと思います。とすればこの光体は谷中さんが撮影しているときは止まっていた次の撮影の間に動いたという変なことになります。それにこの光体をよく見るとどうも物体というより何

人のこと……様々なことを悩ましました。そんなとき、この本を読んだら、そんなに悲しく苦しく悲観することなく、自分が選んだ人生、生活だということに気がきました。今、私は三歳の子供をもつ母親です。わが子が社会へ目を開き始める年頃になったとき、この本を読ませようと思っています。そして自分が年老いても決して人生を捨てることなく現の生長と愛の完成のため……、次の生涯をよりよく生きるために努力していきたいと思っています。

相川真理子(26)

ほくは UFO に興味がある小学生の「UFO 宇宙ファン」です。小学生の「UFO と宇宙ファン」なんて少ないと思います。いや、ぼく一人かもしれない(自分の自慢を少しはげません)。それはともかく、ぼくはすごく腹が立ったことがあります。ぼくのお兄さんに「UFO と宇宙」のことを話したら「なにが UFO だそれにその本に載っている写真なんてインチキだ」と言うのです。そこでぼくが「インチキじゃないよ。お兄さんも UFO を研究しなよ」と言ったら「やだよ」と言ってくるのです。そこでぼくは心の中で「UFO をバカにするあとでこまるぞ」と言っていました。それから UFO に興味のある人はぼくと文通しましょう。

千田孝一

(1702) 岩手県一関市青葉一——九

UFO が大好きなみなさま、コニヤニヤチワノ！ 夜十時になると空を見あげて「円盤を見てください！」とお祈りしている女の子です。どうぞごひいきに……(ナンノコッチャ)。

「声」を読むの毎回すごーく楽しみです。「あー、みんな仲間なんだなあー」っていつも思っています。

「三原市の驚異コンタクト事件」のナゾの言葉、みなさん、解説にがんばっているようにですね。そういうボクタンもそのひとりなんです。絶対、最後まで飽きらず、がんばらね！

それから本誌18号の平山クンの意見、ボクタンも同感です。やっぱりボクタンの小学生時代でも「宇宙人」っていうと「あーこわいなあー」って思っていたもん。

かの光学現象という気がしませんか。写真の下の方にある外燈によるゴーストのように考えられるのがどうでしょう。色も同じように思われますし、はじめの写真が白色だったというたは露出時間などの関係で色がとんでしまったためと考えられます。そこでトリミングの問題ですが、ゴーストとゴーストをつくる光源とは画面の中心に対して対称の位置にあります。ですから、ここに掲載されている写真はトリミングしてあります。このように写真のトリミングの有無というのは写真の研究上、とても重要なことなのです。なるべくしないで頂きたいのです。それからもう一言。やはり19号の「玄海灘にサラサラ飛来」というものですが、こういう連続写真はなるべく全部掲載して欲しいのです。この2枚からだ疑問が生まれてきます。つまり、この物体は二枚の写真におさまる間になりの移動、上昇をしています。ということなら撮影者からの物体に対する距離、角度は当然変わっているはずですが、それなのにこの物体をトレーシングペーパーなどで写し取って比較してみると全く同形なのです。このことに関して読者のみなさんのご意見をうかがいたいと思います。

小川智章(15)

(1715) 東京都葛飾区水元小台町一七五八

ホントにこれからは宇宙人のいいところなんかをとりあげてほしいです。すねエー！、では、みなさま、いーっぱいお手紙ちょうだいね！

鷺尾智子(13)

(1750) 新潟県白根市桜町二

本誌17号のこの欄にあった高橋賢樹さんの意見、大変立派だと思っています。まことに高橋さんの言うとおりです。

この欄に投稿するほとんどの人が、円盤問題を趣味か、興味本位に考えています。これは大変なことですよ。円盤問題はそんなに軽々しいものではなく、もっと深い意義があるのです。それを興味本位な気持ちで円盤のことを考えている人がいるのは非常に残念です。その人たちが一刻も早く他の惑星の人々の真意を理解してくれることを願っています。

また同じように多くの人が近い将来に大変動が起こったとき、宇宙人が大群飛来して地球人を助け出してくれると思っています。

これは大変な誤りです。彼らは決してそんなことはしません。彼らはこう言っています。「光より早い乗物をつくれ！ 一日も早く」つまり彼らは、地球人が自力で切り抜けるようになりつつあるのです。地球人の問題は地球人自身が解決していかなければならないのです。早く誤りに気づき、自力で解決して欲しいと思います。

ここで大変あつたかと思いますが、貴誌の発展の為に提案です。最近の「UFOと宇宙」大分充実してきました。円盤問題は究極的にアダムスキー哲学の実践による宇宙文明の建設という事なので、そろそろ貴誌もアダムスキー哲学を取り入れていた方がよいと思います。

最後に私と同様 G・アダムスキーの哲学を実践している方、どなたでもよいですから私と文通してください。

杉本英雄(14)

(1742) 静岡県浜松市西伊場町七三——〇〇

あ、と数年後に世界の大異変が起こります。この言葉には根拠があると思います。ノストラダムスの大予言、エトガー・ケイシーの予言、それに本誌16号の北野恵宝師とコン

タクトした宇宙人の言葉などからです。最近の新聞、テレビなどでは世界各地で起こっている地震、異常気象を伝えています。よくは、一番恐ろしいのは、大異変が起こることではなく、そのことによって世界中が、パニック状態になることなのです。それによって人々は争い合ったり、殺し合ったりしないでしょう。またスベリーストラザールはこのようなことに対してどのような行動を見せるか、そして「UFOと宇宙」の読者だけは冷静に正しい心を保ってください。

UFOに関してのお手紙を待っています。
秋山弘明(千182) 東京都狛江市和泉(一五〇一四二一〇一)

あ
る本のまえがきによっているのですが、これを読んでもよくはびっくりしました。こんなにも日本のUFO現象に対する関心、他の国より遅れているのかと……では世界の人々はどのくらいUFOの存在を信じているのか。

アメリカ一般の二人に一人がUFOの存在を信じ、目撃者は成人人口の十一パーセント。
アルゼンチン大学卒業生層だけの意識調査では六十二パーセントの人が存在を認めた。

フランス知能指数一四五以上の天才秀才の九十三パーセントがUFO肯定論者というアンケート結果。

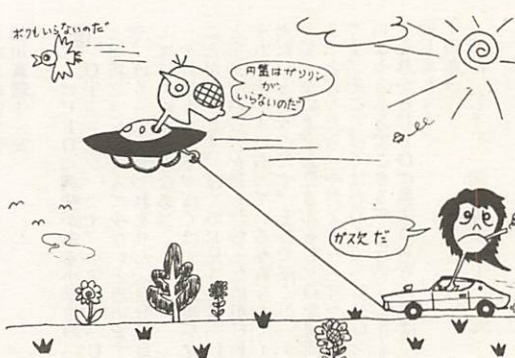
そこで、日本では推算ですが、なんと全人口の二パーセントだそうです。世界中でこれだけ話題になりながら日本の報道メディアは決してまともに取り扱ってくれない。科学者は頭から「無知な空想の産物」と決めつける始末。その上、UFO研究家の中に「独断的」「排他的」な考えがあり、UFOの存在を考える以前に他の研究者を非難、攻撃する傾向があるが、こんなことではせっかくUFOという未来化学の謎を解明しようとする力が弱くなってしまう。UFOの存在を真に究明しようとするならば、それが何人によってなされてもいいはずである。要は謎が解明されればいいのだ。

最後に中岡さんが言っています。
一万件の目撃報告のうち九千九百九十九件が誤説だったとしても文字通り万一残りの一

件が真実なら、UFOは存在するのです。百の空論より一つの事実。
東正順(14) (鹿児島県豊後郡)

はじめまして。私は札幌の「タナト」と称する研究会のサブ・リーダーです。会を結成して一年近くになってもUFO関係の情報が集まらないのです。そこで、この欄を読んでくれる方々に、UFO写真、心霊写真、体験談などがありましたら会の研究資料として譲って欲しいのです。

小泉雅史
(千62) 北海道札幌市豊平区平岸三条一 電
011-811-1611



● 黒田豊年(画) 三重郡三重郡

中
国の大地震のニュースを聞いて思いだしたのが、19号の磯久美子さんの投書にあった「外側地震帯が伸びていて云々」という箇所。さっそく地図を開いて線を延長していくと震源地といわれた北京とシエンヤンのほぼ中央に伸びていっているのだ。私と兄はゾッと、これは本当かな……などと話していました。読者の方でも気付いた方がおられるとも思いますが、「まさか」と思われる方は地図を開いてみてください。

匿名希望(18) (新潟県長岡市)

私
たちは「プレヤデス」という天文に関しても活動している団体です。今度、第一回通信員を募集しています。資格は中・高校生であり、星の好きな人で大阪以外の人だったらだれでも可。また天文に関する資料、本などがありましたら送ってください。その内容によっていろいろなプレゼント送ります。みなさん協力してください。

大橋政勝
(千58) 大阪府南河内郡千早赤阪村東阪三四五

今
度、私たちはUFO研究クラブを作りました。どなたでも結構です。連絡してください。全国的に活動したいのですが、まだクラブに名前がありません。どなたか考えてください。クラブの研究目的は左記の通りです。

- ① UFO飛来目的
- ② UFO飛行原理および飛行方法
- ③ 基地発見法 宇宙人はいるか
- ④ UFO観測方法
- ⑤ テレパシー

ご意見などがありましたら、私のところへ連絡してください。
鈴木浩和
(千488) 愛知県尾張旭市霞ヶ丘町中一三三

近
郊の方で逆重力機関の試作、研究されている人、また清家新一氏の著書の愛読者の方、円盤模型の共同製作してみませんか。
黒田豊年(20)
(千510) 13 三重県三重郡菟野町小島三六一

U
FOの研究をしていらっしゃるみなさん、私はUFO研究クラブ(中学生の)にはいって二年目になりますが、ウチのUFO研究クラブとくらべて、どうしようもないクラブなんです。全国のみなさん資料なり助言なり絵でもジョー談でも写真でも、とにかく何でもいかにらお便りをください。
宇仁菅麻里子
(千675) 13 兵庫県小野市天神団地一一九二二(二六)

全
国のみなさん、こんにちは。ただ今、超常現象研究会を結成しているのですが、資料不足の為こまっています。UFO以外の心霊、超能力関係でも結構です。提供してください。お願いします。
高橋正明(16)
(千370) 群馬県高崎市浜尻町九二二

紙

面をお借りして一言。円盤をいつも見たんと思っている方、あるいは写真も撮らんといいカメラを構えておられる方、空ばかり見上げていないで、まず自分を見つめてみてください。次はきつと円盤を呼ぶことができます。それにもう一つ、本誌18号の横山信一君へ、本誌16号の16ページの14行目から最後の文を読んでみてください。
匿名希望(東京都文京区)

私
は二カ月前にダイダイ色の円型飛行物体を発見してから、急にこれ等のことに興味をもちました。是非、いろいろ教えてください。できれば福岡か大阪の方と交通したいのですが……、よろしく。
伊藤武夫
(千130) 広島県広島市光町一一一五 第一
一ちさんマンシヨン九二二

最
近、高梨純一という人が本を出していて、「UFO日本侵略」っていうのですが、それによるとアダムスキー写真はすべてウツヤトリックだそうで、円盤研究の邪魔とありました。また、あの有名な尾道市の藤松君や豊田市の杉浦氏のアダムスキータイプUFOはまったくニセ物と断言して、くわしくその内容があげられてありました。これは大変ショックなこと。なぜなら日本の大多数の人々はアダムスキーを信じ切っているからなんです。これを全くくつがえす人がいたらと驚きです。念のため有名な日本のUFO団体に手紙を出しました。やはり日本のアダムスキー、UFOはトリックだと言っています。さあ、どうすればいいんでしょう。櫻子正治(大阪府寝屋川市)

は
じめまして、私は17号の譲ってくださいのコーナーに載った者です。先日、茨城



● 生駒 敬 (画) 京都府京都市

県のアマチュア天文家N・ISHIYAMAさんから本誌No.11が届きました(無料)。その中には数多くの資料も入って居り、たいへんなるものばかりで、暇さえあれば本にかじりついている有様です。ISHIYAMAさんにお礼のお便りを出したいのですが住所もわからず連絡の仕様が有りません。ですからこの誌上をおかりしてお礼を申し上げたいと思います。本当にどうもありがとうございます。

前田明美 (京都府舞鶴市)

読者の皆様様、はじめまして、私はUFOを研究している女の子です。地球は今や破滅寸前です。それを乗り越えるには絶対に他星の力を借りなければだめだと思ふのです。そこで私は毎夜、空を眺めカメラと望遠鏡をもって研究しているのです。そして、その人々に会ったら一通の手紙を渡すのです。その内容は、地球危機を救ってください、ということなのです。そのために私は彼らと交信しなければなりません。そこで私はUFO探知機を買おうと決心しました。現在必死に貯金をためています。みなさん、どうかこの私の涙ぐましい努力を、結果

はどうあれ理解してください! では、さようなら
原 美智子 (14) (東京都中野区)

私は先頃、心を痛めた事件がありました。事件といっても単なる手紙を出したにすぎないのですが……

私はごく最近、UFOに興味をもちました。そして「UFOと宇宙」を読んでいるうちに交遊を深めたというところで、S君という人に手紙を送りました。私は手紙の返事を首を長くして待ちました。だが、一週間……二週間と月日がたつにつれて期待と共に不安が深まる一方。一月になっても何の音沙汰もないのです。これだまされたことに気づき、くやしく思う。多少のごまかしも手紙には書いたが、それにしてもくやしく……

そのS君がどうして手紙をくれなかったのかはわからない。深い訳があったのかも知れない。私はS君をこれ以上せめる気にはなれない。なぜなら、このように責めたてられた人の心というのは反抗的になり、極端にかわいしくなるからである。そのようなことを知って書く私もバカである。

S君、もう一度楽しくやってみないか! いやなら仕方ないが……、手紙を待つ。

菅原 修 (14)

(1010) 秋田県秋田市元むつみ町二二三九

私どものところではUFOや超常現象を研究する日本超宇宙通信協会という会を作りました。UFOとの交信やESP練習などを行う予定で、ESP能力者やテレパシーコンタクトイーターも入会しております。機関誌もいろいろ出しております。

入会される方は左記の所に連絡してください。

秋山真人

(1426) 静岡県藤枝市瀬古四四八一八 電0

5463-131332

宇宙の法則に従って新しい地球を建設するために真の人類の有り方を追求している人はご連絡ください。

藤本文彦

(1111) 東京都品川区西品川一五五八 電03-49210374

ほくがはじめて「UFOと宇宙」を知ったのは友だちからです。まだテレビなどでも紹介されていないのも書いてあるので大変よかった。「声」のところを読むのが好きです。道を歩いているときも上を見ようとしています。「UFOと宇宙」に出ているUFO写真を見ていつも思います。そして、ぼくも昼ハッキリ円盤と確信できるやつを見たいと思います。それはだれもかれも思っていることだと思います。ぼくも一年くらゐ前の夜、お父さんたちと見ました。ぜったいおじいさんになるまでには一度よく見たい。何かUFOのことであつたら、だれか電話か手紙をください。ではさようなら。

大塚弘二

(1603) 京都府京都市北区新町鞍馬口上ル一

六五 電075-43215528

数年前の万国びっくりショー(年がわかりますな)にも出演したことのあるフィリップの心霊手術者アントニオ・アグバウツ氏の所在地をおしえてください。また、彼に関する記事どんなものでも結構です。送ってください。宜しくお願いします。

伊藤順一

(1987-25) 宮城県栗原郡花山村座主

どうもすみません。UFO研究会は解散いたしました。でもコピーなどあまっていますので、欲しかったらどうぞ。もしなくなったら、ぼくが書いて送ります。また500円送って何もこないときには、ぼくに連絡してください。質問もどうぞ。

木村 務

(1508-51) 岐阜県土岐市泉町大和町

UFOや心霊の研究をやっている静岡県

の渡辺章君(静岡市富士見台二二三一三五

五) ぼくもUFOや心霊の研究をしています。だからぼくに研究会に入れてください。ヨロシク!

青木一美 (15)

(1123) 東京都足立区江地四二二二四一

四〇六

児どちらかに同じ名前が当てはまる方、メガネをかけていない人ね、なるべく15〜18歳くらいまで……。私は14歳よ!

吉田理香子

(1047) 北海道小樽市石山町八三

ほくは現在、不本意ながら予備校にかよっている浪人です。本当ならば、今頃UFOなどに興味を示している場合ではないかもしませんが、以前から神秘的なものの不思議なものが大好きで、よくカメラをぶらさげては、あちらこちらに旅行して歩きまわっています。あつたら、修行がたりないのか、一度もUFOを見たことがありません。

それにはぼくはどちらかというとUFOより古代史の方が得意(?)なんです。特にエジプトやメキシコなどにあるピラミッドなどの遺跡、ナスカなどにある地上絵など、失われた歴史というか、ミッシングタイムというか、そういうものを調べるのが好きなんです。

そこで皆さん、こんなぼくにいろいろな意見を聞かせてくれませんか。またできれば直接会って話し合える女性の方がいらしたら是非連絡ください。よろしく。

富田浩平 (18)

(1272-01) 千葉県市川市行徳駅前四一

七 ニュー行徳一六〇二 電0473-15

8-1740

本誌17号の「奇蹟を起こす方法」の自己暗示法あるいはSIとコンタクトを実践してみたい結果が出た人、お手紙ください。

下柳田伸二

(1391-04) 鹿児島県指宿市十二町三三五

二

本誌18号のこの欄にアダムスキー氏が金星人から送られたといわれる金星文字を記入したネガフィルムの詳細を知りたいとの声がありましたが、最近、兵庫県の子供がこれの解説に成功された様です。パン・デン・バウ氏が「七歳の子供でも思いつく」というような素人受けする様な発言をされたので一時は私の様な悪意人間でも解説可能かと思つたのですが……

UFO関係の著者たちは自説こそ真実と主

男の方、文通しまししょう! UFOに興味のある方だけ。苗字が兜とか、名前が甲



● 沢田裕一 (画) 福岡県福岡市

勝俣佳秀

(〒189) 東京都東村山市萩山町三三二二

G・アダムスキーの素晴らしさに感動して、地球以外に生命が住んでいると信じている私です。女性の方、文通しませんか。
藤井 洋
(〒112) 東京都文京区小石川四一〇一三
天野方)

初

めまして。私はUFOの存在を信じている大学生であります。

さて、現在の日本には多数のUFOが飛来していますが、それにもかわらず私の家族はUFOの存在を頭から否定し、UFOを全く無視するのです。このように最初から否定していたのでは……やはり、何事も先入観や偏見のない純粋な気持ちで対処しなければならぬと思います。

将来、宇宙人が我々の前に現れれば、UFO否定論者にもわかってもらえる日がくるでしょう。今は、その日がくるのをじっと待っただけです。

最後にUFOに興味のある女性の方、文通してください。UFOについて意見を交換し合いたいです。

橋本新二郎(19)

(〒103) 東京都中央区日本橋浜町二五一

こ 高一人の女子です。本誌7号から愛読している

13号の本田知恵子嬢に誌上を借りてお礼を言いたいです。私は13号に載っていたポーランドの方と現在文通させていたたいしております。先日本誌を彼に送り、その礼状が届きました。それには、「日本語は読めないけど、とても興味がある日本のUFOファンは幸福だ」とありました。「UFOと宇宙」の英文誌ができたなら、どんなによいでしょう。私が彼と知り合えたのも本田さんのおかげです。そして本誌のおかげです。これからもう張って私たちにいろいろなUFO情報を与えてください。

匿名希望

(〒411) 13 愛知県新城市大海字南田四四一

こ 「声」の欄を読むといつも自分の考えが間違っていることや、今まで考えてもみなかったことなどがあり、ただただ驚かされておる次第です。そんなわけで「声」を読むのが大変まちどしいのです。ところで話は変わりますが、みなさんの「宇宙・UFO・パニック」などの怪現象・アトランティスなどの古代大陸」などのどれでもいいですが、それに対する考え、意見をお聞かせください。もちろん手紙かハガキで私宛に……お便りをくださった方には、その意見などに対しての賛否などには必ず返事を出します。たくさんの方手紙がくることを心待ちにしています。いちつと図々しいかなーそれではいつの日かUFOを研究している人たちの努力がむくわれるのを夢みて……。

GOOD-BY!

升沢優子

(〒634) 青森県十和田市西六番町三二五

私 は本誌創刊号よりの愛読者です。17号の「奇蹟を起こす方法」を読んで、以前から興味があったことも手伝って是非マスターしたいと思っていますが、肝心のヘルパーになつてくれる人が見つからず困っています。「UFOと宇宙」の読者の皆さん、私と同じまたはヘルパーになつてくれる人(近くの人)ハガキをください。

杉本欣春

(〒250) 神奈川県小田原市栄町一一四一

三 本誌18号の交換して下さいに載ったものですが、現在は茨城県に住んでいません。東京都の方に移転しました。連絡は新住所の方をお願い致します。

狩野俊晴

(〒123) 東京都足立区西新井本町一一二五

超 自然現象研究会「SPACE UFO CLUB」を作りました。ただ今、会員八名です。全国的規模のクラブを作りたいと思っていますので、是非UFOに熱狂的な関心をもっている方は我々のクラブに入会してください。くわしくは往復ハガキまたは50円切手同封してお申し込みください。

岸本久行(16)

(〒299) 11 千葉県君津市大和田三八三

物理研究クラブ(物理学にこだわらない)「第二次オリンピックアカデミー」を結成しようと思ひます。このクラブの名前は、アインシュタインが青年時代に親友らと作った会の名からとりました。心優しい会員を募集します。くわしくは50円切手同封の上、連絡を!

尾島清志

(〒123) 東京都足立区鹿浜四一〇一四

石 川県金沢市周辺の方でUFOに興味をお持ちの方、ご連絡ください。当UFO探険隊は現在、隊員十名です。発足して間もないのですが、探知機も用意してあります。是非ご連絡してください。

高橋 淳

(〒921) 石川県石川郡野々市町扇ヶ丘 伏見寮一〇一五一

U FO、超能力などに興味のある中学生諸君、今からでも遅くはない我が研究会に入つて、一緒に研究しよう。入会希望者は往復ハガキでお願いします。電話でもOK! 松崎克良

(〒563) 大阪府池田市井口堂二二二三

電 0727-6116086

FO・ESP・STRの研究会、名づけて「Gメン STARR7 US」入会したい人は50円切手同封の上、左記へ。中学二、三年生の人を希望。

川口幸治

(〒671) 14 兵庫県姫路市勝原区宮田七三九

円 盤探索研究会を結成しました。全国的な研究をしたいため全員を募集します。【条件】 中学二年生以下(小学生可) 性別不問 死にもくくるいで観測している方、会費は未定ですが、小中学生の会なので最小限度にします(安心を)。会の目的は「世界の人々に真実を知ってもらうこと」。往復ハガキにTEL明記の上、入会希望と書いてください。全国のみなさん、お手紙を待っています。

マ

ジメにSIIのことを考えている人がいた文通したいんだけどね。勿論、うら若き女性がいなあ。まあ、いなければ金出して高い本でも買って独学するけどね。でも、やっぱり女の子と一緒にの方がいいもんね。は諸君、ゴキゲンヨウ。

この次に投書するときはマジメにします。

(〒707) 北海道旭川市大町二二一四

星野佳正

最後に恐縮ですが、三十歳近くになって一人で居るのはノーマルな状態ではないと思えますので、この辺でそろそろと考えています。生活安定の為の「出生」と「ゼニもうけ」だけでなく奉仕とUFO、超能力を共に学んで行こうとする方、お手紙ください。

星野佳正

(〒707) 北海道旭川市大町二二一四

星野佳正

星野佳正

星野佳正

星野佳正

星野佳正

星野佳正

星野佳正

星野佳正

星野佳正

星野佳正

星野佳正

星野佳正

星野佳正

星野佳正

有田和樹〈14〉
(〒340) 埼玉県草加市中央二一三 草加団地
六六一七

はじめまして、当方、このたび友人三名と某弱小グループを結成した。主旨はあらゆる超自然的現象を研究し、解明すること人間に潜在する超能力を開発することにある。現在はイオンクラフト、キルリアン写真の実験中。また、どなたかヨーガ・ストララサ・ンスクリット文字について知っている人は、多少にかかわらずお知らせください。全国の研究者諸君、当方に手紙をください。アッハハハ、必ず返事書きます。
亀井勝行〈18 高3〉



● 阪上清久 (画) 茨城県土浦市

(〒816) 福岡県春日市須玖一三三八 電09
2-501-4484

J ICを結成しました。UFO、超能力、心霊などを科学的に研究するクラブです。マジメに協力してください。方お便りください。
橋塚幸男〈16〉

(〒388) 埼玉県秩父市番場町一七一

皆さん、「日本UFO研究会」を作りませんか……と問いかけた15号の森君の意見が大賛成。実現への手始めとして研究団体

の間で意見の交換が出来るように。リスト、数 責任者 住所 TEL 活動内容 その他」を書いておくの所まで送ってください。また、UFO研究団体以外の心霊、テレパシーなどの研究団体の方も送ってください。
赤羽敏二〈18〉
(〒189) 東京都東村山市萩山町二一九一三

本誌愛読者のみなさん、ぼくたちはこのたびUFOサークルを結成しました。どなたか私たちの会員になって協力してください。方は連絡してください。
諏訪理彦

(〒411) 静岡県駿東郡長泉町下太狩二二七二
私は休山(広島県呉市)の上空で二度UFOを目撃しました。そこでUFOを見つける会を作ります。みなさんの中で会員になりたい人は私の所までハガキをください。会費不要、男女不問。ただし十人までね。会員になった人には私のUFO目撃のメモをお送りいたします。どしどしハガキを。
北出哲朗

(〒737) 広島県呉市清水二二〇一三三
ぼくは、友達と「USA」というUFO研究グループを作りました。しかし会員が二名しかいません(ぼくを含め)。そこで会員を募集します。UFOに興味のある方なら男女は問いません。なるべく小中学生で(大人だったっていいよ)……。入会してみたいと思っただ方は50円切手同封の上、左記へ連絡を。
佐藤喜夫〈中2〉
(〒974) 福島県いわき市金山町朝日台一三三

全 国の中学生UFO研究家諸君、現在、二名のUFO研究会「スペーストラ」にきたれ。くわしいことは次の所まで往復ハガキで……。
加藤真吾〈14〉
(〒683) 04 鳥取県高部郡鹿野町大工町一六五五

UFO研究会へ結成。興味のある方ならどなたでも。50円切手同封の上、左記

へどうぞ。入会案内書をお送りします。
遠山靖常

(〒115) 東京都北区赤羽三一一八一五

全 国のUFOファンのみなさん、ぼくと一緒にJAUFO研究会を作りませんか。くわしいことは、まず手紙で。待っています。
天野信也〈14〉
(〒653) 兵庫県神戸市長田区房王寺町七一五

こ んにちはみなさん、ぼくは、UFO PRISON研究会。という会を作りました。といっても会員はぼく一人。そこで、みなさんにお願ひがあります。UFO PRISON研究会へ入会してください。50円切手同封の上、連絡してもらえれば、案内書を送ります。かならず返事は書きます。(PRISONとは刑務所という意味です)
中島淳彦

(〒889) 25 宮崎県日南市大字星倉瀬三八〇六一

UFO研究家の諸君、中・高校生のUFO研究会を結成しようではないか。女の子も歓迎します。これから進学、就職に関係なく活動してくれる方を特に希望します。
久野誠哉

(〒474) 愛知県大府市大府町島田一八二二

私 たちは、ジャパン不思議会を作っています。これからの情報もたくさんフイルしてあります。鑑定はプロなみにできます。入会金は問いません。入会を希望される方は住所、氏名を書いて50円切手をはった封筒を同封の上、左記へ、カタログをお送りします。
田原宏之

(〒281) 千葉県千葉市検見川町三一一八九三二二

読者の皆さん、私たちはクラブフォトサークル(CPS)です。写真撮影を主体としたクラブですがUFOのことも行っています。現在、会員を大募集しています(ただし中高生に限る)。カメラをもっていない人で

も構いません。とにかく手紙ください。往復ハガキか封書でどうぞ。住所・氏名・年令・電話番号もお忘れなく。
萩崎光弘〈代表〉
(〒440) 愛知県豊橋市枚野町二二八一

はじめまして、ぼくは中三のときにUFOと心霊の研究会を作ったんですが、真剣に研究しようとする人がいなかったんで一人で研究しています。そこで、私と意見交換などして研究していきませんか。一緒に研究会を作ろうという人も大歓迎です。年齢など気にしませんから、どしどし連絡ください。
坂井修一〈16〉
(〒700) 岡山県岡山市下中野三三〇 電08
62-433-2550

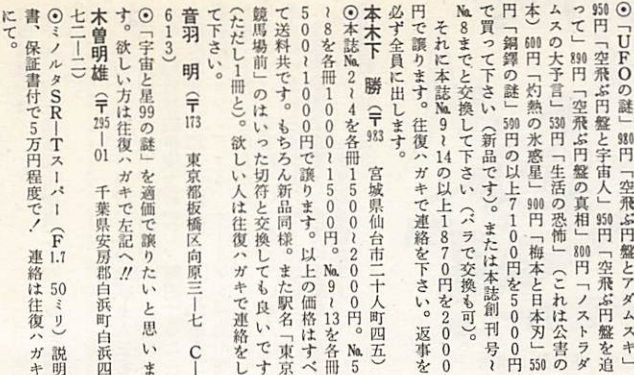
本誌19号49頁にユーロロジストクラブの会員の募集の広告が載っておりましたが、その中に「旧ユーロロジストクラブの会機構は自然消滅していますので、旧会員の方も」というところがあります。これはおかしい様に思います。消滅ではなく一時中断ということでした。それに会費の残りがありますので当然再開されねば、旧会員も前納会費分の権利はあると思います。この会が中断したのは平野泰敏氏の都合で会員には責任はないのです。それを自然消滅などと片付けられては一種の詐欺行為ではないでしょうか。読者の中にも会費は納めたが、会報などが途中で郵送されて来なくなったという人も多いと思います。読者のみなさん気をつけましょう。
匿名希望

たすねびと

大阪府八尾市南小阪合町二二一一九
大阪府大阪市西区新町南通一〇一九

右のご住所の方よりカテログ請求を頂きましたが、お名前が書いてありませんのでお送りすることが出来ません。御覧になりましたら至急お知らせ下さい。さうそうお送り致します。
(特)インテル光学事業部UFO係

(〒193) 東京都八王子市小比企町二九五七一九
電0426-1251794



ジスト「宇宙観」一空飛ぶ円盤研究」その他各研究会の機関誌をどんどん購入します。連絡を待ちます。
 野崎雅敏（〒457 愛知県名古屋市中南区呼続町四一〇四）
 アポロ11号の月面着陸の模様を2時間録音してあります。希望者に録音してあげます。詳しくは往復ハガキで。
 柴田信男（〒183 東京都府中市白糸台一〇六二一四）
 SEDICポケットカメラ110（定価5500円）とサクラ・カラーフィルム（20枚とり2本を含む）で5000円です。カメラだけなら4000円です。譲ります。また、本誌№10と12まで各700円でお譲りします。連絡は往復ハガキでお願いします。
 平沼俊基（〒441-01 愛知県額田郡幸田町大字坂崎字部後二八）
 本誌№7・10、12を無料（送料も当方で負担）で差し上げます。ご希望の方はご連絡ください（早い者勝ちです）。
 伊藤久雄（〒140 東京都品川区西大井二一八一〇 翠山荘二〇一）
 一謎のミューダ三角海城「謎の円盤 UFO O」などについての科学者、目撃者の声が多数録音されているタイプ（60分）を1500円です売りたと思います。欲しい方は左記のところまで現金書留にてお送り下さい。お願いします。
 塩津英治（〒402 愛知県岩倉市西市町西市一九電0587・166・3936）
 本誌№4・11まであります。適価で譲りますので欲しい方は連絡を。
 秦野明美（〒124 東京都葛飾区立石一一二一一二）
 UFO、心霊、カメラ、カセットテープ、望遠鏡など、まだまだいっぱいあります。安くします。ハガキをくだされば目録を急送します。
 田原宏之（〒281 千葉県千葉市検見川町三一八九三）
 電話帳アマチュア無線技士通信講座7500円を千円1500円で譲ります。
 渡辺剛章（〒551 大阪府大阪市西成区太子二一三一九 富美家方）
 催眠術セッティング7000円を5000円で譲ります。また超能力の本が多数あるので譲ります。ハガキをください。
 高塚達也（〒021 岩手県北上市上野町一三一六）
 本誌№9・12を譲ります。5000円くらいでまとめて買ってくれる人。切り抜き、落書きなし、ほぼ新品。送料別です。



●阪上清久(画)茨城県土浦市

を190000円まで。10×50双眼鏡を70000円8000円まで。カーテン4センチ屈折を23000円まで。取りに来る方を優先。
 箕輪 透(34) 埼玉県春日部市八三三 電04875213418
 ◎ピクセン屈折式カメラを220000円(共)で。またピクセン顕微鏡600にスライドグラスをつけて60000円。なるべくお近の方をお願いします。
 米沢正巳(360) 埼玉県熊谷市市原二六四
 ◎本誌創刊号№11まで美本、バインダー付送料別5500円程度で譲ります。詳細は往復ハガキで。
 寺久保義男(363) 埼玉県熊谷市東一七二〇〇
 ◎ミニマル60ミリ、アルコア型(新品)を23000円でお譲りします。
 土方邦夫(121) 東京都足立区竹ノ塚三一〇一六四〇八
 ◎「空飛ぶ円盤」「死後の世界」「超能力奇術」の本あり、ハガキでください。目録を送ります。
 福田善文(309) 16 茨城県笠間市下市毛七五四
 ◎VANのダッフルコート(ベージュ、サイズ170-87-75)と白の手編タートルネックのセーターを2万円でお譲りします。ともに新品同様。フルートを1万円です。まずハガキ。
 野中太加志(373) 01 大分県杵築市守江
 ◎本誌創刊号№6を定価+送料で譲ります。1冊でも可。表紙に少しキズあり。
 後藤 隆(131) 東京都墨田区文花三三一一
 ◎本誌創刊号を千共50000円。№2、3を各4000円。譲ります。3冊まとめてなら120000円に値引き。破れ、汚れ、切り抜きなど一切無し。ヒューマノイドについてのまじめな話」もあります。連絡は往復ハガキにてお願いします。
 安尾寿芳(272) 01 千葉県市川市相ノ川二一五一五
 ◎本誌№2を13000円。№6、7を各3500円。希望者に譲ります。往復ハガキで至急に連絡して下さい。
 植杉清史(233) 大阪府大阪市城東区蒲生町四二八 小松方
 ◎小説多数、市価の半値以下(送料別)で譲ります。「七人の子言者」「星への帰還」などがある。往復ハガキで連絡下さい。
 尾身靖宏(251) 05 三重県伊勢市東大湊町七四七
 ◎本誌№5、16まであります。№5、7を各10000円。№7、10まで各8000円。№11、16を各5000円。譲りたく思います。
 谷口洋輔(270) 兵庫県姫路市総社本町六八南

★譲って下さい

◎本誌創刊号№11までのどれかと譲って下さい。「模図かすお」「萩屋望都」の単行本と交換しよう。
 杉原公子(272) 01 広島県尾道市西藤町下西九二二二
 ◎本誌創刊号№5まで各冊10000円以内で是非とも譲ってください。なるべく5冊まとめて、なお新品同様のものを。連絡は往復ハガキで。
 大竹正信(244) 神奈川県横浜市中区下食田町一五五〇一四
 ◎UFOの写真を撮った人は、よくに安く売ってください。UFOの写真をネガを貸してください。責任をもってお返しください。トリック不可。
 佐々木浩幸(246) 神奈川県横浜市中区瀬谷町二四四七 電045-330216296
 ◎本誌№6を30000円(送料共)以上で譲ってください。汚れ、破れ、切り抜きなど一切なしの良品をお願いします。往復ハガキで連絡。
 堀 康治(254) 大阪府和泉市王子町九二六
 ◎本誌創刊号および№2を一語に譲ってください。価格は応じます。ハガキまたは夜間のみTELによって連絡ください。
 有本康広(257) 兵庫県神戸市灘区篠原中町四一八三三 電078-888210576
 ◎本誌№2、3を送料共各15000円以内で譲ってください。(できるだけ良品を。
 また、ばくものっている本誌№6とあなたの高文社「空飛ぶ円盤同乗記」か、その他のG・アダムスキー著の本と交換してください。連絡はハガキで。
 八木晴三(259) 24 北海道新冠郡新冠町高江三三四
 ◎全国の本誌ファンの方でUFOのネガをもっている人はぜひUFOの大ファンのほかに貸してください。ネガは責任をもってお返し致します。(トリック不可。
 中田温朗(259) 43 三重県熊野市木本町
 ◎UFOに関する資料(切り抜き、写真、スクラップなど)をばくに譲ってください。
 宇野正二(231) 15 茨城県鹿嶋市鉾田町七軒町一〇一
 ◎UFOの写真を写した方、写真を一枚譲ってください。できたら目撃報告もそえてください。ただし、トリック不可。またUFO探知機の作り方を知っている方、お教えください。お願いします。
 小山靖司(269) 島根県松江市西川津町一〇七六
 ◎本誌創刊号№12(№8、9を除く)を譲ってください。1冊でも結構です。それから、ばくまたはUFO・SSクラブを作ろうと考えています。UFO関係の資料(写真など)がありましたら譲ってください。または貸してください。このクラブについてくわしく知りた場合、連絡してください。ご返事を差し上げます。
 加藤邦明(213) 東京都江東区堀江二五二八四〇九
 ◎UFOを撮影された方、汚れていても構いませんから焼き増しをタダで譲ってください。UFO関係の資料も大歓迎します。
 小柳津幸夫(257) 大阪府茨木市総持寺二二二
 ◎UFOの写真をネガをもっている方、責任をもってお返し致します。ばく、ぜひ貸してください。もちろんお礼はしません。トリック不可。
 杉山恵子(267) 兵庫県加古川市加古川町平野二二一四
 ◎どなたか私に「空飛ぶ円盤同乗記」(アダムスキー著)を送料別5000円くらいで譲ってください。まずはハガキで連絡をお願いします。それからUFOに関してくわしい方、私と交通してくださいませんか。いろいろと教えてください。お手紙お待ちしております。
 川村佐登江(270) 高知県高知市棧橋通二七二五
 ◎どなたかUFOのネガをおもちでしたら、ばくにネガをお貸しください。ネガは責任をもってお返しします。お礼もしますから、どうかお貸しください。ただしトリック不可。カラー、白黒のどちらでも。
 小林洋光(254) 岐阜県各務原市蘇原旭町四一五七
 ◎スリピーチ製のSS-T76を適価で譲ってください(大至急)。なるべく新品の物を。往復ハガキで連絡しましょう。
 小野寺之典(288) 宮城県気仙沼市松崎片浜二二〇
 ◎わが会で近々心靈写真展をすることになりました。そこで全国のUFOファンよりその写真を募集することにします。ネガとプリントをお貸しください。ネガは責任をもつて返します。またお礼もさせていただきます。よろしく。
 長谷川博一(240) 01 愛知県愛知郡東郷町和合ケ丘一八二
 ◎UFOの写真を写された方、焼き増しを一枚お譲りください。お礼はします。
 佐藤 豊(242) 14 新潟県東頸城郡松之山町天水越九二一

◎本誌創刊号№4までと№6を譲ってください。1冊でも可。ただし美品の希望します。価格を書いてハガキで連絡してください。

竹内偉隆(〒112 岡山県倉敷市水島南幸町二一八)
◎本誌創刊号№3まで譲ってください。あなたの希望の値段に応じます。ハガキまたはTELで。(PM6以降)

遠藤忠夫(〒503-24 岐阜県掛妻郡池田町下東野五五三-一七 電0585-4515680)
◎本誌創刊号№6までをなるべく安く譲ってください。切り抜きのないものをお願いします。送料は当方負担。ハガキを待ちます。

小林雅夫(〒380 長野県長野市大字上野一五七三)
◎本誌創刊号№4と№6を1冊500円または5冊まとめて3000円で譲ってください。読むことができればポロポロでも構いません。

前川靖司(〒518-14 三重県阿山郡大山田村平田)
◎「本品の中の未来」を適価で譲ってください。ハガキで連絡してください。

城山勇喜(〒750-11 山口県下関市清木町)
◎本誌創刊号№7まで4000円5000円くらいで譲ってください。切り抜きなしの美品を希望します。送料は当方負担します。ハガキで連絡してください。

遠藤厚一(〒987 山形県鶴岡市家中町二二二四)
◎本誌創刊号№8、本誌別冊「UFO写真集①」「写真で見える空飛ぶ円盤・宇宙人200集」「写真で見える空飛ぶ円盤200集」「空飛ぶ円盤同乗記」を適価で譲ってください。バラでも結構です。またUFOの写真と撮られた写真とを譲ってください。

大久保 定(〒560 熊本県熊本市新市街二二二二)
◎本誌創刊号№4までを2500円3000円で譲ってください。(多少のキズも可。切り抜き不可)

木場真実(〒810 秋田県秋田市旭南一八一-二)
◎「UFOと宇宙」創刊号№6までまとめて3000円4000円で譲ってください(美品)。バラでも可能ですが、価格は相談の上。ハガキまたは電話で連絡してください。

吉田 律(〒117 東京都練馬区上石神井一七一七 石神井公団三一四〇八 電03-929-1373)
●西元 朗(画) 大阪府豊中市



◎CBA(宇宙友好協会)発行の刊行物を適価で譲ってください。まずはハガキで連絡を。

森 一実(〒223 神奈川県相模原市瀬辺一四一〇)
◎最近UFOの写真を写した方、またもっている方、ぜひ送ってください。ネガでも結構ですが、共に責任をもってお返し致します。写真の解説をくわしく付け加えてお送りください。トリック不可。

西田 保(〒016 秋田県能代市日吉町一五一)
◎本誌№5・14を適価(送料別)で譲ってください。い。くわい往復ハガキで。

加藤次郎(〒114 東京都町田市本町二〇四八-五九)
◎本誌創刊号№13までをタダで譲ってください。バラバラで構いませんからお願いします。切り抜きがなければ、どんなものでも可。

友清真一(〒837 福岡県大牟田市宮部七四四-二)
◎本誌創刊号№6までをタダか適価でお願いします。切り抜き不可。美品希望。

加藤真吾(〒683-04 鳥取県気高郡鹿野町一六五五)
◎映画「ジョーズ」とUFOに関する本、写真、切り抜きなど。またアントニオ猪木の写真画報「燃える闘魂アントニオ猪木」をタダで譲ってください。

丸山貴義(〒412 愛知県豊川市開運通二一五七)
◎本誌創刊号№7まで7冊まとめて、あなたの希望の値段に応じます。ハガキまたは夜間のみの電話で連絡してください。

持田 収(〒433 静岡県磐田市国府台六六一三 電05383-126963)
◎本誌創刊号№8まで一括して3000円4000円(送料別)で譲ってください。

望月和広(〒211 神奈川県横浜市中区本宿町一)
◎本誌創刊号№7(切り抜きのない美品)をマンガ単行本「侍ジャイアンツ」1-16巻、「バビル2世」1-11巻、その他13冊の計40冊と雑誌10冊を合わせた50冊(1万2千円相当)と交換してください。まずは往復ハガキで連絡を。手渡しができれば最高です。

★交換して下さい

◎本誌創刊号№7(切り抜きのない美品)をマンガ単行本「侍ジャイアンツ」1-16巻、「バビル2世」1-11巻、その他13冊の計40冊と雑誌10冊を合わせた50冊(1万2千円相当)と交換してください。まずは往復ハガキで連絡を。手渡しができれば最高です。

井口弘明(〒114 東京都葛飾区奥戸二一八一-二)
◎本誌創刊号№3と「空飛ぶ円盤実見記」高文社刊があります。どなたか本好きの私に平塚氏の古い単行本(S30/40年代、または雑誌の付録と交換していただませんか。まずは往復ハガキでコンタクトを。

芝下義昭(〒611 京都府宇治市小倉町南浦一〇二-二)
◎あなたのもっている「写真で見える空飛ぶ円盤・宇宙人200集」(少々のキズ可)をわが輩の「ノラ公②」「トイレット博士⑨」「男一匹ガキ大将⑤」「円盤大図鑑」「空飛ぶ円盤」「レコード宇宙戦艦ヤマト」「怪談」と交換してください。まずはハガキで。

関根浩行(〒305-04 茨城県猿島郡境町内門新田一〇一八)
◎本誌創刊号をおもちの方、「空飛ぶ円盤のすべて」(カバーなし)と交換してください。また「UFO写真集」をおもちの方、「ノストラダムス大予言原典」諸世紀と交換してください。少々のキズ、汚れ可。

細川浩二(〒020-05 岩手県岩手郡平石町七ツ森九四一三)
◎本誌創刊号№4までを江戸川乱歩シリーズ①と交換してください。1250円相当のものです。美品を希望します。またタロットカードを希望価格で買います。カードの種類、枚数、大きさ、発行所も書いて価格をお知らせください。なるべく往復ハガキでお願いします。

山方 淳(〒673 兵庫県明石市東区九町一四一-一六)
◎本誌創刊号№6までを、ぼくのもっている交友社発行の「鉄道ファン」73年7、8、11月号、74年2、7、8、9月号(5000円相当)と交換してください。TELはPM3-5時まで。

佐藤優毅(〒061-14 北海道恵庭市文京町三三 電012-333-3493)
◎本誌№2、本誌別冊「UFO写真集①」をぼくの「タロット占いの秘密」(御月エジプト風タロットカード付)、「これが空飛ぶ円盤だ」(御月)とそれぞれ交換してください。まずはハガキで連絡を。誠意のある方、お願いします。

藤本康久(〒561 大阪府豊中市島江町二一〇一-一)
◎ブルワーカー2(説明書つき中古なら可)をもっている方「日本沈没、上・下」一万年後、上「ノストラダムスの大予言」と五〇〇年に交換してください。送料当方負担。往復ハガキに年輪、購入日を書いて送ってください。

高田真史(〒800 福岡県北九州市門司区寺内一五一-一)
◎ぼくのゴダック・インスタマチック20と一眼レフカメラと交換してください。故障してなければどんな物でも結構です。くわしいことをハガキに書いて送ってください。

井上好幸(〒623-01 京都府綾部市中山町)
◎あなたの本誌創刊号、№6の美品、絶対にシミやシワのない物をぼくの物と交換してください。ぼくも持っているものは「ヒューマノイド」についての「マジェナ」№390円「円盤に乗った青年のまじない」№390円「ヒューマノイド」№90円「日本のUFO」№90円「空飛ぶ円盤」№180円「空飛ぶ円盤を追って」№80円「世界の円盤ミステリー」300円です。交換してください。方にはモデルガン(ダイアモンドバズル)とオセロマグネットとウェンザーリチャードのバズルを差し上げます。本誌創刊号だけなら本4冊と、№6なら3冊とお願いします。気長に待っております。

川口哲男(〒834 長崎県諫早市金谷町五九八-一 電0957-213-10556 平日PM5-7時、土曜日PM2-7時、日曜日AM10-PM7時に在宅しています)
◎本誌創刊号№5がありません。どなたかぼくのもっている次の本と交換してください。「地球空洞説」「世界のUFO」「超能力者ユリ・ゲラー」計5冊と右記のうち3冊とお願いいたします。

柿本敦巳(〒100 東京都武蔵野市境町四一-一五 一三四〇四)
◎あなたの本誌別冊「UFO写真集①」をぼくの「円盤大図鑑」880円「UFOの正体」480円「カードを使ってエレクトロニクス工作」550円と交換してください。またシズメのなまこ工作。連絡はハガキで。

小林洋光(〒564 岐阜県各務原市蘇原旭町四一-一五七)
◎私の本誌№3とあなたの「火の鳥」全巻を交換してください。

市村博孝(〒312 茨城県勝田市中央町七一)
◎本誌創刊号№4までと№6を譲ってください。1冊でも可。ただし美品の希望します。価格を書いてハガキで連絡してください。

「UFOと宇宙」モニター当選発表表

五〇名の
方々が
選ばれました

「UFOと宇宙」編集部では新たに読者によるモニター制度を設けることにし、19号誌上においてモニター希望者の募集を行いました。申込み締切り日の八月十五日までに約三百名の方々から本誌に対するご意見と共に申し込みをいただきました。編集部では申込者の中からここに紹介する五〇名の方々を選び、今後一年間にわたってモニターをお願いすることになりました。

今回、残念ながら選に洩れた方々には次の機会にご協力をお願いいたします。

お寄せいただきました本誌に対する貴重なご意見は今後の誌面作りに反映させていく所存です。

編集部



海外の研究の実態も紹介して。

(新潟県) 五十嵐 博



UFOを否定する人の意見も。

(仙台市) 神倉 功



外国の情報は、現地取材してほしい。

(仙台市) 小林正一



校正ミスに、気をつけて下さい。

(北海道) 八重樫 尚



言いたい放題言わせて下さい。

(札幌市) 三上 憲明



年に一回増刊号を出して。

(八王子市) 伊東 浩一



読めば読むほど頭が混乱。

(東京都) 高田 幸弘



SF的要素も包含する方向で。

(東村山市) 横須賀 達雄



誰でも信用できるようにしてほしい。

(武蔵野市) 津金 新



「UFO教」「宇宙教」にならないように。

(東京都) 星 佳伸



重力の説明など少々むづかしい。

(保谷市) 須永 千恵子



UFO関係出版物の紹介も。

(東京都) 百瀬 直也



知識の少ないものでも読める。

(十和田市) 升沢 優子



人を納得させる論理を

(東京都) 金指 哲郎



宇宙の神秘を科学的に

(東京都) 林田 勢津子



たまには否定的意見もせて。

(所沢市) 五十嵐 啓二



異端学説の系譜を連載したら。

(船橋市) 竹中 弦



情報収集の活性化を。

(川崎市) 佐々木 裕一



史実、史書に残された関連記事を。

(横浜市) 瀬戸山 英嗣



大体において満足している。

(横浜市) 田村 淳裕

写真を
お送りください。
編集部

UFO写真には、編集部の見解を。

(名古屋市) 大島雅文



質問の欄を設けて下さい。

(太田市) 小林智利



「隔月刊」なんて待ちきれない。

(茨城県) 浅田曉子



目撃談は、読者の科学を発展させない。

(札幌市) 山口孝和



年少者向けの記事をもっと。

(越谷市) 江口正憲



紙質が変わってなじめるようになった。

(大宮市) 小島隆夫



物とお金の交換だけの人、残念です。

(三次市) 土橋慶太郎



月刊にして新鮮な情報を。

(広島市) 猪足健二



反対意見を知って話し合いたい。

(芦屋市) 松岡 毅



19号の表紙写真は、おもしろくない。

(富田林市) 中西哲也



清家新一氏の近況報告を。

(大阪市) 吉田 武



思弁的傾向のつよいものは不満。

(名古屋市) 村瀬剛雄



中間的、否定的意見も入れたら。

(仙台市) 小林泰晴



情報の収集と選択が重大な使命。

(筑後市) 井上政和



「蚤の市」に出る旧号が不当に高い。

(北九州市) 宮地基嗣



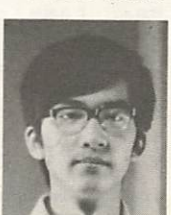
実験記事が実に少ない

(筑紫野市) 幸田敏記



本誌でかなり勉強させてもらった。

(川之江市) 星川直樹



米ソ宇宙開発の最新情報を。

(鳴門市) 宝積宜至



宇宙関係にもっとページを。

(蕨市) 竹川章浩



表紙はUFO写真で。

(彦根市) 西村康生



地球だけの生命を信ずるのは、古代思想。

(北九州市) 満村淳子



初心者から専門家まで広く読める。

(岡山市) 三村勝則



火星のカラー写真を2、3枚のせて。

(防府市) 藤本妙子



宇宙開発に関するものを。

(神戸市) 栗谷 収



もう少し説明を簡単にして。

(指宿市) 下柳田伸二



天文についての科学記事も入れて。

(大州市) 玉井久史



人に宇宙的視野を開かせる。

(高知市) 多田宜正



英語が出てきても読めません。

(大阪市) 西野和子



何回投稿しても載せてもらえない。

(呉市) 森田洋子



UFOの写真の特集をやっ。

(遠野市) 佐藤精一

本誌バックナンバー

★1.2.3.4.5.6.7号は売切れ、
8号は残部僅少！

送料 1冊¥160 2～3冊¥200 4～6冊¥240

第8号 (1974年9月発売) ¥330

マンデル大尉の悲劇荒井秋一／イタリアの不思議な小人出現事件C・コンティ／千葉県に出現した大型円盤／ノース湖における悪魔ばらいの儀式とUFOの着陸F・W・ホリデイ／天体オラと宇宙電界の謎内田秀男／宇宙・引力・空飛ぶ円盤(3)L・クランプ／科学トピックス／国内UFO目撃報告／読者の声 その他

第9号 (1974年11月発売) ¥400 特大号

UFOによる米空軍機遭撃事件異淳／スペインに出現した円盤と乗員J・マシス アンヘル・バリゴン／ジョージアダムスキーはまた影を投げかけている／G・クレイトン／地震の謎をにぎるマンデル対流／竹内均／宇宙・引力・空飛ぶ円盤(4)L・クランプ／科学トピックス／国内UFO目撃報告／読者の声 その他

第10号 (1975年1月発売) ¥360

銀色の服を着た宇宙人高梨純一／科学を曲げる男ユリ・ゲラーG・クレイトン／月世界の謎の現象を探る京都大学山天文台台長・理学博士・宮本正太郎／NASAの活動と、その未来誌新聞科学部・中村政雄／宇宙・引力・空飛ぶ円盤(5)L・クランプ／科学ニュース／UFO情報／UFO目撃レポート／読者の声 その他

第11号 (1975年3月発売) ¥360

月面は円盤の中継基地か黒沢清一郎／ニューヨーク州の着陸事件T・フリーチャー／1980年代の宇宙連絡館理博士・河島信樹／原・銀河系・理解(1)D・フレイク／アダムスキー型円盤、尾道市に出現／宇宙・引力・空飛ぶ円盤(完)L・クランプ／科学ニュース／UFO情報／UFO目撃レポート／読者の声 その他

第12号 (1975年5月発売) ¥360

甲府市にUFO着陸／オーストリアの光るカタツムリ状物体E・ベルガー／古代の天文学E・F・デンケン／長野県に落下した小型円盤／重力波とは何か千葉二郎／原・銀河系・理解(2)D・フレイク／宇宙のUFO現象(1)シベリアの謎の大爆発／科学ニュース／UFO情報／UFO目撃レポート／読者の声 その他

第13号 (1975年7月発売) ¥360

千葉県にアダムスキー型円盤出現／円盤に乗った宇宙人を見た／宇宙交信のためのテレパシー通信市村俊彦／原・銀河系・理解D・フレイク／中学生にもわかる微積分(1)三好要／宇宙のUFO現象(2)ルーマニアのUFO出現事件／科学ニュース／UFO情報／UFO目撃レポート／読者の声 その他

第14号 (1975年9月発売) ¥390

円盤をよく見る人／1897年の謎の飛行船／私は金星文字を解読した／マルセル・オム教授の不思議な発見物／大気圏外生命体とのコンタクト？／原・銀河系・理解(4)／実在する超感覚と念力関英男／中学生にもわかる微積分(2)／宇宙のUFO現象(3)／ユーゴスラビアのUFO出現騒動 その他

第15号 (1975年11月発売) ¥390

ステラ・ランシング夫人の不思議な写真B・シュワルツ／ドラギニンの怪事件／ワルヌトンの怪怪なロボットG・クレイトン／聖書の予言とスペース・プログラム(1)C・A・ハニー／原・銀河系・理解(完)／中学生にもわかる微積分(3)／宇宙のUFO現象(完)(続)ルーマニアのUFO出現事件 その他

第16号 (1976年1月発売) ¥390

〈本誌特別取材〉三原市の驚異コンタクト事件／テレポーテーションとテレパシー平野威馬雄／名古屋上空に円盤大出現／聖書の予言とスペース・プログラム(完)C・A・ハニー／中学生にもわかる微積分(完)／X博士の怪UFO事件A・ミシエル／科学ニュース／UFO情報／UFO目撃レポート／読者の声 その他

第17号 (1976年3月発売) ¥390

口絵・月面の謎アポロ飛行士が撮ったUFO写真初公開／巨大円盤、横須賀に出現／UFOは地球の救済に来るのかオットー・B・ウィンダー／奇蹟を起こす方法デッド・オーウェン／ピーター・フルコスの驚異的大発見／B・アン・スレート／科学ニュース／UFO情報／UFO目撃レポート／読者の声 その他

第18号 (1976年5月発売) ¥390

森林伐採工トラビス・ウォルトンのUFO同乗事件高梨純一／UFOは地球の救済に来るのか(完)／UFOインタビュー私はUFOを見た／岡崎友紀さんの巻／私は宇宙人のクビをすげえた／(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(1)L・クランプ／科学ニュース／UFO情報／UFO目撃レポート／読者の声 その他

第19号 (1976年7月発売) ¥390

横尾忠則私はUFOを何度も見た／チャールズ・ムーディ軍曹砂漠で円盤に誘拐される／UFOのスポークスマン？／世界の12の「魔の遺跡」／大地震は予知できるか内田秀男／火星生物発見の旅客宮本正太郎／(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(2)／科学ニュース／UFO情報／UFO目撃レポート／読者の声/重の市 その他

本誌保存用

特製バインダー

本誌を破損・紛失しないためにバインダーをご利用ください。この特製バインダーは極厚手表紙・布装で表面と背に誌名を金文字で箔押ししてあり、1年分6冊とじ込むことができます。

¥400

荷造送料 1～2個 ¥350
3～4個 ¥700

UFO写真集

カラー写真21点、白黒写真33点
A4判のワイド画面からくる迫力！極上アート紙使用・美麗カバー付き豪華本。

戦後世界各地で目撃され、日本にもひんぱんに出現して話題を呼んでいる未確認飛行物体の正体は？全国UFOファンの熱望にこたえて全世界で記録された貴重な写真を集大成。UFO研究界の第一人者・久保田八郎が和英両文で解説を加える。

¥300 千300

■当社出版物が書店にない場合は、振替・現金書留・小為替・低額小切手などで当社宛直接ご注文ください。代金あての注文はご注文とさせていただきます。■最近、住所不明で返送される郵便物が増えています。ご注文の際は必ず郵便番号・注文品名・号数・冊数を明記してください。

ユニバース出版社

読者の投稿を歓迎します

UFO(未確認飛行物体)に関する原稿、目撃レポート、写真(できればネガも)などを広く募集します。原稿はなるべく原稿用紙(たて書き)をご使用ください。目撃レポートの場合は左記の各項目を参考にし、なるべく正確・詳細にお書きください。なお投稿された原稿は一切お返ししませんので必要場合はあらかじめコピーをおとってください。ただし写真のネガはご希望により返送しますが、この場合は返送用封筒に切手をはって同封してください。

採用分には当社規定の原稿料をさしあげます。

UFO目撃レポート参考事項

- (1)目撃者 住所・氏名・年齢・職業(在学中の方は学校名・学年)、電話番号、同時目撃者の有無 その他(匿名希望の場合はその旨明記)
- (2)目撃地点 地名、付近略図、時刻、天候、目撃継続時間、その他。
- (3)物体 飛行物体の形(スケッチを添えること)、大きさ、色、飛行中の形態(4)飛行物体 仰角、方向、飛行中の形態の変化、飛行中の色、形態、光度の変化、推定速度および高度、その他。
- (5)観測機器 使用の場合はその機器名、性能その他。
- (6)撮影用具 カメラ使用の場合はカメラ名、使用フィルム、レンズ名、絞り、シャッタースピード、その他のデータ。

注意 スケッチは厚めの白い紙に黒インクか黒ボールペンを使用して描いてください(インクのうつら便箋は不可)

原稿あて先

ユニバース出版社UFOと宇宙編集部(目撃レポートの場合は「UFO資料調査部」と明記してください。)

Across the Editor's Desk

★本号より増頁断行！表紙題字の型も変えて体裁内容とも一新しました。トラビス・ウォルトン事件の詳細な現地報告その他の貴重な記事は読者の重要な資料となるでしょう。★前号発表のモニター制応募者は約三百名。厳選の結果五十名様に通知状を発送しました。ご協力に感謝します。

★本誌16号の本欄に「今年はアツと驚くような企画の実現化を……」とあるとおり、本誌姉妹誌としていよいよ新雑誌を刊行します。それは「ノンフィクション」世界のミステリーと驚異専門誌「M.C.E.A.(エンigma)」です！UFO以外のあらゆる神秘と謎の現象を追求し、天と大地の測り知れない不可思議な驚異の事物に眼を向け人間意識を限りなく拡張しようとするもので、興味本位の怪奇趣味とは異なり、斬新なスタイルのもとにフレッシュ・ジュネの科学的記事と珍しい写真満載です。本誌とあわせてご愛読ください。創刊号は十一月一日全国書店で一斉発売、隔月刊(来春月刊に切り替える予定)、B5判、128頁、430円。Remember Enigma、(K)

UFOと宇宙 一九七六年十月号 第20号

編集発行人 久保田八郎

発行所 株式会社ユニバース出版社

〒110東京都台東区上野五十一一六

電話(832)1341144

振替・東京11119478

印刷所 三晃印刷株式会社

昭和五十一年十月一日発行

(隔月刊・奇数月二十日発売)

定価四三〇円・送料一六〇円

年ごとの購読料・送料共三三〇〇円

(書店で入手できない場合は本社へ直接ご注文下さい)

●本誌掲載記事写真の無断転載を禁じます。

●海外の記事はすべて翻訳転載取得済。

驚異と魅惑の科学の世界—いまその扉を開く!

Life Science Library

LIFE 人間と科学シリーズ

生命の誕生から宇宙の神秘まで

科学のすべてを身近かに捉えた画期的シリーズ!!

★地球以外に生物の存在する星は? ★人間の命には、なぜ終わりがあのか? ★地震の予知の方法は? ★男と女は産みわけられるか? ★時間の流れを逆行させたらどうなるか? ★ガンは征服できるか? ★ダイヤモンドの輝きの秘密は? …………… 私たちの身の回りに起こる、さまざまな疑問に答えてくれるのが、このライフ/人間と科学シリーズです。写真やカラーイラストを豊富に使い、科学に関するあらゆる知識と情報を、だれにでも理解できるよう次々と解説し、あなたを知らず知らずのうちに興味深い科学の世界へと導きます。

本シリーズは「数の世界」、「宇宙への挑戦」、「飛行の原理」、「時間の測定」、「惑星の天文学」、「気象のしくみ」……と興味ある各巻がつづきます。

いずれも、科学のあらゆるテーマをとりあげ、それぞれの分野の専門家によって執筆され、親しみやすい図例とやさしい解説文ながら、最高の学問的水準を保つ、権威ある科学の百科全集といえましょう。

試読
無料

第1巻「数の世界」が

10日間、ご自宅でゆっくり、ご試読できます—

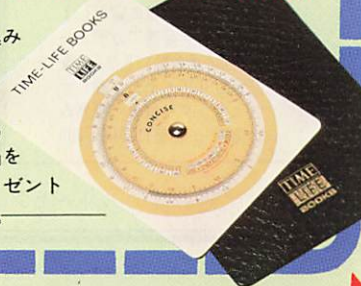
このすばらしい「ライフ/人間と科学シリーズ」をあなた自身の目で確かめていただくため、このシリーズの第1巻「数の世界」を10日間、無料でご覧になってみてください。

この「数の世界」は、難解な数式を一切使わず、図版やエピソードをまじえながら、数の発見からコンピューターの理論まで、数学のすべてをやさしく解いた名著です。

今、お申込みになりますと、無料で10日間、ご自宅でゆっくり手にとってご覧になれます。もちろん、第2巻以降の各巻についてもその都度無料で試読できます。ご購入になるかどうかはその後でお決めください。「試読無料」ですからもし、お気に召さなかった場合は、ご返却くださればお支払の義務はありません。今すぐ、右のハガキでお気軽にお申込みください。

もれなくプレゼント!!

いま、無料試読をお申込みの方全員に、7年連用カレンダー付万能計算尺をプレゼントします。万一、第1巻「数の世界」をご返本になられてもプレゼントは、そのままお手もとに。



いますぐ、右の ハガキをポストへ!!

TIME
LIFE
BOOKS

タイム/ライフブックス

東京・千代田・大手町 タイムライフビル
業務部: 東京都文京区小石川5-6-9 小石川ビル
〒112 電話 (03) 947-4151

本邦初の異端文化総合研究誌

地球ロマン

MVNDVS MYSTICVS

10月号

850円

総特集＝天空人嗜好

■ 神々の誕生……………山本佳人

■ 来るべき宇宙の暁…高坂剋魅

■ 天王星紀行……………鷺友善山

現代の神話－空飛ぶ円盤……………C.ユンク

古典SFに描かれた日本人の宇宙像…横田順彌

座談会＝日本円盤運動の光と影

資料＝空飛ぶ円盤史

I. 空飛ぶ円盤のパイオニアたち

II. CBA(宇宙友好協会)の全貌

その他 年表・団体リスト・参考文献

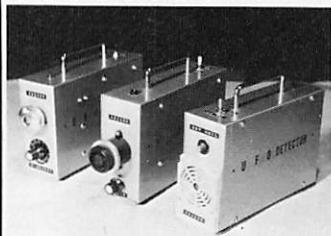
発行 **絃映社** 東京・千代田・猿樂町2-4-2
小黑ビル ☎03(292)8780

UFO探知機

超高感度

国産唯一の本格的磁気探知機！

現在200台が全国で活躍中！！
既にUFO探知成功13件！！



T-5型……¥ 9,000

T-3a型……¥18,000

T-3b型……¥19,000

■ その他、連続観測用のACアダプター及び、補助電池ボックス（新製品）があります。

左からT-5・T-3a・T-3b型

申込先：〒213 神奈川県川崎市高津区長尾1606

折田 至

Tel. 044-866-8347

● カタログ請求は100円切手をお送り下さい。

宇宙文明の提唱

最新刊絶賛発売中！！

実践オカルティズム

宇宙哲学 新版 上製
地球人類より数万年も進化した他惑星人から伝えられた宇宙の真実 アダムスキー著 久保田八郎訳 七五〇円 千一六〇円
UFOは第二の黒船だ
宇宙的ルネッサンスと逆産業革命によって、公害、戦争、大変動の危機を回避する。坂元ツトム著 六八〇円 千一二〇円

ソ連圏の四次元科学

80億円の国家予算でUFOテレパシー、念力の研究を軍事や宇宙開発に応用しようとする共産圏アカデミー上巻(ソ連前編) 下巻(ソ連後編)ブルガリア・チェコ編)オストランダー他著 照洲みのる訳 各巻1150円 千200円

あなたにもできる
大地震予知法

木越保光著

890円
千160円

宇宙文明の夜あけ

宇宙人とのテレパシー対話一〇〇問答

高橋田一著

950円
千160円

超能力クロアゼ

世紀の千里眼能力者の記録。迷宮入犯罪の解決、古代遺跡の過去透視、大学での未来予知実験等 Jポラック著 山下仁訳 九五〇円 千一六〇円

思念力百科

セルフコントロールやテレパシーをエジプト秘術から現代心理学などあらゆる超能力開発法で新方式図解 佐々木浩一著 九五〇円 千一六〇円

エドガー・ケイシー秘密シリーズ

超能力の秘密

超能力開発の原理と実践法 一二〇〇円 千一六〇円

転生の秘密

二五〇〇の生まれ変わり例 一三〇〇円 千一六〇円

夢予知の秘密

夢であなただけの未来を知る 一三〇〇円 千一六〇円

21世紀総合オカルト・センター **たま出版**

162 東京都新宿区納戸町33

電話03-260-4367 振替東京94804

高性能精密器 均等 10ヵ月払 初回金10で おてもとへ ニコルス

たしかな品質 / 合理的良心価格
ご不満のときは交換・解約・返金自由

マニア向け
屈折赤道儀式の
決定版!

注文番号82-702

ニコルスRK-7012

実用と機能本位の設計
口径76.2mm・焦点距離1,250mm

筒ブレを排
除! 最高級マ
ウント使用

【定 格】

対物レンズ76.2mm (有効
径) アクロマート、焦点距
離1,250mm、集光力118倍、
分離能1.5秒、極限等級11
.2等星、鏡筒径76mm、アル
ミ使用、全長1,270mm、歯
数114枚

【付属品】

接眼レンズOR4mm (312倍)
HM6mm (208倍)、H20mm
(62倍)、ファインダー6×
30mm、天頂プリズム、サン
グラス、ムーングラス、フ
レキシブルハンドル2個、
ウエイト1個、二段式木脚、
カメラ雲台、木製格納箱

初回金6,500円 円2,000円
分割払金(月)6,500円×9回
分割払価格65,000円
現金払価格62,000円

口径80mm
焦点距離1200
(対物光軸修正付)

注文番号82-802

ニコルスRK-8012

大口徑屈折式の最高級機!

光軸修正付
大口徑対物
レンズ使用

【付属品】

接眼レンズHM6mm
(200倍)、HM12.5
mm (96倍)、HM20mm
(60倍)、写真雲台、
天頂プリズム、ファ
インダー8×30mm、
サングラス、ムーン
グラス、木脚(2段
式)、ウエイト2個、
フレキシブルハン
ドル(長短2個)

初回金8,950円 円1,500円
分割払金(月)8,950円×9回
分割払価格89,500円
現金払価格79,500円

●カメラアタッチメントF型



どのカメラでも
どの望遠鏡でも
使用可能。間接撮影、直接
撮影、拡大撮影、星野写真
等いずれも可能です。

現金払価格4,000円
送料300円

●60mm屈折用赤道儀(モータードライブ取付可)

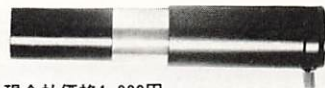


赤経赤緯目盛付、歯数
138枚、使用鏡筒63mm、
(60mm屈折標準口径)、
バランスウエイト2個、
フレキシブルハンドル
2個(長短)付

初回金1,950円
分割払金(月)1,950円×9回
分割払価格19,500円
現金払価格17,000円
送料800円

●2倍バローレンズ(アクロマート)

簡単に使用倍率を2倍にすることが
できます。特に短焦点の望遠鏡には便利
です。



現金払価格1,900円
送料150円

●地上用正立プリズム

天体望遠鏡を地上用として使用する場合ご利用
下さい。像が正立になります。



普及型
現金払価格2,000円
送料150円

広角型
現金払価格3,600円
送料150円

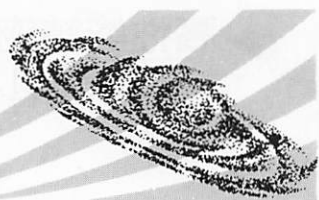
カタログ及び注文方法は
次のページにあります。

ヤングライフを演出するニコー
nicoh

ニ光通販(株) 技研事業部
東京都江戸川区南小岩6-31-25
TEL 03(672) 9094 (内線33)

初
回
金 **1** でおて 均等 **10**ヵ月払
金 **10**もとへ

ご不満のときは交換・解約・返金自由



114mm!
大口径反射式
の高性能機!
注文番号82-011
ニコルスLS-1149

集光力265倍
(肉眼)の大型機!

上下・水平
微動装置付

【定 格】
対物主鏡114mmアルミナイズ済、
焦点距離900mm、斜鏡23mm、集光
力265倍、分解能1.00秒、極限等
級12.0等星、鏡筒内径138mm、全
長880mm、接眼部24.5mm

【附属品】
接眼レンズHM6mm(150倍)、H
M12.5mm(72倍)、ファインダー
6×24mm、サングラス、2段式
木脚、フレキシブルハンドル

初回金2,950円 円1,500円 分割払価格29,500円
分割払金円2,950円×9回 現金払価格25,500円

マニア向け
反射赤道儀
の決定版!
注文番号82-003
ニコルスHK-1149

大口径114mm
集光力265倍の大型機!

ガッシリ
した二段
式木脚

【定 格】
対物主鏡114mm、アルミナイズ済、
焦点距離900mm、斜鏡23mm、接眼部
24.5mm、36mm両用、集光力265倍、
分解能1.00秒、極限等級12.0等
星、鏡筒内径138mm、全長880mm

【附属品】
接眼レンズHM6mm(150倍)、H
M12.5mm(72倍)、HM20mm(45
倍)、ファインダー6×30mm、サ
ングラス、フレキシブルハンド
ル2個、2段式木脚(2ヶ所止)、
バランスウェイト2個、赤径、赤
緯目盛付

初回金5,750円 円1,500円 分割払価格57,500円
分割払金円5,750円×9回 現金払価格51,000円

ニ光カタログハウスチェーン
営業時間 AM10:00~PM7:00 **ビバ店**

至
上
野
昭
和
通
り
秋
葉
原
駅
至
新
宿
至
東
京

大東 昭 大東 昭
相 和 相 和
互 通 互 通
行 行
検 検
察 察
庁 庁
文 文
庫 庫

● 至山 至山
● 工具 工具
● YKK YKK

● エン 至千
● バイ 葉
● メガ 無
● ソニ 休

至
上
野
昭
和
通
り
秋
葉
原
駅
至
新
宿
至
東
京

TEL 03(832)0713

今すぐのご注文は

- ご注文番号が品名を紙に書いて、
月賦は初回金と送料を現金書留封
筒でお送り下さい。
- 一時払いは同じ方法で現金価格と
送料をお送り下さい。

あて
先

〒133・東京小岩局48号
二光通販(株)
技研事業部
74係

カタログのお申込は

只今無料進呈中
商品をよりくわしく
知りたい方は、
カタログをお申込
み下さい。
下記のカタログ進
呈券をハガキのう
らにはってお送り
下さい。
無料でお送りいた
します。

カタログ進呈券74係

<苦情相談>

この広告についての商品未着や商品苦情はご遠慮なくお申しください。
ニコー消費者相談室 ☎03(672)8558 東京都千代田区外神田3-2-3森口ビル2F

ワグライフを演出するニコー
nicoh
ニ光通販(株)技研事業部
東京都江戸川区南小岩6-31-25

TEL
03(672)9094
(内線33)

高性能精密器ニコルス

お求めやすい均等／分割クレジット

たしかな品質・合理的良心価格

初心者向きの 決定版／経緯台式の 最高級機

注文番号82-615

ニコルスRS-6091A

〔定 格〕

対物レンズ60mmアクロマート
(セミコート)、焦点距離900mm、
集光力73倍(肉眼)、分解能
1.93秒、極限等級10.7等
星、鏡筒径63mm、全長
890mm(接眼レンズ
除く)

〔付属品〕

接眼レンズHM6mm(150倍)
HM12.5mm(72倍)、ファイン
ダー5×24mm、天頂プリ
ズム、サングラス、木脚(2
段式)フレキシブル
ハンドル

初回金2,300円 円900円
分割払金(月2,300円×9回)
分割払価格23,000円
現金払価格20,000円

二段ド
ロ。チュー
ブ使用

天体の連続 観測用高級赤道儀式

注文番号82-617

ニコルスRK-6091A

〔定 格〕

対物レンズ60mmアクロマート
(セミコート)、焦点距離900mm、
集光力73倍(肉眼)、分解能
1.93秒、極限等級10
.7等星、鏡筒径63mm、
全長890mm(接眼
部を除く)、赤道
儀歯数138
枚、赤緯と赤
経目盛付

〔付属品〕

接眼レンズHM
6mm(150倍)HM12
.5mm(72倍)HM20
mm(45倍)、写真雲台、ム
ーングラス、ファインダー5
×24mm、サングラス、木脚(2段)
天頂プリズム、フレキシブルハンドル
(長短2個)、バランスウエイト(0.5kg2個)

赤経・赤緯
目盛環付
赤道儀

初回金4,500円 円1,000円
分割払金(月4,500円×9回)
分割払価格45,000円
現金払価格39,500円

高倍率225倍 天体・地上両用望遠鏡

注文番号82-613

ニコルスRJ-6092A

〔定 格〕

対物レンズ60mmアクロマート
(セミコート)、焦点距離900mm、
集光力73倍、分解能1.93秒、
極限等級10.7等星、鏡筒径
63mm、全長890mm

〔付属品〕

接眼レンズSR4mm
(225倍)HM12.5mm(72
倍)、ファインダー5×
24mm、天頂プリズム、サ
ングラス、木脚(2段式)、
上下微動棒

初回金1,950円 円900円
分割払金(月1,950円×9回)
分割払価格19,500円
現金払価格16,500円

注文番号82-606

ニコルスRK-6050

〔定 格〕

対物レンズ60mmアクロマート
(セミコート)、焦点距離500
mm、集光力73倍(肉眼)、分
解能1.93秒、極限等級
10.7等級、鏡筒径63
mm、全長490mm(接
眼レンズ除く)

〔付属品〕

接眼レンズHM6mm(83倍)H
M12.5mm(40倍)、MH20mm
(25倍)、写真雲台、サング
ラス、ファインダー5×24mm、
ムーングラス、フレキシブル
ハンドル2個(長短)、ウエ
イト2個、木脚(2段式)

初回金4,400円 円1,000円
分割払金(月4,400円×9回)
分割払価格44,000円
現金払価格38,800円

カタログ及び注方文法は
次のページにあります……

●本書はユニバース出版社国内独占販売のため一般書店ではお求めできません。ご購入の場合は、代金を現金書留または振替で直接当社業務部までお送り下さい。なお5日間無料で本書をご覧になれる方法もあります。ご希望の方は当社業務部まで資料(無料)をご請求下さい。

国内総販売元

株式会社 **ユニバース出版社**

〒110 東京都台東区上野5-1-6 ヤマトビル 振替東京1-119478

最大の冒険

ADVENTURE

BRM SELAH 社版

月面と宇宙 アポロ計画 大写真集!

●世紀の大偉業“アポロ計画”の全貌公開。アメリカ航空宇宙局(NASA)提供による驚異のカラー写真119点、モノクロ写真11点があなたを未知の大宇宙へご案内します。

●本書(BRMセラー社版)は横25.5cm、タテ34.3cmの特大版で本文極上アート紙使用、極厚手表紙・カバーつき、総頁数128の豪華写真集です。詳細な英文解説に別冊日本語版(全訳)がつきます。

●科学研究者・天文ファン、学校・図書館等の公共施設はもちろん、ご家庭の教養図書としてもぜひ一冊おそなえ下さい。

定価11,000円(梱包送料600円)

米国直輸入

超豪華版
MAN'S
人類の
GREATEST

◆MOP高性能天体望遠鏡 (通産省光学検査合格品)

◆MOP本格派双眼鏡 (通産省光学検査合格品)

ビックリ価格
11月20日まで

全商品大特価セール 5年間品質保証書付

UFOをとらえるのはこれだ!

研究観測用高級機 100%反射型赤道儀式

MOP M109型

規格・性能 焦点距離
900mm 主鏡レンズ有
効径100mm(主鏡アルミ
ナイズメッキ) 分解能
1.16秒 極限等級11.8
等星 集光力204倍

装置 直進ヘリコイド
式繰出(接眼レンズ口
径24.5mm用) 赤道儀兼
経緯台 微動装置ウォ
ームギヤー使用 赤経
・赤緯目盛環付

付属品付き

ビックリ価格35,000円
(送料2,000円)



チャンス!

MOP 610型

規格・性能 焦点距離
1,000mm 有効径60mm
(アクロマートレンズ
使用) 分解能1.9秒 極
限等級10.7等星 集光
力73倍

付属品 サングラス
6×30mmファインダー
天頂プリズムHM6mm
HM12.5mm K20mm
バランスウェイト2 フ
レキシブルハンドル2
木製2段伸縮三脚

研究観測用高級機
60%屈折赤道儀式

チャンス!

**ビックリ価格
34,000円**
(送料2,000円)

**MOP双眼鏡8×30**

規格・性能 倍率8倍
対物レンズ有効径30mm
射出瞳径3.8mm 明るさ
14.1 実視界7.5度 1000
m先の視野131m 高さ
11.5cm 重さ550g

チャンス!

ビックリ価格7,500円
(送料800円)



●ミクロンシリーズ

MOPミクロン10×40

規格・性能 倍率10倍
対物レンズ有効径40mm
射出瞳径4mm 明るさ
16 実視界7度 1000m
先の視野123m 高さ12
.3cm 重さ490g

チャンス!

10×40

付属品ハードケース

**ビックリ価格
13,000円**
(送料800円)

**MOP双眼鏡20×50**

規格・性能 倍率20倍
対物レンズ有効径50mm
実視界3度 ひとみ径
2.5mm 重さ1,050g

全機種特価

6×30 8,700円
8×30 9,000円
7×35 9,500円
7×50 10,700円
10×50 11,200円
12×50 11,500円
16×50 11,700円
20×50 12,800円
(送料800円)

高倍率で明るく!

チャンス!



**20×50
ビックリ価格 9,800円**
(送料800円)

付属品 ハードケース
保証書 使用説明書

●ミクロンシリーズ

MOPミクロン8×20

ポケットにピッタリ!

規格・性能 倍率8倍
対物レンズ有効径20mm
射出瞳径2.5mm 明るさ
6.3 実視界5度 1000m
先の視野88m 高さ7.1
cm 重さ185g

チャンス!

8×20

付属品ソフトケース

**ビックリ価格
10,500円**
(送料800円)



ご注文方法 広告価格はすべて現金価格です。ご注文の場合は品名・住所・
電話番号・氏名を明記し、現金書留でお申し込みください。

あて先

〒193東京都八王子市小比企町2957-9 ☎0426-25-7941(代表)
(株)インテル 光学事業部UFO係

当社製品の販売代理店を募集します。当社まで資料をご請求下さい。またこの広告につ
いてのお問い合わせは当社調査室(TEL0426-25-7941)までお電話をお願い致します。

カタログ無料進呈

当社全製品満載のカタ
ログを無料で差し上げま
す。切手100円を同封し
下の請求券をはって
お申し込み下さい

カタログ請求券
UFO20

High S型赤道儀シリーズ Low



グレートビクトリー 700MD

60%赤道儀兼経緯台

対物レンズ アクロマート
コーティング
D60% F700mm
接眼鏡 フルコート 同焦点
HM6% HM12.5%
倍率 117× 56×
接眼部 24.5% 36%兼用
附属品 天頂プリズム
サングラス
6×23%ファインダー
S型赤道儀一式
スライド式三脚一式
モータードライブ
(SMD)

モータードライブ付
¥47,800 送料¥1,500

モータードライブ ナシ
¥35,800 送料¥1,500



No. ST1000MD

60%赤道儀兼経緯台

対物レンズ アクロマート
コーティング
D60% F1000mm
接眼鏡 フルコート
HM6% HM12.5% K25%
倍率 167× 80× 40×
接眼部 24.5% 36%兼用
附属品 天頂プリズム
サングラス
6×23%ファインダー
S型赤道儀一式
スライド式三脚一式
モータードライブ
(SMD)

モータードライブ付
¥52,500 送料¥1,500

モータードライブ ナシ
¥40,500 送料¥1,500

安定性の低い小型赤道儀の時代は終わった。そしてガバナー制御のモータードライブ付大型赤道儀の時代が始った!!



グレートビクトリー100 MD

100%反射式赤道儀兼経緯台

主鏡 D100mm F800mm
接眼鏡 フルコート 同焦点
HM6% HM12.5%
倍率 133× 64×
接眼部 ラックピニオン式
24.5% 36%兼用
附属品 サングラス
光軸アイピース
6×23%ファインダー
S型赤道儀一式
スライド式三脚一式
モータードライブ
(SMD)

モータードライブ付
¥49,800 送料¥1,500

モータードライブ ナシ
¥37,800 送料¥1,500

(モータードライブは後日購入も出来ます。)



No. SH900MD

100%反射式赤道儀兼経緯台

主鏡 D114mm F900mm
接眼鏡 フルコート
HM5% HM8% K25%
接眼部 ラックピニオン式
24.5% 36%兼用
附属品 サングラス
光軸アイピース
6×23%ファインダー
S型赤道儀一式
スライド式三脚一式
モータードライブ
(SMD)

モータードライブ付
¥54,800 送料¥1,500

モータードライブ ナシ
¥42,800 送料¥1,500

S型赤道儀は一クラス上の大型赤道儀………小型赤道儀は微振動が多い為、観測しにくく写真撮影も思う様に出来ません。従来の赤道儀の欠点を補って新設計されたS型赤道儀は微振動が少なくて安心です。
S型赤道儀は上下角微調節ネジ付………今迄は10万円クラスの高級品にしか採用されていませんでした。
S型赤道儀は移動するロールバランスウェイト軸………今迄は15万円以上の高級機専用でした。
S型赤道儀のモータードライブは二電源方式のガバナー（電圧安定装置）制御のDCサーボマイクロギヤードモーターですので精度の良い回転が得られ、単3乾電池4本(6V)又家庭用100V電源の両方が使用出来ます。
S型赤道儀シリーズはコストパフォーマンス（価格に比べた品質と性能）が最高で他の及ぶ所では有りません。

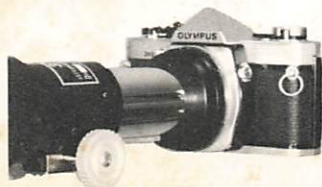
●写真撮影用カメラアダプター (35%一眼レフ専用 屈折望遠鏡接眼鏡36%専用) ●地上用ズーム接眼鏡

天体写真、地上写真のどちらにも使用出来ます。直接撮影方式で望遠鏡が超望遠カメラ用交換レンズと同じ事に成りますので、他の方式に比べてもっとも鮮明に写せます。

¥3,000 送料¥300

＜使用出来る35%一眼レフカメラ＞ ペンタックス(S及Kシリーズ)
フジカ、マミヤ、リコー、ヤシカ、ニコン、キャノン、ミノルタ、オリンパスOM、
コニカ(新)、ミランダ(注文時カメラ名お知らせ下さい。接眼鏡24.5%径は使用不可)

正立像 6%~15%ズーム
天体望遠鏡がズーム式地上望遠鏡に使えます。¥4,500



ご注文は代金、送料を送金下さい。又ご来社下さい。

株式
会社

スリービーチ 光学部UFO係

光学部TEL 東京03
(850) 6110

〒121 東京都足立区平野3丁目7番17号

振替口座 東京7-103033

総合カタログ・切手300円同封の上お申込み下さい。

(広告有効期間・本誌号月の月末迄)

神秘と怪奇への挑戦シリーズ

原題 A New Library of the Supernatural



現代科学では解明し得ない世界が確かに存在する—この不思議な世界へ誘う衝撃シリーズ

11月より発売予定

●各巻144ページ ●オールカラー版 ●四六倍版 ●並製

●巻構成 各巻予価**980円**

- 1 驚異の超能力者たち
- 2 恐怖の吸血鬼と怪人
- 3 謎の怪物たちの世界
- 4 生きている死者
- 5 予言の怪と謎
- 6 闇に躍る幽霊
- 7 衝撃のミステリーゾーン
- 8 魔術と占いのミステリー
- 9 宇宙よりの来訪者たち
- 10 神秘と怪奇

= 以下続刊 =

監修： コリン・ウィルソン
クリストファー・エバンズ
ユーリー・ゲラー



●発行 学研<学習研究社>
〒145 東京都大田区上池台4-40-5
☎(03)720-1111(大代表)

学研

雑誌 8945-10